J-N51 基本操作編

J-フォン株式会社

お問い合わせについては414～415ページを参照してください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

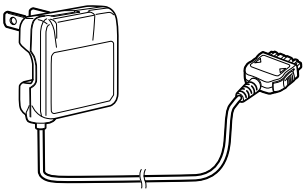
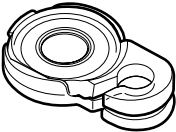
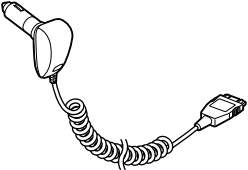
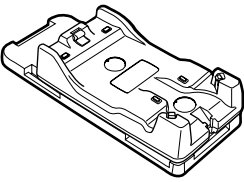
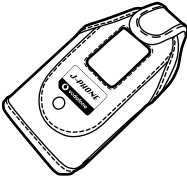
J-N51 基本操作編

はじめに

このたびは、「J-N51」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
この取扱説明書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。

●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

●別冊のクイックリファレンスを使用する際は、必ずこの取扱説明書をよく読み理解したうえで、お使いください。

J-N51は、1.5GHzの周波数帯を利用し、J-フォンのネットワークに対応した仕様になっております。

J-N51は、日本国外ではご利用になれません。

ご注意

・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取替えいたします。

付属品・オプション品について

付属品 （オプション品としても取り扱いしております） ※ハンドストラップを除く。	オプション品
■ 電池パック （NEBJ01）	■ シガーライター充電器 （NEJF01）
■ 急速充電器 （NECJ01）	■ 車載ホルダー （NEKJ01）
■ 卓上ホルダー （NEEJ01）	■ ソフトケース 裏面の形状はボタン式になっています。 （NEMJ01）
■ 接写 de レンズ （NEPJ01）	
■ ハンドストラップ（非売品）	

※付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。

安全上のご注意

■ 製品を安全にご使用いただくため､「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになったあとは、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

■ ここに示した説明事項は､お使いになる人や他の人への危害､財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので､必ずお守りください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険　この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告　この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

この絵表示は､行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この絵表示は､電源プラグを必ずコンセントから抜いていただく内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、メモリの消失､その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危　険

■ J-N５１、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

●J-N５１に使用する機器※は当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

※指定電池パック、指定充電用機器（急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器）については、「付属品・オプション品について」（☞Pii）を確認してください。

●J-N５１、接写deレンズ、電池パック、急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器、車載ホルダーを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。漏液、発熱、破裂、発煙、発火、変形の原因となります。

■ 電池パックの取り扱いについて

●電池パックをJ-N５１に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。電池パックは向きを確かめてから接続してください。

●分解、改造をしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パックをぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

●電池パックをご使用の際は、次のことは絶対にしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

- 火の中に投下しないでください。
- 直接はんだ付けしないでください。
- 電池パックの端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり踏み付けたりしないでください。

●電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。失明などの原因となります。

⚠警　告

■ J-N51、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

●強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

●ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

●電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、J-N51や充電用機器を入れないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、J-N51、充電用機器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

■ 電池パックの取り扱いについて

●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、J-N51から取り外し、使用しないでお問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因となります。

●電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠警　告

■ 医用電気機器の近くでの J-N51 の取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年 3 月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

●植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

●満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、J-N51 の電源を切るようにしてください。電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

●医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはJ-N51を持ち込まない。

・病棟内では、J-N51の電源を切る。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、J-N51 の電源を切る。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

●自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

⚠警　告

■ J-N５１の取り扱いについて

●自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全な場所に停車させてからご使用ください。

●分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。指定部分以外の点検・調整・修理は、お問い合わせ先（☞P４１４～４１５）までご連絡ください。

●アンテナ、ハンドストラップなどを持ってJ-N５１を振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

●赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

●ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、J-N５１の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

●航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、J-N５１の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

⚠警　告

●屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、アンテナをJ-N51に収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。落雷、感電の原因となります。

●心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

●医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。J-N51は折り畳み式のため、閉じた状態を検出するために磁石を使用しています。J-N51を医用電気機器などの近くで使用しますと、磁石の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

■ 充電用機器の取り扱いについて

●急速充電器は必ずAC100Vを使用してください。誤った電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。

●分解、改造をしないでください。感電、火災、故障の原因となります。指定部分以外の点検・調整・修理は、お問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。

●シガーライター充電器はマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。火災の原因となります。

●電源コードが傷んだら、使用しないで、お問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。

●シガーライター充電器は必ず指定された電圧の車両で使用してください。誤った電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。

●シガーライター充電器のヒューズが万一切れたときは、必ず指定のヒューズを使用してください。誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

⚠警　告

●充電用機器をぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

●万一水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いて、お問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●ぬれた手で充電用機器、電源コードやコンセントに触れないでください。感電の原因となります。

●コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子やコネクタ端子をショートさせないでください。また、充電端子やコネクタ端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。火災、故障、感電、傷害の原因となります。

●急速充電器や卓上ホルダーは、ふろ場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。感電の原因となります。

●プラグに付いたほこりはふき取ってください。火災の原因となります。

■ 接写 de レンズの取り扱いについて

●接写 de レンズを通して太陽や強い光を見ないでください。目を傷める危険性があります。

●接写 de レンズは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込む危険性があります。また、けがなどの原因となります。

⚠注　意

■ J-N51、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

●湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないでください。故障の原因となります。

●直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがや故障の原因となります。

●子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを注意してください。けがなどの原因となります。

●乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがなどの原因となります。

■ J-N51の取り扱いについて

●自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

●ハンドストラップや接写deレンズなどを挟んだまま、J-N51を折り畳まないでください。故障、破損の原因となります。

●磁気カードなどをJ-N51に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。J-N51は折り畳み式のため、閉じた状態を検出するために磁石を使用しています。フロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気記録を利用しているものをJ-N51に近づけたり、挟んだりしないでください。

⚠注　意

●人の多い場所では使用しないでください。アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。

●J-N51をぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

●ズボンやスカートの後ろポケットにJ-N51を入れたまま、いすなどに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障、破損の原因となります。

●お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、直ちに使用をやめ医師の診療を受けてください。

使用箇所・材質
フロントケース全体（表示操作面）にはマグネシウム合金ＭＤ１Ｄ（JIS）相当品を使用しています。塗装されていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。背面ロゴプレートにはアルマイト処理したアルミニウムを使用しています。レンズカバー枠、マルチコントローラー、Ｊ-スカイボタン、メールボタン、クリアボタン、ダイレクトボタンにはクロムメッキを施しています。

●アンテナが破損したまま使用しないでください。肌に触れるとやけどなど、けがの原因となります。

●万が一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。ディスプレイ部やカメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますとけがの原因となります。

●内蔵カメラのレンズや接写deレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

⚠注　意

■ 充電用機器の取り扱いについて

●シガーライター充電器はエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●電源コードの上に重いものを載せないでください。感電や火災の原因となります。

●充電中は、充電用機器を不安定な場所に置かないでください。また、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。J-N51が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

●充電終了後は、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。火災、故障の原因となります。

●清掃する際には、必ずコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いてください。感電の原因となります。

●充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となります。

■ 接写 de レンズの取り扱いについて

●ハンドストラップを持って振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

●接写 de レンズを磁気カードなどに近づけないでください。フロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

お願いとご注意

■ ご利用にあたって

● J-N51は電波を使用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。またサービスエリア内であっても、ビルの陰、ビル内、トンネル、地下、山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また通話中にこのような場所へ移動する場合、通話が途切れることがありますのであらかじめご了承ください。

● 電車の中や人の多い場所、静かな場所でのご使用は、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。

● 電車などの交通機関内で使用した場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与える場合がありますので注意してください。

● 事故や故障などによりJ-N51に登録したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。

● J-N51は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

● J-N51の時刻表示はあくまでも目安です。正確な時刻を確認したい場合は、時報サービスなどによって確認してください。

● 次のような場合は電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。
  - ・製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。
  - ・金属製家具などの近くは避けてください。電波が飛びにくくなります。
  - ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください。（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く雑音が大きいときは、J-N51を移動してみてください。電波が強すぎるときはJ-N51が使用できないことがあります。
  - ・トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

● **傍受にご注意ください。**

J-N51は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

傍受（ぼうじゅ）とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ お取り扱いについて

● 水をかけないでください。J-N51、電池パック、充電用機器は防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所や、雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。またシャツの胸ポケットに入れるなど身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

● お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。ぬれたぞうきんなどでふくと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電用機器では正常に充電できない場合があります。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

● J-N51に無理な力がかかるような場所に置かないでください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

● 極端な高温・低温は避けてください。温度は5℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

● 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますのでなるべく離れた場所でご使用ください。

● J-N51の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
J-N51を使用して複製などを行う場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、J-N51にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

目　次

13 付録

お使いになる前に

各部の名称と機能

■ 本体

レシーバー（受話器）
相手の声がここから聞こえます。

メインディスプレイ
現在の状況やメッセージなどを表示します。（☞P4）

表示切替／シャッターボタン ▲（側面）
電話を受けるときや通話中に受話音量を上げるとき、モバイルカメラで撮影するときなどに使用します。また、機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます。（☞P7）

メモ／確認ボタン ▼（側面）
電話を受けるときや通話中に受話音量を下げるとき、ボイスアナウンスを確認するときなどに使用します。また、機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます。（☞P7）

リダイヤル／クリアボタン
以前にかけた電話番号に再度かけるときや、入力した電話番号や文字を消去するときなどに使用します。また、操作中や設定中に1つ前の状態へ戻すときに使用します。（☞P6）

開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字の入力などを行うときなどに使用します。

イヤホンマイク端子（側面）
イヤホンマイク（別売）を接続します。

＊ボタン
「＊」や濁点、半濁点を入力するときに使用します。
また、モバイルカメラ画像の表示を切り替えるときなどに使用します。

＃ボタン
「＃」や句読点、スペースなどを入力するときに使用します。

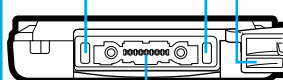
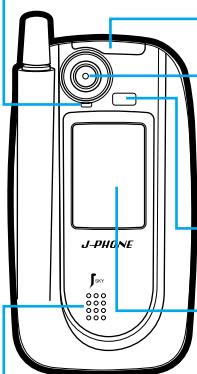
ハンドストラップ取り付け穴
付属品のハンドストラップを下図のように取り付けます。

アンテナ

マイク（送話器）
自分の声をここから伝えます。

外部接続端子キャップ

充電端子
卓上ホルダーに取り付けて充電するときに使用します。

外部接続端子
急速充電器や、シガーライター充電器（別売）などを接続します。

着信ランプ
電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに点滅します。また充電中には赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

赤外線ポート
赤外線通信でデータのやりとりを行います。また、リモコン操作時の発信部となります。

モバイルカメラ（レンズカバー）
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

ライト
待受状態のときや撮影時に、照明として使えます。

イメージウィンドウ
不在着信や新着メールなどお知らせや、「着信中」、「応答中」などの現在の状況を表示します。（☞P4）

スピーカー
着信音などが聞こえます。

セレクトボタン
メインディスプレイの最下段に表示されている操作／項目を実行／選択するときなどに押します（☞P6）。また、次の機能でも使用します。

J -スカイボタン（左）
J -スカイ サービスの各機能を呼び出すときに使用します。（☞『J -スカイ編』）
また長く押すとモバイルカメラを呼び出すことができます。

メモリダイヤルボタン（中央）
メモリダイヤルを呼び出すときに使用します。
また長く押すと不在着信などを確認することができます。（☞P8）

メールボタン（右）
メール サービスの機能を呼び出すときに使用します。（☞『J -スカイ編』）

マルチコントローラー
上下左右の4か所を押すことができます。また、Java™アプリによっては動作時に上下左右に加え右上、右下、左上、左下の8方向への操作ができる場合があります。（☞『J -スカイ編』）次のように使用します。

: 変換／上スクロールボタン
漢字変換や音量調節、カーソルを上に移動させるときなどに使用します。押し続けると上方向に連続スクロールさせることができます。

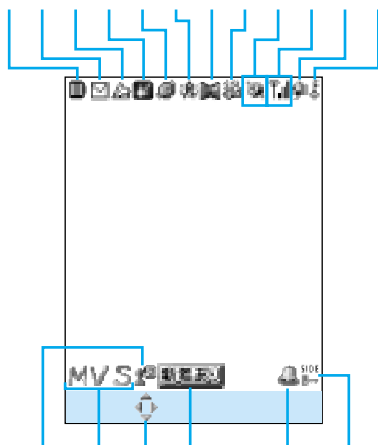
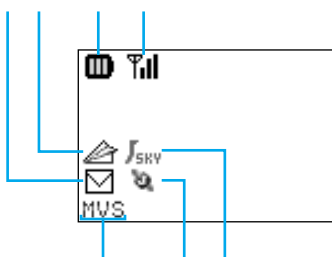
: 変換／下スクロールボタン
漢字変換や音量調節、カーソルを下に移動させるときなどに使用します。押し続けると下方向に連続スクロールさせることができます。

: メニュー／カーソル右ボタン
機能メニューやカレンダーを表示させるときや、カーソルを右に移動させるときなどに使用します。また、複数のページを持つ機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます。

: アシスト／カーソル左ボタン
アシストダイヤルを呼び出すときやマナーモードを設定／解除するとき、カーソルを左に移動させるときなどに使用します。また、複数のページを持つ機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます。

ダイレクトボタン
ショートカットの一覧を表示するときに使用します。文字入力時には候補選択モードへの切り替えや改行入力に使用します。

電源／終了ボタン
電源をON／OFFしたり、通話を終了するとき、操作を中止するときなどに使用します（☞P6）。また、着信時に押すと応答保留になります。

■ディスプレイ

〈メインディスプレイ〉

〈イメージウィンドウ〉

① （電池レベル表示）
電池残量の目安を示します。

② （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに新しいメッセージが入っているときに表示されます。

③ （メール サービス受信表示）（メインディスプレイ）
未読のメール（スーパーメール以外）があるときに表示されます。

④ （スーパーメール受信表示）
未読のスーパーメールがあるときや、メールサーバーにメッセージをお預かりしているときに表示されます。

⑤ （ウェブ サービス受信表示）
ウェブ サービス機能で、未読の情報があるときに表示されます。

⑥ （ステーション サービス受信表示）
ステーション サービスのマイリストに登録したコンテンツから情報が届いたときに表示されます。

⑦ （回線接続中表示）
サーバーメールボックスと通信しているときや、ウェブでサービスセンターと通信しているときに表示されます。

⑧ （SSL 通信表示）
SSL 使用中のときに表示されます。

⑨ Java™起動状態表示
Java™の起動状態が表示されます。
（Java™起動中）
（Java™一時停止中）

⑩ （電源 ON 表示）
サービスエリア内で電源がONのときに表示されます。
（電波状態表示）
電波の強さを表示します。棒の数が多いほど、電波状態が良好です。
（圏外表示）
サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示されます。
（オフラインモード表示）
オフラインモードで使用しているときに表示されます。
（赤外線通信中表示）
赤外線通信を行っているときに表示されます。

⑪ （メモリフル表示）
J - スカイサービスで使用できる空きメモリが残り 10%を切ったときに表示されます。

⑫ （シークレットモード表示）
点灯：シークレットモードが設定されていることを示します。
点滅：シークレットメモリを表示させていることを示します。

⑬ （マナーモード表示）
マナーモードを設定しているときに表示されます。
（バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータを設定しているときに表示されます。
（サイレント表示）
通常着信時に着信音を鳴らさないように設定しているときに表示されます。

⑭ (選択方向表示)
それぞれの方向にカーソル移動や表示内容のスクロールができるときに表示されます。

⑮ ／／／／／
(簡易留守録件数表示)
簡易留守録が設定されているときに、録音件数が表示されます。

⑯ (新着あり表示)
確認していない簡易留守録があるとき、不在着信や新着のメール／ウェブ／ステーションのメッセージなどを確認せずに待受画面に戻ったときなどに表示されます。

⑰ (アラーム表示)
スケジュールやめざましを設定した日付になると表示され、設定した時刻が過ぎると消えます。

⑱ (サイドボタン操作無効表示)
折り畳み時、サイドボタンの操作を無効に設定しているときに表示されます。

⑲ (メール サービス受信表示)(イメージウィンドウ)
未読のメールがあるときに表示されます。

⑳ (J - スカイ受信表示)
ウェブ サービスの未読情報、ステーションサービスのマイリストに登録したコンテンツからの未読情報があるときに表示されます。

各ディスプレイのサイズは以下のようになっています。
メインディスプレイ：縦216ドット×横160ドット
イメージウィンドウ：縦80ドット×横120ドット

補足
- イメージウィンドウの待ち受け表示設定で「アナログ2」を設定すると、左記の表示はされません。
- J-N51のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドットが存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ マルチコントローラーの使いかたについて

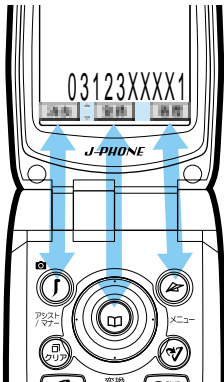
この取扱説明書では、マルチコントローラーの使いかたを以下のような表記方法で説明しています。

表記例	操作方法
「(メニュー) を押す」	マルチコントローラーの右を押す（メニューボタンとして使用する）
「(アシスト) を押す」	マルチコントローラーの左を押す（アシストボタンとして使用する）
「(変換) を押す」	マルチコントローラーの上または下を押す（変換ボタンとして使用する）
「を押してメニューを選択する」	マルチコントローラーの上下左右を押してカーソルを移動させ、目的の項目を選択する
「を押して変更したい項目を選択する」	マルチコントローラーの上または下を押してカーソルを上下に移動させ、目的の項目を選択する
「を押してメニューを選択する」	マルチコントローラーの左または右を押してカーソルを左右に移動させ、目的の項目を選択する

■カーソルについて

この取扱説明書では、文字を入力する位置に表示される「■」（反転表示）や「＿」をカーソルと呼びます。また、メニューの項目を選択する際に、いずれかの項目が「　　　　」で表示されます。これもカーソルと呼び、現在選択している項目を表しています。
特定の文字を消去したり目的の箇所に入力するとき、または項目を選択するときなどには、 を押してカーソルを移動させます。選択したい項目にカーソルを移動させることを、この取扱説明書では「選択する」と表現しています。

■セレクトボタンの使いかたについて

メインディスプレイの最下段には、消去 登録のような操作の選択肢や、ON OFFのような設定の選択肢などが表示されます。これらの表示内容を選択するときには、その表示位置に対応するセレクトボタンを押します。

〈セレクトボタンの使用イメージ〉

左の例の操作方法

- 消去を選択するとき→ を押す
- 登録を選択するとき→ を押す
- 着歴を選択するとき→ を押す

■終了ボタン／クリアボタンの使いかたともどるについて

各機能の操作を中止したいときは を押します。また、選択した機能によっては を押すと操作中や設定中の画面を1つ前の状態に戻すことができます。メインディスプレイにもどるが表示されている場合はセレクトボタンを押して戻すこともできます。ただし、これらのボタンを押して操作を終了した場合は、それまで行っていた操作が無効になります。

■ サイドボタンの使いかたについて

機　能	操　作	参照ページ
電話を受ける	▲／▼を押す（エニーキーアンサー）	35
着信中に簡易留守録を起動する	▲／▼を長く押す	37
通話中に受話音量を調節する	音量を上げる：▲を押す、音量を下げる：▼を押す	120
簡易留守録・メモを再生する	J-N51を開いた状態で、待受画面表示中に▼を押す	285 290
ページを切り替える	J-N51を開いた状態で、機能メニューや一覧画面、メールの内容画面などを表示中に▲／▼を押す（長く押すと連続切り替え）	—
オフラインモードのON／OFFを切り替える	J-N51を開いた状態で、待受画面表示中に▲を長く押す	162
モバイルカメラで撮影する	静止画の撮影・動画の撮影開始：J-N51を開いた状態で撮影する画像をファインダーに表示させ、▲を押す	203 206 209
	動画の撮影終了：J-N51を開いた状態で撮影中に▲を押す	
着信履歴を表示する	待受中にJ-N51を折り畳んだ状態で▲を押す	41
ボイスアナウンスを使用する	待受中にJ-N51を折り畳んだ状態で▼を長く押す	234
イメージウィンドウの表示を切り替える	イメージウィンドウに時計が表示されているとき、待受中にJ-N51を折り畳んだ状態で▼を繰り返し押す（表示中の状態で固定するときは▲を長く押す）	195 196
	表示固定の解除：表示固定中に▲を長く押す	196

- 折り畳んだ状態でのサイドボタン操作を無効にすることができます。（☞P242）

■ 新着ありの表示について

不在着信の画面で着信履歴を確認せずに(PWR HLD)を押したときや確認していない簡易留守録の録音メッセージ（☞P281）などがあるときは、待受画面に新着ありが表示されます。このとき、(□)を長く押すと、確認していない内容を示すアイコンが表示されます。
アイコンが示す内容をすべて確認すると、アイコンは表示されなくなります。

確認したいアイコンを選択し、(□)を押すと選択した操作画面が表示されます。
選択されているアイコンは、色が変わります。

：確認していない不在着信があることを示します。選択して(□)を押すと、着信履歴（☞P40）が表示されます。

：確認していない簡易留守録の録音メッセージがあることを示します。選択して(□)を押すと、簡易留守録の一覧画面（☞P285）が表示されます。J-N51を開いた状態で▼を押して簡易留守録を再生した場合（☞P286）も、内容を確認したことになります。

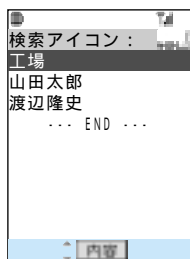
：確認していない新着メールがあることを示します。（☞『J-スカイ編』）

：確認していないウェブ サービスの自動配信の情報があることを示します。（☞『J-スカイ編』）

：確認していないステーション サービスの情報があることを示します。（☞『J-スカイ編』）

注意
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに、を選択したときは、警告音とメッセージでお知らせし、新着情報の確認はできません。

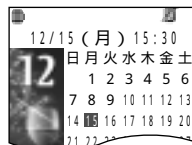
■「END」表示について

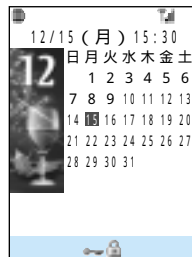
メモリダイヤルの検索画面（☞P92～96）や着信音パターン選択の画面（☞P123）など登録項目や保存項目の一覧画面では、一覧の最後の項目の下に「--- END ---」が表示されます。

■ こんなときにはご利用になれません

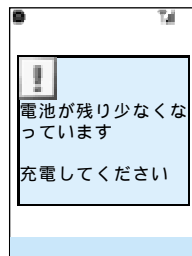
●「圏外」の表示が出ているとき

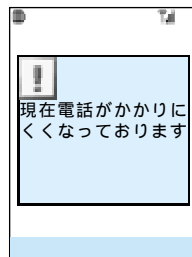
サービスエリア外または電波の届かない場所です。「圏外」表示が消える場所へ移動してください。

● （オフラインモード）の表示が出ているとき

電波を送受信することができません。オフラインモードを解除してください。（☞P162）

● （ダイヤルロック）の表示が出ているとき

操作を行うことができません。ダイヤルロックを解除してください。（☞P149）

●電池アラーム音が鳴り、「電池が残り少なくなっています～」のメッセージが出ているとき

電池が切れかかっています。一度充電するか、電池パックの交換を行ってください。（☞P17～22）

●「現在電話がかかりにくくなっております」のメッセージが出ているとき

しばらくたってから、かけ直してください。

機能の呼び出しかた

いろいろな機能を利用したり、設定の確認や変更をしたりするときには、各機能の操作画面を表示させます。ここでは、この機能操作画面を呼び出す2通りの方法を紹介します。それぞれの機能の内容や操作方法については、各機能のページを参照してください。
また、機能によっては、サブメニューから呼び出して設定したり、ダイヤルボタンなどを押して項目を選択したりすることができます。

■ アイコンを選んで呼び出す

この取扱説明書で説明している呼び出しかたです。機能分類と各メニュー項目の構造については、「メニューの流れ」（☞P14）を参照してください。

例：音／バイブ／ランプ機能グループの「マナーモード設定」の操作画面を表示させる場合

1 ◎（メニュー）を押す

メインメニュー画面が表示されます。

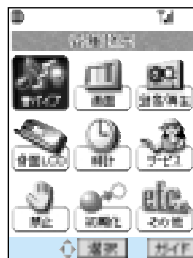
補足

- ◎（メニュー）を押しても、着信中や機能操作中などにはメインメニュー画面は表示されません。

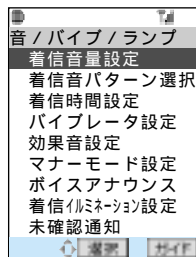
2 ◎を押して呼び出したい機能や機能グループのアイコンを選択する

選択されているアイコンは、色が変わります。「マナーモード設定」は、メインメニュー画面を呼び出したときに選択されている（各種設定グループ）に含まれています。

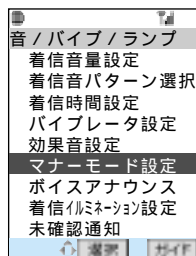
3 ◎を押す

機能グループ別のメニュー画面が表示されます。
（モバイルカメラ）、（メディアポッド）を選択したときは、各機能の操作画面や設定画面が表示されます。

4 **を押して呼び出したい機能や機能グループのアイコンを選択する**

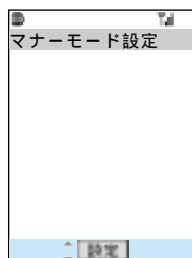
ここではを選択します。

5 **を押す**

6 **を押してカーソルを移動し、目的の機能を選択する**

ここでは「マナーモード設定」を選択します。

- を押して別の機能グループを選択することもできます。

7 **を押す**

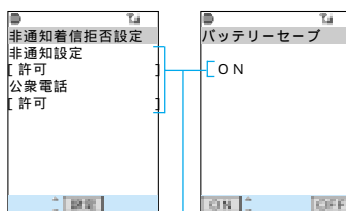
機能操作画面が表示されます。

- を押すと、前後のメニュー番号の画面を表示させることができます。

8 **設定操作をする**

操作を終了し、待受画面に戻るときは、を押します。

- 通話中はを繰り返し押して通話中画面に戻してください。を押すと通話が切れてしまいます。

現在の設定を確認する

機能によっては、現在の設定が右のように表示されます。
設定状態を確認し、設定を変更する必要がないときには、(PWR HLD)を押すか(クリア)を繰り返し押すと待受画面に戻ります。

■ メニュー番号を入力して呼び出す

各機能の操作説明ページには、メニュー番号のマークが付いています。このメニュー番号を入力して機能を呼び出します。各機能のメニュー番号は「メニューの流れ」(☞P14)、「機能メニュー一覧」(☞P408)を参照してください。

メニュー番号

例：メニュー28「暗証番号変更」の操作画面を表示させる場合

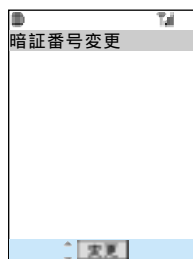
1 ◎(メニュー)を押す

メインメニュー画面が表示されます。

- ◎(メニュー)を押しても、着信中や機能操作中などにはメインメニュー画面は表示されません。

2 メニュー番号のダイヤルボタンを押す

ここでは(2)(8)と押します。
機能操作画面が表示されます。

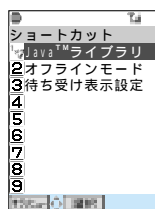
- ◎を押すと、前後のメニュー番号の画面を表示させることができます。
- (クリア)を押すと機能グループ別のメニュー画面が表示されます。

3 設定操作をする

操作を終了し、待受画面に戻るときは、(PWR HLD)を押します。

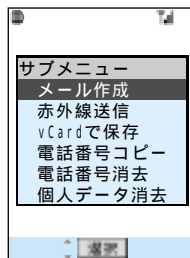
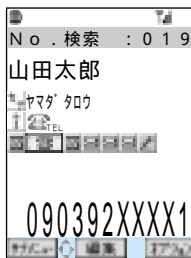
- 通話中に操作できる機能の場合は、(クリア)を繰り返し押して通話中画面に戻してください。(PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。

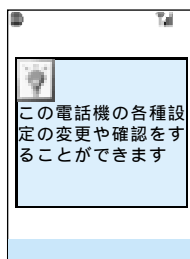
ショートカットから呼び出すには

よく使う機能は、あらかじめショートカット（10件まで）に登録しておくと便利です。待受画面で(✓)を押すとショートカットの一覧画面が表示されます。(◯)を押して目的のショートカットを選択し(📖)を押すか、項目番号のダイヤルボタンを押すと、機能操作画面が表示されます。

とくによく使うショートカット1件を、待受画面で(✓)を長く押す（または(✓)を2回押す）だけで表示できるように設定することもできます。ショートカットの登録方法については、「よく使う機能をショートカットに登録する」（☞P276）を参照してください。

例：ショートカットに「オフラインモード」と「待ち受け表示設定」が登録されている場合

■ サブメニューの使いかたについて

[サブメニュー]が表示されている画面で対応するセレクトボタンを押すと、サブメニューが表示されます。この画面で(◯)を押して呼び出したい機能を選択し、(📖)を押すと、操作画面を呼び出すことができます。
ただし、サブメニューを表示させたときに利用できない機能は、メニュー項目に表示されず、呼び出すことができません。

■ 機能ガイダンスについて

[ガイド]が表示されているメニュー画面でアイコンや項目を選択して(✉)を押すと、その機能の説明が表示されます。各機能の大まかな内容を知りたいときに利用します。

メニューの流れ

機能のメニューは、以下のような構成になっています。ただし、待受中以外設定操作が行えない機能のアイコンは、通話中には表示されません。

※1： 通話中も設定できる機能（「オーナー情報」は登録内容の編集ができません。）
※2： 北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域でご契約の方は、転送呼出・留守番呼出「なし」を現在ご利用いただけません。
※3： 北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域でご契約の方は、現在この機能をご利用いただけません。
※4： 東北・新潟／中国／四国の各地域でご契約の方は、現在この機能をご利用いただけません。

音／バイブ／ランプ機能グループ

画面機能グループ

録音／再生機能グループ

背面LCD機能グループ

時計機能グループ

付加サービス機能グループ

禁止機能グループ

初期化機能グループ

その他機能グループ

オーナー情報（メニュー0）※1 P44、226

ユーザ辞書登録（メニュー45） P71

アシスト登録（メニュー42） P110

ライブラリ（メニュー95） P76

通話時間／料金表示（メニュー60） P42

着信音量設定（メニュー11）	P121
着信音パターン選択（メニュー10）	P123
着信時間設定（メニュー15）	P126
バイブレータ設定（メニュー12）	P128
効果音設定（メニュー13）　※1	P130
マナーモード設定（メニュー43）	P236
ボイスアナウンス（メニュー19）	P234
着信イルミネーション設定（メニュー18）	P231
未確認通知（メニュー93）	P233

画面配色設定（メニュー40）	P168
待ち受け表示設定（メニュー44）	P169
壁紙設定（メニュー49）	P171
マイキャラクター（メニュー97）	P177
ウェイクアップ設定（メニュー36）	P174
照明設定（メニュー34）	P164
フォント切替（メニュー46）	P179

簡易留守録設定（メニュー90）	P281
簡易留守録再生（メニュー91）	P285
メモ選択（メニュー92）	P289～291

背面LCD（メニュー47）	P182

日付時刻設定（メニュー59）　※1	P28

留守番センター接続（メニュー77）	P382
呼出時間設定（メニュー70）　※4	P384
転送呼出（メニュー71）　※2	P379
留守番呼出（メニュー72）　※2	P381
秘書サービス停止（メニュー73）	P386
秘書サービス確認（メニュー74）	P387
割り込み設定（メニュー75）　※3	P390
割り込み確認（メニュー76）　※3	P391
転送先番号登録（メニュー78）	P377

シークレットモード（メニュー22）　※1	P106
ダイヤルロック（メニュー20）	P148
オートロック（メニュー21）	P150
発信禁止（メニュー24）	P151
非通知着信拒否設定（メニュー25）	P152
サイドボタン設定（メニュー23）	P242
オフラインモード（メニュー94）	P162

設定リセット（メニュー26）	P155
メモリオールクリア（メニュー27）	P154
オールリセット（メニュー29）	P156

メモリ確認（メニュー31）　※1	P294
暗証番号変更（メニュー28）	P161
クローズ終話（メニュー41）	P241
通話品質アラーム（メニュー38）　※1	P243
バッテリーセーブ（メニュー33）	P244
文字入力方式（メニュー48）	P51
赤外線全件転送（メニュー98）	P365

暗証番号について

J-N51 をご利用するにあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」が必要になります。

■ 操作用暗証番号

「9999」またはご契約時にお決めいただいた 4 桁の番号に設定されています。

■ 交換機用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた 4 桁の番号で、オプションサービスの設定などを一般電話から操作する際に使用します。

●転送電話サービス（☞P401）
●留守番電話サービス（☞P401）
●割込通話サービス（☞P401）（関東・甲信／東海／関西の各地域でご契約の方のみ使用できます）

- **交換機用暗証番号とは**
  交換機用暗証番号は、ご自分が加入の申し込みをされたときにお決めいただいた 4 桁の番号で、オプションサービスの「一般電話から操作する」をご利用になる場合に必要となります。交換機用暗証番号は、J-N51 から変更することはできません。
- いずれの暗証番号も絶対にお忘れにならないように注意してください。暗証番号を必要とする操作ができなくなります。
- 交換機用暗証番号を変更したい場合や、いずれの暗証番号もお忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。
- トラブルの原因となりますので、いずれの暗証番号も他人に知られないように注意してください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 操作用暗証番号を必要とする操作は約 10 秒間番号の入力がないと無効になります。

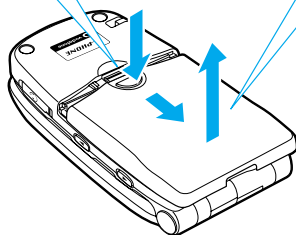
電池パックを充電する

■ 電池パックの取り付けかた／取り外しかた

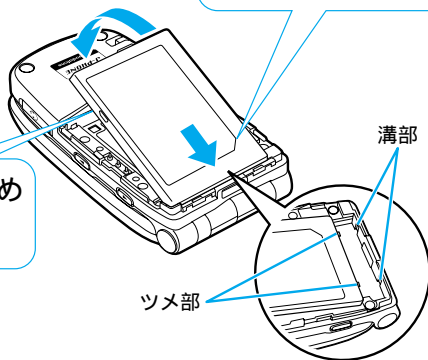
●取り付けかた

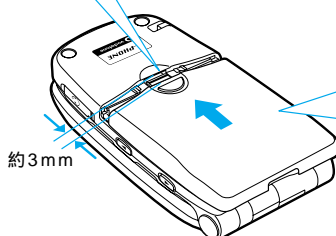
1 電池カバーを①の方向に押し付けながら②の方向へスライドさせる

2 ③の方向に持ち上げて取り外す

①
③
②

3 電池パックのツメ部を①の方向にJ-N51の溝部へ差し込む

ラベル面を上にしてください。

②
①
溝部
ツメ部

4 ②の方向へはめ込む

5 電池カバーを約3mm開けた状態でJ-N51の溝に合わせる

6 矢印の方向へスライドさせながら「カチッ」と音がするまで押し込む

約3mm

●取り外しかた

1 電池カバーを①の方向に押し付けながら②の方向へスライドさせる

2 ③の方向に持ち上げて取り外す

3 電池パックの指かけつまみに指先などを引っ掛けて、①の方向に持ち上げる

4 ②の方向へ取り外す

指かけつまみ

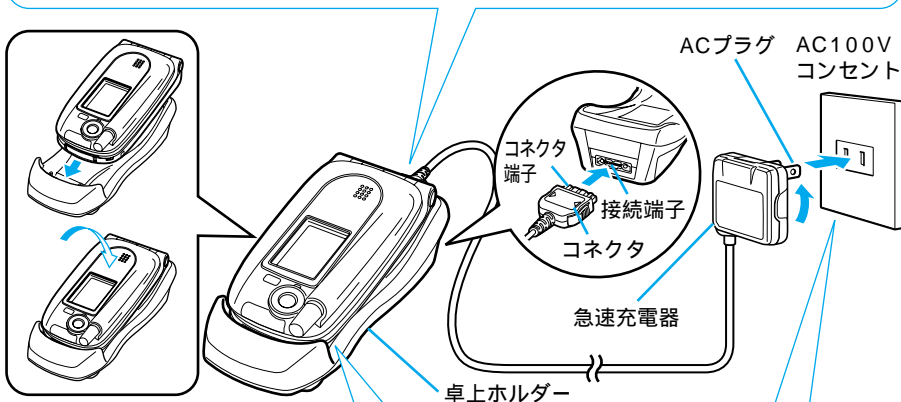
5 電池カバーを約3mm開けた状態でJ-N51の溝に合わせる

6 矢印の方向へスライドさせながら「カチッ」と音がするまで押し込む

- 電池パックは必ず J-N51 専用のものをご使用ください。
- 電池パックの交換は、必ず電源を OFF にしてから行ってください。（☞P26）
- 取り付け時、電池パックに無理な力を加えないでください。J-N51の充電端子がこわれる場合があります。
- 電池カバーの先端部を J-N51 に差し込んだ状態で無理に押さえ込まないでください。電池カバーのツメがこわれる場合があります。

■ 急速充電器と卓上ホルダーを使って充電するとき

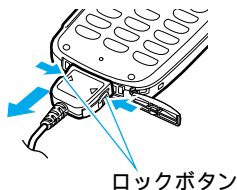
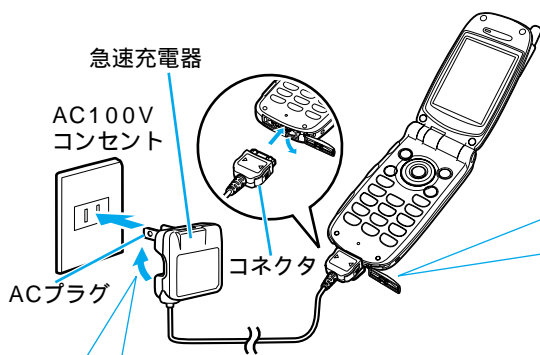
1 急速充電器のコネクタを、卓上ホルダー背面の接続端子に差し込む

コネクタは確実に差し込んでください。

3 電池パックを取り付けたJ-N51を卓上ホルダーに取り付ける（充電時間：約90分）

卓上ホルダーにしっかり取り付けてください。充電が開始されるとJ-N51の着信ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。卓上ホルダーを押さえながら、J-N51の両側を持って右図の矢印の方向へ持ち上げて取り外し、ACプラグをコンセントから抜いてください。

2 急速充電器のACプラグを引き出し、AC100Vコンセントに差し込む

コネクタの取り外し

卓上ホルダーや J-N51 から充電器のコネクタを取り外すときには、コネクタの両側にあるロックボタンを押しながら引き抜いてください。（番号順）

■ 急速充電器のみを使って充電するとき

1 電池パックを取り付けたJ-N51の外部接続端子キャップを開け、急速充電器のコネクタを接続する

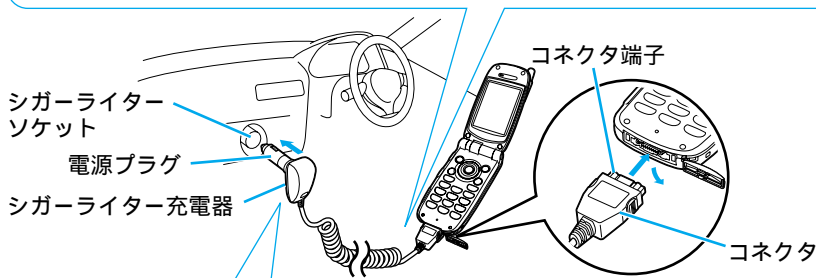
コネクタは確実に差し込んでください。

2 急速充電器のACプラグを引き出し、AC100Vコンセントに差し込む（充電時間：約90分）

充電が開始されるとJ-N51の着信ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。急速充電器のコネクタをJ-N51から取り外し、ACプラグをコンセントから抜いてください。

■ シガーライター充電器を使って充電するとき

1 電池パックを取り付けたJ-N51の外部接続端子キャップを開け、シガーライター充電器のコネクタを接続する

コネクタは確実に差し込んでください。

2 車のエンジンをかけ、シガーライター充電器の電源プラグをシガーライターソケットに差し込む（充電時間:約90分）

充電が開始されるとJ-N51の着信ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。シガーライター充電器のコネクタをJ-N51から取り外し、電源プラグをシガーライターソケットから抜いてください。

電池パック、充電器のご使用にあたって

●電池パックを初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用になる前に必ず充電してください。
●長期間使用しない場合でも、なるべく6か月に一度は充電してください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなることがあります。
●電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電が自由にできます。
●次のような場所では充電しないでください。
・周囲の温度が5℃以下または35℃以上になる場所
・湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
・ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
●充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は充電を中止し、お問い合わせ先（☞P414～415）までご相談ください。
●たこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、コンセントが加熱し、火災の原因となることがあります。
●電池パックは直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態でJ-N51から取り外して保管してください。
●電池パックは消耗品です。充電を繰り返しても機能が回復しない場合は、電池パックの寿命です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、個別回収に出すか、最寄りのJ-フォンショップ窓口へお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
●リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

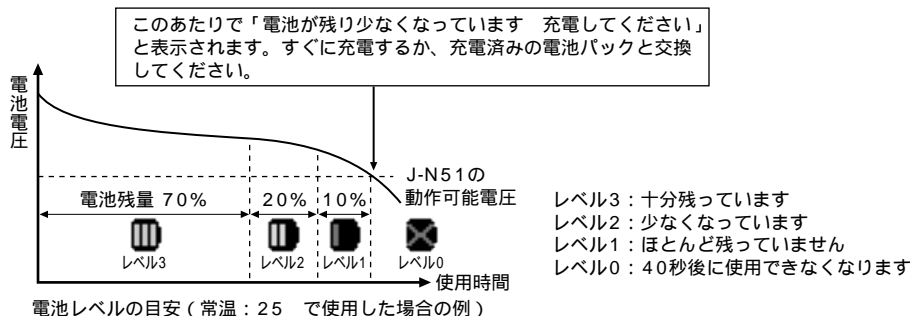
- 充電する際は、必ずJ-N51に電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では充電することも電源をONにすることもできません。
- 充電中に着信ランプが赤色に点滅する場合は、電池パックの異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P414～415）までご相談ください。
- メインディスプレイに「充電器異常です　充電を中止してください」と表示され、着信ランプが赤色に点滅したときは、J-N51から電池パックと充電器をいったん取り外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ状態になった場合には充電器の異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P414～415）までご相談ください。

- 電池パックを単体で充電することはできません。
- 充電時間は、J-N51の電源をOFFにして充電したときの目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くなります。周囲の温度によって変わることもあります。
- 充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

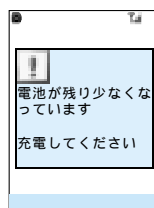
■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに以下のように変化します。ディスプレイの電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池レベルの目安（常温：25℃で使用した場合の例）

レベル3：十分残っています
レベル2：少なくなっています
レベル1：ほとんど残っていません
レベル0：40秒後に使用できなくなります

電池がなくなると…

電池の残量がなくなると、電池アラーム音が鳴り、メインディスプレイに「電池が残り少なくなっています　充電してください」と表示されます。必ず、一度J-N51の電源をOFFにしてから充電を行ってください。

充電して下さい

〈折り畳んでいるとき〉

●通話中の場合

アラーム音が「ピピピ…」と約0.5秒間鳴ります。通話を終了し、電源をOFFにしてから充電するか、充電済みの電池パックと交換してください。
そのまま通話を続けると、約20秒後に通話が切れてアラーム音が約10秒間鳴り、約40秒後に自動的に電源がOFFされます。簡易留守録応答中の場合は、すぐに通話が切れます。

●待受中の場合

アラーム音が約10秒間鳴り、約40秒後に自動的に電源がOFFされます。

補足

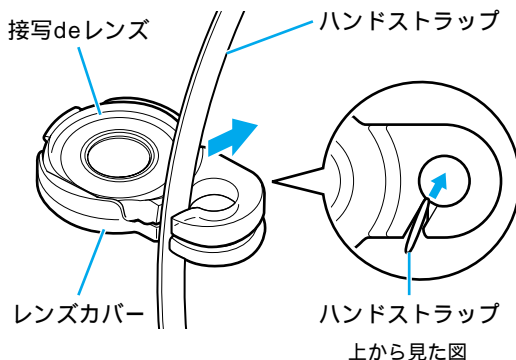
- （PWR HLD）を押すと、アラーム音を止めることができます。

注意

- 上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。ご使用の状態により、電池レベル表示は変動する場合があります。（例：⟷）

接写 de レンズの付けかた／外しかた

J-N51 には接写 de レンズが付属しています。バーコードを読み取る（☞P308）ときなどに使用します。
紛失などの防止のため、ハンドストラップに付けてご使用ください。

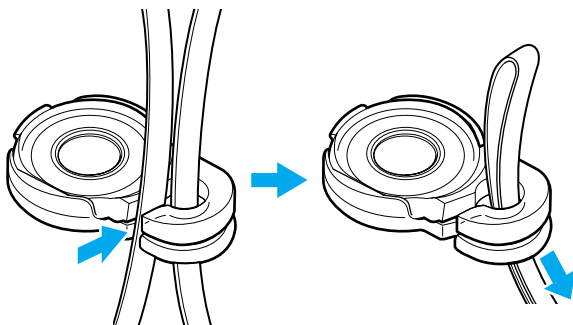
■ ハンドストラップに付ける

注意

- ハンドストラップは J-N51 に確実に取り付けてください。紛失の原因となることがあります。
- 取り扱いの際には、レンズに指紋や油膜などが付着しないようにご注意ください。
- 接写 de レンズは傷がつきやすい素材で作られています。金属や砂などの硬いものに触れたり擦れたりしないようにご注意ください。バーコードを正しく認識できなくなることがあります。
- 接写deレンズおよびレンズカバーは付属品のハンドストラップに取り付けるように作られています。市販のハンドストラップには取り付けられないことがありますのでご注意ください。
- 接写 de レンズを使用しないときは必ずレンズカバーを取り付けておいてください。

■ ハンドストラップから外す

数字の順に取り外してください。

接写 de レンズに通していないハンドストラップの一方①を入れます。

ハンドストラップを下②に引いて外します。

簡単に使ってください

電源ON!／OFF!

■ 電源 ONのしかた

1 PWR HLD **を長く（1秒以上）押す**

ウェイクアップ音が鳴ります。
通常着信のバイブレータを設定しているときは、ウェイクアップ音に合わせて本体が振動します。
（☞P128）

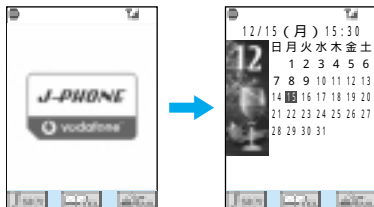
ネットワーク自動調整について

お買い上げ後、初めてJ-N51の電源をONにして、ʃ、📖、✍、✓、クリアまたは◎を押すと、「ネットワーク自動調整」の画面が表示されるので、ʃを押してネットワーク自動調整を行ってください。詳しくはJ-スカイ編を参照してください。

■ 電源 OFFのしかた

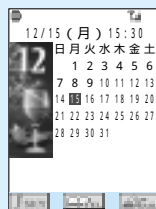
1 PWR HLD **を長く（2秒以上）押す**

シャットダウン音が鳴ります。
通常着信のバイブレータを設定しているときは、シャットダウン音に合わせて本体が振動します。
（☞P128）

2 メインディスプレイが点灯し、待受画面が表示される

ウェイクアップイラストとOPENWAVE、RSAのロゴのあとに表示される画面を「待受画面」と呼びます。

2 メインディスプレイが消灯する

シャットダウンイラストが表示されたあとに電源がOFFされます。

注意
- 初めてお使いになるときは、電源をONにすると日付時刻設定画面が表示されます。を押すと設定が行え（☞P28）、を押すと待受画面が表示されます。
  設定後の待受画面にはカレンダーが表示されます。

■待受画面の表示を変えるには

- **日付・時刻を見やすくする**
  待受画面表示を「拡大時計」に設定します。（☞P169）
- **メッセージを表示させる**
  ウェイクアップ設定（☞P174）でメッセージを作成し、待受画面表示を「文章」に設定します。（☞P169）

■電源ONしたときの設定を変えるには

メインディスプレイにメッセージやイラストを表示させたり、ウェイクアップ画面の表示時間を変えたいときは、ウェイクアップ設定（☞P174）の設定を変更してください。

■電源ON／OFFしたときのイラストを変えるには

マイキャラクター（☞P177）の設定を変更してください。

■電源ON／OFFしたときの音を変えるには

効果音設定（☞P130）の設定を変更してください。

日付・時刻を合わせる(日付時刻設定)

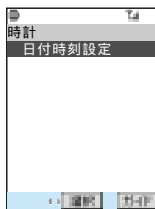
時計を利用するには、現在の年月日と時刻を合わせます。お買い上げ時は日付・時刻は設定されていません。
日付・時刻の設定をしないとご利用になれない機能があります。お使いになる前に設定することをおすすめします。

1 (メニュー)を押す

が選択されます。

2 を押す

3 を押して を選択し、を押す

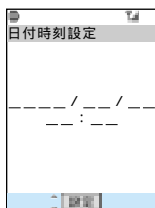
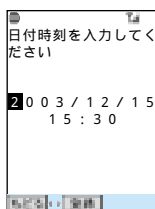
「日付時刻設定」が選択されます。

7 PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

注意

- 通話中は クリア を繰り返し押して通話中画面に戻してください。PWR HLD を押すと通話が切れてしまいます。

4 を押す

現在の設定が表示されます。

5 を押して年月日（西暦）と時刻（24時間制）を入力する

- 入力を間違えたときは、を押してカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。前回設定した時刻に戻したい場合は、クリアを長く押してください。

6 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作4の画面に戻ります。

- 電池パックを外したまま２週間以上放置すると、日付・時刻がリセットされることがあります。その場合は、もう一度設定し直してください。

- 設定可能な日付・時刻は2003年1月1日00時00分〜2098年12月31日23時59分です。

電話をかける

1 アンテナを伸ばす

「カチッ」と音がして止まるまで引き伸ばします。

・アンテナを伸ばさないと十分な性能は発揮できません。

2 電源が入っていることを確認する

電波状態も確認してください。

3 ダイヤルする

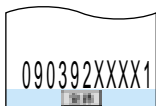
●一般電話
必ず市外局番からダイヤルします。

例：03-123X-XXX1へかける場合

03123XXXX1

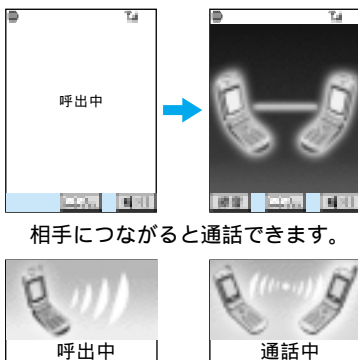
●携帯電話・自動車電話・PHS
0から始まる全桁の番号をダイヤルしてください。

例：090-392X-XXX1へかける場合

090392XXXX1

イメージウィンドウについて

背面のイメージウィンドウには、呼出中や通話中のほか着信中や簡易留守録応答中、アラームが起動したときなど、さまざまな状態を示すイラストが表示されます。

着信中の例

4 ダイヤル番号を確認して を押す

相手につながると通話できます。

5 通話が終わったら PWR HLD を押す

通話が切れ、待受画面に戻ります。

- アンテナを収納するときは、先端を持って押し込まないでください。破損の原因となります。

ラウドスピーカーを使用するには

ラウドスピーカーを使うと、受話器に耳を当てなくてもスピーカー出力による音声を聞くことができます。[スピーカーアイコン]が表示されているときに設定できます。

- 呼出中、通話中、スカイメロディ接続時、留守番センター接続時に[キー]を押します。[スピーカーアイコン]が[消音アイコン]になります。

- ラウドスピーカーを使用しているときは、相手に自分の声は聞こえなくなります。
- 三者通話サービスをご利用のときには使用できません。

- 発信禁止（☞P151）やオフラインモード（☞P162）が設定されているときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることはできません。

- [通話キー]を先に押してからダイヤルしても電話がかけられます。
- 電話番号は、最大24桁まで入力することができます。25桁以上入力した場合は、電話番号が先頭から順次消えていきます。

■間違えてダイヤルしたときは

[クリア]を押すと最後の桁から1桁ずつ消去されます。

■相手が話し中のときは

「プーッ、プーッ」という話中音が聞こえます。[PWR HLD]を押していったん電話を切り、もう一度かけ直してください。

■ご自分の電話番号を相手に通知するには

発信者番号通知サービスをお申し込みの方は、相手の電話機（ディスプレイ）にご自分の電話番号を表示させることができます。（☞P397）

■国際電話を利用するには

J-N51から、国際電話サービスがご利用になれます。関東・甲信／東海／関西／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約のお客様は各地域のガイドブックを参照してください。
上記地域以外にてご契約のお客様はお問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。

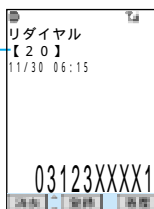
■電話を切ったときにイラストを表示させるには

マイキャラクター（☞P177）の設定を変更してください。

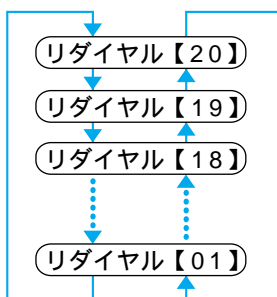
以前かけた電話番号にもう一度かける(リダイヤル)

以前にかけた電話番号やその日時などの情報は、最新の20件まで記録されています。同じ電話番号にかけたときは、1件として最新のものが記録されます。もう一度かけたい電話番号を検索し、簡単な操作でかけ直すことができます。

1 を押す

最後にかけた電話番号や、かけた日時などが表示されます。

リダイヤルNo.が表示されます。No.が大きいほど新しいリダイヤルデータであることを示します。

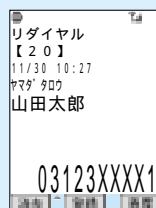
- リダイヤルの日付時刻を表示させるには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

- リダイヤルが1件もないときは、着信履歴が表示されます。リダイヤルも着信履歴もないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

- (クリア)を長く押すと待受画面に戻ってしまいますので注意してください。

3 (☎)を押す

メインディスプレイに「呼出中」と表示され、相手につながると通話できます。

- 通話中にリダイヤルを確認したときは、確認が終わったら(クリア)を長く押して通話中画面に戻してください。(PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。
- 発信禁止（☞P151）やオフラインモード（☞P162）が設定されているときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることはできません。

- リダイヤルは、電源をOFFにしても消去されません。
- リダイヤルが20件を超えたときは､古いものから順次消去されます。
- ダイヤルした相手の電話番号と名前がメモリダイヤルに登録されている場合には､名前も表示されます｡ただし、シークレットメモリに登録されている相手の名前は表示されません。

- (✍)を押すと着信履歴（☞P40）とリダイヤルの表示を切り替えることができます。

■リダイヤルの電話番号をメモリダイヤルに登録するには

リダイヤルに記録されている電話番号を、メモリダイヤルに登録することができます。（☞P83）

■リダイヤルを消去するには

①消去したいリダイヤルを表示させる
②(ʃ)を押す
③(ʃ)を押す
すべて消去するときは(✍)を押します。

電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

電話がかかってきたときの表示例

例1

- 相手から電話番号が通知されてきた場合

※

例2

- メモリダイヤルに登録されている相手から電話番号が通知されてきた場合

※

例3

- 相手が電話番号を通知してこなかった場合　非通知の理由（「非通知設定」「公衆電話」のいずれか）が表示される

※

例4

- 相手が発信者番号を通知できないエリア、またはネットワークからかけてきた場合

※

※ 設定により表示される内容が異なります。上記例は内容表示設定の（通常着信）を「ON」に設定している場合（☞P189）。お買い上げ時は、「OFF」に設定されており、「着信中」と表示されます。

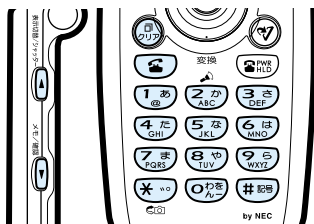
- シークレットメモリに登録されている相手からの場合は、シークレットモードを設定しているときは例2のように名前が表示され、設定していないときは例1のように電話番号のみの表示となります。
- 着信ランプの色はお好みの色に変更できます。（☞P231）

3 通話が終わったら を押す

通話が切れ、待受画面に戻ります。

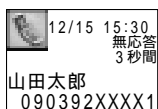
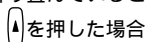
2 （電話ボタン）を押す

通話できます。

（電話ボタン）以外に□のボタンを押しても、電話を受けることができます。（エニーキーアンサー）

電話に出なかったときは（不在着信）

以下のような画面が表示されます。相手がメモリダイヤルに登録されている場合は、名前も表示されます。メインディスプレイに電話番号が表示されているときに（電話ボタン）を押すと、折り返し電話がかけられます。また、着信履歴（☞P40）を確認すると、着信していた秒数から「ワン切り」の可能性を判断できます。

〈折り畳んでいるとき〉

〈折り畳んでいるときに▲を押した場合〉

- オフラインモードに設定しているときは、電話を受けることができません。（☞P162）

■簡易留守録を設定しているときは

自動的に応答して、相手のメッセージを録音します。（☞P284）

■電話番号を通知してこない電話を受けたくないときは

非通知着信拒否を設定します。（☞P152）

■特定の電話番号からの着信を受けたくないときは

受けたくない相手の電話番号を指定着信拒否の設定リストに登録します。（☞P115）

■着信中に着信音を消すには

（アシスト）を短く押します。

■バイブレータを設定しているときは

本体が振動して着信をお知らせします。（☞P128）

■マナーモードを設定しているときは

着信音はマナーモード設定（☞P236）で設定された着信音量で鳴ります。マナーモード設定で通常着信のバイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定している場合は本体が振動します。着信中に設定することもできます。（☞P235）

■電話がかかってきたときのイラストを変えるには

マイキャラクター（☞P177）の設定を変更してください。

■メモリダイヤルにマイコールを登録しているときは

マイコール着信音／着信色／イラストを登録している相手から電話がかかってくると、登録されている着信音や表示でお知らせします。（☞P89）

すぐに電話に出られないときは(応答保留)

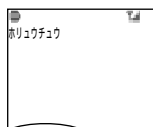
すぐに電話に出られないときは、一時的に電話を保留にして相手にしばらく待っていただくことができます。

1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1

2 PWR HLD を押す

電話が保留になり、応答保留音が鳴ります。

ﾎﾘｭｳﾁｭｳ

応答保留中

相手には「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけ直しください」というアナウンスが流れます。

注意
- PWR HLD を長く押すと電源がOFFされてしまいますので注意してください。

3 通話できる状態になったら ☎ を押す

通話できます。

通話中

- 応答保留中でも、相手側に通話料金がかかります。
- 応答保留中に PWR HLD を押すと、通話が切れてしまいます。

- 応答保留中は、約30秒ごとに保留中であることを知らせる応答保留音が鳴ります。
- マナーモード（☞P235）を設定しているときも、応答保留音は一定の音量で鳴ります。

電話に出られないときは（簡易留守録応答）

あらかじめ簡易留守録を設定していなかった場合でも、その場の操作で応答のアナウンスを流して、相手のメッセージを約20秒間（5件まで）録音することができます。録音後も簡易留守録の設定は「OFF」のままです。

1 着信中に ◯（メニュー）を押す

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1

補足
- 簡易留守録がすでに5件録音されているときは、[簡易留守]が表示されず、簡易留守録応答することができません。

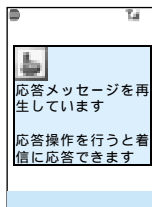
2 ⤴ を押す

相手には「ただいま電話に出られません。ピー音のあとにご伝言を約20秒以内でお預りします」というアナウンスが流れます。

応答メッセージを再生しています
応答操作を行うと着信に応答できます

Play
応答中

録音中

REC
録音中

録音終了後、待受画面に戻ります。

補足
- 待受画面には [アイコン]（☞P8）が表示されます。

- 着信中に▲または▼を長く押して簡易留守録応答することもできます。
- 簡易留守録応答中や録音中でも、☎を押すと電話を受けることができます。
- 簡易留守録応答した場合は、その着信に限って録音します。次の着信からは同様の操作をしないと録音しません。「簡易留守録を設定する」（☞P281）
- 簡易留守録を再生／消去する（☞P285～287）
- Java™の着信優先設定（☞『J-スカイ編』）を「着信通知」にしてJava™アプリを動作している場合は、着信中に クリア か PWR HLD を押して、Java™アプリを一時停止か終了させてから操作1を行ってください。
- Java™待受設定（☞『J-スカイ編』）により、Java™アプリが動作している場合は、この操作での簡易留守録応答はできません。
- 割込通話サービス（☞P389）をご利用の場合、あとからかかってきた電話の着信中に簡易留守録応答することはできません。

留守番電話センターに転送する（着信留守電転送）

あらかじめ留守番電話サービスの設定をしていなかった場合でも、かかってきた電話をその場の操作で留守番電話センターに転送することができます。
北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域でご契約のお客様は現在この機能をご利用いただけません。

1 **着信中に ◎（メニュー）を押す**

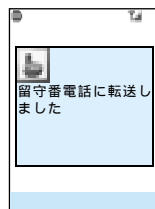
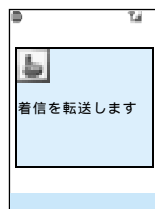
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1

2 **（📖）を押す**

着信中の電話が留守番電話センターに転送され、待受画面に戻ります。

着信を転送します

↓

留守番電話に転送しました

- 「留守番電話サービスを利用する」（☞P380）
- 留守番電話センターに転送できなかったときは、「ご利用になれません」と表示されます。（クリア）を押して着信中画面に戻してください。（📖）を押してもう一度転送の操作を行うこともできます。
- 割込通話サービス（☞P389）をご利用の場合、通話中に別の電話がかかってきたときも同様の操作で留守番電話センターへ転送することができます。

出たくない電話を切る（着信拒否）

かかってきた電話を拒否することができます。拒否した電話も着信履歴に記録されます。

1 **着信中に ◎（メニュー）を押す**

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1

2 **を押す**

電話が切れ、着信があったことをお知らせするイラストが表示されます。

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1

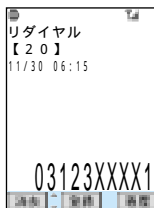
3 **PWR HLD を押す**

待受画面に戻ります。

- 電話番号を通知してこない相手や特定の電話番号からの電話を受けないように、あらかじめ設定しておくことができます。（☞P115、152）
- 割込通話サービス（☞P389）をご利用の場合、通話中に別の電話がかかってきたときも同様の操作で切ることができます。

電話がかかってきた日付・時刻などを確認する（着信履歴）

かかってきた電話の記録を、最新の20件まで表示させて確認することができます。着信履歴は通話中にも表示させることができます。また、着信履歴を表示させ、簡単な操作で折り返し電話をかけることもできます。

1 クリアを押す

リダイヤルが表示されます。

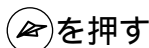
補足

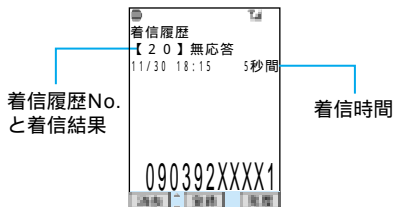
- リダイヤルが1件もないときは、着信履歴が表示されます。操作3に進んでください。
- 着信履歴が1件もないときは、着歴 は表示されません。着信履歴もリダイヤルもないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

4 確認が終わったら PWR HLD を押す

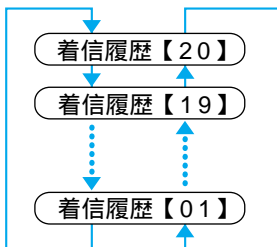
待受画面に戻ります。

注意

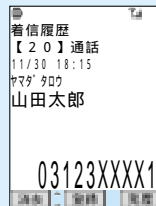
- 通話中は クリア を長く押して通話中画面に戻してください。PWR HLD を押すと通話が切れてしまいます。

2 を押す

最後にかかってきた電話の日付・時刻などが表示されます。

No.が大きいほど新しい着信履歴であることを示します。
着信結果は「通話」「応答保留」「無応答」「留守電転送」「簡易留守録」「着信不可」「着信拒否」のいずれかが表示されます。
無応答、簡易留守録、着信不可、着信拒否の場合には着信時間（呼び出しを行った秒数）が表示されるので、着信が「ワン切り」だった可能性を判断できます。

- 着信履歴の日付・時刻を表示させるには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

3 クリア または ◯ を押して確認したい着信履歴を表示させる

- クリアを長く押すと待受画面に戻ってしまいますので注意してください。

補足

- 着信履歴は、電源をOFFにしても消去されません。
- 着信履歴が20件を超えたときは、古いものから順次消去されます。
- かかってきた相手の電話番号と名前がメモリダイヤルに登録されている場合には、名前も表示されます。ただし、シークレットメモリに登録されている相手の名前は表示されません。

- を押すとリダイヤル（☞P32）と着信履歴の表示を切り替えることができます。
- 電話に出なかった場合に限り、折り畳み時に▲を押すと、イメージウィンドウに最新の着信履歴が表示されます。

■着信履歴を使って電話をかけるには

表示させた着信履歴に相手の電話番号が表示されているときは、☎を押すと電話をかけることができます。

注意

- 発信禁止（☞P151）やオフラインモード（☞P162）が設定されているときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることはできません。

■着信履歴の電話番号をメモリダイヤルに登録するには

着信履歴に記録されている電話番号を、メモリダイヤルに登録することができます。（☞P83）

■着信履歴を消去するには

①消去したい着信履歴を表示させる
②ʃを押す
③ʃを押す
すべて消去するときは✍を押します。

2 簡単に使ってください

通話時間と通話料金を確認する（通話時間／料金表示）

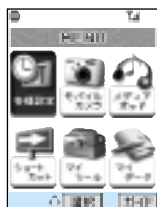
直前の通話がご自分からかけた電話だった場合、通話時間と通話料金の目安をメインディスプレイに表示させることができます。また、今までにJ-N51からかけた電話の累積通話時間と累積通話料金の目安を表示させることができます。

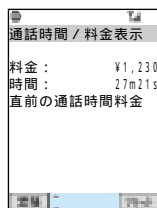
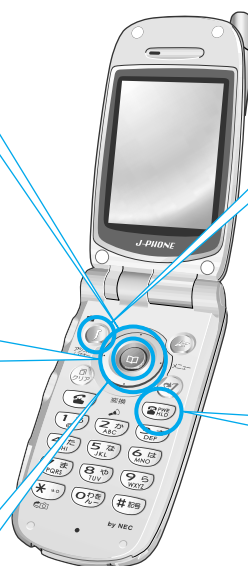
1

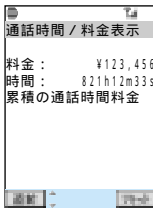
（メニュー）を押す

2 **を押して**

を選択し、を押す

3 **を押して**

を選択し、を押す

直前の通話時間と通話料金の目安が表示されます。

この表示は一例です

4 ʃを押す

累積通話時間と累積通話料金の目安が表示されます。

この表示は一例です

- ʃを押すと直前の情報と累積の情報を切り替えることができます。

5 確認が終わったら PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

- 表示される料金は目安であり、正確なものではありません。三者通話サービス（☞P392）で三者通話を行った場合の料金は、合算されます。
- 以下のような場合には、通話料金は表示されません。
  - 電波が弱くなって通話が切断した場合（通話中にJ-フォンのサービスエリアから外へ移動したときや、通話中にトンネルに入って通話が切れたときなど）
  - 国際電話をかけた場合
  - 留守番電話センターの遠隔操作用電話番号などをダイヤルした場合
  - かかってきた電話で通話をした場合

- 通話時間／累積通話時間は、最大「9999h59m59s」まで表示されます。これを超えると、もう一度「0s」から表示されます。
- 通話料金／累積通話料金は、最大「¥9,999,999」まで表示されます。これを超えると、百万以上の桁は「E」で表示されます。
- 電源をOFFすると通話時間は「0s」に、通話料金は「¥－」に戻ります。

■通話時間・通話料金情報をリセットするには

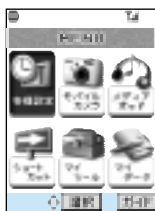
すべての通話時間・通話料金情報をリセットすることができます。リセットするときには操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

①通話時間・通話料金情報を表示させる
②を押す
③操作用暗証番号（4桁）を入力する
　入力した番号は「＊」で表示されます。
④ʃを押す
　リセットを中止するときはを押します。
⑤PWR HLDを押す
　待受画面に戻ります。

- リセットすると、通話時間と累積通話時間は「0s」に、通話料金と累積通話料金は「¥－」に戻ります。

ご自分の電話番号やメールアドレスを確認する(オーナー情報)

お使いになっているJ-N51の電話番号が確認できます。あらかじめオーナー情報（☞P226）を登録しておき、表示させることもできます。確認は通話中でも行えます。

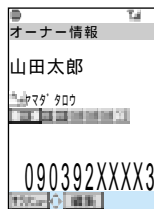
1 ◎（メニュー）を押す

2 ◎を押して を選択し、📖を押す

 が選択されます。

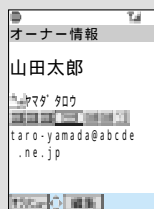
3 📖を押す

J-N51の電話番号が表示されます。

オーナー情報
山田太郎
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
090392XXXX3

4 確認が終わったら PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

注意
- 通話中は クリア を繰り返し押して通話中画面に戻してください。PWR HLD を押すと通話が切れてしまいます。

補足
- オーナー情報には、J-N51の電話番号を含む電話番号3件、名前、フリガナ、メールアドレス3件、郵便番号、住所が登録できます。（☞P226）
- J-N51の電話番号以外の情報を確認するときは、操作3のあと、◎で（電話）／（メールアドレス）／（住所）を選択します。

機能紹介

J-N51の便利な機能

新着呼び出し

確認していない新着メールや不在着信などを簡単に呼び出して確認することができます。

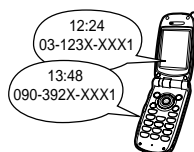
P8、J-スカイ編

リダイヤル

以前にかけた相手に簡単にかけ直せます。

P32

着信履歴

かかってきた電話の電話番号や日時が確認できます。

P40

ユーザ辞書登録・ライブラリ登録

文字を入力するときによく使う単語やメッセージを登録することができます。

P71、76

メモリダイヤル

500件まで登録できます。1件のメモリダイヤルには、電話番号とE-mailアドレスを各3件まで登録することができます。

P82

マイコール

メモリダイヤルに登録されている相手ごとに着信音や着信ランプの色、イラスト表示を設定することができます。

P89

着信音量

着信音の大きさを調節できます。

P121

着信音パターン

各種の着信音やご自分で作成した自作メロディなどの中から、お好みの着信音パターンが選べます。

P123

バイブレータ

バイブレータを設定できます。

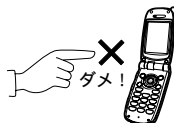
P128

メロディ作成

メロディを自作して、着信パターンやウェイクアップ音などに使用することができます。ハーモニーも付けられます。

P132

セキュリティ

無断で他の人が使えないようにするなど、いろいろなセキュリティ機能があります。

P148～162

非通知着信拒否

電話番号を通知してこない相手からの電話に、アナウンスで自動応答するように設定できます。

P152

オフラインモード
電波を送受信しないように設定できます。

P162

画面配色
メインディスプレイの背景と文字の色を変更することができます。

P168

待受画面表示
待受時の画面表示を、カレンダー、日付・時刻が見やすい拡大時計、お好みの言葉のいずれかに設定することができます。

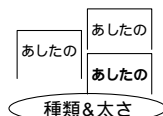
P169

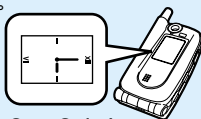
壁紙設定
待受中に（PWR HLD）を押すと、壁紙が表示されます。壁紙には、データフォルダ内の静止画やアニメーションを設定することもできます。

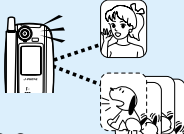
P171

マイキャラクター
電話がかかってきたとき／切ったとき、電源をONにしたとき／OFFにしたときなどのイラストを変更することができます。

P177

フォント切替
画面に表示する文字の種類を2種類、太さを3種類のうちからそれぞれ選択することができます。

P179

イメージウィンドウ
イメージウィンドウに時計や画像を表示させることができます。また、モバイルカメラのファインダーとしても使用できます。

P182、214

モバイルカメラ
静止画やアニメーション、アクションビュー、ムービーを撮影することができます。

P200

未確認通知
J-N51を折り畳んだままでも、新しいメッセージや簡易留守録が入ったことを着信ランプの点滅で知ることができます。

P233

ボイスアナウンス
不在着信や新着メールの有無を音声などでお知らせすることができます。

P234

マナーモード
周囲の迷惑にならないように、ボタン1つで設定できます。

P235

スケジュール設定
指定した日時に音でスケジュールをお知らせしたり、めざましとして使ったり、自動的に電源をON／OFFするように設定することができます。

P245

（　）の部分は、おすすめ機能です。

ショートカット

よく使う機能を10件まで登録して、簡単に呼び出すことができます。

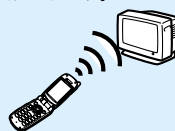
P13、276

録音／再生機能

電話に出られないときに相手のメッセージを録音したり、メモ代わりに声を録音することができます。

P281～291

リモコン

J-N51をテレビ、ビデオ、カラオケのリモコンとして使うことができます。

P297

バーコード機能

J-N51のモバイルカメラでバーコードから読み取った情報を使って、簡単にURLにアクセスしたり電話をかけたりすることができます。

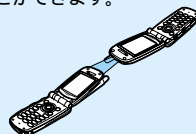
P308

データフォルダ

画像やサウンドなどのデータをまとめて管理することができます。

P318

赤外線通信機能

メモリダイヤルやオーナー情報などを赤外線で送受信することができます。

P362、365

J-スカイ サービス

文字、静止画、動画、サウンドを送受信したり（メール）、サービスセンターやインターネットなどから各種情報を入手したり（ウェブ）、サービスセンターから情報の配信を受けたり（ステーション）することができます。

J-スカイ編

Java™ アプリ

ゲームやリアルタイムの情報取得など、J-N51をより便利に利用できます。
J-N51にお買い上げ時から入っているもの、ウェブの情報画面からダウンロードするものがあります。

J-スカイ編

オプションサービス

かかってきた電話を指定した電話に転送します。

P377

圏外などで電話に出られないとき、留守番電話センターでメッセージをお預かりします。

P380

通話中にかかってきた別の電話に応答できます。

P389

通話中に別の相手を呼び出して3人で同時に通話できます。

P392

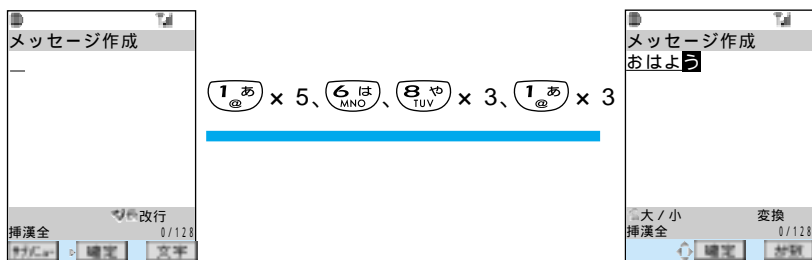
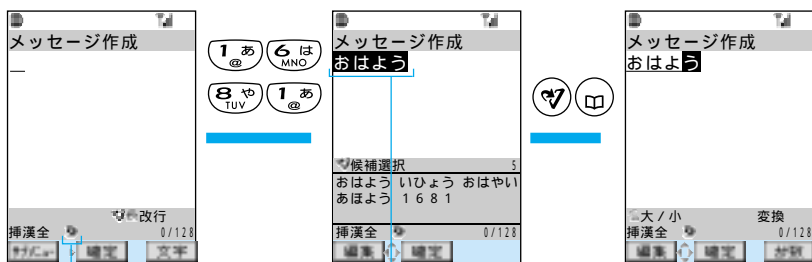
文字入力のしかた

入力方式とワード予測機能について

かな方式とT9方式

J-N51では、「モード1（かな方式）」と「モード2（T9方式）」という2つの入力方式のどちらかを選択することができます。（☞P51）お買い上げ時には「モード1（かな方式）」に設定されています。

☞P51

かな方式で文字を入力するときは、文字を割り当てられているボタン（☞P54）を目的の文字が表示されるまで繰り返し押します。たとえば「おはよう」と入力する場合は1を5回押して「お」、6を1回で「は」、8を3回で「よ」、1を3回で「う」を表示させます。

T9方式で文字を入力するときは、文字を割り当てられているボタン（☞P55）を1回ずつ押し、表示された候補から目的の語句を選択します。「おはよう」と入力する場合は1（あ）、6（は）、8（や）、1（あ）を押し、表示された「いひょう」、「1681」などの候補の中から「おはよう」を選択します。

T9方式のときに表示　　先頭の候補が表示される

- T9方式のときには、予測による候補を使わずにひらがなやカタカナを1文字ずつ指定する「固定入力」に切り替えることができます。（☞P70）
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。

ワード予測機能とは

ワード予測機能を使用すると､入力された文字から変換候補を予測して候補リストを表示することができます。また､入力した文字を確定したときには､その文字に続く文字や定型文を予測して候補を表示します｡過去に入力した文字の記憶をもとに表示される候補リストの中から目的の語句を選択することにより､すばやく文字入力が行えます。ワード予測機能は文字モードがひらがな／漢字入力モードのときのみ働きます｡(『文字モードの切り替えについて』(☞P53))お買い上げ時には｢ON｣に設定されています。文字入力中、候補リストに目的の語句が表示されなかった場合には、一時的にワード予測機能を｢OFF｣にして通常の漢字変換を行うことができます。(☞P62) また、あらかじめワード予測機能を「OFF」に設定しておくこともできます。(☞P52)

文字入力方式を変更する

文字入力時に通常使用する入力方式やワード予測機能の設定を変更することができます。

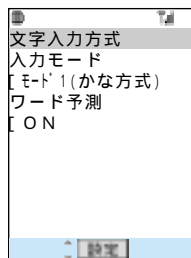
かな方式／T9 方式を切り替える

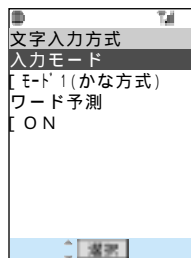
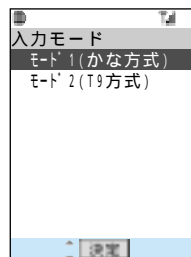
1 メニューから「文字入力方式」を呼び出す

① ◎(メニュー) を押す

② [設定アイコン]を選択し、[決定]を押す

③ ◎を押して[その他アイコン]を選択し、[決定]を押す

④ ◎を押して「文字入力方式」を選択し、[決定]を押す

2 [決定]を押す

「入力モード」が反転表示されます。

3 [決定]を押す

4 を押して入力方式を選択し、を押す

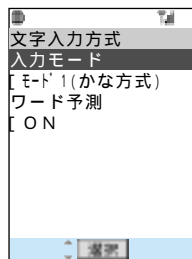
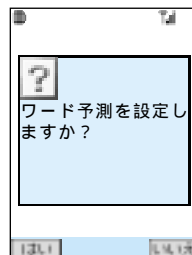
設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
操作 2 の画面に戻ります。

5 を押す

待受画面に戻ります。

ワード予測機能の ON ／ OFF を切り替える

例：「OFF」に設定する場合

1 「かな方式／T 9 方式を切り替える」の操作 1 ～ 2（☞P 5 1）を行う

2 を押して「ワード予測」を選択し、を押す

3 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
操作 1 の画面に戻ります。

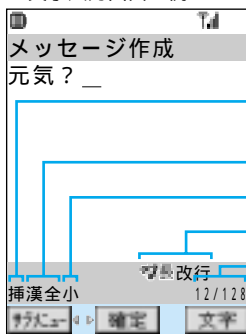
- ワード予測を ON にするときはを押します。

4 を押す

待受画面に戻ります。

文字の入力方法

文字入力画面について

<文字入力画面の例>

挿入モードのときは「挿」、上書きモードのときは「上」が表示されます。

現在の文字モードが表示されます。

サブメニューで「小文字切替」に切り替えたときに表示されます。

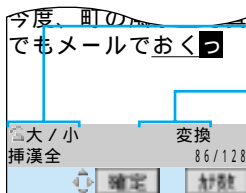
（ボタン）を長く押して改行できるときに表示されます。

入力する内容によっては、入力可能な最大文字数と入力済みの文字数の目安が半角文字に換算して表示されます。

文字モードを切り替えるときにセレクトボタンで選択します。

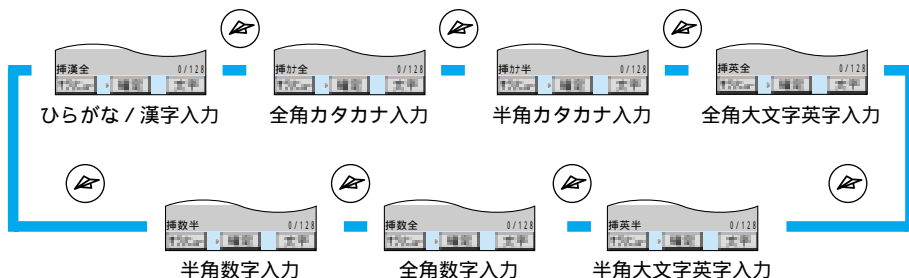
入力した文字を確定するときにセレクトボタンで選択します。

▲▼◀▶はカーソルを上下左右に動かせるときに表示されます。

サブメニュー（☞P62）を使うときにセレクトボタンで選択します。記号や絵文字などの入力や文字の編集などが行えます。

（ボタン）を押すと入力した文字が大文字／小文字に切り替わるときに表示されます。

（ボタン）を押すと入力した文字が漢字などに変換できるときに表示されます。

文字モードの切り替えについて

文字モードは（ボタン）を押して切り替えます。使用中の入力画面によっては選択できない文字モードもあります。

各ボタンに割り当てられた文字と機能

ボタンには、以下の文字や記号および機能が割り当てられています。ひらがな／漢字モードは全角のみ、それ以外のモードでは特に注意のない限り、全角半角の両方が入力可能です。

モード／ボタン	ひらがな／漢字	カタカナ	大文字英字	小文字英字	数字
1 あ @	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	@ . _ ˉ .CO.JP .NE.JP .AC.JP .OR.JP .COM .HTML HTTP:// HTTPS:// WWW. .NET	@ . _ ˉ .co.jp .ne.jp .ac.jp .or.jp .com .html http:// https:// www. .net	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABC	abc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEF	def	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI	ghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
0 わを ん−	わをん−ゎ	ワヲン−ヮ※	□（スペース）		0
* ゛゜	゛゜		*		
# 記号	、。ー・，□（スペース）↲ ！？ （）「」〈〉		，　’　”／□（スペース）↲ ：；＋−＝＆％＄ ￥！？＃ （）〈〉		：／□（スペース）↲ ＋−．＝％￥ ＄（）＃
◎（変換）	変換する候補文字の呼び出し	—			
クリア	短く押したとき：カーソル位置の１文字消去　　長く押したとき：全文字消去				
✓	短く押したとき：候補選択モードへの切り替え（ひらがな／漢字モードのみ）　長く押したとき：↲				
☎	大文字／小文字の切り替え				

※「ヮ」を半角文字で入力することはできません。

- 続けて入力する文字が違うボタンの文字のときは、ボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。同じボタンの文字を続けて入力するときは、◎を押してカーソルを右に移動させます（* ゛゜の文字を入力する場合を除く）。
- □ の小文字を入力するには、文字を入力する前にサブメニューで「小文字切替」に設定しておく方法もあります。（☞P62）
- .co.jp など □ の文字は、一括して入力されます。ただし、文字を確定したときに最大文字数を超えた場合、入力できる文字数を超えた部分が自動的に消去されます。
- 「↲」（改行コード）は、確定前の文字に続けて表示させることはできません。
- 「ひらがな／漢字入力モード」と「全角カタカナ入力モード」では、「゛」「゜」を付けられる文字の入力後にカーソルを移動して * ゛゜を押すと、１回押すごとに濁音、半濁音、清音の順に表示されます。
  例：「ば」→「ぱ」→「は」→「ば」
- ディスプレイに表示される文字は、実際の文字と異なる場合があります。（例：履→履）
- ディスプレイに表示される文字は、全角と半角で異なる場合があります。（例：ˉ→ˉ）

T9方式（☞P50）に切り替えたときには、文字や機能のボタンへの割り当ては以下のように変わります。ひらがな／漢字モードは全角のみ、それ以外のモードでは特に注意のない限り、全角半角の両方が入力可能です。

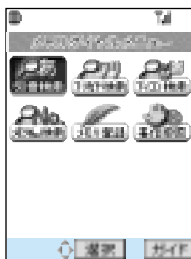
モード／ボタン	ひらがな／漢字		カタカナ（全角／半角）	
	T9入力前	候補表示中	T9入力前	候補表示中
1 あ @	あいうえおぁぃぅぇぉ1		アイウエオァィゥェォ1	
2 か ABC	かきくけこ2		カキクケコ2	
3 さ DEF	さしすせそ3		サシスセソ3	
4 た GHI	たちつてとっ4		タチツテトッ4	
5 な JKL	なにぬねの5		ナニヌネノ5	
6 は MNO	はひふへほ6		ハヒフヘホ6	
7 ま PQRS	まみむめも7		マミムメモ7	
8 や TUV	やゆよゃゅょ8		ヤユヨャュョ8	
9 ら WXYZ	らりるれろ9		ラリルレロ9	
0 わをんー	わをんーゎ0		ワヲンーヮ※0	
＊ ゛゜	゛゜			
# 記号	、。ー・,□（スペース）↲！？()「」〈〉	—	、。ー・,□（スペース）↲！？()「」〈〉	—
クリア	短く押したとき：カーソル位置の1文字消去		長く押したとき：全文字消去	
（通話）	大文字／小文字の切り替え	—	大文字／小文字の切り替え	—
（上下）	カーソル上下移動	候補選択モードへの切り替え	カーソル上下移動	候補選択モードへの切り替え
（左右）	カーソル左右移動	かな候補範囲変更	カーソル左右移動	カナ候補範囲変更
（決定）	短く押したとき：ワード予測候補選択 長く押したとき：↲	候補選択モードへの切り替え	長く押したとき：↲	候補選択モードへの切り替え

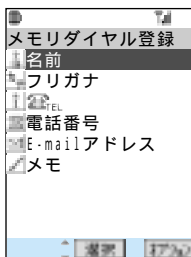
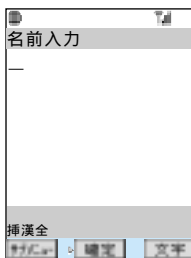
※「ヮ」を半角文字で入力することはできません。
- 「↲」（改行コード）は、確定前の文字に続けて表示させることはできません。

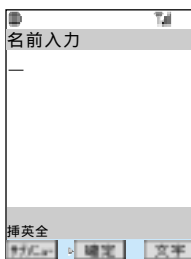
文字の入力例

文字モードを切り替えながら文字を入力する例です。

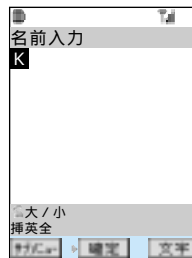
例：メモリダイヤルの名前に全角文字で「K．堀田」とかな方式を使って入力する場合

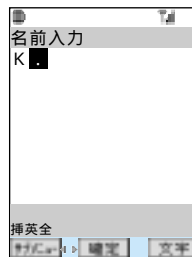
1 **（📖）を押す**

2 **（◎）を押して［メモリ登録］を選択し、（📖）を押す**

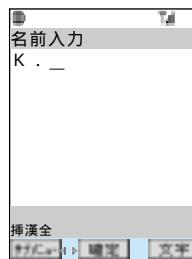
名前の行が反転表示されます。

3 **（📖）を押す**

4 **（✉）を 3 回押す**

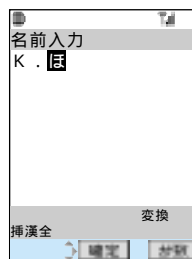
全角の大文字英字入力モードに切り替わります。

5 [5 な JKL]を 2 回押す

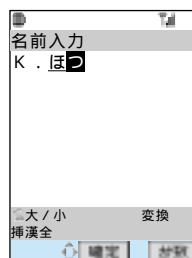
「K」が表示されます。

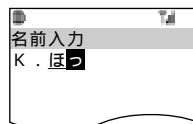
- 文字の入力を間違えたときは、[クリア]を押すとカーソル位置の文字、カーソル上に文字がない場合はカーソルの左側の文字が消去されます。また、[クリア]を長く押すと文字はすべて消去されます。

6 [1 あ @]を 2 回押す

「.」が表示されます。

7 [✍]を 4 回押す

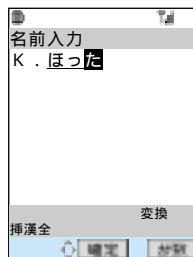
ひらがな／漢字入力モードに切り替わります。

8 [6 は MNO]を 5 回押す

「ほ」が表示されます。

9 [4 た GHI]を 3 回押す

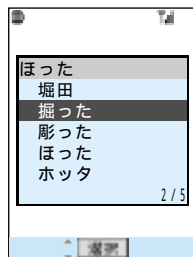
「つ」が表示されます。

10 [☎]を 1 回押す

「つ」が「っ」になります。

11 [4 た GHI]を 1 回押す

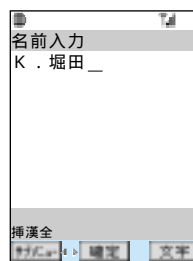
「た」が表示されます。

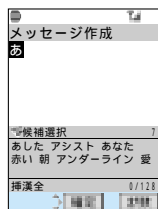
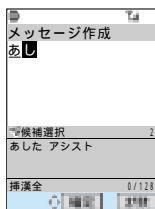
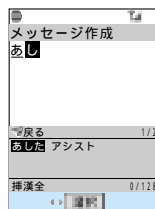
- 「カタカナ／数字変換を利用するには」（☞P60）

12 [◯]（変換）を 2 回押す

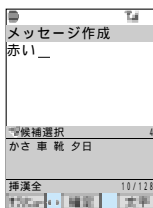
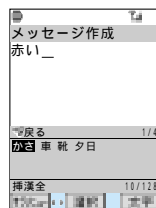
候補選択の画面が表示されます。

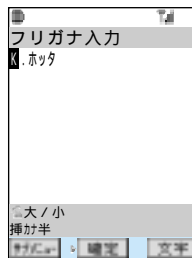
- [◯]（変換）を一度だけ押すと、候補が一つ表示されます。この候補で良いときは、[📖]を押すと漢字が確定されるので、操作 13 の画面に進みます。

13 [◯]を押して目的の語句を選択し、[📖]を押す

漢字が確定されます。

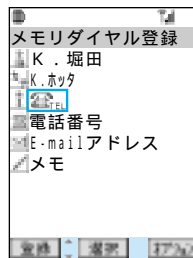
- 目的の候補が表示されなかったときは、[クリア]を押したあと[◯]を押して変換の対象となる文字（反転表示）の範囲を変え、再度変換を行います。
- 入力可能な最大文字数を超えたときは、確定時に超えた部分が切り捨てられます。

ワード予測機能が「ON」に設定されていると

ワード予測機能（☞P51）が「ON」に設定されていると、一度入力した語句は記憶され、文字入力時に役立てられます。たとえば、「あ」と入力しただけで過去に入力した「あ」で始まる語句が候補として一覧表示されます。目的の語句が表示された時点で(✓)を押して候補選択モードに切り替え、(◯)を押して目的の語句を選択して(□)を押すと語句が入力されます。

「あ」で始まる語句を表示　「あし」で始まる語句を表示　候補選択モードに切り替わる

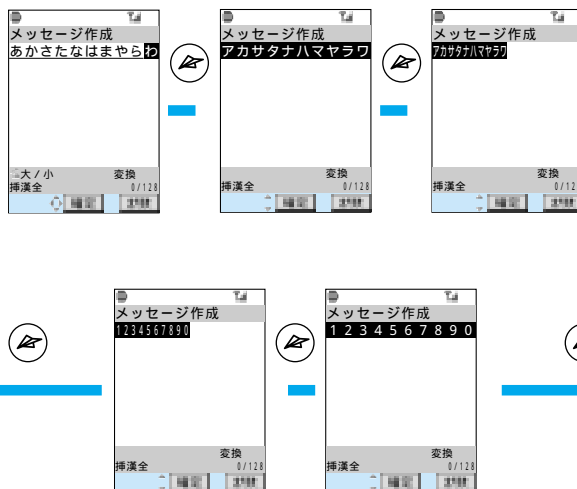
また、記憶されている入力履歴をもとに、確定した語句に続く次の語句が予測され、候補として表示されます。

過去に「赤い」に続けて入力した語句を表示　候補選択モードに切り替わる

14 名前の入力が終わったら、(□)を押す

名前で入力した文字が、半角文字でフリガナ入力画面に表示されます。

15 を押す

文字の登録が終わります。

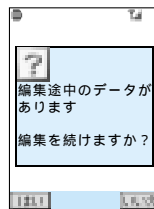
補足

- 入力可能な最大文字数を超えたときは、警告音でお知らせし、それ以上文字を入力することができません。
- よく使う単語などは、ユーザ辞書に登録しておくと変換が簡単になります。(☞P71)
- よく使うメッセージなどは、ライブラリに登録しておくと入力の手間が省けます。(☞P76)

カタカナ／数字変換を利用するには

ひらがな／漢字入力モードで入力した確定前のひらがなは、を押してカタカナやダイヤルボタンの数字に変換することができます。

(文字入力時に押したダイヤルボタンの数字)

編集を中断したデータがあるときは

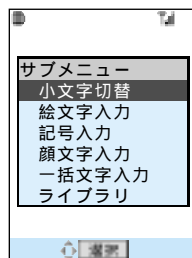
一部の機能（ユーザ辞書登録、ライブラリ登録、メモリダイヤル、ウェイクアップ設定、スケジュール設定、オーナー情報登録、メモ作成）では、文字の入力／編集中に電話がかかってきたときなどには編集が中断され、データが一時的に保護されます。編集を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は(ʃ)を押します。
- 保護されているデータを消去して、新たに編集する場合は(✎)を押します。

- 電源を OFF にしたときは保護されたデータは消去されます。

文字入力／編集中の各種操作

文字入力画面のサブメニューを利用すると、各種の文字や文を簡単に入力することができます。また、入力中の文をライブラリに登録したり、文字入力機能の設定を変更するなど、さまざまな操作が行えます。

1 **文字入力画面で(ｊ)を押す**

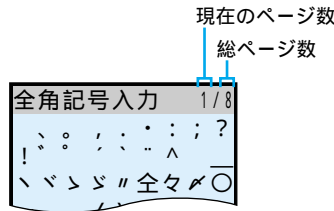
サブメニューが表示されます。

2 **( )を押して項目を選択し、( )を押す**

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
小文字切替／大文字切替	小文字入力／大文字入力が切り替わる（かな入力方式のときのみ表示される）	―
絵文字入力	絵文字の一覧が表示される	63
記号入力	記号の一覧が表示される	63
顔文字入力	顔文字の一覧が表示される	64
一括文字入力	「.co.jp」のような文字のセット（半角小文字の英字のみ）の一覧が表示される	64
ライブラリ	ライブラリに登録されている語句や文の一覧が表示される	64
改行入力	カーソルの位置で改行される。改行は、入力画面で( )を長く押しても行える	―
上書きモード／挿入モード	上書きモード／挿入モードが切り替わる※	65
ウェブメモ	ウェブメモ（☞『J - スカイ編』）の一覧が表示される	64
位置情報入力	カーソルの位置に位置情報データ（☞『J - スカイ編』）が入力される	64
オーナー情報入力	オーナー情報（☞P226）が表示され、項目を選択して入力することができる	65
定型文入力	定型文の分類項目の一覧が表示される。あいさつ文や、メールでよく使う表現を一覧から選択して入力することができる	『J - スカイ編』
メロディ添付	メロディの一覧が表示される	『J - スカイ編』
メール色指定	J-N51／J-N03／J-N03 II／J-N04／J-N05 にメールを送信するときに限り、メッセージの配色を指定することができる	『J - スカイ編』
ペースト	コピーまたはカットした内容が表示される	68
コピー	コピーする範囲の指定操作に移行する	68
カット	カットする範囲の指定操作に移行する	68
消去	消去する範囲の指定操作に移行する	66
ライブラリ登録	ライブラリに登録する範囲の指定操作に移行する	69

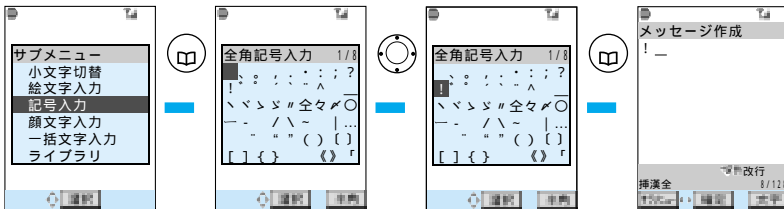
※設定の変更は編集中の文字入力画面にのみ有効です。

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
先頭へジャンプ	カーソルが文頭に移動する	—
末尾へジャンプ	カーソルが文末に移動する	—
固定入力	候補を予測しない固定入力に切り替わる（T9入力方式のときにのみ表示される）	70
ワード予測ON／ワード予測OFF	ワード予測機能のON／OFFが一時的に切り替わる※	—
入力モード切替	入力方式（かな方式／T9方式）の選択画面が表示される。※ 入力モード切替は、入力画面で（ボタン）を長く押しても行える	—
文字入力中止	入力／編集途中の内容がすべて破棄され、文字入力前の画面に戻る	—

※設定の変更は編集中の文字入力画面にのみ有効です。

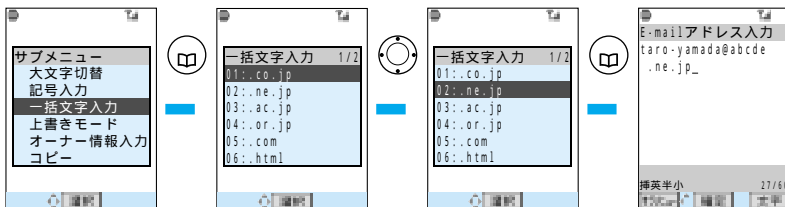
サブメニューから呼び出した入力文字の一覧画面が複数のページを持つ場合は、以下のようにページ数が表示されます。

絵文字／記号を入力する

表示される一覧から（ボタン）を押して目的の絵文字（480種類）／記号（全角385種類、半角41種類）を選択し、（ボタン）を押します。

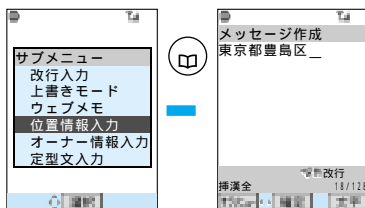
例：「記号入力」を選択して全角記号「！」を入力する場合

- 「絵文字・顔文字一覧」（☞『J - スカイ編』）
- 各入力モードでダイヤルボタンを押して入力できる記号もあります（☞P54、55）。また、ひらがな／漢字入力モードで「きごう」と入力して（ボタン）(変換）を押して入力できる記号もあります（88種類）。
- 全角／半角記号の一覧画面の右下に「半角」／「全角」が表示されているときに（ボタン）を押すと、一覧画面を半角／全角に切り替えることができます。

顔文字／一括文字／ライブラリの文／ウェブメモを入力する

を押して、一覧から顔文字（54種類）／一括文字（10種類）／ライブラリの語句や文（最大30件）（☞P69、76）／ウェブメモの語句や文（最大20件）（☞『J-スカイ編』）を選択し、を押します。

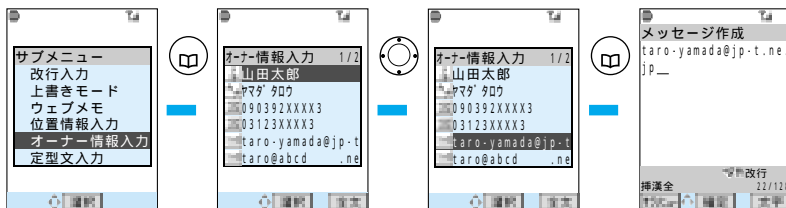
例：「一括文字入力」を選択して「.ne.jp」を入力する場合

- 顔文字は、ひらがな／漢字入力モードで「かお」または「かおもじ」と入力して（変換）を押しても入力できます。
- 「絵文字・顔文字一覧」（☞『J-スカイ編』）
- 大文字英字入力モードや小文字英字入力モードでは一括文字を入力するときに、サブメニューを使わずにを押して入力することもできます。（☞P54）
- ライブラリやウェブメモから選択した語句や文に、その入力画面で使用できない文字が含まれていた場合は、警告音とメッセージでお知らせし、入力できない文字が削除されます。
- ウェブメモの一覧に全文が表示されていないときは、を押すと選択されているウェブメモの全文が確認できます。確認終了後はを押します。

位置情報を入力する

サブメニューの「位置情報入力」を選択してを押すだけで、現在地を示す位置情報が入力されます。

- 位置情報は、J-N51が交信している基地局周辺のおおまかな場所を文字で表した情報で、ステーション サービスで受信します。（☞『J-スカイ編』）

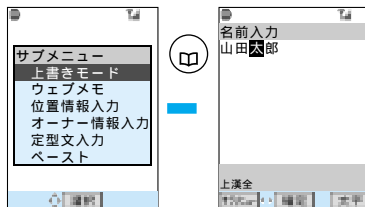
オーナー情報を入力する

J-N51の電話番号や、あらかじめ登録したオーナー情報（☞P226）の中から、目的の項目を選択して（□）を押します。

例：1件目のメールアドレスを入力する場合

- 一覧に登録内容の全文が表示されていないときは、（）を押すと選択されている項目の全文が確認できます。確認終了後は（クリア）を押します。

挿入モード／上書きモードを切り替える

文字入力画面が表示されたときには挿入モードに設定されていますが、上書きモードに切り替えて入力を行うこともできます。

例：上書きモードを選択する場合

同じ文字を入力しても、入力モードによって以下のような結果になります。

●挿入モード

4 文字入力のしかた

●上書きモード

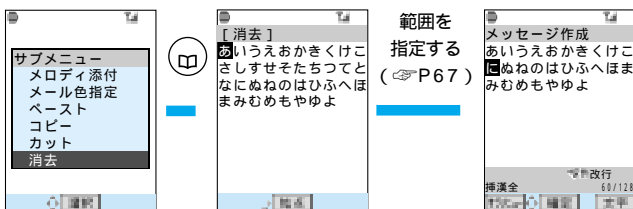
- 上書きモードに切り替えても、文字入力を終了すると挿入モードに戻ります。

文字を訂正する

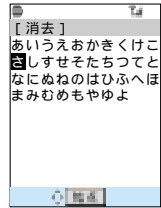
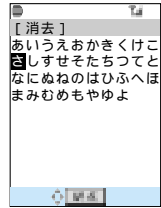
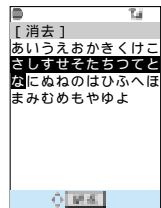
間違えた文字を訂正するときは、◎を押してカーソルを訂正したい文字の上に移動します。クリアを押すと、カーソル位置の文字が消去され、カーソルから右側の文字が左へ詰まっていきます。右側の文字がすべて消去されると、左側の文字を消去します。
挿入モードのときは文字を入力すると、カーソル位置に挿入されていきます。

文字を消去する

長いメッセージなどの全文をまとめて消去するときは、クリアを長く押します。
また、サブメニューの「消去」を選択すると、範囲を指定した消去が行えます。

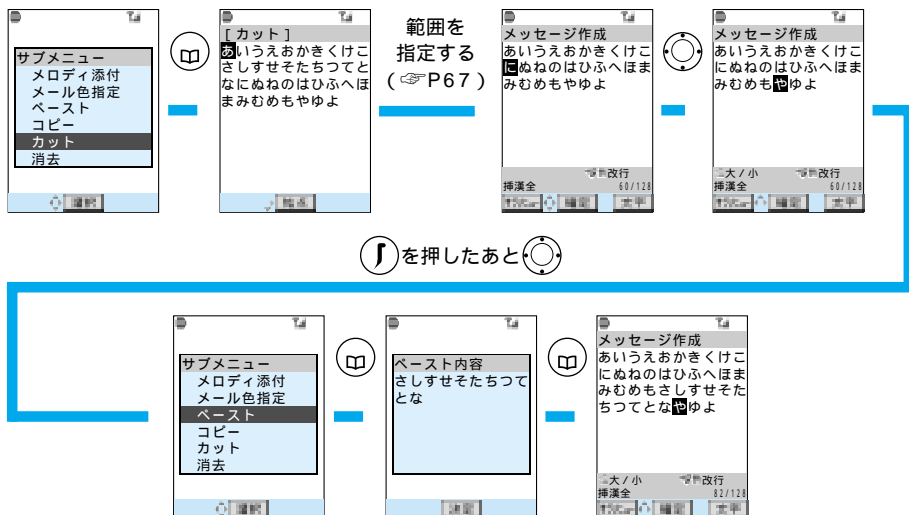
例：「さ」から「な」までを消去する場合

範囲を指定するには

サブメニューから「コピー」「カット」「消去」「ライブラリ登録」を選択すると、範囲の始点を指定する画面が表示されます。範囲を指定するには、以下のように操作します。

① ◎を押して、始点の文字にカーソルを移動する

② 📖を押す
範囲の終点を指定する画面が表示されます。

③ ◎を押して、終点の文字までの範囲を選択する

④ 📖を押す

文字を複写／移動する

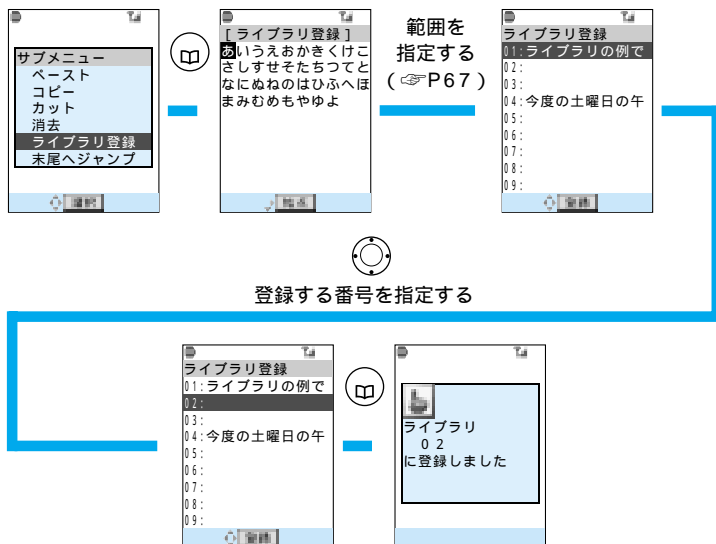
入力画面にすでに入力されている単語や文を繰り返し入力するときや、入力画面内の別の場所に移動させたいときには、サブメニューを利用すると便利です。複写するときは、「コピー」と「ペースト」を、移動するときは「カット」と「ペースト」を利用します。
サブメニューから「コピー」／「カット」を選択して範囲の指定を行い、カーソルで複写／移動させる位置を指定してから「ペースト」を選択します。

例：「さ」から「な」までを「やゆよ」の前に移動する場合

補足

- 「ペースト」を選択したときに、その入力画面で使用できない文字が含まれていた場合は、警告音とメッセージでお知らせし、入力できない文字が削除されて、ペーストされます。
- コピー／カットした文字は、他の文字をコピー／カットするか、電源を切るか、オールリセット（☞P156）を行うまで何度でもペーストできます。

文字をライブラリに登録する

メッセージを入力／編集しているときなどに、繰り返し使えそうな文（全角最大61文字、半角最大128文字）をライブラリとして登録しておくと、次に同じ文を入力するときに便利です。

例：「02」に登録する場合

補足

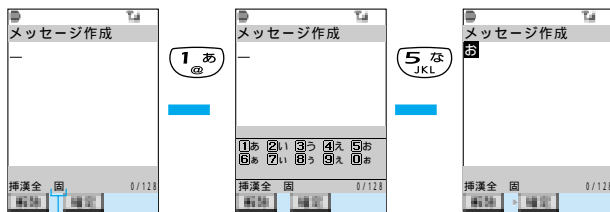
- 機能メニューから「ライブラリ」を呼び出して登録することもできます。（☞P76）

T9 方式の入力方法を固定入力に切り替える

T9方式で「おはよう」と入力するときは、通常1(あ)、6(は)、8(や)、1(あ)を押し、表示された「いひょう」、「1681」などの候補の中から「おはよう」を選択します。これらの予測候補を使わずに 1 文字ずつ入力したいときには、サブメニューから「固定入力」を選択して(メニュー)を押し、固定入力に切り替えます。
固定入力を解除するときは、(ʃ)を押します。

固定入力で文字を入力するには

文字が割り当てられているボタン（☞P55）を押すと、文字が一覧表示されるので、目的の文字に対応する番号をダイヤルボタンで指定します。

例：「お」を入力する場合

よく使う単語を登録する(ユーザ辞書登録)

よく使う単語をあらかじめユーザ辞書に 100 語まで登録して、ひらがな／漢字入力モードで入力した文字を変換したとき、候補としてすばやく呼び出すことができます。

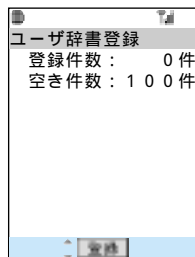
ユーザ辞書に登録する

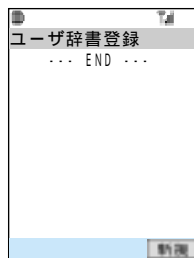
例：「えぬいーしー」と入力すると「日本電気株式会社」に変換できるように登録する場合

1 メニューから「ユーザ辞書登録」を呼び出す

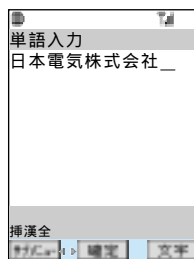
現在の登録状況が表示されます。

① (メニュー) を押す
② を押して を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す

ユーザ辞書登録
登録件数：　　０件
空き件数：１００件

2 を押す

- 単語がすでに登録されているときは、その一覧が表示されます。

3 を押し、変換後の単語（全角最大 10 文字）を入力する

ここでは「にっぽんでんきかぶしきがいしゃ」と入力して変換します。

- 単語がすでに 100 語登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。
- ひらがなや全角カタカナ、全角英数字も登録できます。半角文字は登録できません。

4 ＜読み＞キーを押し、変換前の読み（全角最大10文字）を入力する

ここでは「えぬいーしー」と入力します。

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- ひらがなのみ入力できます。
- T9入力、ワード予測は使用できません。

5 ＜読み＞キーを押す

6 ＜メール＞キーを押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。

- 同じ内容がすでに登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

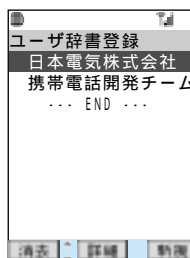
7 ＜PWR HLD＞キーを押す

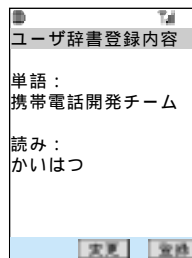
待受画面に戻ります。

ユーザ辞書の登録内容を確認／変更する

ユーザ辞書の登録内容を確認したり、変更したりする方法です。

登録内容を確認する

1 「ユーザ辞書に登録する」の操作1～2（☞P71）を行う

2 を押して確認したい単語を選択し、を押す

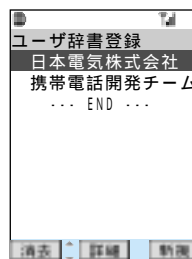
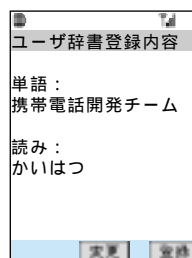
読みが確認できます。

3 を押す

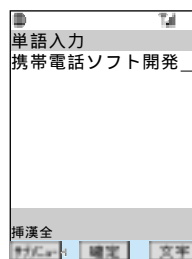
待受画面に戻ります。

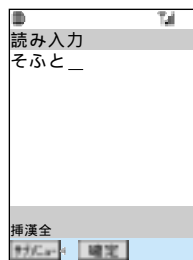
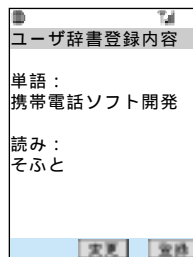
登録内容を変更する

例：単語と読みを変更する場合

1 「ユーザ辞書に登録する」の操作１～２（☞P７１）を行う

（☞P７１）

2 を押して変更したい単語を選択し、を押す

3 を押し、単語を変更する

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

4 を押し、読みを変更する

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

5 を押す

6 を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

- 同じ内容がすでに登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

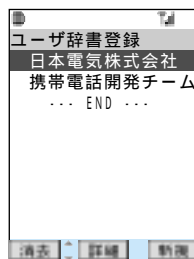
7 を押す

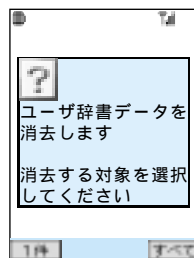
待受画面に戻ります。

ユーザ辞書の登録内容を消去する

例：単語を1語消去する場合

1 「ユーザ辞書に登録する」の操作１～２（☞Ｐ７１）を行う

（☞Ｐ７１）

2 を押して消去したい単語を選択し、を押す

- すべて消去する場合は、どの単語を選択しても行うことができます。

3 を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作１の画面に戻ります。

- 単語をすべて消去する場合はを押します。

4 PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

4 文字入力のしかた

よく使うメッセージを登録する(ライブラリ)

よく使うメッセージをライブラリに30件まで登録して、メッセージ作成などに利用することができます。1件につき全角最大61文字まで登録することができるので、入力の手間が省けます。

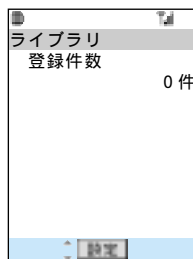
ライブラリに登録する

メニューから「ライブラリ」を呼び出して登録する方法です。メッセージなどの入力中に、サブメニューを利用して登録する方法もあります。(☞P69)

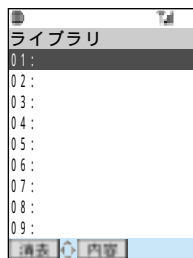
1 メニューから「ライブラリ」を呼び出す

現在の登録状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、 を押す

③ を押して を選択し、 を押す

2 を押す

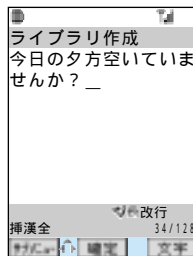
• メッセージがすでに登録されているときは、その内容が表示されます。

3 を押してメッセージを登録したい番号(01～30)を選択し、 を押す

• 選択した番号にすでにメッセージが登録されているときは、その内容が表示されます。

4 メッセージ(全角最大61文字、半角最大128文字)を入力する

• 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

4 文字入力のしかた

5 （本）を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作２の画面に戻ります。

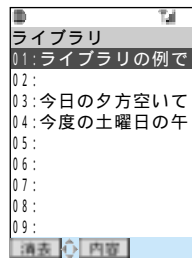
6 （PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

ライブラリの登録内容を確認／変更する

ライブラリの登録内容を確認したり、変更したりする方法です。

登録内容を確認する

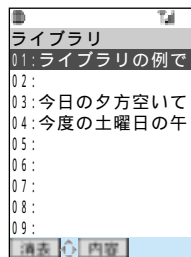
1 「ライブラリに登録する」の操作１～２（☞P76）を行う

2 （◎）を押して登録内容を確認したいメッセージを選択し、（本）を押す

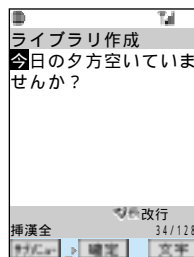
全文が表示されます。

3 （PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

登録内容を変更する

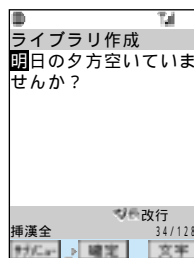
1 **「ライブラリに登録する」の操作１～２（☞Ｐ７６）を行う**

2 **◎を押して変更したいメッセージを選択し、📖を押す**

全文が表示されます。

3 **メッセージを変更する**

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

4 **📖を押す**

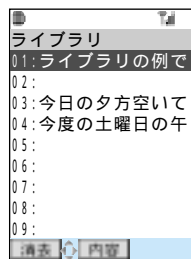
登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

5 **(PWR HLD)を押す**

待受画面に戻ります。

ライブラリの登録内容を消去する

例：ライブラリを1件消去する場合

1 **「ライブラリに登録する」の操作１～２（☞P７６）を行う**

（☞P７６）

2 **を押して消去したいメッセージを選択し、を押す**

- すべて消去する場合は、どのメッセージを選択しても行うことができます。

3 **を押す**

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作１の画面に戻ります。

- メッセージをすべて消去する場合は を押します。

4 **を押す**

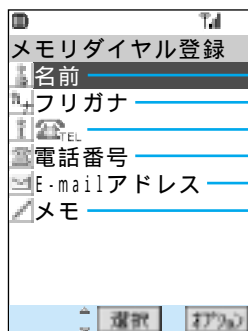
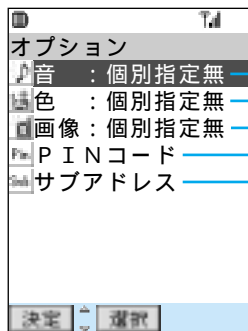
待受画面に戻ります。

4 文字入力のしかた

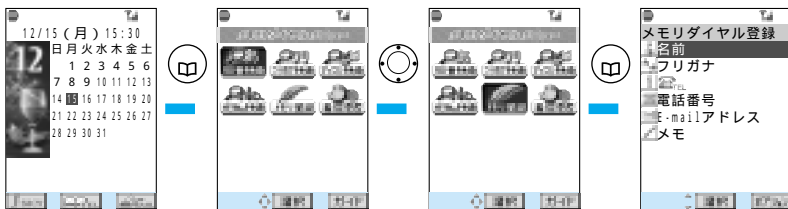
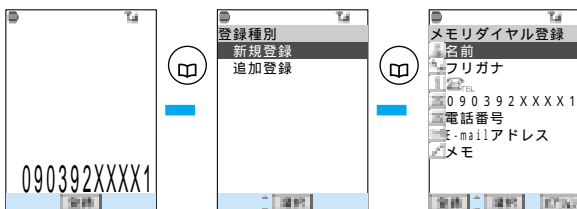
じょうずに使いましょう（ダイヤル）

電話番号をメモリダイヤルに登録する（メモリダイヤル）

電話番号やE-mailアドレスをメモリダイヤルに登録しておくと、電話をかけたりメールを送信するときに呼び出して使用できます。また、電話がかかってきたときや着信履歴などには、登録した名前が表示されます。
登録できるメモリダイヤルは最大５００件で、１件のメモリダイヤルに電話番号とE-mail アドレスを各３件まで登録することができます。
メモリダイヤルには以下の項目が登録できます。名前、電話番号、E-mail アドレスのいずれかを登録しておけば、あとから登録内容の追加や変更が行えます。

＜メモリダイヤルに登録する項目＞

＜オプション項目＞
着信音や着信ランプの色などを相手によって変えたいときなどには、オプション項目を設定します。

- マイコール着信音やマイコール着信色などは、そのメモリダイヤルに登録されているすべての電話番号に対して適用されます。登録している複数の電話番号に個別に設定することはできません。

メモリダイヤルの登録には、以下の 2 通りの方法があります。

● が表示されているとき（待受画面など）にメモリダイヤル登録画面を表示させると、お好みの項目から登録することができます。

● 電話番号を入力したあとや、リダイヤル、着信履歴からメモリダイヤル登録画面を表示させ、他の項目を登録することができます。以下のように新規のメモリダイヤルとして登録する以外に、すでに登録済みのメモリダイヤルに追加登録することもできます。（☞P100）

電話を受けたくない相手を登録して着信を拒否する（指定着信拒否）

メモリダイヤルメニューに表示される からは、着信拒否の設定が行えます。設定リスト（最大 20 件）に登録した電話番号から電話がかかってきたときには、自動的に電話を切ります。（☞P115）

メモリダイヤルの登録内容を転送するときは

- 赤外線全件転送（☞P365）を利用して、他の J-N51 にメモリダイヤルを転送することができます。
- メモリダイヤルをvCard形式で保存することができます。vCardは、スーパーメールに添付したり（☞『J - スカイ編』）、赤外線通信（☞P362）を使って転送することができます。

大切なデータを失わないために

メモリダイヤルに登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリダイヤルに登録する

登録したい項目を選択して、内容を登録します。必須項目（名前、電話番号、E-mail アドレス）のいずれかを登録すれば、それ以外の項目は省略できます。また必要に応じて、電話の相手を着信音や着信ランプの色で識別できるようにしたり、着信イラスト、PIN コード、サブアドレスなどを登録するオプション設定が行えます。（☞P89）

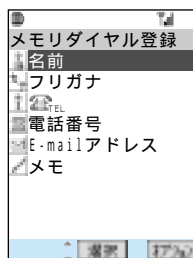
メモリダイヤルの登録例

例：が表示されているとき、以下の項目を登録する場合
名前、フリガナ、アイコン、電話番号、E-mail アドレス、メモ

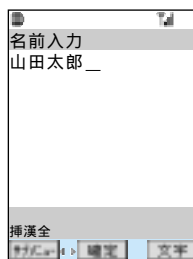
1 **を押す**

- 前回使用した機能のアイコンが自動的に選択されます。

2 **を押してを選択し、を押す**

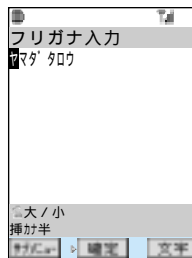
名前の行が反転表示されます。

- メモリダイヤルがすでに500件登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

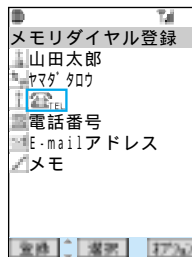
3 **を押し、名前（全角最大10文字、半角最大20文字）を入力する**

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

4 (📖)を押す

名前入力の画面で入力した文字列がそのままフリガナとして半角文字で表示されます。

- フリガナを変更するときは、(◯)を押して変更する文字の上にカーソルを移動し、(クリア)を押して消去してから入力し直します。
- 最大 20 文字まで表示されます。

フリガナ入力
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
大／小
挿ｶﾅ半

5 (📖)を押す

アイコンの行が選択されます。

6 (📖)を押す

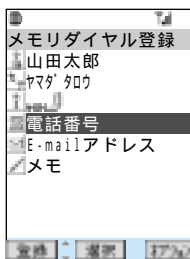
アイコンの一覧が表示されます。

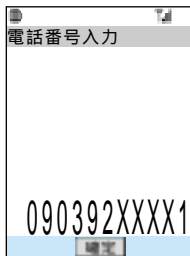
アイコンの種類は

アイコンは、以下の 32 種類の中から選択できます。

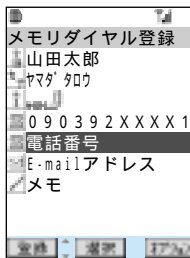
電話	携帯電話	PHS	ポケベル	自宅	学校	会社 A	会社 B
TEL	ｹｲﾀｲ	PHS	BELL			A	B
会社 C	お店	ビール	カラオケ	男の子	女の子	ハート	クマ
C							
花	重要	メール	ゴミ箱	その他	ガイコツ	フォルダー 1	フォルダー 2
	!			etc.			
フォルダー 3	フォルダー 4	フォルダー 5	フォルダー 6	フォルダー 7	フォルダー 8	フォルダー 9	フォルダー 10

7 （キーアイコン）を押してアイコンを選択し、（キーアイコン）を押す

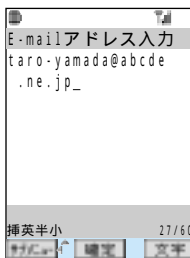
電話番号の行が反転表示されます。

8 （キーアイコン）を押し、電話番号（最大24桁）を全桁入力する

- 一般電話の場合は、市外局番から入力します。
- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- 13桁目以降を入力したときは、1桁目から順に上の行に移動します。

9 （キーアイコン）を押す

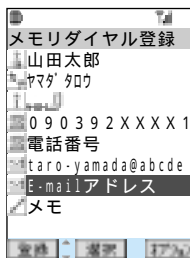
入力した電話番号の下に、もう1つ電話番号の行が表示されます。1つのメモリダイヤルに複数の電話番号を登録する場合は、操作8～9を繰り返します。

- 1つのメモリダイヤルに最大3件まで登録できます。

10 （キーアイコン）を押してE-mailアドレスの行を選択する

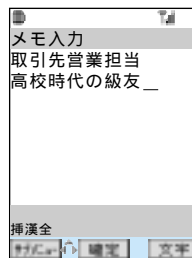
11 （キーアイコン）を押し、E-mailアドレス（半角最大60文字）を入力する

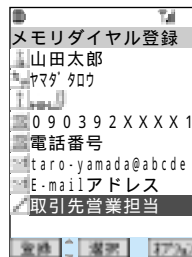
- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

12 （キーアイコン）を押す

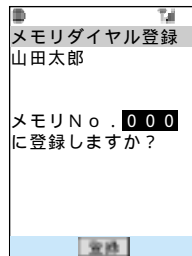
入力したE-mailアドレスの下に、もう1つE-mailアドレスの行が表示されます。1つのメモリダイヤルに複数のE-mailアドレスを登録する場合は、操作11～12を繰り返します。

- 1つのメモリダイヤルに最大3件まで登録できます。

13 ◎を押してメモの行を選択する

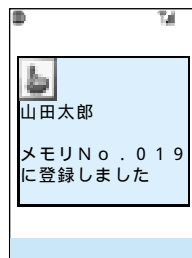
14 📖を押し、メモ（全角最大30文字、半角最大60文字）を入力する

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

15 📖を押す

- 必須項目（名前、電話番号、E-mailアドレス）のいずれかを入力しないと［登録］が表示されず、登録することができません。

16 ♪を押す

空いている一番若いメモリ番号が反転表示されます。

17 登録したいメモリ番号（000～499）を入力する

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。続けてメモリダイヤルの登録が行えます。

- 表示されているメモリ番号に登録する場合は、📖を押します。
- メモリ番号の先頭の「00」や「0」を省略し、最後に📖を押して指定することもできます。「009」に登録する場合は9📖と押す
- 入力したメモリ番号にシークレットメモリ（☞P106）が登録されている場合は、警告音とメッセージでお知らせします。メモリ番号を指定し直してください。

[＊ﾞﾟ]を使って登録するメモリ番号を指定するには

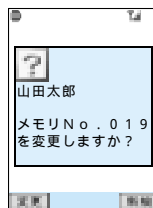
3桁のメモリ番号を入力する代わりに[＊ﾞﾟ]を使って登録するメモリ番号の範囲を指定することができます。

メモリ番号		ダイヤル入力
空いている一番若い番号		[＊ﾞﾟ]
10番台 ⋮ 90番台	010 ⋮ 099	[1あ@][＊ﾞﾟ] ⋮ [9らWXYZ][＊ﾞﾟ]
100番台 ⋮ 490番台	100 ⋮ 499	[1あ@][0わをん][＊ﾞﾟ] ⋮ [4たGHI][9らWXYZ][＊ﾞﾟ]

- 指定範囲のメモリ番号すべてにすでにメモリダイヤルが登録されている場合は、警告音とメッセージでお知らせします。

入力したメモリ番号にすでに登録されているときは

入力したメモリ番号にすでにメモリダイヤルが登録されているときには、右のような画面が表示されます。

- すでに登録されているメモリ番号に上書きして登録する場合は[決定]を押します。
- 別のメモリ番号に変更する場合は[メール]を押すと、操作16の画面に戻ります。別のメモリ番号を指定してください。

- 「変更したメモリダイヤルがグループアドレスや自動振り分けに登録されているときは」(☞P99)

18 [PWR/HLD]を押す

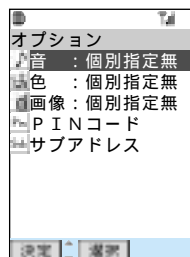
待受画面に戻ります。

- 通話中のメモリ登録のあとに通話中画面に戻したいときは[クリア]を繰り返し押してください。[PWR/HLD]を押すと通話が切れてしまいます。

オプションを設定する

必要に応じてメモリダイヤルのオプションを設定します。

1 右下にオプションが表示されているメモリダイヤル登録画面でを押す

オプション項目画面が表示されます。

2 を押して項目を選択し、を押す

3 設定操作を行う

項　目	設定操作の概要	初期値	参照ページ
マイコール着信音	内蔵メロディまたはデータフォルダ内のサウンドから選択する。着信音を鳴らさない「OFF」も設定できる	個別指定無:着信音パターン（☞P123）に従う	89
マイコール着信色	7色またはイルミネーションの中から選択する	個別指定無:着信イルミネーション（☞P231）に従う	90
マイコールイラスト	データフォルダ内の静止画またはアニメーションの中から選択する	個別指定無：マイキャラクター（☞P177）に従う	90
Pin PIN コード	PINコード（4桁の数字）を登録する	—	91
Sub サブアドレス	サブアドレス（0～65535）を登録する	—	91

※マイコール着信音、マイコールイラストをデータフォルダから選択するときには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

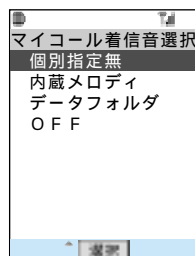
4 設定操作後オプション項目画面に戻ったら、必要に応じてほかの項目を設定し、を押す

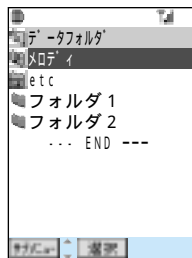
メモリダイヤル登録画面に戻ります。

マイコール着信音を設定する

例：データフォルダのサウンドから選択する場合

1 「オプションを設定する」の操作2でマイコール着信音の行（）を選択する

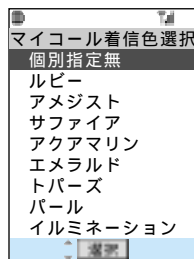
5 じょうずに使いましょう（ダイヤル）

2 を押して「データフォルダ」を選択し、を押す

- 「内蔵メロディ」を選択したときは、メロディ一覧が表示されます。
- 「個別指定無」または「OFF」を選択したときは、設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

3 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、を押す

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

- を押してメロディ／サウンドを再生し、再生中にを押すこともできます。再生音量は通常着信の設定（☞P121）にしたがいます。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P236）の通常着信の音量にしたがいます。

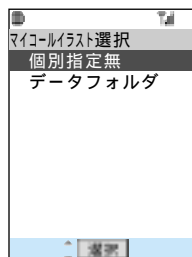
マイコール着信色を設定する

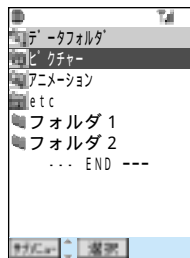
1 「オプションを設定する」の操作2（☞P89）でマイコール着信色の行（）を選択する

2 を押して色または「個別指定無」を選択し、を押す

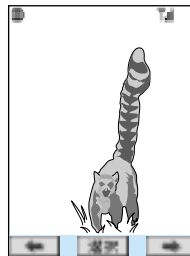
設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

マイコールイラストを設定する

例：データフォルダのファイルから選択する場合

1 「オプションを設定する」の操作2（☞P89）でマイコールイラストの行（）を選択する

2 ◎を押して「データフォルダ」を選択し、📖を押す

- 「個別指定無」を選択したときは、通常の着信イラストが表示されます。操作４に進みます。

3 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、📖を押す

画像が再生されます。

4 📖を押す

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

- マイコールイラストには、静止画像、ファインアニメやメールアニメといったアニメーションを設定することができます。DCF形式のJPEGファイル（☞P200、319）、アクションビュー、ムービーは設定できません。
- 設定できる画像の大きさは、縦67×横160ドットまでです。大きすぎる場合は、設定できない部分をカットして画像の中央部分を表示します。

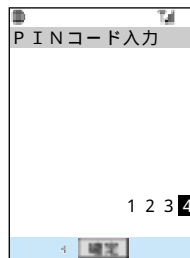
PINコード／サブアドレスを登録する

例：PINコードを登録する場合

1 「オプションを設定する」の操作２（☞P89）で「PINコード」を選択する

- サブアドレスを登録するには、「サブアドレス」を選択します。

2 PINコードを入力する

- PINコードは４桁の数字、サブアドレスは０～65535の数字を入力します。

3 📖を押す

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

メモリダイヤルで電話をかける

メモリダイヤルを呼び出すには、50音／フリガナ／アイコン／メモリNo.のいずれかの検索方法を使います。メモリダイヤルを使って電話をかけるには、これらの検索方法を使うほかに、メモリNo.を直接入力するスピードダイヤル（☞P109）があります。

50音検索で呼び出す

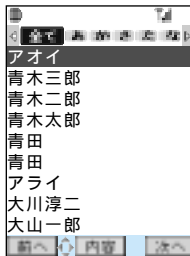
名前のフリガナによって50音順に並べられたリストからメモリダイヤルを検索します。行のタグを指定してすばやく呼び出すことができます。

例：「山田太郎」を呼び出す場合

1 📖を押す

- 前回使用した機能のアイコンが自動的に選択されます。

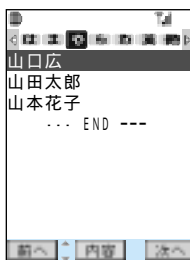
2 ◎を押して 50音検索 を選択し、📖を押す

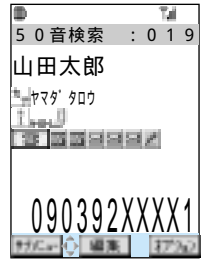
- メモリダイヤルが1件も登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- 行を指定しないで検索するときは、操作4に進みます。

3 ♪または✍を押して目的の行のタグを表示させる

ここではや行のタグを表示させます。

- 文字を割り当てられているボタン（や行：8 や TUV）で行を指定することもできます。アルファベットのタグは ＊ ﾞﾟ、記号など「他」のタグは ＃ 記号 で指定します。
- ディスプレイの最下段に選択方向表示の◁や▷が表示されているときは、◎または▲、▼を押すことにより、表示中のタグ内で改ページすることができます。

5

じょうずに使いましょう（ダイヤル）

4 ◯を押してメモリダイヤルを選択し、📖を押す

内容画面が表示されます。

5 電話をかけるときは、◯を押して目的の電話番号を表示させ、☎を押す

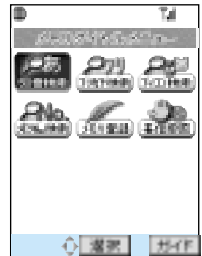
相手につながると通話できます。

- ◯を押して選択できるのは、表示中のタグに含まれるメモリダイヤルのみです。ただし、「全て」タグ表示中に◯を押すと、すべてのメモリダイヤルが50音順に検索できます。

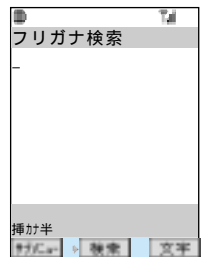
フリガナ検索で呼び出す

名前のフリガナの頭の何文字かを指定して、そのフリガナが登録されているメモリダイヤルを検索します。

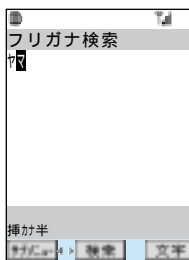
例：「山田太郎」を呼び出す場合

1 📖を押す

- 前回使用した機能のアイコンが自動的に選択されます。

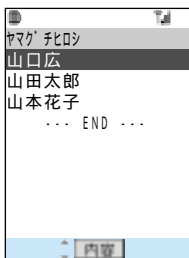
2 ◯を押して フリガナ検索 を選択し、📖を押す

- メモリダイヤルが1件も登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 フリガナ（半角最大 20 文字）を入力する

ここでは「ﾔﾏ」と入力します。

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。
- 最初の文字を入力するだけでも検索できます。

4 (📖)を押す

入力したフリガナで登録されているメモリダイヤルが表示されます。

- 該当するメモリダイヤルが登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせし、操作 2 の画面に戻ります。

5 「50 音検索で呼び出す」の操作 4 〜 5（☞P93）を行う

- フリガナ検索では、入力したフリガナを名前の先頭に持つメモリダイヤルのみが検出されます。
- フリガナを入力せずに検索すると、フリガナなしで登録しているメモリダイヤルが検出されます。

アイコン検索で呼び出す

メモリダイヤルに登録した“会社”、“学校”などを表すアイコンから、目的のメモリダイヤルを検索します。

例：ｹｲﾀｲ“携帯電話”から「山田太郎」を呼び出す場合

1 (📖)を押す

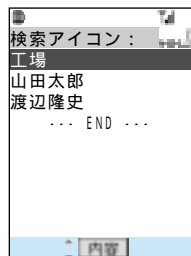
- 前回使用した機能のアイコンが自動的に選択されます。

2 を押して を選択し、を押す

- メモリダイヤルが 1 件も登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 を押して目的のメモリダイヤルのアイコンを選択し、を押す

ここではを選択します。
選択したアイコンで登録されているメモリダイヤルが五十音順に表示されます。

- 該当するメモリダイヤルが登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

4 「50 音検索で呼び出す」の操作 4～5（☞P93）を行う

メモリ No. 検索で呼び出す

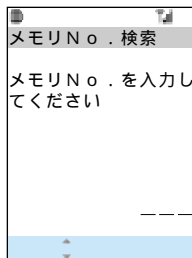
メモリ No. を手がかりにメモリダイヤルを検索します。
メモリ No.「000」～「099」に登録されているメモリダイヤルに電話をかけるときは、スピードダイヤルでかけるとさらに便利です。（☞P109）

例：メモリNo.「019」の「山田太郎」を呼び出す場合

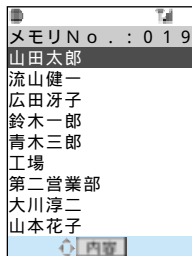
1 を押す

- 前回使用した機能のアイコンが自動的に選択されます。

2 を選択し、(📖)を押す

- メモリダイヤルが１件も登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 メモリ No.（3 桁）を入力する

ここでは「019」と入力します。

- 該当するメモリダイヤルが登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- メモリ No.「000 ～ 099」のメモリダイヤルを検索するときは、１桁または２桁だけ入力して(◯)を押してもリストが表示されます。たとえば、「019」と入力する代わりに「19」と入力して(◯)を押します。

4 「50 音検索で呼び出す」の操作４～５（☞P93）を行う

- 操作2の画面で何も入力せずに(◯)を繰り返し押すと、すべてのメモリダイヤルがメモリNo.順に表示されます。また、(◯)を繰り返し押すと逆順に表示されます。

メモリダイヤルを編集する

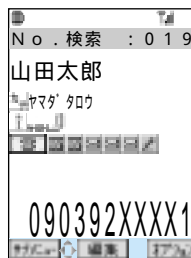
メモリダイヤルの登録内容を確認／変更したり、着信履歴やリダイヤル、送受信メールなどの電話番号／ E-mail アドレスを追加登録することができます。

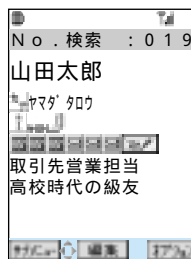
登録内容を確認する

例：メモの内容を確認する場合

1 内容を確認したいメモリダイヤルを呼び出す

内容画面が表示されます。

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

2 （◯）を押して（✎）を選択する

メモとして登録したすべての内容が表示されます。

3 （PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

- 通話中は（クリア）を繰り返し押して通話中画面に戻してください。（PWR HLD）を押すと通話が切れてしまいます。

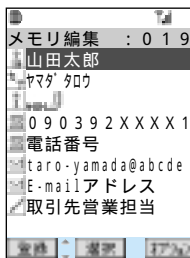
登録内容を変更する

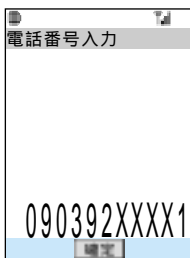
例：電話番号を変更する場合

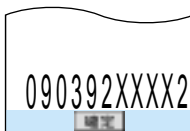
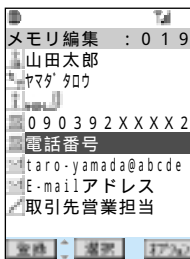
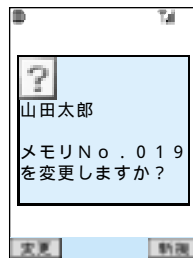
1 **変更したいメモリダイヤルを呼び出す**

内容画面が表示されます。

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
（☞P92～96）

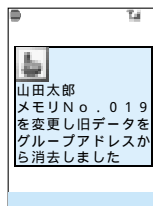
2 **（📖）を押す**

3 **（○）を押して変更したい項目の行を選択し、（📖）を押す**

ここでは１件目の電話番号を選択します。

4 **内容を変更する**

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

5 **（📖）を押す**

6 ⌐を押す

7 ⌐を押す

変更の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

変更したメモリダイヤルがグループアドレスや自動振り分けに登録されているときは

右の画面が表示されたときは、グループアドレスに同じメモリ番号で登録されていた内容が消去されます。自動振り分けに登録されていたときは「旧データを自動振り分けから消去しました」、両方に登録されていたときは「自動振り分け、グループアドレスから消去しました」と表示されます。

補足
- グループアドレスおよび自動振り分けについては、『J - スカイ編』を参照してください。

8 PWR HLDを押す

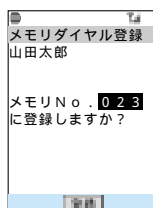
待受画面に戻ります。

注意
- 通話中はクリアを繰り返し押して通話中画面に戻してください。PWR HLDを押すと通話が切れてしまいます。

補足
- シークレットメモリはシークレットモード（☞P106）に設定しないと変更ができません。

変更内容を新しいメモリ番号に登録するには

変更前のメモリダイヤルはもとの内容のまま残し、変更後の内容を別のメモリ番号で登録したいときは、以下のように操作します。

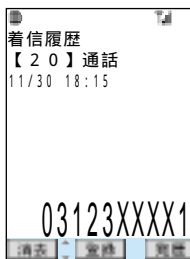
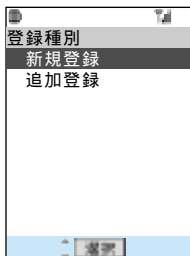
① 操作６で変更を確認する画面が表示されたら、✍を押す
　空いている一番若いメモリ番号が反転表示されます。
②「メモリダイヤルの登録例」の操作17～18（☞P87～88）を行う

補足
- メモリダイヤルがすでに500件登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

電話番号／E-mailアドレスを追加登録する

各種の機能の画面（発信履歴、着信履歴、送受信メール、ウェブ サービス、ステーション サービス、マルチメディアメモ、v シリーズのファイル、テキストメモ、バーコード）に表示される電話番号やE-mailアドレスを、登録済みのメモリダイヤルに追加登録することができます。また、(0)～(9)で入力した電話番号を追加登録することもできます。

例：着信履歴の電話番号を追加登録する場合

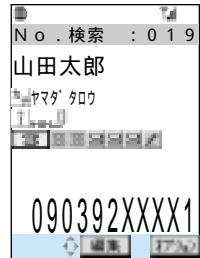
1 登録したい電話番号が表示されている画面を呼び出す

- 待受中または通話中に、電話番号を(0)～(9)で入力することもできます。

2 (📖)を押す

3 (◎)を押して「追加登録」を選択し、(📖)を押す

- 新規のメモリダイヤルとして登録するときには「新規登録」を選択します。（☞P83）「新規登録」を選択したときにメモリダイヤルが500件登録されている場合は、警告音とメッセージでお知らせし、操作2の画面に戻ります。
- すでに登録済のメモリダイヤルに電話番号あるいはE-mailアドレスが追加できないときは、警告音とメッセージでお知らせし、操作2の画面に戻ります。

4 追加登録したいメモリダイヤルを呼び出す

内容画面が表示されます。

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）
- 電話番号を追加登録するときには、すでに電話番号が3件登録されているメモリダイヤルは表示されません。同様に、E-mail アドレスを追加登録するときは、E-mail アドレスが3件登録済みのメモリダイヤルは表示されません。不要な電話番号／ E-mail アドレスを消去してから操作し直すか、別のメモリダイヤルに追加登録してください。

5 (📖)を押す

着信履歴の電話番号が2件目の電話番号として表示されます。

6 「登録内容を変更する」の操作6～7（☞P99）を行う

登録の完了をお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- メール、ウェブ、ステーションの各サービスの画面から登録した場合は、各サービスの画面に戻ります。

メモリダイヤル内容画面での各種操作

メモリダイヤルの内容画面からは、サブメニューを使ったさまざまな操作が行えます。

項　目	概　要	参照ページ
送出	ポケットベルにメッセージを送ったり、留守番電話を遠隔操作したり、プッシュホンサービスを利用したりする	292
メール作成※	登録した電話番号やE-mailアドレス宛てのメッセージを作成する	102
赤外線送信	表示中の登録内容を赤外線通信で転送する	362
vCard で保存	表示中の登録内容を vCard ファイルとして保存する	360
個人データ消去	表示中のメモリダイヤルを消去する	103
シークレット解除	表示中のメモリダイヤルのシークレット設定を解除する	108
電話番号消去	表示中のメモリダイヤルの電話番号／E-mailアドレスを消去する	104
アドレス消去		
電話番号コピー	表示中のメモリダイヤルの電話番号／E-mailアドレス／メモをコピーする	105
アドレスコピー		
メモコピー		

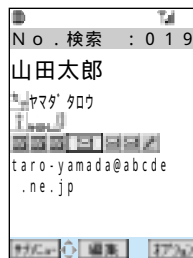
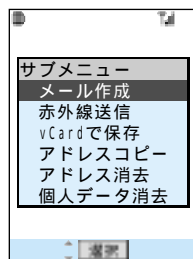
※ メール作成を行うときは、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

送信メッセージを作成する（メール作成）

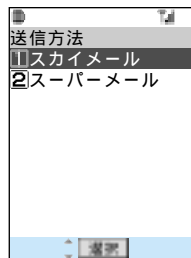
1 **メモリダイヤルを呼び出し、◎を押して宛先に指定する電話番号またはE-mailアドレスを表示する**

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

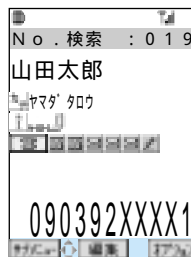
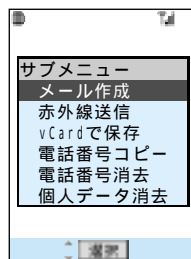
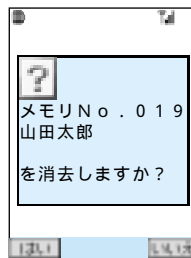
2 **ｉを押す**

5 じょうずに使いましょう（ダイヤル）

3 を押して「メール作成」を選択し、を押す

通信選択メニュー画面が表示されます。

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。
- メールの送信方法（☞『J - スカイ編』）
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「メール作成」を選択してを押すと、警告音とメッセージでお知らせし、メッセージの作成を行えません。

メモリダイヤルを 1 件消去する（個人データ消去）

1 消去するメモリダイヤルを呼び出す

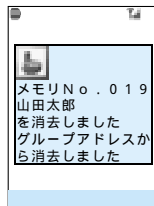
- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

2 を押す

3 を押して「個人データ消去」を選択し、を押す

4 を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 消去を中止するときはを押します。

消去したデータがグループアドレスや自動振り分けに登録されているときは

右のような画面が表示されたときは、グループアドレスに登録されていた内容も消去されます。自動振り分けに登録されていたときは「自動振り分けから消去しました」、両方に登録されていたときは「自動振り分け、グループアドレスから消去しました」と表示されます。

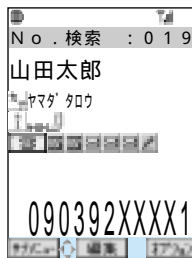
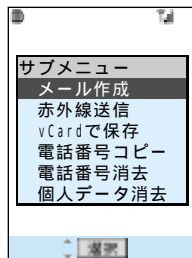
- グループアドレスおよび自動振り分けについては、『J - スカイ編』を参照してください。

5 **を押す**

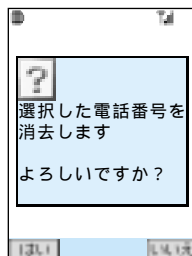
待受画面に戻ります。

電話番号／E-mail アドレスを消去する

例：電話番号を消去する場合

1 **メモリダイヤルを呼び出し、を押して消去する電話番号を表示する**

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

2 **を押す**

3 **を押して「電話番号消去」を選択し、を押す**

- E-mail アドレスを消去するときは、「アドレス消去」を選択しを押します。

5　じょうずに使いましょう（ダイヤル）

4 「メモリダイヤルを１件消去する」の操作４～５（☞P103～104）を行う

- たとえば２件目の電話番号が登録されている状態で１件目の電話番号を消去した場合には、２件目の内容が１件目に移動します。E-mailアドレスを消去した場合も同様です。
- 消去した電話番号／E-mailアドレスが含まれるメモリダイヤルにグループアドレスや自動振り分けに登録されている電話番号／E-mailアドレスがあったときには、メモリダイヤルを消去したときと同様に、「グループアドレスから消去しました」などのメッセージが表示されます。

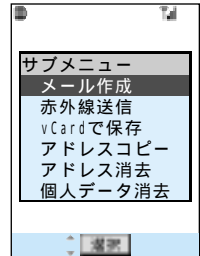
電話番号／E-mailアドレス／メモをコピーする

例：E-mailアドレスをコピーする場合

1 メモリダイヤルを呼び出し、◎を押してコピーするE-mailアドレスを表示する

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

2

を押す

3 ◎を押して「アドレスコピー」を選択し、📖を押す

コピーの完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、メモリダイヤルの内容画面に戻ります。

- 電話番号をコピーするときは「電話番号コピー」、メモをコピーするときには「メモコピー」を選択し、📖を押します。
- コピーした内容は、メッセージ作成画面などに繰り返しペーストできます。（☞P68）

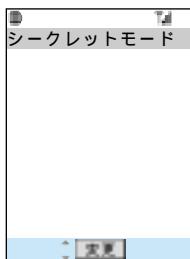
秘密にしたい電話番号を登録する(シークレットモード)

シークレットモードで登録したメモリダイヤルは、シークレットメモリとして保管され、操作用暗証番号（☞P16）を入力してシークレットモードを設定しない限り、呼び出すことができません。他の人に知られたくないメモリダイヤルは、シークレットメモリに登録してください。

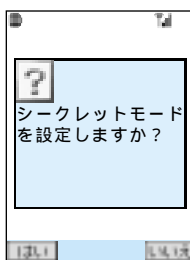
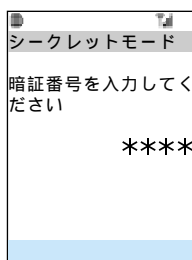
シークレットメモリに登録する

シークレットメモリに登録する前に、シークレットモードを設定します。

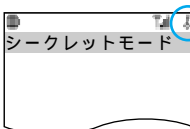
1 メニューから「シークレットモード」を呼び出す

①◯(メニュー）を押す
②を選択し、📖を押す
③◯を押してを選択し、📖を押す
④「シークレットモード」を選択し、📖を押す

2 📖を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 ∫を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。シークレットモードの設定中はディスプレイに「⚷」が表示されます。

- シークレットモードの設定を中止するときは✍を押します。

4 PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

- 通話中はクリアを繰り返し押して通話中画面に戻してください。PWR HLDを押すと通話が切れてしまいます。

5 じょうずに使いましょう（ダイヤル）

5 メモリダイヤル登録の操作をする

通常のメモリダイヤルと同様の登録操作を行ってください。
（☞P84）

シークレットモードを解除するには

待受画面表示中に（PWR HLD）を押します。「 」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットメモリを呼び出す

シークレットメモリを呼び出す前に、シークレットモードを設定します。

1 「シークレットメモリに登録する」の操作1～4（☞P106）を行う

2 シークレットメモリを呼び出す

通常のメモリダイヤルと同様の呼び出し操作を行います。

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

3 電話をかけるときは、（ ）を押す

相手につながると通話できます。

- シークレットメモリの確認や編集も、通常のメモリダイヤルと同様に行えます。

シークレットメモリに登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送信されてくると

シークレットモードに設定しているときには名前が表示され、設定していないときには電話番号または E-mail アドレスが表示されます。（☞P34、『J - スカイ編』）

シークレットモード設定中にシークレットメモリを表示させると

シークレットメモリ表示中は「 」が点滅します。また、通常のメモリダイヤルの表示中には「 」が点灯します。

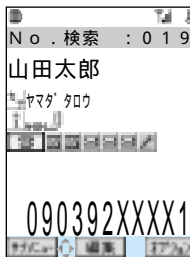
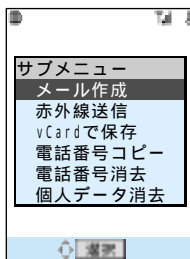
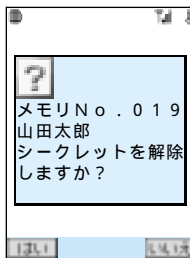
シークレットメモリを通常のメモリダイヤルに変更する

シークレット解除を行って通常のメモリダイヤルに変更することができます。

1 **「シークレットメモリに登録する」の操作 1 ～ 4（☞P106）を行う**

2 **シークレット解除するメモリダイヤルを呼び出す**

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

3 **を押す**

4 **を押して「シークレット解除」を選択し、を押す**

5 **を押す**

解除の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 解除を中止するときはを押します。

6 **PWR HLD を押す**

待受画面に戻ります。

5 じょうずに使いましょう（ダイヤル）

メモリダイヤルをすばやく呼び出す(スピードダイヤル)

メモリ番号「000」～「099」に登録されているメモリダイヤルは、メモリ No. とを押すだけで電話がかけられます。

例： メモリNo.「022」を呼び出して電話をかける場合

1 メモリ No. のダイヤルボタンを押す

ここでは2 2と押します。

補足
- 先頭の「00」または「0」は省略します。
  - 「000」の場合：0
  - 「010」の場合：1 0

2 を押す

メモリ No.「022」に登録されている電話番号にダイヤルされます。相手につながると通話できます。

補足
- 該当するメモリダイヤルが登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- メモリダイヤルがシークレットメモリのときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることができません。

注意
- 発信禁止（☞P151）やオフラインモード（☞P162）が設定されているときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることはできません。

補足
- シークレットモード（☞P106）設定中であれば、該当するメモリダイヤルがシークレットメモリでもスピードダイヤルでかけられます。

よく使う電話番号を登録する(アシストダイヤル)

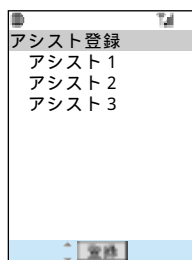
メモリダイヤルに登録しなくても、特によくかける電話番号（3件まで）をアシストダイヤルとして登録しておくと、◎(アシスト)と(☎)を押すだけで電話がかけられます。(クイックダイヤル ☞P112)
また、よくかける市外局番や「184（イヤヨ)」「186」(☞P397、398）などを登録しておき、電話をかけるときにこれらの電話番号を呼び出して、以降の電話番号だけを入力するという補助的な使いかたや、プッシュトーンの送出にも利用できます。(セット発信 ☞P113、プッシュトーン送出 ☞P292)

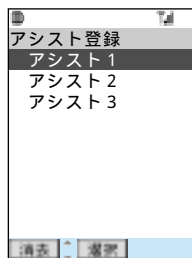
アシストダイヤルに登録する

1 **メニューから「アシスト登録」を呼び出す**

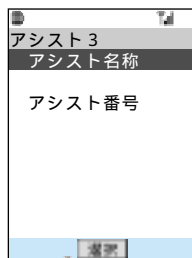
現在の登録内容が表示されます。

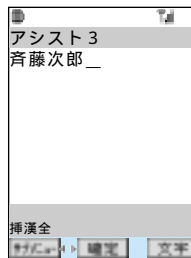
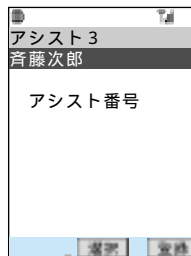
① ◎(メニュー）を押す
② ◎を押して[マイデータ]を選択し、(📖)を押す
③ ◎を押して[アシスト]を選択し、(📖)を押す

アシスト登録
アシスト1
アシスト2
アシスト3
登録

2 **(📖)を押す**

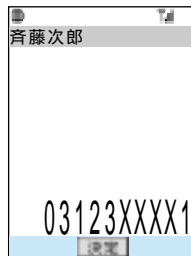
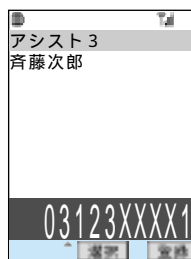
- 名称がすでに登録されているときは、その名称が表示されます。

3 **◎を押して登録先を選択し、(📖)を押す**

名称の行が反転表示されます。

- 名称を登録する必要がない場合は、操作6に進みます。

4 を押し、名称（全角最大10文字、半角最大20文字）を入力する

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

5 を押す

6 を押してアシスト番号の行を選択し、を押す

7 電話番号（最大12桁）を入力する

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

8 を押す

9 を押す

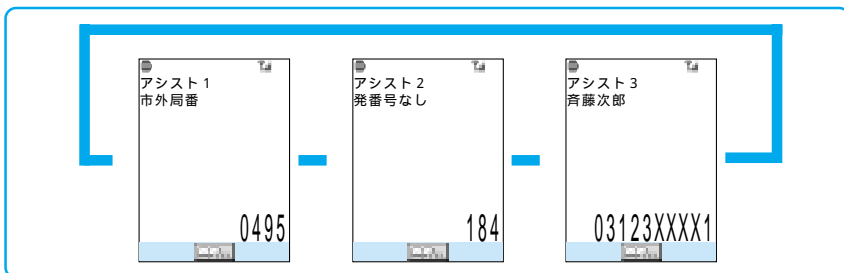
登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。

10 を押す

待受画面に戻ります。

アシストダイヤルで電話をかける

アシストダイヤルとして登録した電話番号は、ワンタッチで発信することができます。(クイックダイヤル)

1 ◎(アシスト)を繰り返し押して、呼び出したいアシストダイヤルを表示させる

2 を押す

相手につながると通話できます。

注意

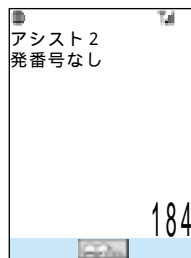
- 発信禁止(☞P151)やオフラインモード(☞P162)が設定されているときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることはできません。

局番や「184（イヤヨ）」などを電話番号の前に付けてかける

アシストダイヤルとして登録した局番などを電話番号の前に付けて、すばやく発信することができます。（セット発信）

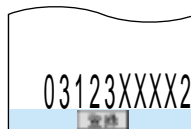
例：アシスト2に登録しておいた「発番号なし・184」と電話番号「03123XXXX2」を合わせてかける場合

1 （アシスト）を繰り返し押して、呼び出したいアシストダイヤルを表示させる

ここでは「発番号なし・184」を呼び出します。

2 電話番号を入力する

ここでは「03123XXXX2」と入力します。

補足

- セット発信でダイヤルできる電話番号は、「アシスト登録した番号」＋「入力した番号」の合計で24桁までです。
- メモリダイヤル、スピードダイヤル、リダイヤル、着信履歴からそれぞれ電話番号を呼び出すこともできます。

3 を押す

「184」＋「03123XXXX2」がダイヤルされます。相手につながると通話できます。

注意

- 発信禁止（☞P151）やオフラインモード（☞P162）が設定されているときは、警告音とメッセージでお知らせし、電話をかけることはできません。

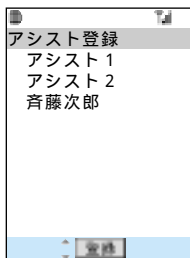
アシストダイヤルを消去する

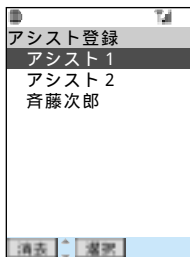
例： アシストダイヤルを1件消去する場合

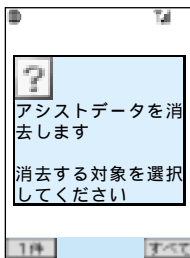
1 メニューから「アシスト登録」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

2 を押す

3 を押して消去したいアシストダイヤルを選択し、を押す

- すべて消去するときは、どのアシストダイヤルを選択しても行うことができます。

4 を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作２の画面に戻ります。

- アシストダイヤルをすべて消去するときはを押します。

5 を押す

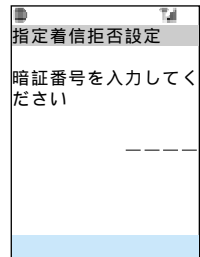
待受画面に戻ります。

電話を受けたくない相手を登録する(指定着信拒否)

指定着信拒否の設定リストに電話番号（最大20件）を登録すると、その番号からかかってきたときには自動的に電話を切り、着信履歴に記録を残します。登録する電話番号はメモリダイヤルや着信履歴などから選択するほか、直接入力することもできます。設定リストの登録や消去には、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

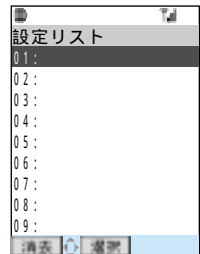
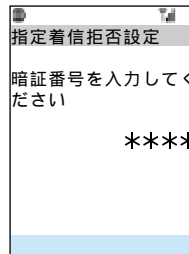
例：着信履歴から選択する場合

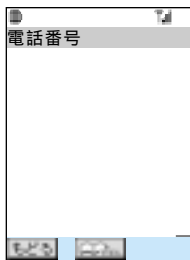
1 **を押す**

- 前回使用した機能のアイコンが自動的に選択されます。

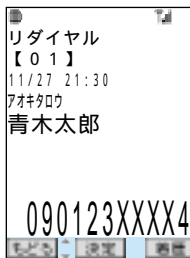
2 **を押して を選択し、を押す**

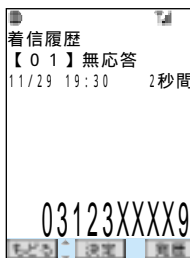
3 **操作用暗証番号（4桁）を入力する**

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

4 ○を押して登録先を選択し、📖を押す

5 クリアを押す

リダイヤルが表示されます。

- リダイヤルの電話番号を登録するときは、操作 7 に進みます。
- リダイヤルが 1 件もないときは、着信履歴が表示されます。操作 7 に進みます。
- リダイヤルも着信履歴も 1 件もないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

6 ✉を押す

着信履歴が表示されます。

7 ○で目的の電話番号を表示させ、📖を押す

操作 3 の画面に戻ります。

- 同じ電話番号がすでに登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

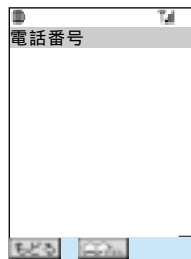
8 PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

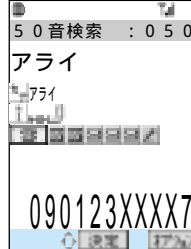
設定リストの電話番号からの着信履歴は

指定着信拒否設定の設定リストの電話番号から電話がかかってきたときには、呼び出しを行わずに自動的に電話を切ります。この場合、着信履歴には「着信拒否」と表示され、応答時間は「0 秒間」と表示されます。

メモリダイヤルの電話番号を登録する

1 **「発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する」の操作１～４（☞P115～116）を行う**

2 **(📖)を押す**

3 **メモリダイヤルを呼び出し、(◯)を押して登録する電話番号を表示する**

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）、「シークレットメモリを呼び出す」（☞P107）

4 **(📖)を押す**

「発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する」の操作３（☞P115）の画面に戻ります。

- 同じ電話番号がすでに登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

5 **(☎PWR HLD)を押す**

待受画面に戻ります。

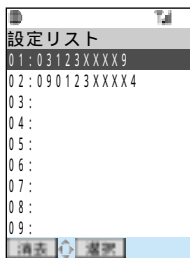
設定リストに電話番号を直接入力するには

① 「発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する」の操作１～４（☞P115～116）を行う
② 電話番号（最大24桁）を入力し、(📖)を押す
③ (☎PWR HLD)を押す

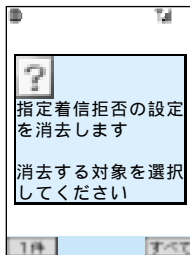
電話番号を設定リストから消去する

例：電話番号を1件消去する場合

1 **「発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する」の操作 1 ～ 3（☞P115）を行う**

（☞P115）

2 **◎を押して消去する電話番号を選択し、ʃを押す**

- すべて消去するときは設定リストのどの番号を選択していても行うことができます。

3 **ʃを押す**

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

- 設定リストの電話番号をすべて消去するときは✉を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力します。

4 **PWR HLDを押す**

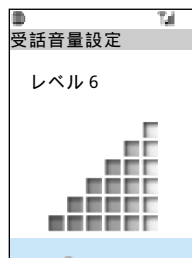
待受画面に戻ります。

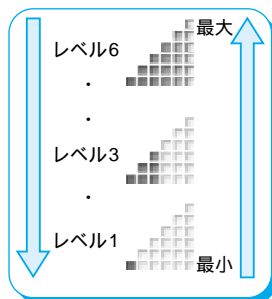
音もお好きなように（音）

相手の声の大きさを調節する(受話音量)

レシーバー（受話器）やラウドスピーカー（スピーカー）から聞こえる相手の声の大きさを 6 段階に調節することができます。通話中でも待受中でも調節できます。お買い上げ時は「レベル 6」（最大）に設定されています。

1 **◯または◯を押す**

現在の設定が表示されます。

2 **◯を押して、設定したい音量を表示させる**

- 音量を大きくするときは◯を、小さくするときは◯を押します。

3 **約 10 秒間そのままにしておくか PWR HLD を押す**

受話音量が設定され、待受画面に戻ります。

- 通話中は クリア を押して通話中画面に戻してください。PWR HLD を押すと通話が切れてしまいます。

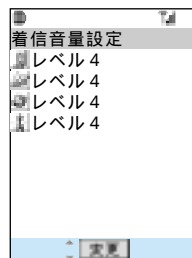
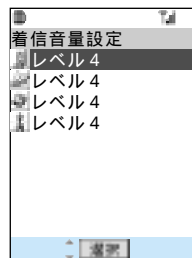
- 音声メモ／マイボイスメモの録音中および簡易留守録、音声メモ／マイボイスメモの再生中でも、◯または◯を押すと受話音量が調節できます。ただし、音量はディスプレイに表示されません。
- 受話音量を調節すると、警告音や通話中のボタン確認音の音量も変わります。
- 調節した音量は、電源を OFF にしても保持されます。
- 通話中に▲を押すと受話音量が上がり、▼を押すと受話音量が下がります。

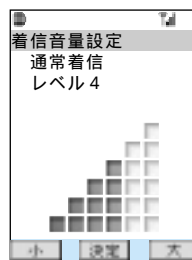
着信音の大きさを調節する（着信音量）

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに鳴らす着信音の音量をそれぞれ 6 段階に調節したり、だんだん大きくなる「ｽﾃｯﾌﾟﾄｰﾝ(ｱｯﾌﾟ)」やだんだん小さくなる「ｽﾃｯﾌﾟﾄｰﾝ(ﾀﾞｳﾝ)」に設定することができます。また、着信音を「サイレント」（無音）にすることもできます。お買い上げ時は以下のように設定されています。
（通常着信）：レベル 4　（メール着信）：レベル 4
（ウェブ着信）：レベル 4　（ステーション着信）：レベル 4

1　メニューから「着信音量設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① （メニュー） を押す
② を選択し、を押す
③ を選択し、を押す
④「着信音量設定」を選択し、を押す

2　を押す

3　を押して着信の種類を選択し、を押す

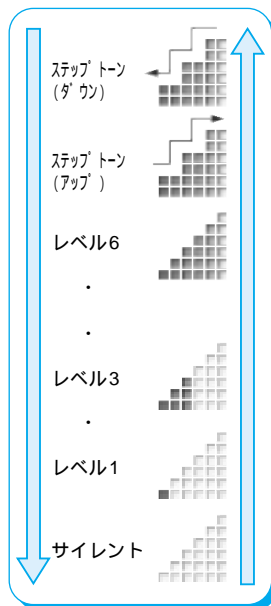
6
音もお好きなように（音）

4 またはを押して、設定したい音量を表示させる

選択中は「サイレント」を表示させせたときを除き、またはを押すごとに表示された音量で着信音パターン（☞P123）が鳴ります。

- マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定（☞P236）で設定された着信音量で鳴ります。

5 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

6 を押す

待受画面に戻ります。

- 「サイレント」に設定すると、着信ランプとメインディスプレイとイメージウィンドウの表示でお知らせします。また、通常着信の音量を「サイレント」にするとメインディスプレイには「S」、イメージウィンドウには「S」が表示され、ウェイクアップ音やシャットダウン音も鳴りません。
- 「ステップトーン（アップ）」に設定すると、約 3 秒ごとに「サイレント」、「レベル 1」〜「レベル 6」の順で 1 段階ずつ音量が大きくなります。
- 「ステップトーン（ダウン）」に設定すると、約 3 秒ごとに「レベル 6」〜「レベル 1」、「サイレント」の順で 1 段階ずつ音量が小さくなります。
- バイブレータ（☞P128）が設定されているときは、着信音とともに本体が振動します。
- マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定（☞P236）で設定された着信音量で鳴ります。
- J - スカイの ON ／ OFF 設定（☞J - スカイ編）でメール サービス、ウェブ サービス、ステーション サービスの設定を OFF にしているときは、各着信音量の調節をすることはできません。警告音とメッセージでお知らせします。
- メール サービス、ウェブ サービス、ステーション サービスの各機能でサウンドファイルなどを演奏するときの音量は、各サービスの着信音の音量設定にしたがいます。ただし、着信音量を「ステップトーン（アップ）」「ステップトーン（ダウン）」に設定しているときは、最小の音量（レベル 1）で演奏されます。
- イヤホンマイク（別売）を接続したときは、イヤホンとスピーカーの両方から着信音が鳴ります。着信音量が「サイレント」に設定されているときや、マナーモード設定中でマナーモード設定（☞P236）の着信音量が「サイレント」に設定されている場合には、最小の音量（レベル 1）でイヤホンから着信音が鳴ります。

着信音のパターンを変更する(着信音パターン)

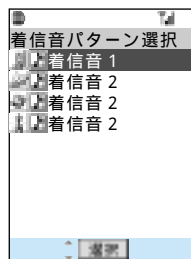
電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに鳴らす音を、それぞれ20種類の着信音やデータフォルダに登録されているメロディ(ご自分で作ったメロディ、スカイメロディなど)の中から選択することができます。音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。お買い上げ時は以下のように設定されています。

(通常着信):着信音１　(メール着信):着信音２
(ウェブ着信):着信音２　(ステーション着信):着信音２

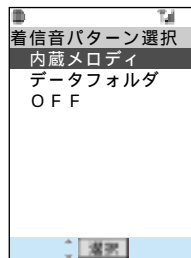
例:データフォルダのメロディを着信音パターンに設定する場合

1 メニューから「着信音パターン選択」を呼び出す

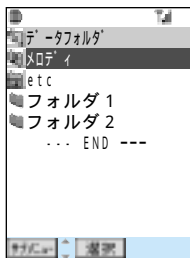
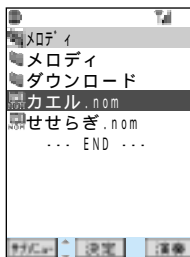
現在の設定が表示されます。

① ◎(メニュー) を押す
② を選択し、[決定]を押す
③ を選択し、[決定]を押す
④ ◎を押して「着信音パターン選択」を選択し、[決定]を押す

着信音パターン選択
着信音１
着信音２
着信音２
着信音２
変更

2 [決定]を押す

3 ◎を押して着信音の種類を選択し、[決定]を押す

4 ◎を押して「データフォルダ」を選択し、📖を押す

データフォルダが表示されます。

- J-N51にあらかじめ用意されている固定メロディを設定するときは「内蔵メロディ」を選択して📖を押し、お好みの着信音パターンを選択します。続いて操作6に進みます。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「データフォルダ」を選択して📖を押したときは、警告音とメッセージでお知らせし、データフォルダを表示できません。

5 目的のフォルダから目的のファイルを選択する

6 📖を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

- ✍を押してメロディを再生し、再生中に📖を押すこともできます。再生音量は通常着信の設定（☞P121）にしたがいます。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P236）の通常着信の音量にしたがいます。

7 PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

- メモリダイヤルでマイコール着信音（☞P89）を設定している場合は、その設定が優先されます。

- J-スカイのON／OFF設定（☞『J-スカイ編』）でメール サービス、ウェブ サービス、ステーション サービスの設定をOFFにしているときは、着信パターンを設定することはできません。警告音とメッセージでお知らせします。
- 「OFF」を選択すると、着信時に着信音は鳴らず、メインディスプレイとイメージウィンドウの表示だけでお知らせします。
- ウェブなどから入手したサウンドファイルなどの中には、選択しても 決定 や 演奏 が表示されないものがあります。これらのファイルは、メディアポッド（☞P368）で演奏することができます。

用意されている内蔵メロディ

J-N51にはあらかじめ20曲のメロディが用意されています。操作4で「内蔵メロディ」を選択すると以下の曲が番号順に表示され、着信パターンに設定することができます。

	曲　名	備　考
1	着信音1	—
2	着信音2	—
3	Behind The Mask	作詞：Chris Mosdell 作曲：坂本　龍一
4	Take On Me	作詞：Mags Furuholmen, Pal Waaktaar, Morten Harket 作曲：Mags Furuholmen, Pal Waaktaar
5	Sir Duke	作詞・作曲：Stevie Wonder
6	行進曲	作曲：Peter Tchaikovsky
7	こんぺい糖の踊り	作曲：Peter Tchaikovsky
8	ロシアの踊り	作曲：Peter Tchaikovsky
9	アラベスク	作曲：Claude Achille Debussy
10	重量級	—
11	ハートワッフル	—
12	Monster Attack 3	—
13	Urban Calypso	—
14	Road To West	—
15	Get The Phone	効果音
16	卓球	効果音
17	預言者	効果音
18	You've got mail	効果音
19	Breeze	効果音
20	Sticks	効果音

JASRAC 許諾番号：T-02B0045

着信音を鳴らす時間を設定する(着信時間設定)

メールやウェブ、ステーションのメッセージを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定することができます。お買い上げ時は(メール)、(ウェブ)、(ステーション)のすべてが「5 秒」に設定されています。

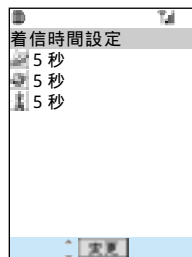
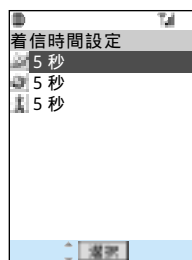
1 メニューから「着信時間設定」を呼び出す

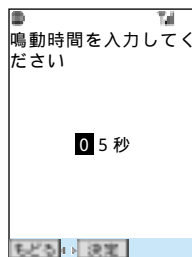
現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を選択し、を押す

③ を選択し、を押す

④ を押して「着信時間設定」を選択し、を押す

2 を押す

3 を押して着信の種類を選択し、を押す

- J - スカイの ON ／ OFF 設定（☞J - スカイ編）でメール サービス、ウェブ サービス、ステーション サービスの設定をOFFにしているときは、警告音とメッセージでお知らせし、着信時間を設定することはできません。

4 ～を押して時間を入力し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 2 の画面に戻ります。

- 着信時間は01～60秒のあいだで設定できます。範囲外の秒数を入力してを押すと警告音が鳴り、操作 3 の画面に戻ります。

6

音もお好きなように（音）

5 PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

着信を振動で知らせる(バイブレータ)

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに、本体の振動でお知らせするようにするには、バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定します。お買い上げ時は以下のように設定されています。
(通常着信):「OFF」 (メール着信):「OFF」
(ウェブ着信):「OFF」 (ステーション着信):「OFF」

例:「ON」に設定する場合

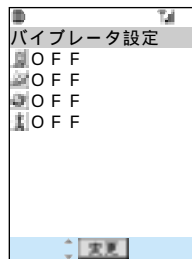
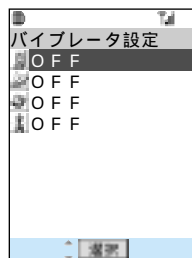
1 メニューから「バイブレータ設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を選択し、を押す

③ を選択し、を押す

④ を押して「バイブレータ設定」を選択し、を押す

2 を押す

3 を押して着信の種類を選択し、を押す

- J-スカイON/OFF設定(☞『J-スカイ編』)でメール サービス、ウェブ サービス、ステーション サービスの設定をOFFにしているときは、警告音とメッセージでお知らせし、OFFに設定されている機能のバイブレータは設定変更できません。

4 ◎を押して「ON」を選択し、📖を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
操作 2 の画面に戻ります。

- 「SMAF連動」を設定すると、バイブレータが設定されているSMAFファイルを着信パターンに設定した場合に、メロディに合わせてバイブレータが振動します。それ以外の着信音パターンの場合には、固定パターンで振動します。

5 ☎PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

- バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定していると、着信時などの振動でJ-N51が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちる場合があるので注意してください。
- 充電中は、バイブレータは振動しません。ただし、Java™の動作中にバイブレータが振動する場合があります。Java™の動作中のバイブレータを振動させないためには、「Java™アプリ動作中のバイブレータの動作方法を設定する」（☞『J - スカイ編』）の操作を行ってください。
- 通話中に電話がかかってきた場合（割込通話）は、バイブレータは振動しません。

- 通常着信のバイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定するとメインディスプレイには「V」、イメージウィンドウには「V」が表示されます。
- マナーモード設定中は、本機能でのバイブレータの設定よりマナーモードの設定（☞P236）のほうが優先されます。

ボタン操作や電源ON／OFFしたときの音を変更する（効果音設定）

電源をONにしたとき（ウェイクアップ音）と電源をOFFにしたとき（シャットダウン音）の操作音や〔0〕〜〔9〕／〔*〕／〔#〕を押したときに鳴るボタン確認音を、着信音パターン（☞P123）と同様に内蔵メロディやデータフォルダ内のメロディの中からも選択することができます。音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。お買い上げ時は以下のように設定されています。
ウェイクアップ音：オリジナル　シャットダウン音：オリジナル
ボタン確認音：オリジナル

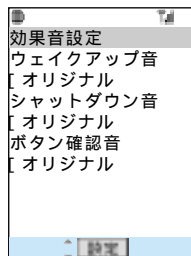
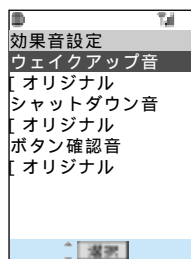
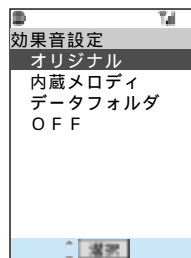
例：「内蔵メロディ」を効果音に設定する場合

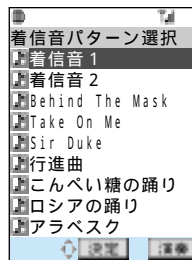
1　メニューから「効果音設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。
① 〔◯〕（メニュー）を押す
② 〔アイコン〕を選択し、〔決定〕を押す
③ 〔アイコン〕を選択し、〔決定〕を押す
④ 〔◯〕を押して「効果音設定」を選択し、〔決定〕を押す

効果音設定
ウェイクアップ音
［オリジナル　］
シャットダウン音
［オリジナル　］
ボタン確認音
［オリジナル　］

2　〔決定〕を押す

効果音設定
ウェイクアップ音
［オリジナル　］
シャットダウン音
［オリジナル　］
ボタン確認音
［オリジナル　］

3　〔◯〕を押して効果音の種類を選択し、〔決定〕を押す

4 **を押して「内蔵メロディ」を選択し、を押す**

- データフォルダに登録されているメロディを設定するときは、「データフォルダ」を選択します。「着信音のパターンを変更する」の操作５～７（☞P124）を行ってください。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「データフォルダ」を選択してを押したときは、警告音とメッセージでお知らせし、データフォルダを表示できません。
- 初期設定のオリジナルに戻すときは「オリジナル」を選択します。を押して操作７に進みます。

5 **を押してお好みのパターンを選択する**

6 **を押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作２の画面に戻ります。

- を押してメロディを再生し、再生中にを押すこともできます。再生音量は通常着信の設定（☞P121）にしたがいます。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル１）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P236）の通常着信の音量にしたがいます。

7 **を押す**

待受画面に戻ります。

- 通話中はを繰り返し押して通話中画面に戻してください。を押すと通話が切れてしまいます。

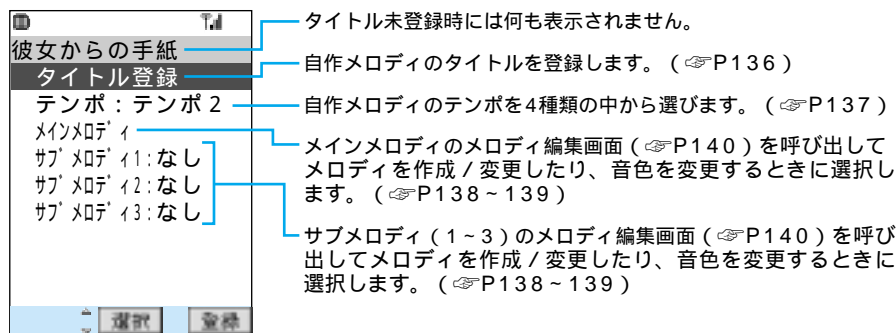
- ボタン確認音を「OFF」に設定すると、警告音も鳴らなくなります。

- 選択したパターンによって、シャットダウン音は２秒、ボタン確認音は１秒の長さまで鳴ります。また、ウェイクアップ音は「オリジナル」に設定したときを除いてウェイクアップ設定（☞P174）で設定した表示時間に合わせて鳴ります。
- ウェブなどから入手したサウンドファイルなどの中には、選択しても 決定 や 演奏 が表示されないものがあります。これらのファイルは、メディアポッド（☞P368）で演奏することができます。

オリジナルのメロディを作る（メロディ作成）

新しくメロディを作成したり、データフォルダに登録されているメロディを編集したりして、ご自分だけのオリジナルのメロディを作ることができます。1曲につき4パート、1つのパートに最大354音のメロディが登録できます。テンポや音色を変えることもできます。作成できるメロディの曲数はデータフォルダのファイルの登録状況により変わります。（☞P294）
メロディの作成や編集を行うには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

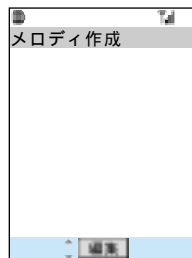
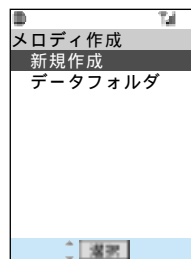
自作メロディの登録画面では以下の項目が設定できます。

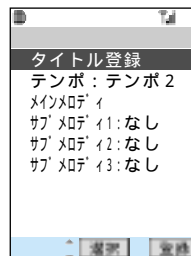
〈自作メロディの登録画面と設定する項目の例〉

メロディを作成する

新規にオリジナルのメロディを作成します。

1 メニューから「メロディ作成」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す
② ◯を押して［アイコン］を選択し、◯を押す
③ ◯を押して［アイコン］を選択し、◯を押す

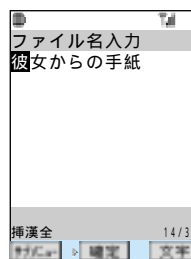
2 を押す

「新規作成」が反転表示されます。

3 を押す

自作メロディの登録画面が表示されます。

4 登録したい項目を設定する

タイトルを登録したいとき	「タイトルを登録する」（☞P136）
テンポを変えたいとき	「テンポを変える」（☞P137）
メロディを登録したいとき	「メロディを登録する」（☞P138）
音色を変えたいとき	「音色を変える」（☞P139）

5 を押す

登録されているタイトルが表示されます。

- タイトル、およびメインメロディが登録されていないときは、警告音とメッセージでお知らせし、登録することはできません。

6 必要に応じてファイル名（全角最大１７文字、半角最大３５文字）を入力し、を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作２の画面に戻ります。

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; ＊ ? "〈 〉 | .」は使用できません。

7 **を押す**

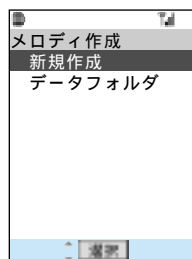
待受画面に戻ります。

補足
- 新規登録で作成したメロディは、自動的にデータフォルダのメロディフォルダ内に登録されます。
- 登録したメロディを消去するときは、データフォルダのメロディフォルダからファイルを消去（☞P328）します。

メロディを編集する

編集したいメロディをデータフォルダから呼び出して、各項目を設定します。

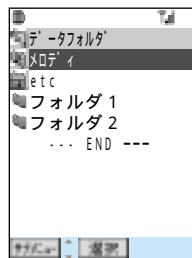
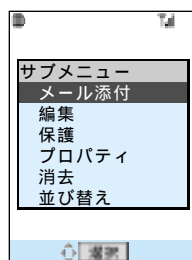
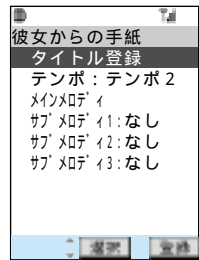
例：既存のメロディを編集して上書き登録する場合

1 「メロディを作成する」の操作1～2（☞P132～133）を行う

2 ◎を押して「データフォルダ」を選択し、📖を押す

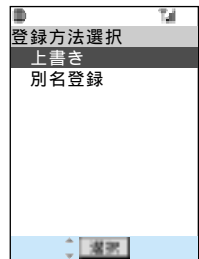
データフォルダが表示されます。

3 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、ʃを押す

サブメニューが表示されます。

6
音もお好きなように（音）

4 ◎を押して「編集」を選択し、📖を押す

5 変更したい項目を設定する

タイトルを変更したいとき	「タイトルを登録する」（☞P136）
テンポを変えたいとき	「テンポを変える」（☞P137）
メロディを変更したいとき	「メロディを登録する」（☞P138）
音色を変えたいとき	「音色を変える」（☞P139）

6 を押す

7 ◎を押して「上書き」を選択し、📖を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作１の画面に戻ります。

補足

- 編集した元のメロディファイルに編集内容を上書き登録するときは「上書き」を、編集した元のメロディファイルとは別に新しいメロディファイルとして登録するときは「別名登録」を選択します。
- 「別名登録」を選択して📖を押すと、「メロディを作成する」の操作５（☞P133）のようにファイル名入力画面が表示されます。必要に応じてファイル名を入力します。
- ファイル名を変更せずに保存した場合、または保存先にすでに同じ名前のファイルがある場合には、ファイルの名前にチルダと２桁の数字または英字が自動的に付加されます。（例：「music1.nom」→「music1~00.nom 」）
- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

8 ☎PWR HLDを押す

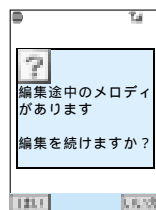
待受画面に戻ります。

- SMD ファイルを編集して登録すると、自作メロディファイルとなります。
- 着信音や効果音などに設定されているSMDファイルを上書き登録して自作メロディにしたときには、そのファイルを設定していた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

- ウェブやステーションから入手したメロディやメールに添付されていたメロディも、自作メロディ同様に編集することができます。ただし、SMAF ファイルは編集できません。転送可の SMD ファイルは音色とタイトルのみ編集できます。転送不可の SMD ファイルは音色のみ編集することができます。また、保護されているメロディは、種類を問わず編集できません。
  - ・自作メロディファイルの拡張子　.nom
  - ・SMD ファイルの拡張子　.smd、.smz、.smx
  - ・SMAF ファイルの拡張子　.mmf

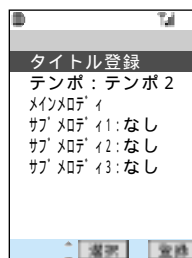
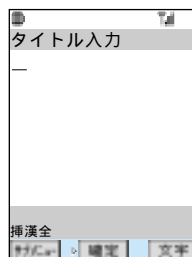
編集を中断したメロディがあるときは

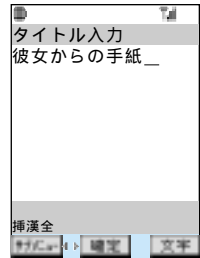
メロディの編集中に電話がかかってきたときなど編集が中断されたときの楽譜データは、一時的に保護されます。編集を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は(ʃ)を押します。
- 保護されている楽譜データを消去して、新たに編集する場合は(✍)を押します。

- 電源を OFF にしたときは保護された楽譜データは消去されます。

タイトルを登録する

お好みのタイトルが登録できます。

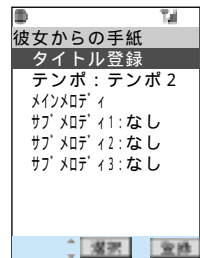
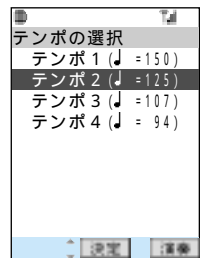
1 **「メロディを作成する」の操作1～3（☞P132～133）または「メロディを編集する」の操作1～4（☞P134～135）を行う**

2 **(◎)を押して「タイトル登録」を選択し、(📖)を押す**

3 タイトル（全角最大 12 文字、半角最大 24 文字）を入力する

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。
- 全く文字が入力されない状態で操作 4 へ進むことはできません。

4 📖を押す

操作 1 の画面に戻ります。

テンポを変える

4 種類のテンポの中から選択することができます。

1 「メロディを作成する」の操作1～3（☞P132～133）または「メロディを編集する」の操作1～4（☞P134～135）を行う

2 ◎を押して「テンポ」を選択し、📖を押す

3 ◎を押してお好みのテンポを選択し、📖を押す

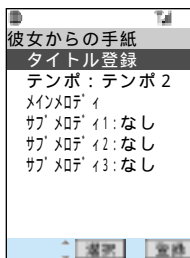
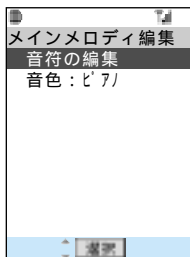
操作 1 の画面に戻ります。

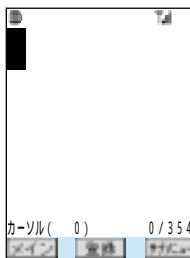
- ✍を押してメロディを再生し、再生中に📖を押すこともできます。再生中に◎を押して別のテンポを選択すると、選択したテンポでメロディがはじめから再生されます。再生を停止するときは✍を押します。ただし、メインメロディまたはサブメロディが登録されていないときは、[演奏]が表示されず再生が行えません。

メロディを登録する

メインメロディやサブメロディ（1 ～ 3）にお好みのメロディを登録できます。

例：メインメロディを登録する場合

1 「メロディを作成する」の操作1～3（☞P132～133）または「メロディを編集する」の操作1～4（☞P134～135）を行う

2 を押して「メインメロディ」を選択し、を押す

- サブメロディ（1～3）を登録する場合は、「サブメロディ1」～「サブメロディ3」を選択し、を押します。

3 「音符の編集」を選択し、を押す

4 楽譜データ（最大 354 音）を入力する

- 「メロディの作り方」（☞P140）
- 楽譜データを新たに作り直すときは、登録されているデータを消去してから入力します。「楽譜データの消去」（☞P144）

5 を押す

操作 2 の画面に戻ります。
メロディの登録画面に戻るにはを押します。

音色を変える

メインメロディやサブメロディ（1～3）の音色は16ジャンル128種類の中から選択して、お好みの音色に変えることができます。

例：メインメロディの音色を変える場合

1 「メロディを作成する」の操作1～3（☞P132～133）または「メロディを編集する」の操作1～4（☞P134～135）を行う

2 ◯を押して「メインメロディ」を選択し、📖を押す

- サブメロディ（1～3）の音色を変える場合は、「サブメロディ1」～「サブメロディ3」を選択し、📖を押します。
- スカイメロディの音色を変えるときは「音符の編集」は表示されません。

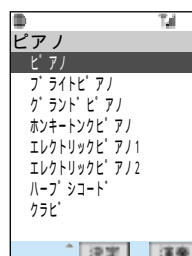
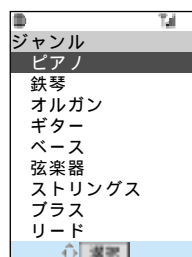
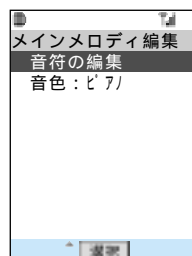
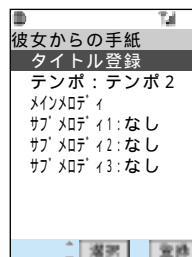
3 ◯を押して「音色」を選択し、📖を押す

4 ◯を押してジャンルを選択し、📖を押す

- 「メロディ作成／編集で設定できる音色一覧」（☞P411）

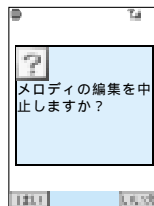
5 ◯を押してお好みの音色を選択し、📖を押す

操作2の画面に戻ります。
メロディの登録画面に戻るには（クリア）を押します。

- メロディが登録されているときには（✍）を押してメロディを再生し、再生中に📖を押すこともできます。

- 実際の楽器の音色とは異なる場合があります。
- 音色によっては、メロディの音階が聞きとりにくいものがあります。
- 音色によって再生できる音域が異なります。メロディに再生できない音域の音が含まれている場合、その音は自動的に代わりの音色で演奏されます。

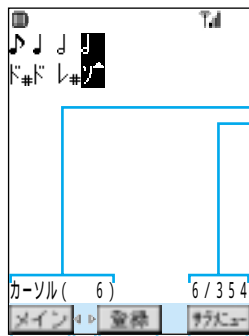
メロディの編集を中断するときは

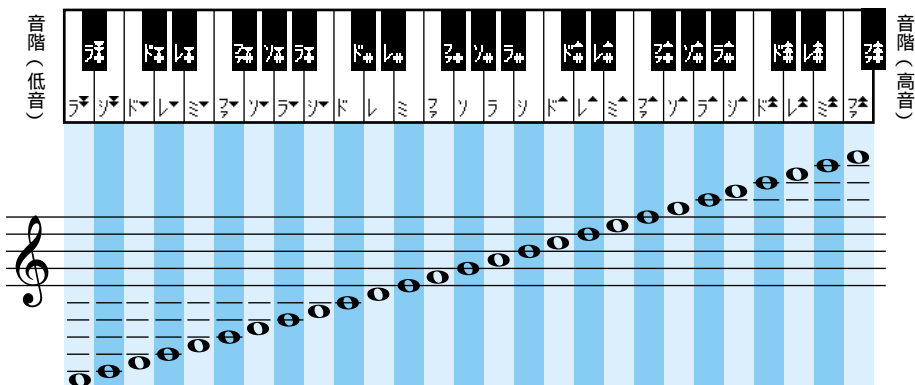
楽譜データの入力中やタイトル、音色の編集中に（PWR HLD）を押すか、自作メロディの登録画面（☞P132）で（PWR HLD）または（クリア）を押すと、右のような画面が表示されます。

- 保護されている楽譜データを破棄して編集を中止する場合は（ʃ）を押します。
- 編集を続ける場合は（✉）を押します。

- メロディの編集中に電話がかかってきたときは、自動的に編集を中断し、着信中の画面に切り替わります。
- 編集を再開するときは：「編集を中断したメロディがあるときは」（☞P136）

メロディの作りかた

楽譜データの入力は、メロディ編集画面で行います。
メロディ編集画面には、以下のようなものが表示されています。

〈メロディ編集画面と表示内容の例〉

入力できる音域と使用する各ボタンの割り当ては以下のとおりです。

●入力できる音域（約 4 オクターブ）

●入力できる音階と入力に使用するボタン

ボタン ＼ 押す回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回
1 あ @	ド	ド#	ド▲	ド#▲	ド▲▲	ド#▲▲	ド▼	ド#▼
2 か ABC	レ	レ#	レ▲	レ#▲	レ▲▲	レ#▲▲	レ▼	レ#▼
3 さ DEF	ミ	ミ▲	ミ▲▲	ミ▼	―――	―――	―――	―――
4 た GHI	ファ	ファ#	ファ▲	ファ#▲	ファ▲▲	ファ#▲▲	ファ▼	ファ#▼
5 な JKL	ソ	ソ#	ソ▲	ソ#▲	ソ▼	ソ#▼	―――	―――
6 は MNO	ラ	ラ#	ラ▲	ラ#▲	ラ▼▼	ラ#▼▼	ラ▼	ラ#▼
7 ま PQRS	シ	シ▲	シ▼▼	シ▼	―――	―――	―――	―――

●入力できる音符／休符と入力に使用するボタン

ボタン ＼ 押す回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
8 や TUV	付点 2 分休符	付点 4 分休符	付点 8 分休符	3 連 2 分休符	3 連 4 分休符	3 連 8 分休符
9 ら WXYZ	付点 2 分音符	付点 4 分音符	付点 8 分音符	3 連 2 分音符	3 連 4 分音符	3 連 8 分音符
0 わを ん―	全休符	2 分休符	4 分休符	8 分休符	16 分休符	―――
＊ ﾞﾟ	タイ	タイの解除	―――	―――	―――	―――
# 記号	全音符	2 分音符	4 分音符	8 分音符	16 分音符	―――

楽譜データの入力方法

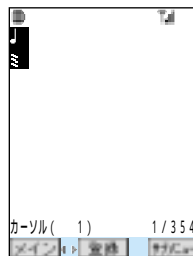
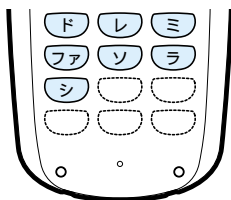
音の高さを表す音階（ド〜シ）と音の長さを表す音符の種類を指定して、1音ずつ入力します。同じ音階の音をなめらかにつなぐタイを付けることもできます。
音を空けたいところには休符を入力します。これらを組み合わせてメロディを作ります。

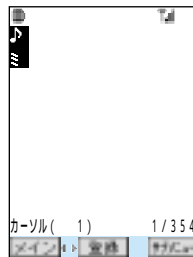
すべての楽譜データを消去してから作り直すときは

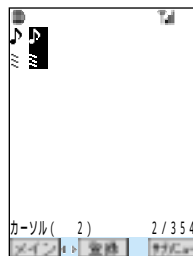
サブメニューから「編集データクリア」を選択します（☞P144）。表示されているパートに入力されているすべての楽譜データが一度に消去されます。

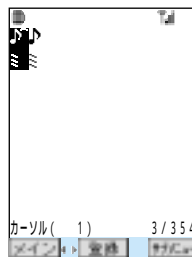
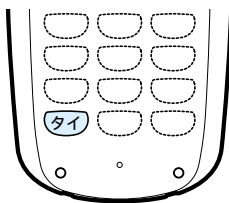
■ 音階・音符の入力

1 音階が割り当てられたボタン（1 あ @〜7 ま PQRS）を繰り返し押して、入力したい音階を表示させる

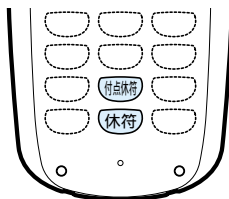
カーソル上に音階と「♩」（4 分音符）が挿入されます。

2 音符が割り当てられたボタン（9 ら WXYZ、# 記号）を繰り返し押して、音符の種類を指定する

上段カーソル上の音符が上書きされます。

3 次の音階を入力する

続けて同じボタンの音階を入力するときは、◎を押してカーソルを右に移動させます。違うボタンの音階のときは、次の音階のボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。

■ タイの付加／解除

1 **を押してタイを付加／解除したい音の上にカーソルを移動させ、＊を押す**

■ 休符の入力

1 **休符が割り当てられたボタン（8、0）を繰り返し押して、入力したい休符を表示させる**

カーソル上に休符が挿入されます。

- タイは次の音が同じ音階の音（3連符を除く）のときのみ有効です。タイを付ける音の次に有効な音がない場合は、警告音でお知らせし、付加することができません。また、後ろに音を挿入したり、後ろの音を消去したときは自動的に解除されます。

- メロディ編集中は、ボタン入力した音階が鳴ります。
- 入力可能な楽譜データ量を超えたときは、警告音でお知らせし、それ以上、楽譜データを入力することができません。
- カーソルが1音目にあるときにを押すと入力した楽譜データの末尾にカーソルを移動させることができます。

編集するメロディを切り替えるには

メロディ編集画面が表示されているときにを押すと、1回押すごとに編集するメロディをメインメロディ、サブメロディ1～3の順に切り替えることができます。を押す前にメロディ編集を行っていた内容は、一時的に保護されます。

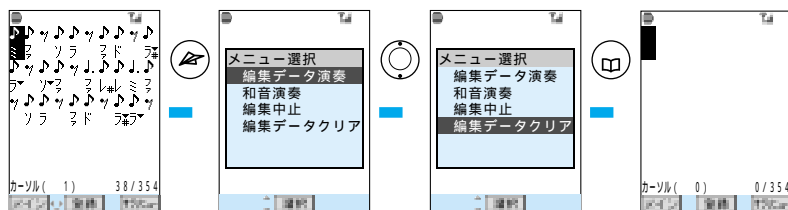
楽譜データの編集方法（クリアボタン／サブメニューの使いかた）

楽譜データの消去や修正は、クリアを使って行います。また、長い楽譜データを編集するときは、サブメニューを表示させ、メニュー項目を利用すると便利です。

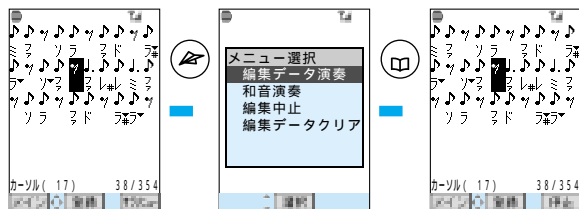
■ 楽譜データの修正

間違えた楽譜データを修正するときは、◎を押してカーソルを修正したい音（音階、音符、記号、休符）の上に移動します。クリアを押すと、カーソル位置の音が消去され、カーソルから右側の音が左へ詰まっていきます。音階や休符、記号などを入力するとカーソル位置に挿入されていきます。

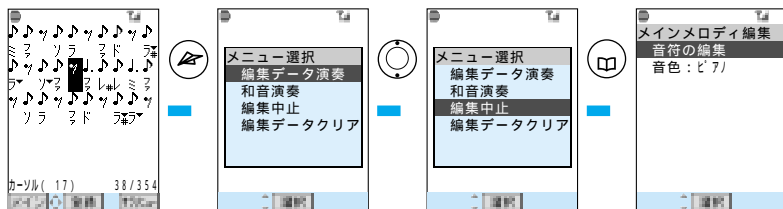
■ 楽譜データの消去

編集中の楽譜データをすべて消去するときは、サブメニューから「編集データクリア」を選択します。

■ 楽譜データの演奏

サブメニューから「編集データ演奏」または「和音演奏」を選択します。先頭からカーソル位置までの楽譜データが1回演奏されます。「和音演奏」を選択したときは、和音で演奏されます。

例：編集中のメロディの楽譜データだけを演奏させる場合

- 演奏を中止するときは、✍を押します。
- 音量は通常着信の設定（☞P121）にしたがいます。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P236）の通常着信の音量にしたがいます。

■ 楽譜データの入力中止

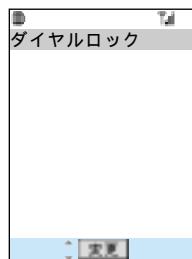
楽譜データの入力を中止するときは、サブメニューから「編集中止」を選択します。編集した内容は破棄され、編集前の楽譜データのまま、メロディ編集前の画面に戻ります。

管理したいときは（セキュリティ）

無断で使われたくないとき(ダイヤルロック)

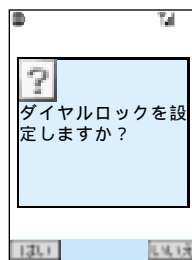
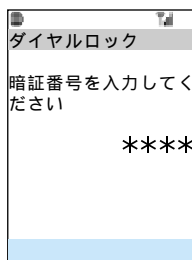
他の人に使われたくないときには、ダイヤルロックを設定します。ダイヤルロックが設定されていると、電話を受けることはできますが、各種機能操作や電話をかけることはできません。ダイヤルロックを設定／解除するには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

ダイヤルロックを設定する

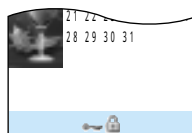
1 メニューから「ダイヤルロック」を呼び出す

① ◎(メニュー）を押す
② を選択し、(📖)を押す
③ ◎を押して を選択し、(📖)を押す
④ ◎を押して「ダイヤルロック」を選択し、(📖)を押す

2 (📖)を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

・操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 (♪)を押す

ダイヤルロックが設定され、待受画面に戻ります。ダイヤルロックの設定中はメインディスプレイに「🔑🔒」が表示されます。

・ダイヤルロックを中止するときは(✎)を押します。

ダイヤルロックが設定されているときにできる操作は

ダイヤルロックが設定されているときでも、電源のON／OFF（☞P26）や、緊急ダイヤル（110、119)、海上保安庁への緊急通報（118）へは電話をかけることができます。

着信中に行えるのは以下の操作です。

- 電話を受ける（☞P34）
- 応答保留（☞P36）
- 簡易留守録応答（☞P37）
- 着信留守電転送（☞P38）
- 着信拒否（☞P39）
- マナーモードの設定（☞P235）

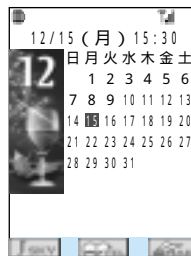
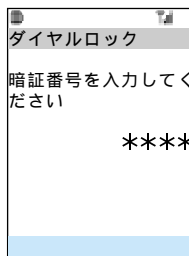
通話中に行えるのは以下の操作です。

- 受話音量の調節（☞P120）
- 割込通話サービスを受ける（☞P389）

ダイヤルロックを解除する

1 **操作用暗証番号（4桁）を入力する**

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、もう一度入力し直してください。

- ダイヤルロックは電源を切っても解除されません。

電源をONにするたびにダイヤルロックをかける(オートロック)

電源をONにしたときに、自動的にダイヤルロックが設定されるようにすることができます。他の人に無断で操作されたくない場合にはオートロックを設定してください。オートロックを設定／解除するには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。お買い上げ時は「しない」に設定されています。

例：「する」に設定する場合

1 メニューから「オートロック」を呼び出す

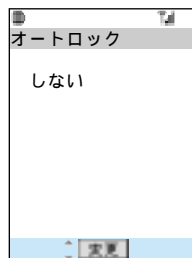
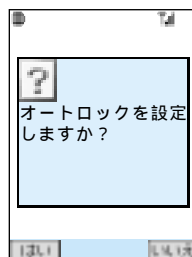
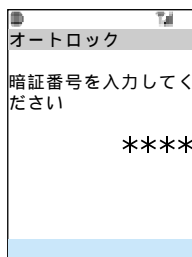
現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④ を押して「オートロック」を選択し、を押す

2 を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「＊」で表示されます。

補足
- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

補足
- 「しない」に設定するときはを押します。

4 を押す

待受画面に戻ります。

電源を ON にすると

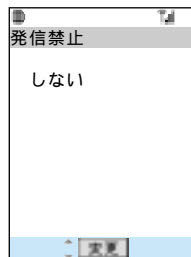
（ダイヤルロック）が表示され、ダイヤルロックがかかります。一時的に解除するときは、「ダイヤルロックを解除する」（☞P149）の操作を行います。
一時的に解除しても、オートロックを解除するまでは、電源をOFF／ONするたびにダイヤルロックがかかります。

電話がかけられないようにする（発信禁止）

発信禁止を設定すると、電話がかけられなくなります。また、メールの送信、ウェブへのアクセスもできなくなります。発信禁止を設定／解除するには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。お買い上げ時は「しない」に設定されています。

例：「する」に設定する場合

1 メニューから「発信禁止」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◯（メニュー）を押す

② を選択し、📖を押す

③ ◯を押して 　 を選択し、📖を押す

④ ◯を押して「発信禁止」を選択し、📖を押す

2 📖を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

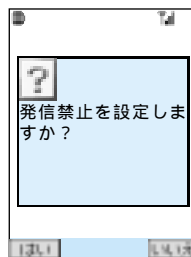
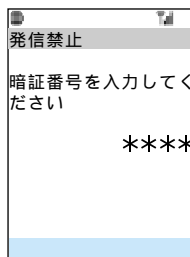
入力した番号は「*」で表示されます。

補足

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

補足

- 「しない」に設定するときは✍を押します。

4 ☎PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

発信禁止が設定されているときでもかけられる電話は

発信禁止が設定されているときでも、緊急ダイヤル（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）へは電話をかけることができます。

番号通知のない着信を拒否する（非通知着信拒否）

電話をかけてきた相手が電話番号を通知してこなかったときに、電話を受けずにアナウンスで自動応答するように設定できます。非通知の理由には以下の２種類があります。非通知着信拒否の設定には、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。お買い上げ時は、すべて「許可」に設定されています。

〈かけてきた相手の意思により、発信者番号を通知してこない場合〉

※

※

※内容表示設定の（通常着信）を「ON」に設定している場合（☞P189）。お買い上げ時は、「OFF」に設定されており、「着信中」と表示されます。

例：「拒否」に設定する場合

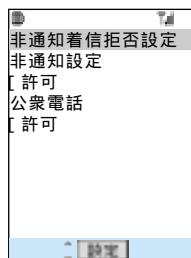
1 メニューから「非通知着信拒否設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

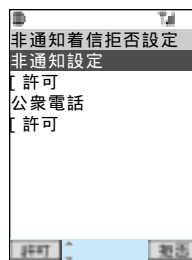
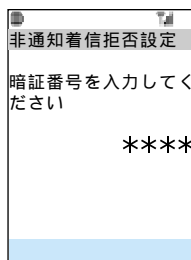
① （メニュー）を押す

② を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

④ を押して「非通知着信拒否設定」を選択し、を押す

2 を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 を押して設定したい非通知理由を選択し、を押す

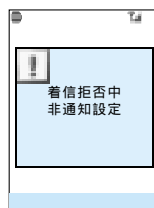
設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 2 の画面に戻ります。

- 「許可」に設定するときはを押します。

4 を押す

待受画面に戻ります。

拒否を設定している相手から電話がかかってくると

呼び出さず自動的に応答し、相手には「発信者番号が確認できないため、お取り次ぎできません。発信者番号を通知しておかけ直しください」というアナウンスが流れます。このとき右のような画面が表示されます。アナウンスが終わると、自動的に電話が切れます。
着信拒否した場合も、着信履歴（☞P40）には記録されます。

メモリダイヤルの登録内容をすべて消去する(メモリオールクリア)

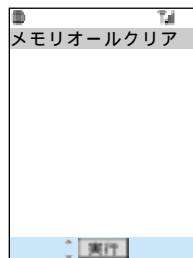
登録してあるメモリダイヤル（シークレットメモリを含む）をすべて消去します。メモリオールクリアを行うには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

1 メニューから「メモリオールクリア」を呼び出す

① ○（メニュー）を押す

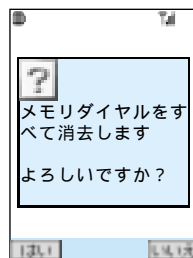
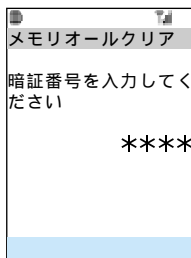
② を選択し、(📖)を押す

③ ○を押して 画像 を選択し、(📖)を押す

④ ○を押して「メモリオールクリア」を選択し、(📖)を押す

2 (📖)を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

補足
- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 (ʃ)を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

補足
- メモリオールクリアを中止するときは(✍)を押します。

4 (☎PWR HLD)を押す

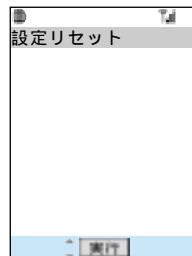
待受画面に戻ります。

7 管理したいときは（セキュリティ）

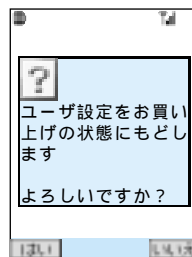
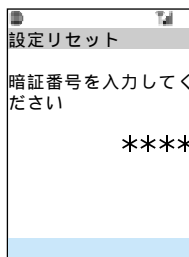
各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す(設定リセット)

各機能の設定を初期状態に戻すことができます。設定リセットを行うには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。設定リセットの実行後も日付・時刻やメモリダイヤルなど、一部の設定や登録内容は保存されています。（☞P157～160）

1 メニューから「設定リセット」を呼び出す

① ◯(メニュー）を押す
② を選択し、📖を押す
③ ◯を押して を選択し、📖を押す
④「設定リセット」を選択し、📖を押す

2 📖を押し、操作用暗証番号（4桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 ♪を押す

リセットの完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

- 設定リセットを中止するときは✍を押します。

4 ☎PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

7 管理したいときは（セキュリティ）

各機能の設定や登録内容をすべてお買い上げ時の状態に戻す(オールリセット)

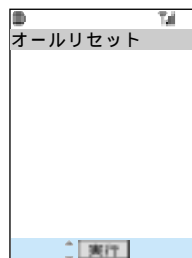
操作用暗証番号を除くすべての設定や登録内容を、お買い上げ時の初期状態に戻すことができます。オールリセットを行うには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

1 メニューから「オールリセット」を呼び出す

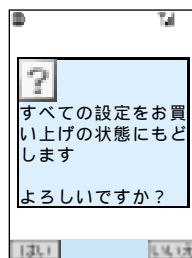
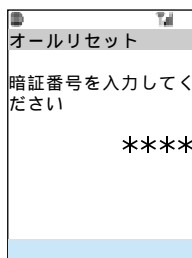
① ◎（メニュー）を押す

② を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

④ を押して「オールリセット」を選択し、を押す

2 を押し、操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- 一時停止中のJava™アプリがあるときは、警告音とメッセージでお知らせします。一時停止中のJava™アプリを終了させてから再度操作してください。（☞『J - スカイ編』）

3 を押す

処理中の画面が表示されたあと、リセットの完了をお知らせするメッセージが表示され、操作 1 の画面に戻ります。

- オールリセットを中止するときはを押します。

4 PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

● リセットされる項目および初期状態

機能名		初期状態
メニュー0	オーナー情報	（自局電話番号のみ）
メニュー10	着信音パターン選択	：着信音1　：着信音2　：着信音2　：着信音2
メニュー11	着信音量設定	：レベル4　：レベル4　：レベル4　：レベル4
メニュー12	バイブレータ設定	：OFF　：OFF　：OFF　：OFF
メニュー13	効果音設定	ウェイクアップ音：オリジナル　シャットダウン音：オリジナル ボタン確認音：オリジナル
メニュー15	着信時間設定	：5秒　：5秒　：5秒
メニュー18	着信イルミネーション設定	：エメラルド　：サファイア　：サファイア　：サファイア
メニュー19	ボイスアナウンス	音声通知
メニュー21	オートロック	しない
メニュー22	シークレットモード	しない
メニュー23	サイドボタン設定	閉じたとき有効
メニュー24	発信禁止	しない
メニュー25	非通知着信拒否設定	非通知設定：許可　公衆電話：許可
メニュー33	バッテリーセーブ	ON
メニュー34	照明設定	パネル照明：ON（輝度5）微灯照明設定（ON／OFF）：ON 微灯照明設定（時間）：01分　ボタン照明：ON
メニュー36	ウェイクアップ設定	表示内容：イラスト※　表示時間：2秒
メニュー38	通話品質アラーム	OFF
メニュー40	画面配色設定	ウォッカ
メニュー41	クローズ終話	OFF
メニュー42	アシスト登録	（未登録）
メニュー43	マナーモード設定	（通常着信／メール着信／ウェブ着信／ステーション着信ともに） 着信音量：サイレント　バイブレータ：ON　簡易留守録：ON
メニュー44	待ち受け表示設定	カレンダー
メニュー45	ユーザ辞書登録	（未登録）
メニュー46	フォント切替	書体：フォント1　太さ：中太字
メニュー47	背面LCD	背面表示：ON 待ち受け表示設定：イメージ選択：パターン1 時計選択：デジタル1 壁紙設定（01～08）：OFF 画面設定：内容表示設定：全着信時OFF 表示方向設定：表示方向1 パネル照明設定：輝度5 省電力待ち時間設定：ON（2分）
メニュー48	文字入力方式	入力モード：モード1（かな方式）　ワード予測：ON
メニュー49	壁紙設定	画面表示：しない　壁紙：オリジナル

※登録されていた文章は消去されます。

- ［　］の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

機能名		初期状態
メニュー53	スケジュール	（未登録） アラーム鳴動時間設定：スケジュール30秒　めざまし30秒
メニュー59	日付時刻設定	_ _ _ _/_ _/_ _　_ _:_ _
メニュー60	通話時間／料金表示	￥ー　0s
メニュー90	簡易留守録設定	簡易留守録：OFF　移行時間：12秒
メニュー91	簡易留守録再生	（データなし）
メニュー92	メモ選択	（データなし）
メニュー93	未確認通知	OFF
メニュー94	オフラインモード	設定しない
メニュー95	ライブラリ	（未登録）
メニュー97	マイキャラクター	着信イラスト：オリジナル ウェイクアップイラスト：オリジナル シャットダウンイラスト：オリジナル 通話終了イラスト：OFF
データフォルダ	各ファイル、フォルダ	お買い上げ時に登録されていたフォルダのみ残ります
	音楽ファイル　タイトル名／ファイル名	タイトル表示
	並び替え	日時の新しい順
	シークレットフォルダ	（シークレットフォルダなし）
	データ保護	（保護データなし）
	文字サイズ変更	16ドット
	画面スクロール設定	行
モバイルカメラ	シャッター音	シャッター音1（通常撮影とデジタルカメラ撮影）
	画質	通常撮影：ノーマル　ファインアニメ：ノーマル デジタルカメラ撮影：ノーマル
	ファインアニメ撮影間隔	0.7秒
	プレビュー切替	全コマ表示
	ボイス	ムービー：ON　アクションビュー：ON
	通常撮影保存先	ピクチャー
	ムービー保存先	ムービー
	ファインアニメ保存先	アニメーション
	メールアニメ保存先	アニメーション
	アクションビュー保存先	ムービー
	デジタルカメラ保存先	ピクチャー／デジタルカメラ
	フリッカー抑制	OFF
	突入時のモード選択	通常撮影
	デジタルカメラファイルNo	0001

- ［　］の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

機能名		初期状態
その他	ショートカット(ファンクション登録)	「Java™ ライブラリ」のみ残ります
	ダイレクト設定	Java™ ライブラリ
	受話音量設定	レベル 6
	リダイヤル	(データなし)
	着信履歴	(データなし)
	メモリダイヤル	(未登録)
	指定着信拒否設定	(未登録)
	マナーモード	(解除)
	オブジェクトイメージ※1	(データなし)
	リモコン	TV リモコン
	リモコン設定ファイル	各リモコン初期設定ファイル (10 種類)
	ワード予測　学習データ	(データなし)
	T9　学習データ	(データなし)
	辞書　学習データ	(データなし)
メール サービス	メールボックス	(データなし)
	メールリダイヤル	(データなし)
	文字サイズ変更	16 ドット
	画面スクロール設定	行
	並び替え	日時の新しい順
	ユーザ名称	(未登録)
	スーパーメール通信設定	配信確認:なし　重要度:中
	スーパーメール設定	返信先アドレス:無効 (未登録) 署名:無効 (未登録) 自動取得:手動 受信拒否ファイル設定:許可 (設定できるファイル種別すべてについて) 自動表示・鳴音設定:ピクチャー自動　サウンド手動 発信者名設定:無効 (未登録) 宛先名称設定:無効
	グループアドレス	(未登録)
	セキュリティ設定	アドレスフィルター:OFF (未登録) PIN コード:OFF (未登録)
	定型メッセージ設定	定型文作成:ユーザ定型文未登録　メロディ:未登録
	スカイメール通信設定	優先度:普通　配信確認:なし　プライバシー:レベル 1
	掲示板設定	掲示板選択:メッセージ　掲示板の公開:禁止 メッセージ:掲示板データなし 掲示板の位置情報:位置情報なし
	センター番号	ショートメッセージ回線:＊7033 データ回線:＊7233000 スーパーメール回線:＊7043
	スカイメロディ	センター番号:＊1790

- □ の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

※1　メール/ウェブ/ステーションの着信をお知らせするオブジェクトイメージは設定リセットでは初期状態に戻りません。

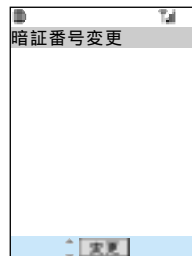
機能名		初期状態
ウェブ サービス	テキストブラウズ	ピクチャーダウンロード：ON　サウンドダウンロード：ON
	センター番号設定	ショートメッセージ回線：＊7023 データ回線：＊7223000
	ホーム設定	設定なし
	位置情報送出設定	ON
	ユーザ ID 通知設定	OFF
	メッセージフォルダ	（未登録）
	インターネットアクセス履歴	（データなし）
	マイリンク	（未登録）
	ブックマーク	（未登録）
	画面スクロール設定	行
Java™	Java™ ライブラリ	お買い上げ時に登録されている削除不可能な Java™ アプリのみ残ります
	Java™ タイマー起動設定	（未登録）
	待受設定	待受設定：しない Java™ アプリ選択：未選択 再開時間設定：3 秒 スリープ時間設定：1 分後 ネットワーク接続：する
	着信優先設定	着信優先
	再生音量	レベル 4
	パネル照明設定	照明設定：通常動作　点滅設定：ON
	バイブレータ設定	OFF
	センター番号設定	＊7263000
	ネットワーク接続確認	起動毎に確認する
ステーション サービス	メインリスト	（データなし）
	更新時間設定	12 時間毎
	センター番号設定	＊7053
	ピクチャーセット	OFF
	マイリスト	緊急情報のみ
	情報ボックス	（データなし）
	位置情報表示	位置情報なし
	画面スクロール設定	行
ネットワーク設定	割込み着信設定	着信時選択

- □ の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

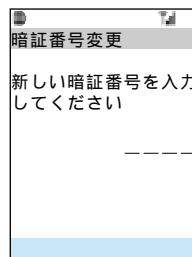
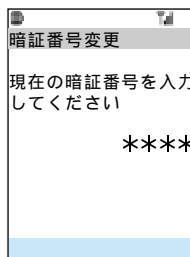
操作用暗証番号を変更する(暗証番号変更)

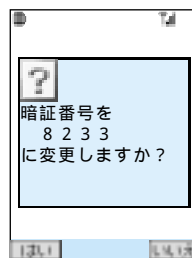
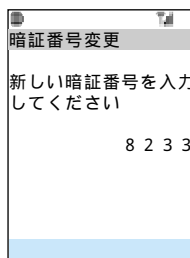
「9999」またはご契約時にお決めいただいた操作用暗証番号（☞P16）を、J-N51の操作で変更することができます。
操作用暗証番号は、お忘れにならないように注意してください。

1 メニューから「暗証番号変更」を呼び出す

① ◯(メニュー）を押す
② を選択し、◯を押す
③ ◯を押して を選択し、◯を押す
④ ◯を押して「暗証番号変更」を選択し、◯を押す

2 ◯を押し、操作用暗証番号（4桁）を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 新しい操作用暗証番号（4桁）を入力する

- 入力を間違えたときは、◯を短く押して1桁ずつ消し、入力し直します。番号をすべて消すときは◯を長く押します。

4 ◯を押す

変更の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

- 変更を中止するときは◯を押します。

5 ◯を押す

待受画面に戻ります。

- この操作を行っても、交換機用暗証番号（☞P16）は変更できません。

電波を送受信しないようにする(オフラインモード)

電源が入っていても電波を送受信しないように設定できます。お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。

例：オフラインモードを設定する場合

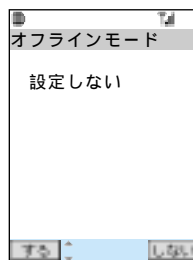
1 メニューから「オフラインモード」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

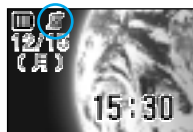
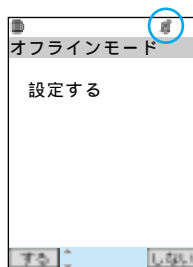
① (メニュー）を押す

② を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

④ を押して「オフラインモード」を選択し、を押す

2 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。オフラインモードの設定中はディスプレイに「 」が表示されます。

- オフラインモードを解除するときはを押します。

〈イメージウィンドウでの表示例〉

3 を押す

待受画面に戻ります。

- オフラインモード設定中に電話をかけたり、J -スカイ サービスに接続しようとするとメッセージと警告音でお知らせし発信できません。
- オフラインモード設定中に電源をONにしたときは、ウェイクアップ画面は表示されずオフラインモード設定中をお知らせするメッセージが表示されます。

- J -N51を開いた状態で、待受画面のときにを長押ししても、オフラインモードの設定／解除の切り替えをすることができます。

表示について(ディスプレイ)

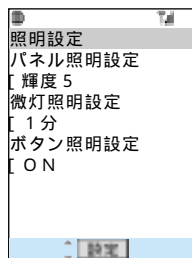
ディスプレイやボタンの照明の設定を変更する(照明設定)

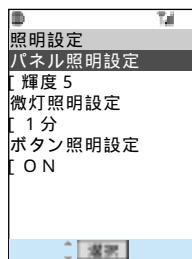
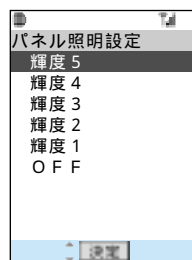
電源ON時やボタン操作を行ったとき、J-N51を開いたときなどには、ディスプレイの照明（パネル照明）とダイヤルボタンの照明（ボタン照明）が約15秒間点灯します。このパネル照明は、明るさを調整したり、点灯しないように設定することができます。また、パネル照明が消灯したあと微灯が点灯している時間も変更できます。お買い上げ時にはパネル照明は「輝度5」、微灯照明は「1分」に設定されています。
ボタン照明もON／OFFが設定できます。ボタン照明はお買い上げ時には「ON」に設定されています。

パネル照明の輝度を設定する

1 メニューから「照明設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① (メニュー）を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④ を押して「照明設定」を選択し、を押す

2 を押す

「パネル照明設定」が反転表示されます。

3 を押す

4 ○を押して設定したい輝度または「OFF」を選択し、📖を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作２の画面に戻ります。
「輝度５」が最も明るく「輝度１」が最も暗い設定になります。また、「OFF」に設定すると、ディスプレイの照明が点灯しなくなります。

5 ☎PWR HLDを押す

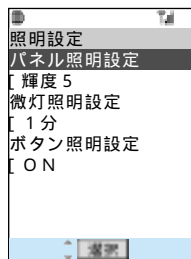
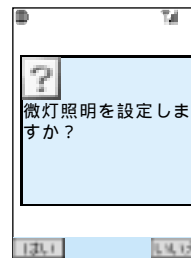
待受画面に戻ります。

- 本機能はイメージウィンドウのパネル照明設定（☞P192）とは別機能です。

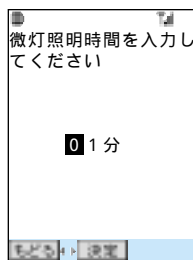
ディスプレイの照明を簡単にON／OFFするには

待受画面で5JKLなを長く押して、ディスプレイの照明の点灯と消灯を切り替えることができます。消灯から点灯に切り替えたときは、照明設定の設定内容で点灯します。このとき、「パネル照明設定」が「OFF」に設定されている場合は、「OFF」にする直前に設定されていた輝度で点灯し、自動的に設定も変更されます。

微灯照明を点灯する時間を設定する

1 「パネル照明の輝度を設定する」の操作１～２（☞P164）を行う

2 ○を押して「微灯照明設定」を選択し、📖を押す

3 ［ｊ］を押す

- 微灯照明を OFF にするときは［✍］を押します。

4 ［0わをん－］～［9らWXYZ］を押して時間を入力し、［📖］を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

- 微灯照明時間は 01 ～ 99 分のあいだで設定できます。

5 ［☎PWR HLD］を押す

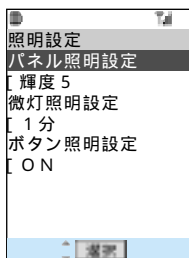
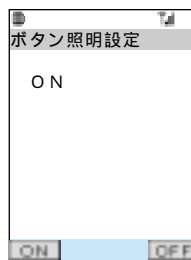
待受画面に戻ります。

- 長時間点灯する設定にしておくと、連続待受時間が短くなることがあります。

- 微灯照明設定が設定されていても、以下のときには点灯しません。
  - パネル照明が「OFF」に設定されているとき
  - 待受状態で［5なJKL］を長く押して、メインディスプレイを点灯から消灯に切り替えたとき
  - Java™ 設定の照明が「常時 OFF」に設定されているときに、Java™ を起動して照明が消灯したとき

ダイヤルボタンの照明を設定する

例：「OFF」に設定する場合

1 「パネル照明の輝度を設定する」の操作 1 ～ 2（☞P164）を行う

2 ◎を押して「ボタン照明設定」を選択し、📖を押す

3 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作１の画面に戻ります。

補足

- 「ON」に設定するときは を押します。

4 PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

8
表示について（ディスプレイ）

ディスプレイの背景と文字の色を変更する(画面配色)

メインディスプレイの背景と文字の配色パターンを7種類の中から選択することができます。お買い上げ時は「ウォッカ」に設定されています。

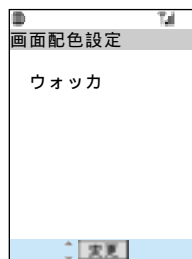
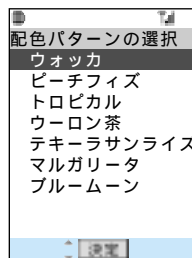
1　メニューから「画面配色設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

①　(メニュー) を押す

②　を選択し、を押す

③　を押して　を選択し、を押す

④「画面配色設定」を選択し、を押す

2　を押す

3　を押してお好みの配色パターンを選択し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

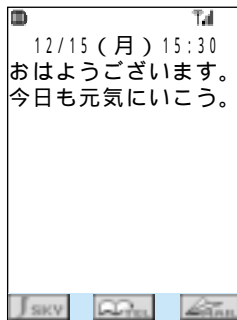
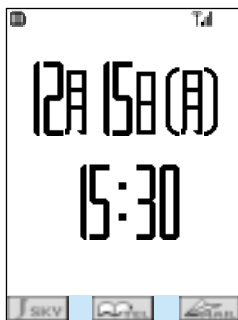
補足
- を押すたびに、選択画面が選択したパターンの配色で表示されます。

4　PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

待受画面の表示パターンを変更する（待受画面表示）

待受画面の表示パターンを以下の3種類から選ぶことができます。お買い上げ時は「カレンダー」に設定されています。

「カレンダー」
日付・時刻とカレンダーが表示されます。土曜日は青く、日曜日は赤く表示されます。また、現在の日付も他とは異なる色で表示されます。

「文章」
日付・時刻とウェイクアップ設定（☞P174）で作成したメッセージが表示されます。

「拡大時計」
日付・時刻が大きく表示されます。

1 メニューから「待ち受け表示設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

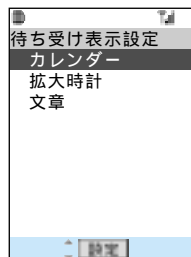
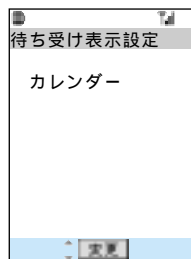
① ◎(メニュー) を押す

② を選択し、を押す

③ ◎を押して を選択し、を押す

④ ◎を押して「待ち受け表示設定」を選択し、を押す

2 を押す

8 表示について（ディスプレイ）

3 **を押してお好みの表示パターンを選択し、を押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

4 **PWR HLD を押す**

待受画面に戻ります。

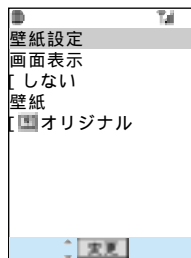
ディスプレイで静止画/アニメーションを楽しむ(壁紙設定)

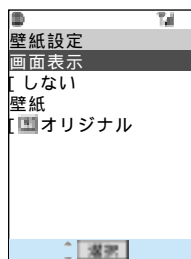
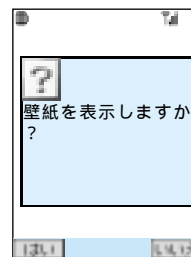
壁紙設定の画面表示を「する」に設定すると、待受中に(PWR HLD)を押すだけでディスプレイに壁紙を表示させて楽しむことができます。お買い上げ時には画面表示は「しない」に設定され、「する」に設定変更したときに表示される壁紙は「オリジナル」に設定されています。壁紙には、データフォルダ内の静止画やアニメーションを設定することもできます。

壁紙の画面表示を設定する

1 メニューから「壁紙設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◎(メニュー)を押す
② を選択し、(□)を押す
③ ◎を押して を選択し、(□)を押す
④ ◎を押して「壁紙設定」を選択し、(□)を押す

2 (□)を押す

「画面表示」が反転表示されます。

3 (□)を押す

4 (♪)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。

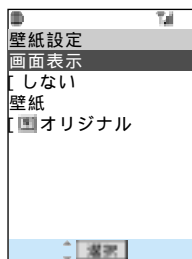
- 表示させないときは(✎)を押します。

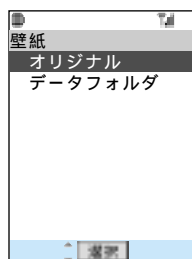
5 を押す

待受画面に戻ります。

補足
- 待受設定されているJava™アプリがあるときは、待受画面が表示されていてもを押して壁紙に切り替えることができません。待受設定を解除してから操作してください。(☞『J - スカイ編』)

データフォルダ内の静止画／アニメーションを壁紙に設定する

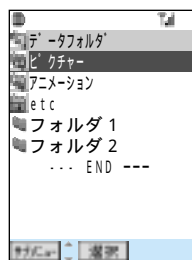
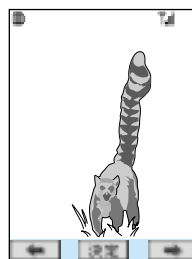
1 「壁紙の画面表示を設定する」の操作 1 ～ 2 （☞P171）を行う

2 を押して「壁紙」を選択し、を押す

- ピクチャーセット（☞『J - スカイ編』）が設定されていて壁紙設定されているときは、「現在設定中の壁紙が消去されますがよろしいですか？」と表示されます。壁紙設定を行うときはを押して操作 2 の画面に進みます。操作を中止するときはを押します。

3 を押して「データフォルダ」を選択し、を押す

データフォルダが表示されます。

- 初期設定のオリジナルに戻すときは「オリジナル」を選択します。を押して操作 5 に進みます。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「データフォルダ」を選択してを押したときは、警告音とメッセージでお知らせし、データフォルダを表示できません。

4 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、を押す

8 表示について（ディスプレイ）

5 を押す

壁紙設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

6 を押す

待受画面に戻ります。

- 壁紙にアニメーションを設定すると、連続待受時間が短くなります。

- 壁紙には、静止画像、ファインアニメやメールアニメといったアニメーションを設定することができます。DCF 形式の JPEG ファイル（☞P200、319）、アクションビュー、ムービーは設定できません。
- 設定できる画像の大きさは、縦 180 ×横 160 ドットまでです。大きすぎる場合は、設定できない部分をカットして画像の中央部分を表示します。

電源をONにしたときの設定を変更する(ウェイクアップ設定)

電源をONにしたときのウェイクアップ画面にメッセージやイラストを表示させたり、表示時間(2～99秒)を変えることができます。また、ここで作成したメッセージは、待受画面に表示させることもできます(☞P169)。お買い上げ時は以下のように設定されています。
表示内容：イラスト　表示時間：2秒

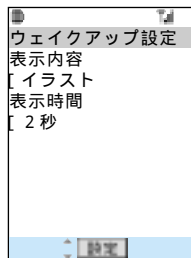
ウェイクアップ画面の表示内容を変更する

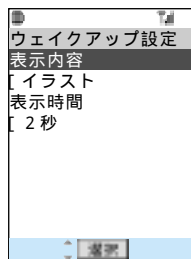
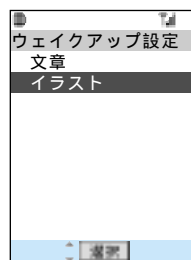
メッセージとイラストのどちらを表示させるかを選択します。

例：メッセージを設定する場合

1 メニューから「ウェイクアップ設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① (メニュー)を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④ を押して「ウェイクアップ設定」を選択し、を押す

2 を押す

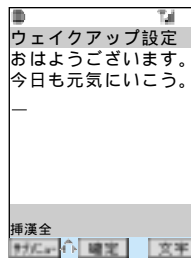
「表示内容」が反転表示されます。

3 を押す

4 を押して「文章」を選択し、を押す

5 メッセージ（全角最大７０文字、半角最大１４０文字）を入力する

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

6 (📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 2 の画面に戻ります。

7 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

- 待受画面にメッセージを表示させるには、待受画面表示（☞P169）を「文章」に設定します。
- オフラインモード（☞P162）を設定中に電源をONにしたときは、設定されたウェイクアップ画面は表示されず、オフラインモード設定中をお知らせするメッセージが表示されます。

イラストを設定するときは

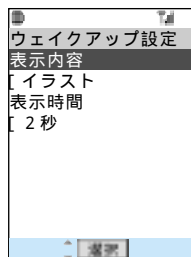
マイキャラクター（☞P177）で選択したイラストを表示させることができます。

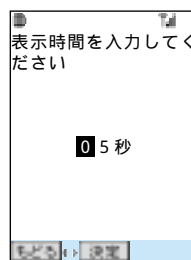
① 操作 3 の画面で(◯)を押して「イラスト」を選択し、(📖)を押す
② (☎PWR HLD)を押す

- ウェイクアップ画面にイラストを設定しても、すでに登録してあるメッセージは消去されません。

ウェイクアップ画面の表示時間を変更する

ウェイクアップ画面の表示時間を、2～99秒の範囲で変えることができます。

1 **「ウェイクアップ 画面の表示内容を変更する」の操作1～2（☞P174）を行う**

2 **◎を押して「表示時間」を選択し、📖を押す**

3 **表示時間の秒数（02～99）を入力する**

4 **📖を押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

5 **を押す**

待受画面に戻ります。

補足

- 表示時間に合わせてウェイクアップ音が鳴っている時間も変わります。ただし、効果音設定（☞P130）のウェイクアップ音を「オリジナル」に設定した場合は、変わりません。

表示するイラストを設定する(マイキャラクター)

電話がかかってきたとき（着信イラスト）や電源をONにしたとき（ウェイクアップイラスト）、電源をOFFにしたとき（シャットダウンイラスト）のイラストを、データフォルダに登録した画像の中から選択することができます。また、電話を切ったとき（通話終了イラスト）にイラストを表示させることもできます。お買い上げ時は以下のように設定されています。
着信イラスト：オリジナル　ウェイクアップイラスト：オリジナル
シャットダウンイラスト：オリジナル　通話終了イラスト：OFF
それぞれのイラストに設定できる画像の最大の大きさは以下のとおりです。

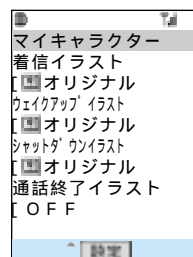
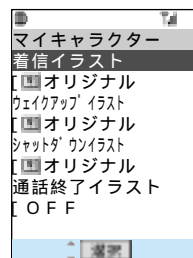
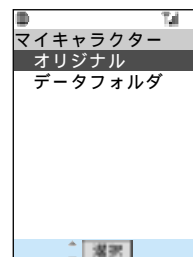
イラストの種類	設定できる大きさ
ウェイクアップイラスト シャットダウンイラスト 通話終了イラスト	縦180×横160ドット　※
着信イラスト	縦67×横160ドット　※

※それぞれのイラストに設定できる大きさを超えた画像は、カットされて中央部分が設定されます。

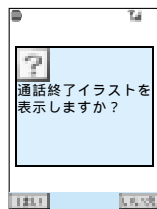
1 メニューから「マイキャラクター」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◯（メニュー）を押す
② を選択し、◯を押す
③ ◯を押して を選択し、◯を押す
④ ◯を押して「マイキャラクター」を選択し、◯を押す

マイキャラクター
着信イラスト
[オリジナル]
ｳｪｲｸｱｯﾌﾟｲﾗｽﾄ
[オリジナル]
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝｲﾗｽﾄ
[オリジナル]
通話終了イラスト
[OFF]
設定

2 ◯を押す

3 ◯を押してイラストの種類を選択し、◯を押す

「通話終了イラスト」を選択したときは

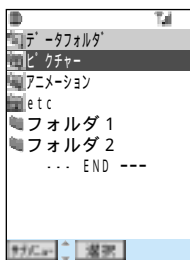
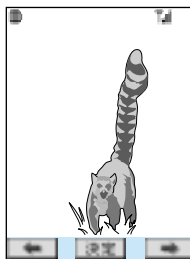
「通話終了イラスト」を選択したときは、右のような画面が表示されます。

・イラストを表示させる場合やイラストを変える場合は(ʃ)を押して操作 4 に進みます。
・イラストを表示させないようにする場合は(✍)を押すと設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。(☎PWR HLD)を押して、待受画面に戻ります。

4 ◯を押して「データフォルダ」を選択し、(📖)を押す

データフォルダが表示されます。

- 初期設定のオリジナルに戻すときは「オリジナル」を選択します。(📖)を押して操作 6 に進みます。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「データフォルダ」を選択して(📖)を押したときは、警告音とメッセージでお知らせし、データフォルダを表示できません。

5 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(📖)を押す

6 (📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 2 の画面に戻ります。

7 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

- メモリダイヤルでマイコールイラスト（☞P90）を設定している場合は、着信イラストの設定より優先されます。

- マイキャラクターには、静止画像、ファインアニメやメールアニメといったアニメーションを設定することができます。DCF形式のJPEGファイル（☞P200、319）、アクションビューやムービーは設定できません。

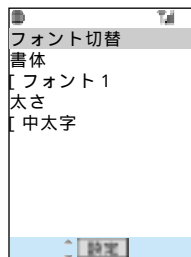
表示する文字を切り替える（フォント切替）

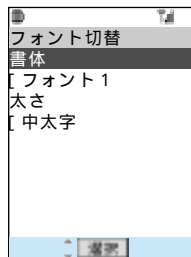
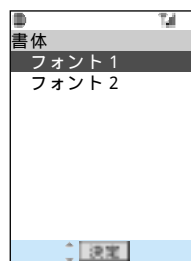
ディスプレイに表示される文字（フォント）の種類を2種類のうちから、文字の太さを3種類のうちから選択して、切り替えることができます。お買い上げ時は以下のように設定されています。
書体：フォント1　太さ：中太字

文字の書体を切り替える

1 メニューから「フォント切替」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◯（メニュー）を押す
② を選択し、◯を押す
③ ◯を押して を選択し、◯を押す
④ ◯を押して「フォント切替」を選択し、◯を押す

2 ◯を押す

「書体」が反転表示されます。

3 ◯を押す

4 ◯を押して切り替えたい文字の書体を選択し、◯を押す

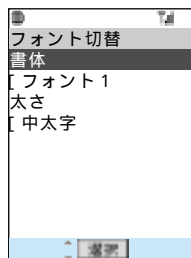
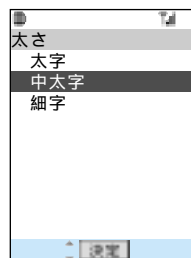
設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。

5 **を押す**

待受画面に戻ります。

補足
- 「書体」を変更したときに表示が切り替わるのは、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角、一部を除く）のみです。電話番号入力時の表示、一部のメニュー画面のタイトルやアイコンなどの書体を切り替えることはできません。

文字の太さを切り替える

1 **「文字の書体を切り替える」の操作1～2（☞P179）を行う**

2 **◎を押して「太さ」を選択し、Ⓜを押す**

3 **◎を押して切り替えたい文字の太さを選択し、Ⓜを押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

4 **を押す**

待受画面に戻ります。

補足
- ウェブ／ステーションの情報画面やJava™動作中の一部の画面で表示される文字、電話番号入力時の表示、一部のメニュー画面のタイトルやアイコンなどの文字の太さを切り替えることはできません。また、イメージウィンドウに表示される文字の太さも切り替えることはできません。

文字の書体（フォント）と太さの種類について

「フォント切替」で選択できる文字の種類と太さは以下のとおりです。

文字の種類		文字の太さ		
フォント 1	フォント 2	細字	中太字	太字
あ※1	あ※1	あ※2	あ※2	あ※2

※ 1：文字の太さを「中太字」に設定した場合
※ 2：文字の種類を「フォント 1」に設定した場合

- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LC FONT および LC ロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

8
表示について（ディスプレイ）

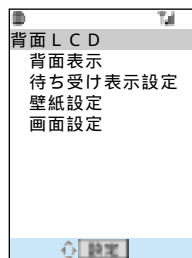
イメージウィンドウの表示を設定する

イメージウィンドウについてのさまざまな設定を変更したり、待受中にお好みの静止画やアニメーションを表示させて楽しむことができます。

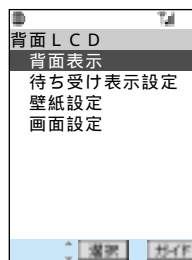
イメージウィンドウの設定を変更する

1 メニューから「背面LCD」を呼び出す

① (メニュー)を押す

② を選択し、を押す

③ を押してを選択し、を押す

2 を押す

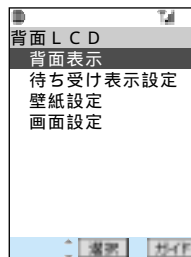
「背面表示」が反転表示されます。

3 を押して項目を選択し、を押す

項　目	概　要	参照ページ
背面表示	表示のON／OFFを切り替える	183
待ち受け表示設定	背景画像や時計の種類を設定する	184
壁紙設定	静止画やアニメーションをイメージウィンドウの壁紙に設定する	187
画面設定	情報の表示内容や表示の向き、パネル照明などを設定する	189

表示のON／OFFを切り替える

お買い上げ時には背面表示は「ON」に設定されており、待受画面に背景画像や時計などが表示されるほか、着信やアラームの表示なども行われます。設定を「OFF」に切り替えると、「ON」のときの設定内容を保存したまま、これらの表示を行わなくなります。

例：「OFF」に設定する場合

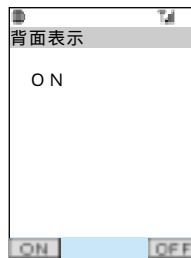
1 **「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1～2（☞P182）を行う**

2 **◯を押して「背面表示」を選択し、📖を押す**

現在の設定が表示されます。

3 **を押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

補足
- 「ON」に設定するときは⌠を押します。

4 **PWR HLDを押す**

待受画面に戻ります。

補足
- 背面表示を「OFF」にすると、イメージウィンドウの照明（☞P192）も点灯しません。
- 背面表示を「OFF」にしても、モバイルカメラを起動しているときは背面ファインダー表示などの背面表示が表示され、イメージウィンドウの照明も点灯します。

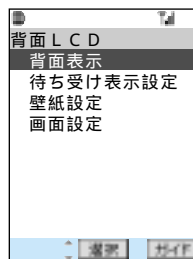
8 表示について（ディスプレイ）

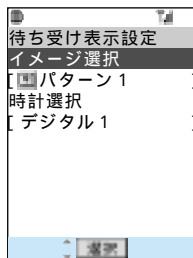
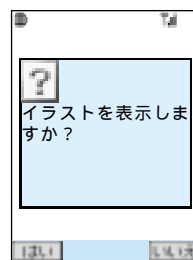
イメージウィンドウの待受表示を設定する

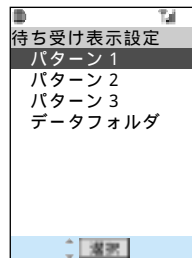
イメージ（背景画像）を設定する

イメージウィンドウの待受表示には、用意されている画像（3 種類）やデータフォルダ内の静止画像を背景画像として設定することができます。お買い上げ時は「パターン 1」に設定されています。

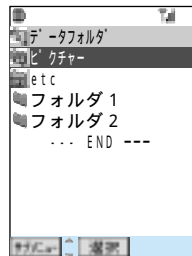
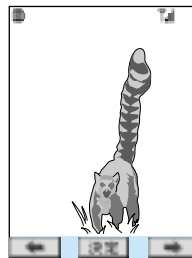
例：データフォルダの画像を設定する場合

1 **「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1～2**（☞P182）**を行う**

2 **◯を押して「待ち受け表示設定」を選択し、◯を押す**

「イメージ選択」が反転表示されます。

3 **◯を押す**

4 を押す

補足
- イメージを表示しないときは(✍)を押します。イメージ選択を「OFF」にすると、待受表示の背景画像は無地（白色）の表示になります。

5 を押して「データフォルダ」を選択し、(📖)を押す

データフォルダが表示されます。

補足
- オリジナル固定画像「パターン1」～「パターン3」を選択し(📖)を押した場合には、画像が表示されます。操作7に進みます。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「データフォルダ」を選択して(📖)を押したときは、警告音とメッセージでお知らせし、データフォルダを表示できません。

6 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(📖)を押す

7 (📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。

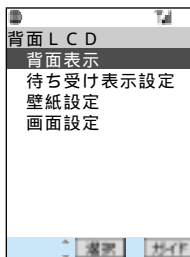
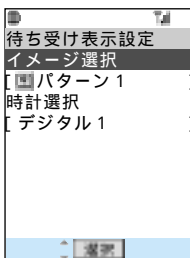
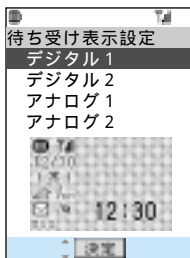
8 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

補足
- 待ち受け表示設定のイメージには、アニメーションは設定できません。
- DCF形式のJPEGファイル（☞P200、319）は設定できません。
- 設定できる画像の大きさは、縦80×横120ドットです。この大きさを越えた画像は、カットして画像の中央部分を表示します。
- 設定中の画像が消去されたときは、お買い上げ時の画像（パターン1）に戻ります。また、設定中の画像が加工されたときは、設定されたままで加工された画像が表示されます。

時計を設定する

イメージウィンドウの待受表示の時計表示をデジタル1（時刻表示大）、デジタル2（時刻表示小）、アナログ1（時刻表示大）、アナログ2（全体時計表示）の4種類から設定することができます。お買い上げ時は「デジタル1」に設定されています。

1 「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1〜2（☞P182）を行う

2 を押して「待ち受け表示設定」を選択し、を押す

3 を押して「時計選択」を選択し、を押す

4 を押して時計表示を選択し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作2の画面に戻ります。

5 **を押す**

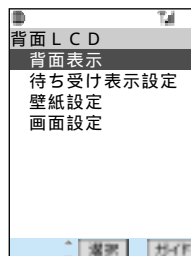
待受画面に戻ります。

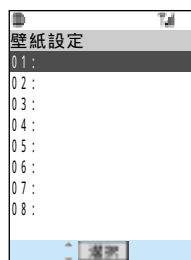
補足
- アナログ2を設定した場合の待受表示では、電池レベル表示やメール サービス受信表示などのピクトは一切表示されません。また、表示方向設定（☞P190）で設定した内容は反映されません。

イメージウィンドウで静止画／アニメーションを楽しむ（壁紙設定）

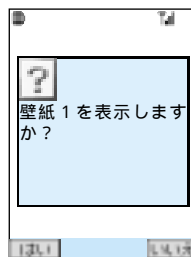
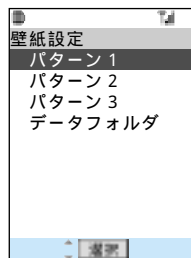
イメージウィンドウの壁紙（最大８件）に静止画やアニメーションを設定しておくと、見たいときにJ-N51を折り畳んだまま見ることができます。お買い上げ時には壁紙が設定されていません。

例：「壁紙1」にデータフォルダの画像を設定する場合

1 「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1～2（☞P182）を行う

2 ◯を押して「壁紙設定」を選択し、📖を押す

壁紙の一覧が表示されます。

3 ◯を押して番号を選択し、📖を押す

- イメージウィンドウの壁紙を見る操作（☞P195）を行ったときには、設定されている壁紙が番号順に表示されます。

4 ʃを押す

- 壁紙設定を解除するときは✍を押します。

8 表示について（ディスプレイ）

5 ◯を押して「データフォルダ」を選択し、🕮を押す

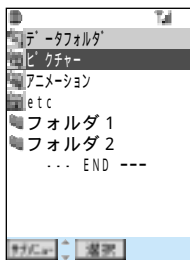
データフォルダが表示されます。

- オリジナル固定画像「パターン１」～「パターン３」を選択して🕮を押すと、その画像が表示されます。操作７に進みます。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときに「データフォルダ」を選択して🕮を押したときは、警告音とメッセージでお知らせし、データフォルダを表示できません。

6 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、🕮を押す

7 🕮を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作２の画面に戻ります。

8 ☎PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

- 壁紙にアニメーションを設定すると、連続待受時間が短くなります。

- 壁紙には、静止画像、ファインアニメやメールアニメといったアニメーションを設定することができます。DCF形式のJPEGファイル（☞P200、319）、アクションビュー、ムービーは設定できません。
- 設定できる画像の大きさは、縦80×横120ドットです。この大きさを越えた画像は、カットして画像の中央部分を表示します。
- 「待受中にカレンダーや壁紙を見る」（☞P195）
- 壁紙を表示固定設定（☞P196）すると、お好みの壁紙を常に表示させることができます。

情報の表示内容やパネル照明などを設定する（画面設定）

J-N51を折り畳んだままでも、かかってきた電話の相手やメッセージのタイトルなどがわかるようにすることができます。また、イメージウィンドウの照明の輝度を設定したり、電池の消耗を抑える設定を変更することができます。

かかってきた電話や新着メールなどの情報を表示する（内容表示設定）

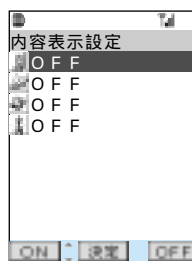
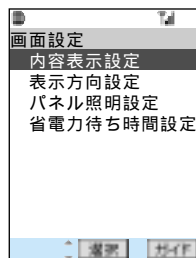
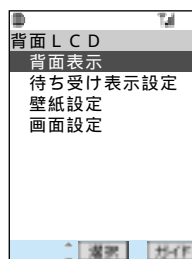
かかってきた電話の相手の電話番号や名前、メール／ウェブ／ステーション サービスで受信したメッセージのタイトルなどの情報を、イメージウィンドウに表示させることができます。表示のON／OFFは、着信の種類ごとに設定できます。お買い上げ時は（通常）、（メール）、（ウェブ）、（ステーション）のどの着信についても「OFF」に設定されています。

例：（通常着信）を「ON」に設定する場合

1 「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1〜2（☞P182）を行う

2 を押して「画面設定」を選択し、を押す

3 を押して「内容表示設定」を選択し、を押す

現在の設定が表示され、の行が反転表示されます。

4 を押す

- 「OFF」に設定する場合はを押します。

5 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

6 を押す

待受画面に戻ります。

電話がかかってきたときの表示例

<「ON」のとき>

メモリダイヤル登録あり

メモリダイヤル登録なし

非通知設定

公衆電話

通知不可能なとき

マイキャラクターの着信イラストを設定しているときは、設定しているイラストやアニメーションが表示されます。

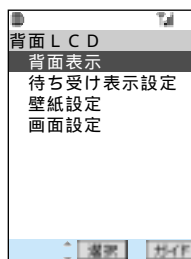
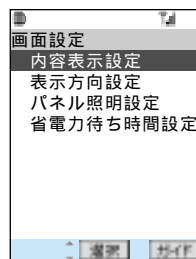
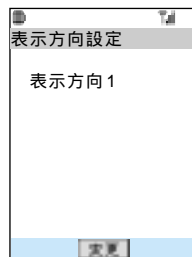
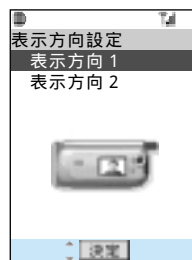
<「OFF」のとき>

- 表示固定設定（☞P196）しているときは、本機能は無効になります。

背面表示の向きを切り替える（表示方向設定）

イメージウィンドウの表示の向きが変えられます。お買い上げ時は「表示方向１（サイドボタン側が下）」に設定されています。

例：「表示方向2」に切り替える場合

1 「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1～2（☞P182）を行う

2 ◎を押して「画面設定」を選択し、📖を押す

3 ◎を押して「表示方向設定」を選択し、📖を押す

4 📖を押す

5 ◎を押して「表示方向 2」を選択し、📖を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 3 の画面に戻ります。

6 を押す

待受画面に戻ります。

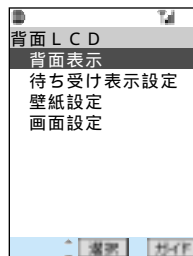
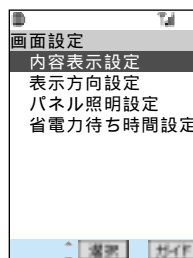
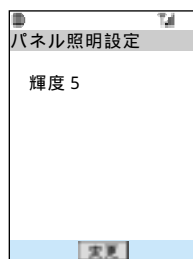
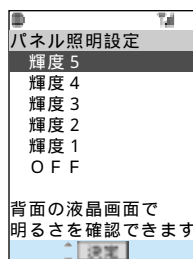
注意

- 待受表示の時計を「アナログ 2」（全画面表示）に設定しているとき（☞P186）は、待受表示での本機能の設定は無効になります。また、モバイルカメラを起動しているときのカメラモード表示、背面 LCD ファインダー（☞P214）なども同様です。

8 表示について（ディスプレイ）

イメージウィンドウの照明の輝度を設定する（パネル照明設定）

J-N51を折り畳んだときや折り畳んだ状態でサイドボタンを押したときなどには、イメージウィンドウの照明（パネル照明）が約15秒間点灯し、その後約30秒間微灯が点灯したあと消灯します。パネル照明は、明るさを調整したり、点灯しないように設定することができます。お買い上げ時には「輝度5」に設定されています。

1 **「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1～2（☞P182）を行う**

2 **を押して「画面設定」を選択し、を押す**

3 **を押して「パネル照明設定」を選択し、を押す**

4 **を押す**

5 を押して設定したい輝度または「OFF」を選択し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 3 の画面に戻ります。

補足
- を押すたびに選択された輝度でイメージウィンドウの照明が点灯し、明るさを確認できます。
- パネル照明を「OFF」に設定すると以下のようなときに点灯しなくなります。
  - ・着信時および通話中
  - ・サイドボタンを押したとき
  - ・スケジュール（☞P245）やめざまし（☞P254）で設定したアラームまたは電源をONの時刻になったとき
  - ・メール／ウェブ／ステーションのメッセージや情報を受信した場合（☞P189、『J - スカイ編』）
  - ・Java™ タイマー起動設定で設定した Java™ アプリが起動したとき（☞『J - スカイ編』）

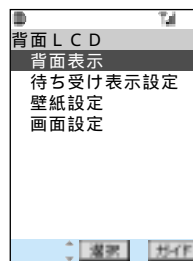
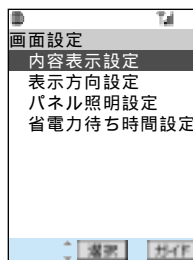
6 を押す

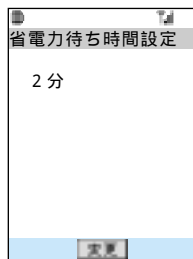
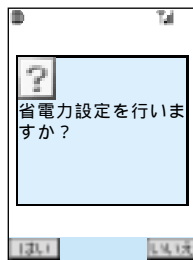
待受画面に戻ります。

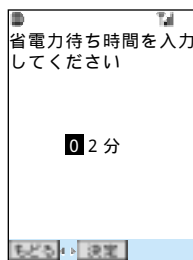
- 本機能はメインディスプレイのパネル照明設定（☞P164）とは別機能です。

背面表示による電池の消耗を抑える（省電力待ち時間設定）

イメージウィンドウの表示をこまめに消すことにより、電池の消耗を抑えることができます。省電力待ち時間を設定すると、折り畳んだ状態で一定時間何も操作を行わなかったときに、イメージウィンドウの画面表示が消えます。お買い上げ時は「2 分」に設定されています。

1 「イメージウィンドウの設定を変更する」の操作1～2（☞P182）を行う

2 を押して「画面設定」を選択し、を押す

3 を押して「省電力待ち時間設定」を選択し、を押す

現在設定されている時間が表示されます。

4 を押す

5 を押す

- 省電力待ち時間設定を「OFF」にするときはを押します。

6 ～を押して時間を入力し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作3の画面に戻ります。

- 省電力待ち時間は01～99分のあいだで設定できます。

7 [PWR HLD]を押す

待受画面に戻ります。

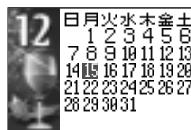
- 省電力待ち時間が経過するとイメージウィンドウの画面表示が消えますが、電源OFFになるわけではありません。

イメージウィンドウの表示を切り替える（背面表示切り替え）

待受中にカレンダーや壁紙を見る

待受時にJ-N51を折り畳んでいるとき、イメージウィンドウには待受表示（時計表示）画面が表示されます。背面表示切り替えを行うと、カレンダーや壁紙設定（☞P187）で設定した静止画やアニメーションを見ることができます。

1 待受時にJ-N51を折り畳んでいる状態で[▼]を押す

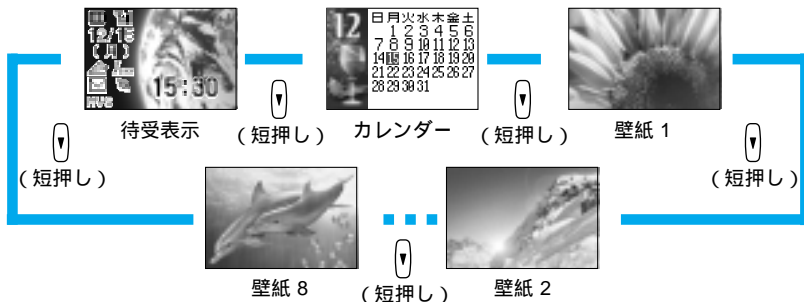
当月のカレンダーが表示され、現在の日付が反転表示されます。

- 日時が設定されていないとき、カレンダーは表示されず次の画像（壁紙が設定されている場合は壁紙）が表示されます。
- 当月のカレンダーのみ表示することができます。前月や次月などのカレンダーを表示することはできません。

2 [▼]を押す

壁紙設定した壁紙が表示されます。

- 壁紙が設定されていないときは待受表示（時計表示）画面に戻ります。

- 壁紙は壁紙設定（☞P187）の番号順に表示されます。

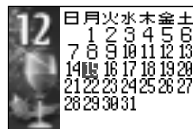
[▼]を押すたびに次の表示に切り替えることができます。
待受表示（時計表示）→カレンダー→壁紙（最大8件）の表示が終わると、待受表示（時計表示）に戻ります。

- 表示切り替えで表示されるカレンダーや壁紙は、以下のようなときに表示が中止され待受表示（時計表示）に戻ります。ただし、表示固定設定されているときは表示は変わりません。
  - ・J-N51を開いて、折り畳んだとき
  - ・スケジュール（☞P245）やめざまし（☞P254）で設定したアラームの時刻になったあと、待受状態に戻ったとき
  - ・電話がかかってきたときやメール／ウェブ／ステーションのメッセージや情報を受信したあと、待受状態に戻ったとき
  - ・Java™タイマー起動設定で設定したJava™アプリが起動した（☞『J-スカイ編』）あと、待受状態に戻ったとき
- 新着不在着信の情報が表示されているときでも、▼を押して表示を切り替えることができます。
- アニメーションを壁紙に設定しているときは、1回再生したあと、最初のコマを表示したままになります。

イメージウィンドウの表示をお気に入りの画面に固定する（表示固定設定）

待受表示（時計表示）画面を表示固定したり、カレンダーや壁紙を表示固定したりすることができます。

例：カレンダーを表示固定する場合

1 待受時にJ-N51を折り畳んでいる状態で▼を押す

当月のカレンダーが表示され、現在の日付が反転表示されます。

2 ▲を長く押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、カレンダーが表示されます。
表示固定を解除するには、再度▲を長く押します。

- カレンダーや壁紙を表示固定すると、以下のときにもその情報が表示されません。
  - ・電話がかかってきたとき、メール／ウェブ／ステーションのメッセージや情報を受信したとき
  - ・スケジュール（☞P245）やめざまし（☞P254）で設定したアラームの時刻になったとき
  - ・Java™タイマー起動設定で設定したJava™アプリが起動したとき（☞『J -スカイ編』）

- 表示固定が設定されているときは▼を押しても表示を切り替えることはできません。
- 表示固定中に背面表示（☞P183）を「OFF」にしたときは、イメージウィンドウは表示されません。
- イメージウィンドウを表示固定しているときに、設定されている背景画像や壁紙画像が変更された場合でも、表示固定は以下のように継続されます。
  - ・設定されている画像が加工されたとき：加工された画像が表示されます
  - ・設定されている画像を変更したとき：変更後の画像が表示されます
- 待受表示を表示固定中に、設定されている背景画像を削除したときは、お買い上げ時の背景が表示され、表示固定は継続されます。
- 壁紙を表示固定中に、表示固定設定されている壁紙設定（☞P187）を「未登録」に変更したときや設定されている画像をデータフォルダから削除したときは、表示固定設定は自動的に解除されます。

カメラを使いましょう

カメラをご利用になる前に

撮影できる画像の種類について

6種類の撮影モードを使って、静止画、アニメーション（連続撮影した画像）、動画を撮影することができます。動画は音声付きで撮影することもできます。
画像の種類によっては、撮影後すぐにスーパーメールに添付して送信することができます。画像の用途などについては「データフォルダのしくみ」（☞P318）を参照してください。

撮影モード	撮影できる画像（単位：ドット）	ファイル形式（拡張子）およびデータフォルダでの保存先（初期設定）	相手の機種
通常撮影	すぐにメールで送れる静止画 サイズ：縦180×横160（標準、ズーム） 縦112×横160（ワイド）	JPEG形式（.jpg） ピクチャーフォルダ	スーパーメール対応機種 ロングメール対応機種 （ロングメール対応機種は画質がノーマルのときのみ）
ムービー撮影	すぐにメールで送れる最大5秒間の動画 （ボイスON：1秒最大4コマ、ボイスOFF：1秒最大5コマ） サイズ：縦60×横80（標準、ズーム）	Nancy形式（.noa） ムービーフォルダ	スーパーメール対応機種
ファインアニメ撮影	最大9コマのアニメーション サイズ：縦180×横160（標準、ズーム） 縦112×横160（ワイド）	JPEG形式（拡張子は表示されない） アニメーションフォルダ	スーパーメール対応機種 ロングメール対応機種 （コマ数、画質などの条件により送れない場合があります）
メールアニメ撮影	すぐにメールで送れる最大4コマのアニメーション サイズ：縦60×横80（標準、ズーム）	JPEG形式（拡張子は表示されない） アニメーションフォルダ	スーパーメール対応機種 ロングメール対応機種
アクションビュー撮影	最大10秒間の動画（1秒5コマ） サイズ：縦88×横120（標準、ズーム、ワイド） （スーパーメールには添付できない）	アクションビュー形式（.acv） ムービーフォルダ	—
デジタルカメラ撮影	パソコンでの加工や印刷が可能な静止画 サイズ：縦480×横640（J-N51上では縦120×横160で表示）	JPEG（DCF）形式（.jpg） ピクチャーフォルダ内のデジタルカメラフォルダ	—

・ムービーモードでの音声技術には「AMR」が使われています。

撮影操作の流れ

撮影モードや状況によって、撮影手順の詳細は異なりますが、おおまかな流れは以下のとおりです。なお、モバイルカメラを起動する前に、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

モバイルカメラを起動し、撮影モードを選択する

前回のモバイルカメラ使用時に保存できなかった画像がある場合には、メッセージが表示され、保存または破棄の操作を行う必要があります。（☞P221）

↓

必要に応じて撮影前の設定を行う（☞P212～219）

きれいに撮影するために撮影環境を設定したり、ライトの点灯、セルフタイマーの設定、自分自身を撮影するのに便利なイメージウィンドウファインダーへの切り替えなどが行えます。

↓

撮影を行う

撮影開始のためのボタン操作、またはセルフタイマー（☞P204）によって撮影を行います。

↓

画像を確認する

ムービー撮影やアクションビュー撮影の画像はプレビューで確認します。（☞P211）
ファインアニメ撮影やメールアニメ撮影の画像は、必要に応じてプレビュー切り替えを行って確認します。（☞P219）

↓

必要に応じて撮り直しや保存先の変更操作を行う（☞P218）

初期設定以外の保存先を指定することができます。

↓

**画像を保存する
または、スーパーメールに添付する（同時に自動的に保存される）**

保存できる件数、容量はデータフォルダ中の他のファイルの登録状況により変化します。

■ カメラの構えかた

通常はメインディスプレイをファインダーとして使用しますが、自分を写すときなどにはイメージウィンドウファインダーに切り替えて使用します。（☞P214）

メインディスプレイを見ながら撮影範囲を決め、(📖)または[▲]を押して撮影する

イメージウィンドウを見ながら撮影範囲を決め、(📖)または[▲]を押して撮影する

9

カメラを使いましょう

きれいに撮影するには

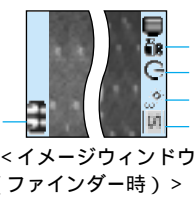
- 手ぶれにご注意ください。撮影中にJ-N51が動くと、画像がぶれる原因となるので、しっかり持って撮影するか、セルフタイマー（☞P204）を利用して撮影してください。
- レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。撮影前にやわらかい布でふいてください。
- モバイルカメラに指、髪、ハンドストラップなどがかからないようご注意ください。
- 暗いときには撮影環境を「ナイト」にしたりライト（☞P213）を照明として使用することができます。暗い場所で撮影すると画質が劣化します。
- 撮影環境設定を「ナイト」にして撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなるのでご注意ください。
- 蛍光灯の下などで画像に縞模様が出てしまうときには、フリッカー抑制（☞P219）をONにして撮影してください。

- モバイルカメラは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- J-N51を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影した画像は、画質が劣化する場合があります。
- モバイルカメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- J-N51を暗い場所から明るい場所に移動したときは、画像がすぐに安定しない場合があります。

モバイルカメラの画面

モバイルカメラの画面では、ディスプレイに以下のように表示されます。

<メインディスプレイ>

<イメージウィンドウ（ファインダー時）>

①	ムービー撮影モード／アクションビュー撮影モードのときのボイス（音声録音）の設定状態が表示される（☞P210）　：ボイスON　：ボイスOFF
②	現在の撮影モードが表示される ：通常撮影　：ムービー撮影　：ファインアニメ撮影／メールアニメ撮影 ：アクションビュー撮影　：デジタルカメラ撮影
③	セルフタイマーが設定されているときに表示される（☞P204）
④	ライトがONのときに表示される（☞P213）
⑤	設定されている画像の明るさのレベルが数字（1～5）で表示される（☞P213）
⑥	設定されている撮影環境が表示される（☞P216） ：スタンダード　：印象　：人物　：室内　：ナイト
⑦	設定されている撮影サイズが表示される（☞P212） ：標準　：ズーム　：ワイド

静止画を撮影する

静止画は、通常撮影モードまたはデジタルカメラ撮影モードで撮影します。どちらの撮影モードでも、撮影手順はほとんど変わりがありません。ただし、デジタルカメラ撮影モードでは撮影サイズの変更ができません。また、通常撮影モードのときは、撮影後の画面からスーパーメールで画像を送信する操作に直接移行できます。

例：通常撮影モードで撮影する場合

1 メインメニューから「通常撮影」を呼び出す

「カメラ準備中」の表示に続いて、ファインダー画面が表示されます。

① ◯（メニュー）を押す

② ◯を押して を選択し、📖を押す

③ ◯を押して「通常撮影」を選択し、📖を押す

- 待受画面でʃを長く押して撮影モードの選択画面を表示させることもできます。この画面では、前回のモバイルカメラ終了時に使用していた撮影モードが反転表示されています。
- J-N51内に一時的に保護されている画像があるときは、操作②のあとメッセージでお知らせします。「前回の撮影が中断されたときは」（☞P221）

2 必要に応じてライトを点灯させたり、カメラの設定の変更などを行う（☞「撮影前の各種操作」P212～219）

- セルフタイマーを設定するときは、以下のように操作します。

  ①ʃを押してサブメニューを表示させる

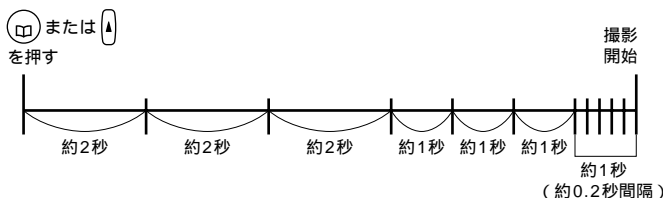
  ②◯を押して「セルフタイマー」を選択し、📖を押す
  ファインダー画面に戻ります。

3 ファインダー画面を見ながら撮影範囲を決め、または を押す

着信ランプが点灯してシャッター音が鳴り、撮影画像画面が表示されます。

- シャッター音は、マナーモードや着信音量などの設定とは関係なく、一定の音量で鳴ります。
- デジタルカメラ撮影モードでは、細かい紋様のあるデータサイズの大きな画像は撮影できないことがあります。画質をエコノミーに切り替えたり、撮影モードを通常撮影モードに切り替えて撮影してください。

セルフタイマーを設定したときは

操作3により、カウントダウンが開始されます。下図の↓のタイミングでタイマー音が鳴り、着信ランプが点灯、点滅します。約10秒後にシャッター音が鳴り、撮影が開始されます。

- セルフタイマーのタイマー音は、マナーモードや着信音量の設定とは関係なく、一定の音量で鳴ります。

- カウントダウン開始前に撮影を中止するときは、を押し、を押してサブメニューから「セルフタイマー中止」を選択してを押します。
- カウントダウン中に撮影を中止するときは、を押します。
- カウントダウン中にまたはを押すと、10秒経過を待たずに撮影が開始されます。

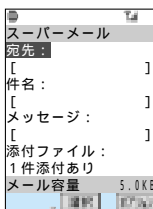
4 撮影画像画面を確認したら、必要に応じて撮り直しや保存先の変更を行う（☞「保存前の各種操作」P219～220）

5 を押す

保存中の画面が表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

- 保存中の画面には保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。
- 「画像を保存せずにまたはを押したときは」(☞P220)
- モバイルカメラを起動した状態で、撮影した画像を確認することができます。(☞P222)

スーパーメールで送信するときは

通常撮影／メールアニメ撮影／ムービー撮影の各モードで撮影した画像は、すぐに送信することができます。(保存) を押す代わりに(メール) を押すと、画像の保存完了後にスーパーメール編集画面が表示され、メッセージを作成することができます。宛先(必須)や、件名、メッセージの入力を行って送信してください。(☞『J-スカイ編』)

- メール サービスの設定が「OFF」になっているときには、警告音とメッセージでお知らせし、メッセージを作成できません。
- 通常撮影画質を「スーパーファイン」に設定して撮影したときには、メッセージを作成することはできません。
- 最大約12Kバイト、ムービーは最大約15Kバイトまで添付できます。ファイルサイズが大き過ぎる場合には、「メール添付可能サイズを超えるため添付できません」と表示されます。

6 を押す

待受画面に戻ります。

アニメーションを撮影する

アニメーションは、ファインアニメ撮影モードまたはメールアニメ撮影モードで撮影します。どちらの撮影モードでも、撮影手順はほとんど変わりがありません。ただし、ファインアニメは撮影間隔の変更ができます。また、メールアニメ撮影モードのときは、撮影後の画面からスーパーメールで画像を送信する操作に直接移行できます。

例：メールアニメ撮影モードで撮影する場合

1 メインメニューから「メールアニメ撮影」を呼び出す

「カメラ準備中」の表示に続いて、ファインダー画面が表示されます。

① ◯(メニュー) を押す

② ◯を押して[アイコン]を選択し、◯を押す

③ ◯を押して「メールアニメ撮影」を選択し、◯を押す

- 待受画面で◯を長く押して撮影モードの選択画面を表示させることもできます。
- J-N51内に保護されている画像があるときは、操作②のあとメッセージでお知らせします。「前回の撮影が中断されたときは」(☞P221)

2 必要に応じてライトを点灯させたり、カメラの設定の変更などを行う（☞ 「撮影前の各種操作」P212～219）

- セルフタイマーを設定するときは、以下のように操作します。

  ① ◯を押してサブメニューを表示させる

  ② ◯を押して「セルフタイマー」を選択し、◯を押す

  ファインダー画面に戻ります。
- ファインアニメの各コマの撮影間隔は、「0.4 秒」「0.7 秒」「1.5 秒」「3.0 秒」から選択することができます。お買い上げ時は「0.7 秒」に設定されています。

  ① ◯を押してサブメニューを表示させる

  ② ◯を押して「ファインアニメ撮影間隔」を選択し、◯を押す

  ③ ◯を押して設定を選択し、◯を押す

  設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

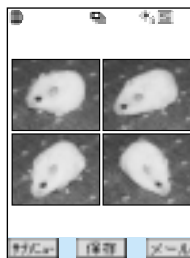
3 ファインダー画面を見ながら撮影範囲を決め、(📖)または(▲)を押す

着信ランプが点灯してシャッター音が鳴り、撮影中の画像が撮影間隔ごとに更新されて表示されます。

- シャッター音は、マナーモードや着信音量などの設定とは関係なく、一定の音量で鳴ります。

- 「セルフタイマーを設定したときは」(☞P204)

4 撮影を終了するときは(📖)または(▲)を押す

画像を4コマ(ファインアニメのときは9コマ)撮影したときは自動的に終了します。撮影が終了したあと、撮影した画像が一覧またはアニメーションで表示されます。

例:全コマ表示の場合

例:アニメーション表示の場合

- 撮影画像画面の表示を切り替えるときは、以下の操作を行います。
  ① (ʃ)を押してサブメニューを表示させる
  ② (◎)を押して「プレビュー切替」を選択し、(📖)を押す
  メールアニメ撮影またはファインアニメ撮影のどちらを選択した場合も、次に表示を切り替えるまで設定した方法で画像が表示されます。
  お買い上げ時は全コマ表示に設定されています。

5 撮影画像画面を確認したら、必要に応じて撮り直しや保存先の変更を行う(☞「保存前の各種操作」P219～220)

6 を押す

保存中の画面が表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

補足

- 保存中の画面には保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。
- ファインアニメおよびメールアニメはモーションアニメとして保存され、編集したりMNGファイルへの変換をすることができます。
  「モーションアニメを編集するには」（☞P344）
  「画像のファイル形式を変換する」（☞P344）
- 「画像を保存せずに（クリア）または（PWR HLD）を押したときは」（☞P220）
- モバイルカメラを起動した状態で、撮影した画像を確認することができます。（☞P222）
- 「スーパーメールで送信するときは」（☞P205）

7 （PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

動画を撮影する

動画は、ムービー撮影モードまたはアクションビュー撮影モードで撮影します。どちらの撮影モードでも、撮影手順はほとんど変わりがありません。ただし、ムービー撮影モードのときは、撮影後の画面からスーパーメールで動画を送信する操作に直接移行できます。

例：ムービー撮影モードで撮影する場合

1 メインメニューから「ムービー撮影」を呼び出す

「カメラ準備中」の表示に続いて、ファインダー画面が表示されます。

① ◎（メニュー）を押す
② ◎を押して［アイコン］を選択し、⦅□⦆を押す
③ ◎を押して「ムービー撮影」を選択し、⦅□⦆を押す

- 待受画面で⦅∫⦆を長く押して撮影モードの選択画面を表示させることもできます。
- J-N51内に保護されている画像があるときは、操作②のあとメッセージでお知らせします。「前回の撮影が中断されたときは」（☞P221）

2 必要に応じてライトを点灯させたり、カメラの設定の変更などを行う（☞「撮影前の各種操作」P212～219）

- セルフタイマーを設定するときは、以下のように操作します。
  ① ⦅∫⦆を押してサブメニューを表示させる
  ② ◎を押して「セルフタイマー」を選択し、⦅□⦆を押す
  ファインダー画面に戻ります。

録音機能の ON ／ OFF を切り替えるには

動画の撮影時には、録音機能の ON ／ OFF を切り替えることができます。ムービー撮影モードとアクションビュー撮影モードの個別に設定できます。お買い上げ時は「ボイス ON」（音声を録音する）に設定されています。設定は、再度切り替えを行うまで保存されます。

① (ʃ)を押してサブメニューを表示させる

② (◯)を押して「ボイス OFF」／「ボイス ON」を選択し、(📖)を押す

- ムービー撮影モードでは、ボイス ON のときは 1 秒間に最大 4 コマ撮影されます。ボイス OFF にすると 1 秒間に最大 5 コマとなり、動きがややなめらかになります。アクションビュー撮影モードのときは、どちらの場合も 1 秒間に 5 コマ撮影されます。

3 ファインダー画面を見ながら撮影範囲を決め、(📖)または▲を押す

着信ランプが点灯してシャッター音が鳴り、撮影中の画像が表示されます。

- シャッター音は、マナーモードや着信音量などの設定とは関係なく、一定の音量で鳴ります。
- ボイス ON（音声を録音する）で撮影中にメールのメッセージやウェブの情報を受信したときは、撮影は中止され、操作 4 の画面が表示されます。

- 「セルフタイマーを設定したときは」（☞P204）

4 撮影を終了するときは(📖)または▲を押す

約 5 秒間のムービーを撮影し終わったとき（アクションビューのときは約 10 秒間）は、自動的に終了します。撮影が終了したあと、1 コマ目の画像が表示されます。

保存する前にプレビューを確認する

撮影した動画を保存する前に、再生して確認することができます。

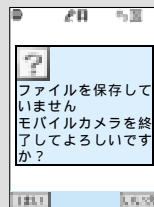
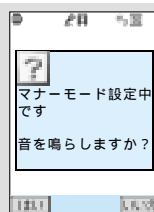
① ( )を押してサブメニューを表示させる

② ( )を押して「プレビュー」を選択し、( )を押す

撮影した動画が繰り返し再生されます。再生中に( )を押すと音量が調整できます。

③ 再生を終了するときは、( )を押す

- マナーモードが設定されているときに音声付きの動画を再生する場合には、右のような画面が表示されます。( )を押すと最小の音量で音声が再生され、( )を押すと音量調整が行えます。( )を押すと、音声を鳴らさずに再生します。

- 再生中に( )を押さずに(PWR HLD)を押したときは、右のような画面が表示されます。( )を押すと撮影画像画面に戻ります。

5 必要に応じて撮り直しや保存先の変更を行う（☞「保存前の各種操作」P219～220）

6 ( )を押す

保存中の画面が表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

- 保存中の画面には保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。
- 「画像を保存せずに(クリア)または(PWR HLD)を押したときは」（☞P220）
- モバイルカメラを起動した状態で、撮影した画像を確認することができます。（☞P222）
- 「スーパーメールで送信するときは」（☞P205）

7 (PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

モバイルカメラ撮影時の共通操作

どの撮影モードのときにも共通する、撮影前のファインダー画面表示中の操作と、撮影後の撮影画像表示中の操作について説明します。

撮影前の各種操作（ボタンでの切り替え操作）

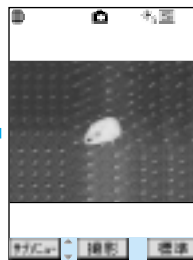
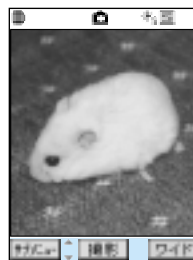
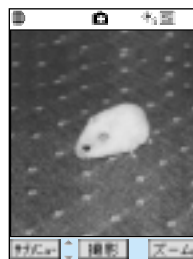
撮影サイズを切り替える

デジタルカメラ撮影以外の撮影モードでは、撮影サイズの切り替えが行えます。

1 **撮影前のファインダー画面でを繰り返し押す**

を押すごとに撮影サイズが切り替わります。

- 撮影サイズを切り替えると、倍率は以下のように変わります。デジタルカメラ撮影モードのときは、撮影サイズは切り替えられません。

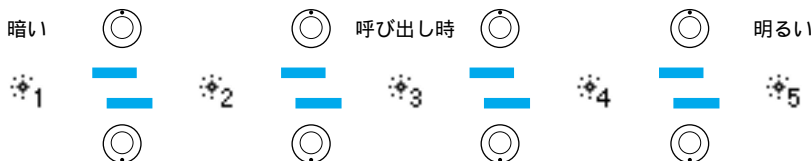
通常／ファインアニメ／アクションビュー撮影モードでの倍率	標準：ズーム：ワイド＝1：2：0.5
ムービー／メールアニメ撮影モードでの倍率	標準：ズーム＝1：2

例：通常撮影モードで「標準」→「ズーム」→「ワイド」に切り替えた場合

9 カメラを使いましょう

明るさを調整する

明るさを1～5の5段階に調整できます。通常は、レベル3に設定されています。

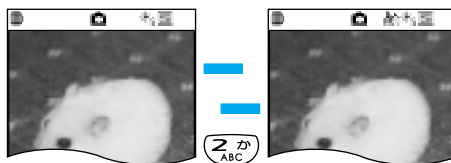
1 撮影前のファインダー画面で◎を押す

◎を押すとレベルの数値が大きくなって画面が明るくなり、◎を押すと数値が小さくなって暗くなります。

・撮影中や保存していない撮影画像があるときは調整できません。

ライトをON／OFFする

J-N51の背面についているライトを点灯させ、照明として利用することができます。ファインダー画面表示中のサブメニューを使ってON／OFFを切り替えることもできます。（☞P214）

1 撮影前のファインダー画面でを押す

2を押すごとにON／OFFが切り替わります。

・ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり、突然の光に驚くなどして事故の原因になることがあります。

・撮影を終了あるいはモバイルカメラを終了すると、ライトは自動的にOFFになります。また、ライトをONにしたあと、約1分間以内に撮影やセルフタイマーのカウントダウン開始を行わなかったときにもOFFになります。

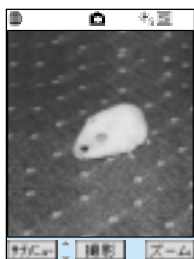
ファインダーをメインディスプレイ／イメージウィンドウに切り替える

自分の姿を写すときなどに、撮影範囲をイメージウィンドウで確かめて撮影することができます。ファインダー画面表示中のサブメニューを使って切り替えることもできます。

1　撮影前のファインダー画面で＊を押す

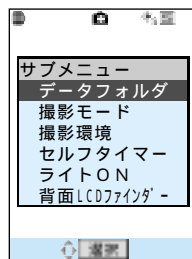
＊を押すごとにファインダーがイメージウィンドウ／メインディスプレイに切り替わります。

- ファインダーとして使用しない方の画面には、モバイルカメラ起動中のイメージイラストが表示されます。

＜メインディスプレイがファインダーのとき＞　＜イメージウィンドウがファインダーのとき＞

撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）

ファインダー画面のサブメニューを使って、セルフタイマーや撮影環境の設定など、さまざまな操作を行うことができます。

1　撮影前のファインダー画面で(ʃ)を押す

サブメニューが表示されます。表示される項目は、使用中の撮影モードや設定状況によって異なります。

例：通常撮影時の場合

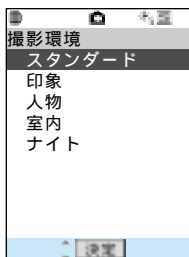
2 ◎を押して項目を選択し、📖を押す

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
データフォルダ	データフォルダの内容が表示される	222
撮影モード	撮影モードの選択画面が表示される。◎を押して撮影モードを選択し、📖を押すと、モードが切り替わる	200
撮影環境	撮影環境の選択画面が表示される	216
セルフタイマー	セルフタイマーが設定されたファインダー画面が表示される	203 204 206 209
ボイス OFF／ボイス ON	動画撮影時の音声録音機能の OFF／ON が切り替わり、ファインダー画面に戻る	210
ライト ON／ライト OFF	ライトが点灯／消灯する	213
背面 LCD ファインダー／メイン LCD ファインダー	撮影範囲を決めるために画像を表示するファインダーが、イメージウィンドウ／メインディスプレイに切り替わる	214
シャッター音	静止画撮影時に鳴らすシャッター音の選択画面が表示される	216
(通常撮影／ファインアニメ撮影／デジタルカメラ)画質	画質の選択画面が表示される	217
ファインアニメ撮影間隔	ファインアニメ撮影モードでの連続撮影を、何秒間隔で行うかを選択する画面が表示される	206
(通常撮影／ムービー／ファインアニメ／メールアニメ／アクションビュー／デジタルカメラ）保存先	保存先として設定されているフォルダの一覧画面が表示される。保存先の変更が行える	218
フリッカー抑制	フリッカー抑制機能の ON／OFF を選択する画面が表示される	219

撮影環境にあわせた設定にする（撮影環境）

撮影する環境にあわせて画像の特性を選択することができます。ムービー撮影モードでは選択できません。モバイルカメラを起動したときには「スタンダード」に設定されています。

1 「撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）」の操作２（☞P２１５）で「撮影環境」を選択し、Ⓜを押す

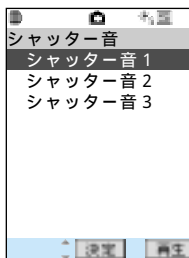
- 「ナイト」はファインアニメ／メールアニメ／アクションビューの各撮影モードでは設定できません。
- 各設定には以下のような特徴があります。
  「スタンダード」：標準的な設定
  「印象」：色を強調して撮影する
  「人物」：肌色が美しく撮影できる
  「室内」：蛍光灯の下でも自然に近い色調で撮影できる
  「ナイト」：暗い場所での撮影に適した設定

2 ◎を押して設定を選択し、Ⓜを押す

設定が変更されファインダー画面に戻ります。

シャッター音を設定する（シャッター音）

通常撮影／デジタルカメラ撮影の各モードのときには、撮影時に鳴るシャッター音（3種類）を選択することができます。お買い上げ時は「シャッター音 1」に設定されています。

1 「撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）」の操作２（☞P２１５）で「シャッター音」を選択し、Ⓜを押す

現在の設定が反転表示されます。

2 ◎を押して設定を選択し、Ⓜを押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

- 選択中のシャッター音を確認したいときは、✉を押します。

9 カメラを使いましょう

- シャッター音の音量は変更できません。

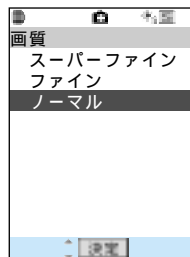
画質を設定する（画質）

通常撮影／ファインアニメ撮影／デジタルカメラ撮影の各モードでは、画像の画質を選択することができます。いずれのモードもお買い上げ時は「ノーマル」に設定されています。

例：通常撮影モードの場合

1 「撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）」の操作２（☞Ｐ２１５）で「通常撮影画質」を選択し、(📖)を押す

現在の設定が反転表示されます。

- 画質が高いほど、保存時のファイルサイズが大きくなります。
- 通常撮影画質を「スーパーファイン」に設定すると、撮影直後の画面からスーパーメール編集画面を表示させてメッセージを作成することはできません。（☞P205）

- 通常撮影／ファインアニメ撮影の各モードでは、画質の高い順に「スーパーファイン」、「ファイン」、「ノーマル」のいずれかが選択できます。デジタルカメラ撮影モードでは「ノーマル」、「エコノミー」のいずれかを選択します。

2 (◎)を押して設定を選択し、(📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

ファイルの保存先を変更する（保存先）

データフォルダ内の、どのフォルダに画像を保存するかを変更することができます。お買い上げ時は、撮影モードごとに以下のフォルダに振り分けられるように設定されています。
通常撮影：「ピクチャー」フォルダ
ムービー・アクションビュー：「ムービー」フォルダ
ファインアニメ・メールアニメ：「アニメーション」フォルダ
デジタルカメラ：「ピクチャー」フォルダ内の「デジタルカメラ」フォルダ

例：通常撮影モードの保存先を自作フォルダ「フォルダ1」に変更する場合

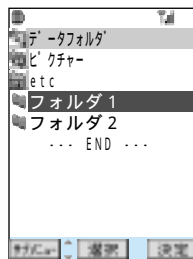
1 「撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）」の操作２（☞P２１５）で「通常撮影保存先」を選択し、を押す

現在保存先に設定されているフォルダ内の、フォルダとファイルの一覧が表示されます。

- 現在の保存先を変更したくないときは、クリアを繰り返し押して、サブメニュー表示前の画面に戻ります。
- 撮影後に設定を変更する場合は、撮影画像画面でを押し、「通常撮影保存先」を選択してを押します。

2 保存先に設定するフォルダを選択する

上位階層のフォルダを表示させるときはクリアを押します。フォルダ内を表示させるときは、で目的のフォルダを選択し、を押します。

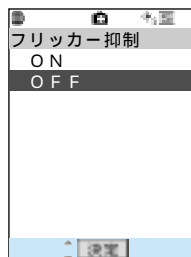
- 現在の撮影モードの画像ファイルを保存できないフォルダは、表示されません。

3 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、サブメニュー表示前の画面に戻ります。

- 設定は、設定操作を行った撮影モードに対して適用され、再度変更を行うまで保存されます。
- 操作１や操作２などデータフォルダ内が表示されている画面でを押し、「フォルダ作成」を選択してを押すと、自作のフォルダを作成することができます。フォルダの作成はデータフォルダ起動中の操作からも行えます。（☞P３２４）
- 撮影後の撮影画像画面のサブメニュー（☞P２１９）からも、同様の手順で設定の変更が行えます。

フリッカー抑制機能を設定する

蛍光灯の下などでの撮影時に生じるフリッカー現象（画面がちらつく）を抑える機能のON／OFFを切り替えることができます。ムービー撮影モードでは設定できません。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 **「撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）」の操作２（☞Ｐ２１５）で「フリッカー抑制」を選択し、を押す**

2 **を押して設定を選択し、を押す**

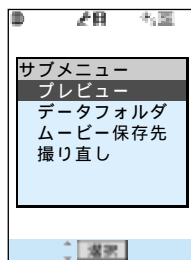
設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、ファインダー画面に戻ります。

補足
- 設定は、再度変更を行うまで保存されます。

保存前の各種操作

保存する前に動画やアニメーションなどを再生して見るときや、保存先を変更したり、撮り直しを行うときには、撮影画像画面のサブメニューを使います。

1 **撮影後の撮影画像画面でを押す**

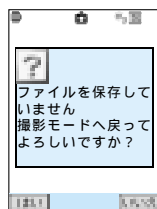
サブメニューが表示されます。表示される項目は撮影モードによって異なります。

例：ムービー撮影時の場合

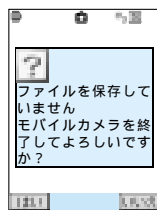
2 ◎を押して項目を選択し、（本）を押す

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
プレビュー	ムービー／アクションビュー撮影モードで撮影した動画が再生される	211
プレビュー切替	ファインアニメ／メールアニメ撮影モードで撮影した画像が、全コマ表示／アニメーション表示に切り替わる	207
データフォルダ	データフォルダの内容が表示される	222
（通常撮影／ムービー／ファインアニメ／メールアニメ／アクションビュー／デジタルカメラ）保存先	保存先として設定されているフォルダの一覧画面が表示される。保存先の変更が行える	218
撮り直し	撮影した画像が破棄され、撮影前のファインダー画面が表示される。最初から撮影し直すことができる	—

画像を保存せずに（クリア）または（PWR HLD）を押したときは

（クリア）を押したときは、右のような画面が表示されます。

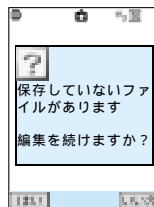
- 画像を破棄するときは（ʃ）を押します。
- 画像の保存を行うときは（✍）を押して（本）を押します。

（PWR HLD）を押したときは、右のような画面が表示されます。

- 画像を破棄するときは（ʃ）を押します。
- 画像の保存を行うときは（✍）を押して（本）を押します。

前回の撮影が中断されたときは

撮影した画像を保存する前に以下の理由でモバイルカメラが終了した場合は、保存できなかった画像が J-N51 内に一時的に保護されます。

- 電話がかかってきたとき
- スケジュール（☞P245）やめざまし（☞P254）で設定したアラームが起動したとき
- J-N51 を折り畳んだとき
- 3 分以上何も操作しなかったとき
- ステーション サービスの特に緊急度の高い情報を受信したとき（☞『J- スカイ編』）

その場合は、モバイルカメラを起動したときに右のような画面が表示されます。

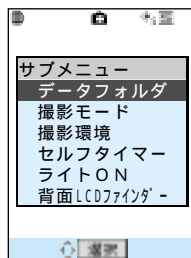
- 保護されている画像を呼び出すときはを押します。
- 保護されている画像を破棄して新しく撮影するときは（メールキー）を押します。

補足

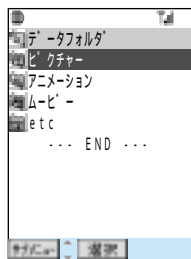
- 電源を OFF にすると保護されている画像は消去されます。

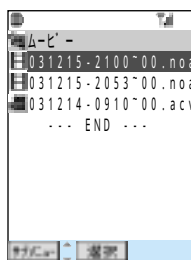
撮影した画像を確認する

モバイルカメラ起動中に、データフォルダに保存されている画像を再生して確認することができます。操作は、ファインダー画面（撮影前）または撮影画像画面（撮影後）のサブメニューを使って行います。ファイルの再生は、メディアポッド（☞P368）やJ - スカイメニュー（☞『J - スカイ編』）からも行えます。データフォルダの詳しい操作方法については、「データを活用しましょう」（☞P317）を参照してください。

例：ファインダー画面から操作し、動画を再生する場合

1　ファインダー画面で(∫)を押す

2　「データフォルダ」を選択し、(📖)を押す

データフォルダのフォルダ一覧が表示されます。

3　(◎)を押して目的のフォルダを選択し、(📖)を押す

画像の一覧画面が表示されます。

画像のファイル名について

モバイルカメラで撮影した画像を保存すると、自動的に番号が付けられます。
デジタルカメラ撮影モードで撮った画像には、「JN510001」から「JN519999」までの番号が、小さい番号から順に付けられます。
それ以外の画像には、撮影日時がファイル名として付けられます。たとえば「031215-2100」は、2003年12月15日午後9時に撮影された画像であることを示します。

4 を押して目的のファイルを選択し、を押す

画像が表示されます。

- 着信音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面でを押したときには、音声付きのファイルは最小の音量で再生され、再生中にを押すと音量調整が行えます。「…音を鳴らしますか？」という画面でを押すと、音声が鳴りません。
- 画像表示中のディスプレイの最下段にまたはが表示されているときは、またはを押すと、前後の画像が表示されます。

5 モバイルカメラの画面に戻るときは、を押す

- 待受画面に戻るときはを押します。

ほかにもいろいろあります

ご自分の電話番号やメールアドレスなどを登録/編集する(オーナー情報)

オーナー情報には、お使いのJ-N51の電話番号を含む最大3件の電話番号、名前、フリガナ、最大3件のE-mailアドレス、郵便番号、住所が登録できます。オーナー情報は待受中、通話中に確認できるだけでなく、さまざまに活用できます。オーナー情報を登録するときおよび初期化するときには、操作用暗証番号(☞P16)の入力が必要です。お買い上げ時には、J-N51の電話番号のみ登録されています。

オーナー情報を登録する

例:名前とフリガナを登録する

1 メニューから「オーナー情報」を呼び出す

お使いのJ-N51の電話番号が登録されているオーナー情報の内容画面が表示されます。

①◎(メニュー)を押す

②◎を押して を選択し、(📖)を押す

③ を選択し、(📖)を押す

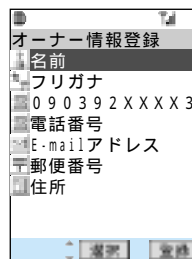
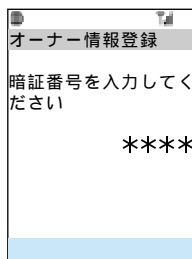
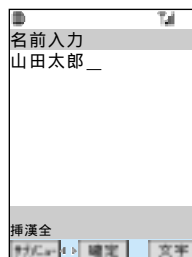
2 (📖)を押し、操作用暗証番号(4桁)を入力する

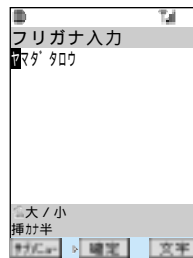
入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 (📖)を押し、名前(全角最大10文字、半角最大20文字)を入力する

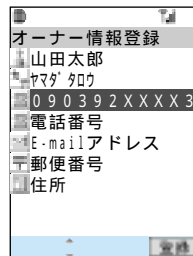
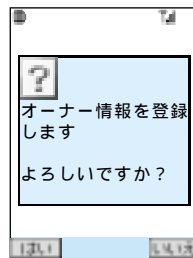
- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

4 （本）を押す

名前入力の画面で入力した文字列が、そのままフリガナとして半角文字で表示されます。

- フリガナを変更するときは、（◯）を押して変更する文字の上にカーソルを移動し、（クリア）を押して消去してから入力し直します。
- 最大20文字まで表示されます。

5 （本）を押す

J-N51の電話番号の行が反転表示されます。

- （◯）で登録項目を選択し（本）を押すと、他の項目の登録を続けて行うことができます。操作の方法については「メモリダイヤルに登録する」の操作8～15（☞P86～87）を参照してください。
- 郵便番号を入力するときは7桁の数字を連続して入力してください。「-」は入力できませんが、確定後自動的に表示されます。

6 （メール）を押す

7 （∫）を押す

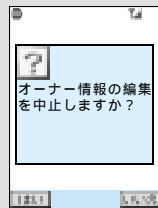
登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、オーナー情報の内容画面に戻り、登録された内容が反映されていることを確認できます。

- 登録を中止するときは（メール）を押します。

8 （PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

補足

- オーナー情報編集中に(クリア)または(PWR HLD)を押して編集を終了しようとした場合、右のような確認画面が表示されます。(ʃ)を押すとオーナー情報の編集を終了し、編集中のデータは削除されます。(✍)を押すと元の編集画面に戻ります。

オーナー情報を活用／編集する

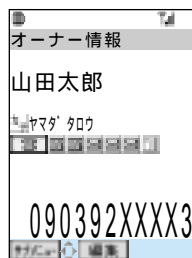
オーナー情報に登録したデータを赤外線送信したり、vCardファイルとして保存したり、電話番号を送出して活用することができます。また、登録されている電話番号やアドレスを消去したり、オーナー情報をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。

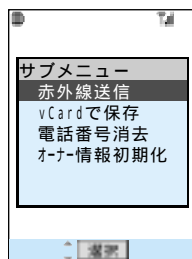
1 メニューから「オーナー情報」を呼び出す

オーナー情報の内容画面が表示されます。

① ◯（メニュー）を押す

② ◯を押して（マイデータ）を選択し、(📖)を押す

③ （オーナー情報）を選択し、(📖)を押す

2 ◯を押して目的の項目を表示し、(ʃ)を押す

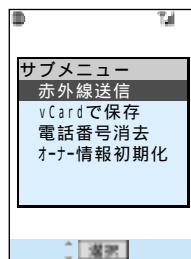
サブメニューが表示されます。

オーナー情報のサブメニューには以下の操作ができます。操作方法はそれぞれのページを参照してください。

項　目	内　容	参照ページ
送出	表示中の電話番号を一括送出する（通話中で、電話番号が表示されているときだけ表示される）	292
赤外線送信	オーナー情報を赤外線送信で送信する（通話中は表示されない）	362
vCard で保存	オーナー情報を vCard ファイルとして保存する（通話中は表示されない）	360
電話番号消去／アドレス消去	表示中の電話番号／メールアドレスを削除する	229
オーナー情報初期化※	登録された情報をすべてお買い上げ時の状態に戻す	230

※操作には、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

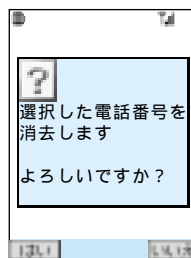
登録した電話番号／メールアドレスを消去する

例：電話番号を消去する

1 「オーナー情報を活用／編集する」（☞P228）を行う

（☞P228）

2 を押して「電話番号消去」を選択し、を押す

- 「電話番号１」は自局電話番号固定となっているので削除できません。「オーナー情報を活用／編集する」の操作２（☞P228）で「電話番号１」を表示してを押しても、サブメニューに「電話番号消去」は表示されません。

- メールアドレスを消去するときは、操作２で目的のメールアドレスを表示してを押します。サブメニューには「アドレス消去」という項目が表示されます。

3 を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、オーナー情報の内容画面に戻ります。

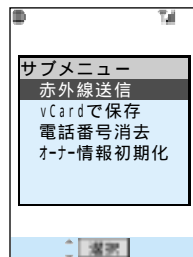
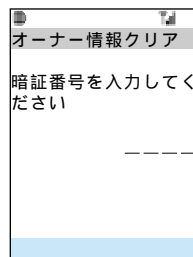
- 消去を中止するときはを押します。

4 を押す

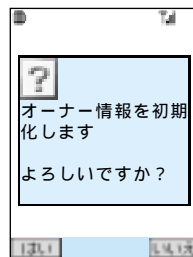
待受画面に戻ります。

- 「電話番号３」が登録されている状態で「電話番号２」を消去すると、「電話番号３」の内容が「電話番号２」に移動します。メールアドレスを消去した場合も同様です。

オーナー情報をお買い上げ時の状態に戻す（オーナー情報初期化）

1 **「オーナー情報を活用／編集する」（☞P228）を行う**

2 **を押して「オーナー情報初期化」を選択し、を押す**

3 **操作用暗証番号（4 桁）を入力する**

入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

4 **を押す**

オーナー情報初期化の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、オーナー情報の内容画面に戻ります。

- オーナー情報の初期化を中止するときはを押します。

5 **PWR HLD を押す**

待受画面に戻ります。

- オーナー情報を初期化すると、「電話番号 1」（自局電話番号）以外の項目が全て未設定の状態になります。

着信ランプの色を変更する(着信イルミネーション)

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに点滅する着信ランプの色を、8 種類(7 色と「イルミネーション」)のうちから選択し、着信の種類ごとに色分けすることができます。お買い上げ時は以下のように設定されています。
(通常着信):エメラルド　(メール着信):サファイア
(ウェブ着信):サファイア　(ステーション着信):サファイア

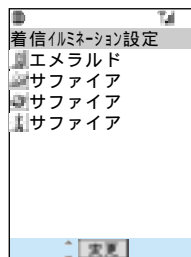
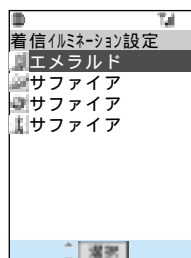
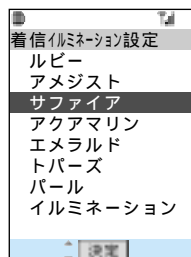
1 **メニューから「着信イルミネーション設定」を呼び出す**

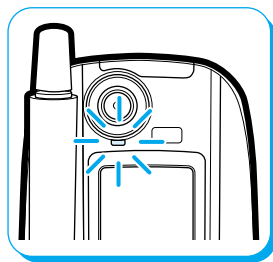
現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を選択し、を押す

③ を選択し、を押す

④ を押して「着信イルミネーション設定」を選択し、を押す

2 **を押す**

3 **を押して着信の種類を選択し、を押す**

4 を押して、お好みの色を着信ランプで確認して選択する

5 を押す

変更の完了をお知らせせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

6 を押す

待受画面に戻ります。

補足
- 「イルミネーション」に設定すると、ルビー→アメジスト→サファイア→アクアマリン→エメラルド→トパーズ→パールの順に点滅します。

未確認のメッセージがあるときに着信ランプで知らせる(未確認通知)

J-N51を折り畳んでいるときに簡易留守録が録音されたり新しいメッセージを受信したりすると、J-N51を開くまで着信ランプが点滅してそれをお知らせすることができます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 メニューから「未確認通知」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◎(メニュー)を押す

② を選択し、Ⓜを押す

③ を選択し、Ⓜを押す

④ ◎を押して「未確認通知」を選択し、Ⓜを押す

2 ⓙを押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

補足
- 「OFF」に設定するときはⓜを押します。

3 (PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

注意
- 着信ランプが長時間点滅したままになっていると、連続待受時間が短くなります。

補足
- 未確認通知を「ON」に設定していても、充電中やJ-N51を開いている状態のときには着信ランプは点滅しません。
- 着信ランプは、着信イルミネーション（☞P231）で設定されている色で点滅します。2件以上の着信があったときは、最新の着信の種類に対応する色で点滅します。
- 未確認通知を「ON」に設定していると、着信音が鳴り終わったあと、あるいは簡易留守録が録音されると着信ランプの点滅がはじまり、J-N51を開くまで点滅が続きます。ただし、次の場合には点滅が止まります。
  ・充電を始めたとき
  ・電池パックを外したとき
  ・電池がなくなったとき

不在着信や新着メールの有無を音で知らせる(ボイスアナウンス)

不在着信の有無や新着メールの有無を音声などでお知らせすることができます。お買い上げ時は「音声通知」に設定されています。

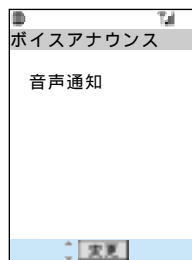
1 メニューから「ボイスアナウンス」を呼び出す

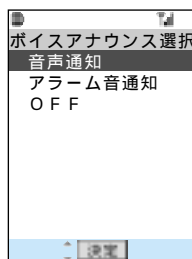
現在の設定が表示されます。

① (メニュー)を押す

② を選択し、を押す

③ を選択し、を押す

④ を押して「ボイスアナウンス」を選択し、を押す

2 を押す

通知方法の選択画面が表示されます。

3 を押して設定したい通知方法を選択し、を押す

変更の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

4 **を押す**

待受画面に戻ります。

補足

- ダイヤルロックをしているときまたはサイドボタンの操作を無効にしているときは、ボイスアナウンスは通知されません。
- 音量は通常着信の設定（☞P121）にしたがいます。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル1）になります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P236）の通常着信の音量にしたがいます。

ボイスアナウンスの操作

J-N51を折り畳んでいるときにを長く押します。状況により、以下のようにお知らせします。

新着状況		通知方法	
不在着信	新着メール	音声通知	アラーム音通知
あり	あり	「電話がありました、メールも来ています」	ピピ、ピピ
あり	なし	「電話がありました」	
なし	あり	「メールが来ています」	
なし	なし	「電話もメールも来ていません」	ピピピ

周囲の迷惑とならないように設定する(マナーモード)

ボタンを１つ押してマナーモードに切り替えるだけで、公共の場や静かな場所で周囲の迷惑にならないようにすることができます。マナーモードを設定したときは、マナーモード設定(☞P236)で設定した内容で着信をお知らせしたり、簡易留守録(☞P37、281)をONにすることができます。お買い上げ時はマナーモードは解除されています。

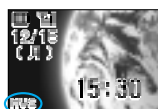
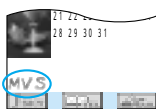
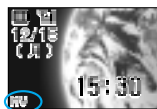
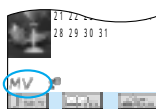
マナーモードを設定する

1 **(アシスト／マナー)を長く押す**

マナーモードが設定されると、メインディスプレイにMが表示されます。またマナーモード設定(☞P236)で設定した内容に応じてS、V、が合わせて表示されます。イメージウィンドウにも同様ですが、は表示されません。

マナーモードを設定したときの表示について

マナーモードを設定するとMが表示されます。その他の表示内容はマナーモード設定(☞P236)で「通常着信」に設定した内容によって異なります。

- S 通常着信の着信音量が「サイレント」に設定されているときに表示される
- V 通常着信のバイブレータが「ON」または「SMAF連動」に設定されているときに表示される
- 通常着信の簡易留守録が「ON」に設定されているときに表示される

<イメージウィンドウの表示例>

マナーモード設定で「通常着信」の設定を
・着信音量：「サイレント」
・バイブレータ：「ON」または「SMAF連動」
・簡易留守録：「OFF」
に設定している場合

<イメージウィンドウの表示例>

マナーモード設定で「通常着信」の設定を
・着信音量：サイレント以外
・バイブレータ：「ON」または「SMAF連動」
・簡易留守録：「ON」
に設定している場合

※イメージウィンドウには簡易留守録の設定状態は表示されません。

- (アシスト／マナー)を短く押すとアシストダイヤル(☞P110)の呼び出し画面になり、マナーモードは設定されません。
- マナーモードは待受中だけでなく、着信中にも設定することができます。ただし、マナーモード設定で簡易留守録を「ON」に設定していても簡易留守録は起動しません。
- 着信中に(アシスト／マナー)を短く押すと、マナーモードを設定せずに着信音だけを一時的に消すことができます。
- 通話中に(アシスト／マナー)を長く押すと、マナーモードを設定せずに一時的にマイクの感度を上げることができます。

マナーモードを設定すると

マイクの感度が上がり、小さな声で話しても、通話中の相手には普通の大きさで聞こえるようになります。また、マナーモード設定で設定した着信音量、バイブレータに切り替わります。ただし、「ウェイクアップ音」「シャットダウン音」「警告音」「ボタン確認音」はマナーモードの設定内容に関係なく、以下のように動作します。

音の種類	マナーモード設定時のバイブレータ設定	
	ON／SMAF連動	OFF
ウェイクアップ音	音：鳴らない バイブレータ：振動する	音：鳴らない バイブレータ：振動しない
シャットダウン音		
警告音	音：鳴らない バイブレータ：振動しない	
ボタン確認音		

- モバイルカメラのシャッター音、セルフタイマーのタイマー音、電池アラーム音、応答保留音は、マナーモードの設定とは関係なく、一定の音量で鳴ります。

マナーモードを解除する

1 ◎（アシスト／マナー）を長く押す

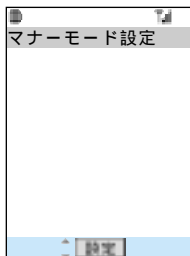
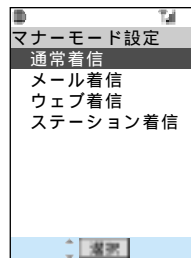
マナーモードが解除され、メインディスプレイのM、またマナーモード設定で設定した内容に応じてS、V、の表示が消えます。イメージウィンドウも同様に表示が消えます。

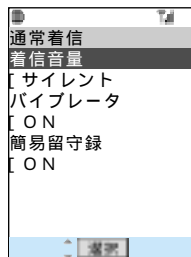
- 着信中または通話中に◎（アシスト／マナー）を長く押しても、マナーモードは解除されません。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード設定中に、電話がかかってきたときやメッセージを受信したときの着信音量の設定や、バイブレータのON／OFF／SMAF連動の設定を各着信（通常、メール、ウェブ、ステーション）別に設定することができます。また電話がかかってきたときに簡易留守録応答（☞P284）するように設定することもできます。

1 メニューから「マナーモード設定」を呼び出す

① ◎（メニュー）を押す
② を選択し、◎を押す
③ を選択し、◎を押す
④ ◎を押して「マナーモード設定」を選択し、◎を押す

2 (📖)を押す

3 ◯を押して着信の種類を選択し、(📖)を押す

- J -スカイのON／OFF設定（☞『J -スカイ編』）でメールサービス、ウェブサービス、ステーションサービスの設定をOFFにしているときに、これらの着信のマナーモードを設定することはできません。警告音とメッセージでお知らせします。

4 変更したい項目を設定する

着信音量を変えたいとき	「着信音量を設定する」（☞P238）
バイブレータの設定を切り替えたいとき	「バイブレータのON／OFFを設定する」（☞P238）
簡易留守録のON／OFFを切り替えたいとき	「簡易留守録のON／OFFを設定する」（☞P239）

5 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

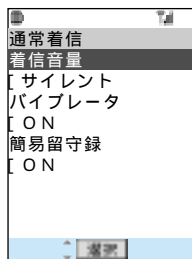
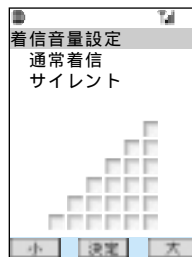
- バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定していると、着信時などの振動でJ-N51が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちる場合がありますのでご注意ください。
- 充電中は、バイブレータは振動しません。ただし、バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定していると、Java™の動作中にバイブレータが振動する場合があります。Java™の動作中のバイブレータを振動させないためには、「Java™アプリ動作中のバイブレータの動作方法を設定する」（☞『J - スカイ編』）の操作を行ってください。

着信音量を設定する

マナーモードを設定したときの通常の電話、メール、ウェブ、ステーションの各着信音量を設定することができます。お買い上げ時はすべての着信音量が「サイレント」に設定されています。

1 「マナーモードの設定内容を変更する」の操作1～3（☞P236～237）を行う

（☞P236～237）

「着信音量」が反転表示されます。

2 (📖)を押す

3 (∫)または(✍)を押してお好みの音量に調節し、(📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

- 音量を調節するとき、マナーモード設定中の場合は設定開始時の音量で鳴ります。

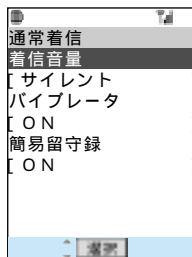
バイブレータのON／OFFを設定する

マナーモードを設定したときのバイブレータのON／OFF／SMAF連動を設定することができます。お買い上げ時はすべての着信が「ON」に設定されています。

例：「OFF」に設定する場合

1 「マナーモードの設定内容を変更する」の操作1～3（☞P236～237）を行う

ほかにもいろいろあります

10

2 （◎）を押して「バイブレータ」を選択し、（📖）を押す

3 （◎）を押して「OFF」を選択し、（📖）を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

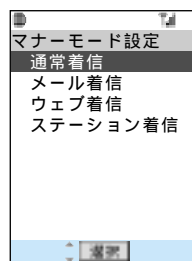
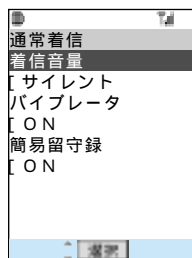
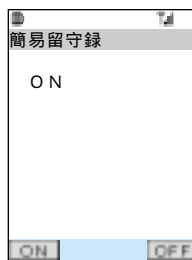
- バイブレータを「ON」／「SMAF連動」にするときは「ON」／「SMAF連動」を選択し、（📖）を押します。
- 「SMAF連動」を設定すると、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されてない場合には固定パターンで振動します。

簡易留守録のON／OFFを設定する

マナーモード設定中に電話がかかってきたとき、簡易留守録応答（☞P284）するように設定することができます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

例：「OFF」に設定する場合

1 「マナーモードの設定内容を変更する」の操作1〜2（☞P236〜237）を行う

「通常着信」が反転表示されます。

2 （📖）を押す

3 を押して「簡易留守録」を選択し、を押す

4 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
操作 2 の画面に戻ります。

- 「ON」に設定するときはを押します。

- 着信から簡易留守録への移行時間は簡易留守録設定での設定にしたがいます。「着信から簡易留守録応答を開始するまでの時間を設定する」（☞P282）

J-N51を折り畳んだときの動作を設定する（クローズ終話）

J-N51を折り畳むことによって、(PWR HLD)を押したときと同じ動作をさせることができます。「ON」のときは、通話中にJ-N51を折り畳むと、通話を切ることができます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 メニューから「クローズ終話」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◎（メニュー）を押す

② を選択し、(📖)を押す

③ ◎を押してを選択し、(📖)を押す

④ ◎を押して「クローズ終話」を選択し、(📖)を押す

2 (ʃ)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

補足
- 「OFF」に設定するときは(✎)を押します。

3 (PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

補足
- 「OFF」に設定しているときは、通話中にJ-N51を折り畳むと、保留の状態になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。もう一度開くと通話できます。また、イヤホンマイク（別売）接続時はJ-N51を折り畳んだままでも通話できます。

J-N51を折り畳んだときの誤動作を防止する(サイドボタン設定)

サイドボタンロックをかけることにより、J-N51を折り畳んだ状態でサイドボタンを押しても操作無効になり、誤動作を防ぎます。お買い上げ時は「閉じたとき有効」に設定されています。

例：「閉じたとき無効」に設定する場合

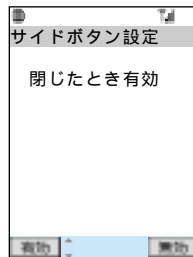
1 メニューから「サイドボタン設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

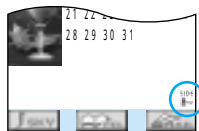
④ を押して「サイドボタン設定」を選択し、を押す

2 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

補足

- 閉じたときのサイドボタン操作を有効にするときはを押します。

3 PWR HLDを押す

待受画面に戻り「」が表示されます。

補足

- サイドボタンロックをかけてもJ-N51を開いた状態でのサイドボタン操作は有効です。
- サイドボタン有効時の操作の詳細については「サイドボタンの使いかたについて」(☞P7)をご覧ください。

電波が弱いときにアラームで知らせる(通話品質アラーム)

通話中、電波の状態が悪く、途中で電話が切れてしまう恐れのあるときに、アラーム音でお知らせするようにすることができます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 メニューから「通話品質アラーム」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◯(メニュー)を押す

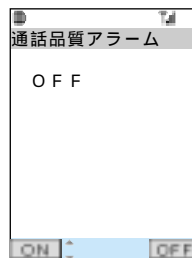
② を選択し、(📖)を押す

③ ◯を押して を選択し、(📖)を押す

④ ◯を押して「通話品質アラーム」を選択し、(📖)を押す

2 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

補足

- 「OFF」に設定するときは(✎)を押します。

3 を押す

待受画面に戻ります。

注意

- 通話中は(クリア)を繰り返し押して通話中画面に戻してください。(PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。

- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

- 通話品質アラームの音は通話中の相手には聞こえません。

電池の消耗を抑える機能を解除する(バッテリーセーブ)

通話中、ご自分が話をしていないときに発信する電波の出力を小さくして、電池の消耗を抑えています。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

例：「OFF」に設定する場合

1 メニューから「バッテリーセーブ」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① ◯(メニュー) を押す

② を選択し、(📖)を押す

③ ◯を押して etc. を選択し、(📖)を押す

④ ◯を押して「バッテリーセーブ」を選択し、(📖)を押す

2 (✍)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 「ON」に設定するときは(ʃ)を押します。

3 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

注意

- バッテリーセーブを「ON」に設定していると、こちらの話しはじめの声が聞こえにくくなる場合があります。
- マナーモードを設定していると、バッテリーセーブが「ON」になっていても、通話時にバッテリーセーブは働きません。

指定した日時にアラームなどを設定する(スケジュール設定)

スケジュール機能を利用すると、J-N51を予定の日時をお知らせするアラームとして使ったり、あらかじめ設定した時刻に自動的に電源をON／OFFさせたり（自動電源ON／OFF)、めざましとして使ったり、あらかじめ設定したJava™アプリを起動させたり（「Java™タイマー起動設定」（☞『J-スカイ編』））することができます。スケジュールはめざましやJava™タイマー起動設定（☞『J-スカイ編』）を含めて100件まで登録できます。なお、スケジュール機能を利用するには、日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

スケジュール編集画面では以下の項目が設定できます。ご自分の目的に合わせて必要な項目を設定します。

<スケジュール編集画面と設定する項目の例>

日付設定：
スケジュール動作を起動させる日時を設定します。

繰り返し指定：
毎週、指定した時刻にスケジュール動作を起動させたいときに、曜日を指定します。初期設定：繰り返しなし

スケジュール動作：
アラーム音でお知らせしたり、自動的に電源をONにするときは「電源オン（アラーム)」に設定します。自動的に電源をOFFにするときは「電源オフ」に設定します。
初期設定：電源オン（アラーム）

アラーム音選択：
指定した日時をお知らせしたり、自動的に電源をONにしたときに鳴らすアラーム音を設定します。アラーム音にはデータフォルダに登録したメロディも選べます。初期設定：着信音2

メッセージ：
指定した日時をお知らせしたり、自動的に電源をONにしたときに表示させる文字またはイラストを設定します（メッセージアラーム）。イラストにはデータフォルダに登録した画像も選べます。初期設定：イラスト（オリジナル）

- 「電源オン（アラーム)」に設定されたスケジュールの日時になると、電源をOFFにしているときでも自動的に電源がONになります。高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ「電源オン（アラーム)」に設定されたスケジュールを消去し、電源をOFFにしてください。

スケジュールを登録する

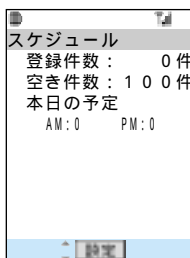
ここではスケジュールの登録に必要な各項目の設定方法を説明します。

1 メニューから「スケジュール」を呼び出す

現在の登録状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

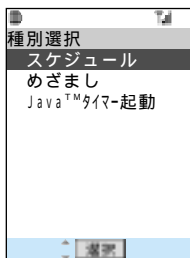
③ を選択し、を押す

2 を押す

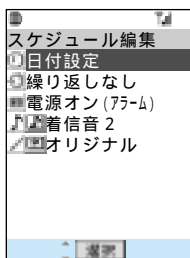
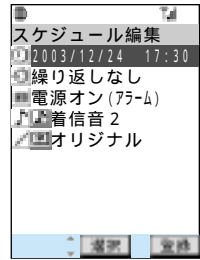
カレンダーが表示され、現在の日付が選択されています。

- スケジュールまたはJava™タイマー起動が登録されている日付は緑色で表示されます。めざましだけが登録されている日付は通常と同じ色で表示されます。
- スケジュールやめざまし、Java™タイマー起動がすでに100件登録されているときは、新規が表示されず、スケジュールを登録することができません。スケジュールの登録内容を消去（☞P261）してください。
- カレンダーは待受画面で(メニュー)を長く押すことでも表示できます。
- 土曜日は青く、日曜日は赤く表示されます。

3 を押して登録したい日を選択し、を押す

種別選択画面が表示され、「スケジュール」が反転表示されます。

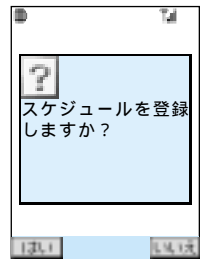
- 登録可能な日付は2003年1月1日～2098年12月31日です。

4 を押す

- Java™タイマー起動を設定したいときはを押して「Java™タイマー起動」を選択し、を押して「指定した時刻にJava™アプリを起動する」（☞『J-スカイ編』）の操作を行ってください。
- めざましを設定したいときはを押して「めざまし」を選択し、を押して「めざましを登録する」（☞P254）の操作を行ってください。

5 以下の表にしたがって必要な項目を設定する

基本的な使いかたと設定項目

4 通りの使いかたを紹介します。

使いかた	設定項目（○：必要　×：不要　★：お好みで）				
	日付設定（☞P249）	繰り返し指定（☞P249）	スケジュール動作（☞P250）	アラーム音選択（☞P251）	メッセージ（☞P252）
日時をお知らせするアラームとして使う※1	○	×※2	×	★	★
毎日決まった時刻に、切っておいた J-N51 の電源を ON にする	○	○	×	★	★
毎日決まった時刻に電源を OFF にする	○	○	○	設定できません	設定できません
毎日決まった時刻にアラームを鳴らす（めざまし）	詳しい設定は「めざましを登録する」(☞P254) をご覧ください。				
選択した Java™ アプリを指定した日時に起動させる	詳しい設定は「指定した時刻に Java™ アプリを起動する」(☞『J - スカイ編』) をご覧ください。				

※ 1　電源を OFF にしてしまっていた場合にも、自動的に電源を ON にしてお知らせします。
※ 2　毎週同じ時刻にアラーム音を鳴らしたいときには設定が必要です。

6 （）を押す

7 （）を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 2 の画面に戻ります。

- 登録を中止するときは（）を押します。

8 （PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

ほかにもいろいろあります

10

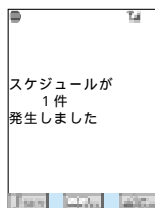
アラームまたは電源ONの時刻になると

指定された時刻になると、アラーム音が鳴ります。メッセージの設定によって、イラストまたは文字が表示されます。
電源がOFFになっていたときは、自動的に電源がONになります。

〈めざましアラーム画面〉

●アラーム音／メッセージを消すには

どのボタンを押しても、アラーム音は止まりますが、メッセージは表示されたままです。再度、いずれかのボタンを押すとメッセージを消すことができます。ただし、ダイヤルロックが設定されているときはまたは（PWR HLD）を押してください。

指定された時刻になっても、ご使用状態によってはアラーム画面が表示されない場合があります。発信中、着信中、通話中またはJ -スカイ サービスをご利用中だった場合は、「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴ります。音声メモ／マイボイスメモ、簡易留守録の録音中または再生中だった場合は、鳴りません。その場合、操作終了後に、指定時刻が過ぎたことをお伝えするメッセージが右のように表示されます。

補足

- アラーム音は、着信音量（☞P121）で設定されている通常着信の音量で鳴り、「サイレント」に設定されているときは鳴りません。マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定（☞P236）の通常着信で設定されている着信音量およびバイブレータでお知らせします。
- バイブレータ（☞P128）が設定されているときは、アラーム音と振動でお知らせします。

電源OFFの時刻になると（スケジュール動作を電源OFFにした場合）

指定された時刻になると自動的に電源がOFFされますが、シャットダウンイラストは表示されません。
待受画面ではなかった場合は、待受画面に戻ってから電源がOFFされます。

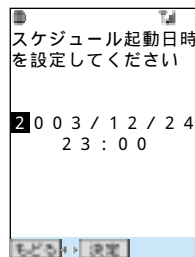
アラーム表示「🔔」について

スケジュールが登録された日付になると待受画面には「🔔」が表示されます。スケジュール管理の目安にしてください。設定した時刻が過ぎ、その日付に登録されたスケジュールが完了すると消えます。

日時を設定する

1　スケジュール編集画面で◯を押して日付設定の行（🕐）を選択し、📖を押す

2　日時を入力する

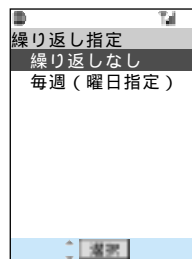
- 年月日は西暦、時刻は24時間制で入力してください。
- 入力を間違えたときは、◯を押してカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。

3　📖を押す

日時が設定され、スケジュール編集画面に戻ります。

- 同じ日時にすでにスケジュールやめざまし、またはJava™タイマー起動が登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

繰り返しの指定をする

例：繰り返し指定をする場合

1　スケジュール編集画面で◯を押して繰り返し指定の行（🔄）を選択し、📖を押す

2 ◎を押して「毎週（曜日指定）」を選択し、📖を押す

- 繰り返し指定をしない場合は、「繰り返しなし」を選択します。📖を押すとスケジュール編集画面に戻ります。

3 ◎を押して繰り返しを設定したい曜日を選択し、

- 繰り返し指定を解除するときは✎を押します。

4 📖を押す

繰り返し指定が設定され、スケジュール編集画面に戻ります。

- 同じ日時にすでにスケジュールやめざまし、またはJava™タイマー起動が登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

スケジュール動作を設定する

例：自動的に電源をOFFにする場合

1 スケジュール編集画面で◎を押してスケジュール動作の行（▣）を選択し、📖を押す

2 ◎を押して「電源オフ」を選択し、📖を押す

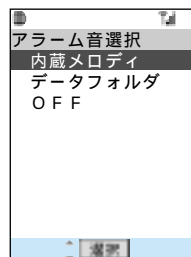
スケジュール動作が設定され、スケジュール編集画面に戻ります。

- 自動的に電源をONにする（アラームとして使う）場合は、「電源オン（アラーム）」を選択します。📖を押すとスケジュール編集画面に戻ります。

アラーム音を設定する

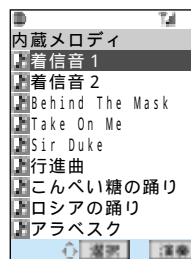
例：内蔵メロディから選択する場合

1 **スケジュール編集画面で◯を押してアラーム音選択の行（♪）を選択し、📖を押す**

「内蔵メロディ」が反転表示されます。

2 **📖を押す**

- データフォルダに登録されたメロディを選択するときは、「データフォルダ」を選択して📖を押し、目的のフォルダから目的のファイルを選択します。
- 「OFF」を選択すると、スケジュールに登録された時間になってもアラームは鳴りません。

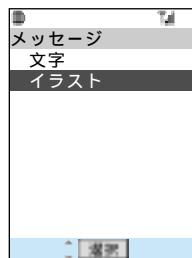
3 **◯を押してお好みのアラーム音を選択する**

- ✍を押してメロディを再生し、再生中に📖を押すこともできます。再生音量は通常着信の設定（☞P121）にしたがいます。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル 1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P236）の通常着信の音量にしたがいます。

4 **📖を押す**

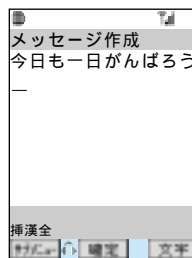
アラーム音が設定され､スケジュール編集画面に戻ります。

メッセージやイラストを表示させる

■メッセージを設定する

1 **スケジュール編集画面で◎を押してメッセージの行（）を選択し、📖を押す**

2 **◎を押して「文字」を選択し、📖を押す**

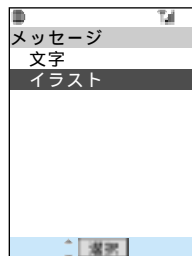
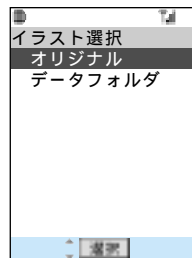
3 **メッセージ（全角最大90文字、半角最大180文字）を入力する**

補足
- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

4 **📖を押す**

メッセージが設定され、スケジュール編集画面に戻ります。

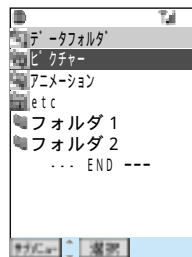
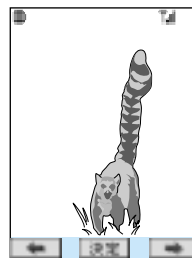
■イラストを設定する

例：データフォルダから選択する場合

1 **スケジュール編集画面で◎を押してメッセージの行（）を選択し、📖を押す**

2 ◎を押して「イラスト」を選択し、📖を押す

3 ◎を押して「データフォルダ」を選択し、📖を押す

データフォルダが表示されます。

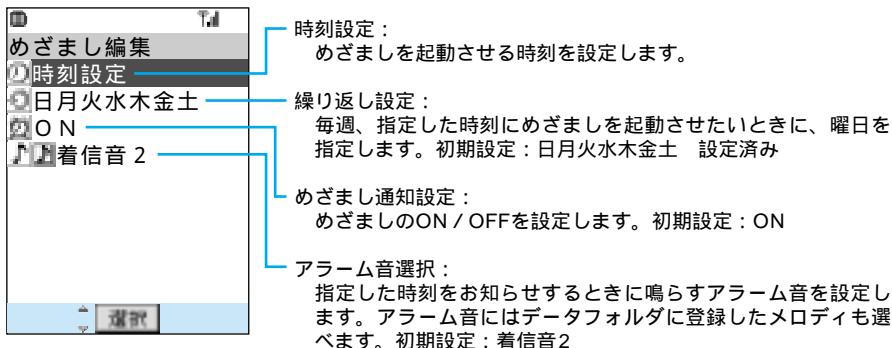
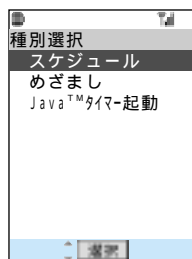
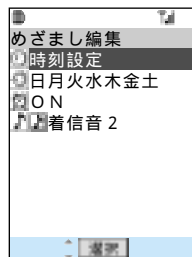
- 初期設定のオリジナルに戻すときは「オリジナル」を選択し、📖を押してイラストを表示し、📖を押してイラストを設定します。

4 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、📖を押す

5 📖を押す

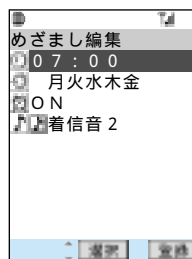
イラストが設定され、スケジュール編集画面に戻ります。

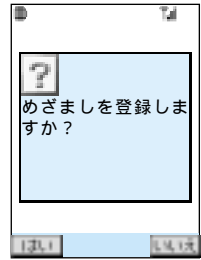
- スケジュールのイラストには、静止画像またはファインアニメやメールアニメといったアニメーションを設定することができます。DCF形式のJPEGファイル（☞P200、319）アクションビュー、ムービーは設定できません。
- 設定できる画像の大きさは、縦180×横160ドットまでです。この大きさを超えた画像は、カットして画像の中央部分を表示します。

めざましを登録する

めざまし編集画面では以下の項目が設定できます。

<めざまし編集画面と設定する項目の例>

1 「スケジュールを登録する」の操作１～３（☞P246）を行う

2 ◎を押して「めざまし」を選択し、📖を押す

3 以下の表にしたがって各項目を設定する

	時刻設定	「めざましの時刻を設定する」（☞P256）
	繰り返し設定	「めざましの繰り返しの設定をする」（☞P256）
	めざまし通知設定	「めざまし通知のON／OFFを設定する」（☞P257）
	アラーム音選択	「アラーム音を設定する」（☞P258）

4 を押す

- めざましの時刻設定を行わないと 登録 が表示されず、登録できません。

5 を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、スケジュールカレンダーの画面に戻ります。

- 登録を中止するときは を押します。

6 PWR HLD を押す

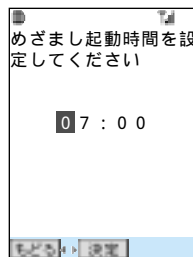
待受画面に戻ります。

- めざましに登録したときの動作やアラーム音を消す方法については、「アラームまたは電源 ON の時刻になると」（☞P248）を参照してください。

めざましの時刻を設定する

1 めざまし編集画面で◎を押して時刻設定の行（⏰）を選択し、📖を押す

2 時刻を入力する

- 時刻は 24 時間制で入力してください。
- 入力を間違えたときは、◎を押してカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。

3 📖を押す

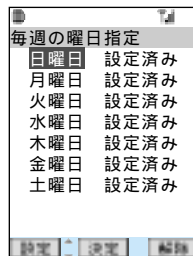
時刻が設定され、めざまし編集画面に戻ります。

- 同じ時刻にすでにスケジュールやめざまし、またはJava™タイマー起動が登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。

めざましの繰り返しの設定をする

例：月～金曜日に繰り返しを設定する場合

1 めざまし編集画面で◎を押して繰り返し設定の行（🔄）を選択し、📖を押す

「日曜日」が反転表示されます。

2 ✉を押す

「日曜日」が「設定なし」になります。

- 繰り返しを設定するときは♪を押します。

3 ◯を押して「土曜日」を選択し、✍を押す

「土曜日」が「設定なし」になります。

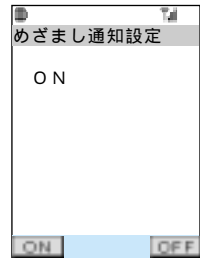
4 📖を押す

繰り返しの曜日が設定され、めざまし編集画面に戻ります。

- 指定した曜日の同じ時刻にすでにスケジュールやめざまし、または Java™ タイマー起動が登録されているときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- すべての曜日の繰り返しが「設定なし」の状態で登録すると、警告音とメッセージでお知らせします。

めざまし通知の ON ／ OFF を設定する

例：めざまし通知を「OFF」に設定する場合

1 めざまし編集画面で◯を押してめざまし通知設定の行（⏰）を選択し、📖を押す

2 ✍を押す

通知が「OFF」に設定され、めざまし編集画面にもどります。

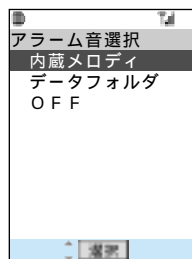
- めざまし通知を「ON」に設定するときは、ʃを押します。

ほかにもいろいろあります

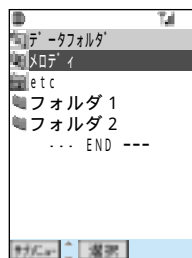
10

アラーム音を設定する

例：データフォルダから選択する場合

1 めざまし編集画面で◯を押してアラーム音選択の行（♪）を選択し、📖を押す

2 ◯を押して「データフォルダ」を選択し、📖を押す

データフォルダが表示されます。

- 「内蔵メロディ」を選択したときは、メロディ一覧が表示されます。
- 「OFF」を選択すると、めざましに登録された時刻になってもアラームは鳴りません。

3 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、📖を押す

アラーム音が設定され、めざまし編集画面にもどります。

- ✍を押してメロディ／サウンドを再生し、再生中に📖を押すこともできます。ただし、通常着信の音量が「サイレント」に設定されているときは、音は鳴りません。マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定（☞P236）の通常着信で設定されている着信音量で鳴ります。

スケジュールの登録内容を確認／変更する

スケジュールの登録内容を確認したり、変更することができます。

登録内容を確認する

1 メニューから「スケジュール」を呼び出す

現在の登録状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

③ を選択し、を押す

2 を押す

カレンダーが表示され、現在の日付が選択されています。

補足

- スケジュールや Java™ タイマー起動が登録されている日付は緑色で表示されます。めざましだけが登録されている日付はなにも登録されていない日付と同じ色です。

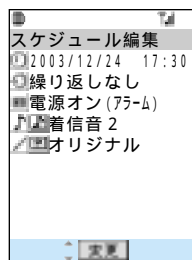
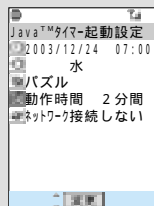
3 を押して確認したい日を選択し、を押す

補足

- を押すと、前後の日付の登録内容が一覧表示されます。

4 ◯を押して確認したいスケジュールを選択し、◯を押す

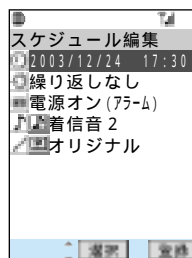
登録内容が表示されます。

- ◯を押すと、前後の時刻のスケジュールの内容を表示させることができます。
- Java™タイマー起動が設定されているときは右のような画面が表示されます。

5 ◯を押す

待受画面に戻ります。

登録内容を変更する

1 変更したいスケジュールの編集画面を呼び出す

①「登録内容を確認する」の操作1～4（☞P259～260）を行う

② ◯を押す

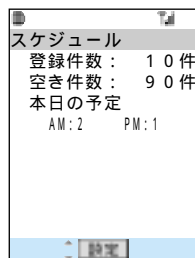
2 ◯を押して変更したい項目を選択し、新しい内容を登録する

「スケジュールを登録する」の操作５～８（☞P247）と同様の操作を行ってください。

スケジュールの登録内容を消去する

スケジュールを1件ずつまたはまとめて消去することができます。

1件ずつ消去する

1 **メニューから「スケジュール」を呼び出す**

現在の登録状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を押してを選択し、を押す

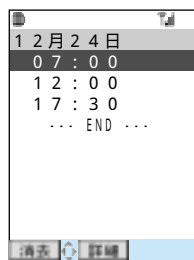
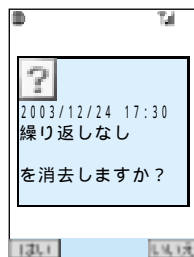
③ を選択し、を押す

2 **を押す**

カレンダーが表示され、現在の日付が選択されています。

補足
- スケジュールやJava™タイマー起動が登録されている日付は緑色で表示されます。めざましだけが登録されている日付の色はなにも登録されていない日付と同じ色です。

3 **を押してスケジュールを消去したい日を選択し、を押す**

補足
- を押すと、前後の日付の登録内容が一覧表示されます。

4 **を押して消去したいスケジュールを選択し、を押す**

5 ◯を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 3 の画面に戻ります。

- 消去を中止するときは◯を押します。

6 ◯を押す

待受画面に戻ります。

まとめて消去する

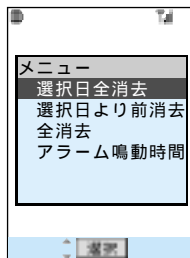
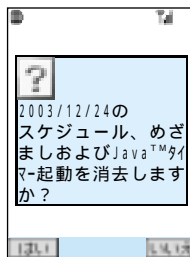
例：特定の日のスケジュールをすべて消去する場合

1 「1件ずつ消去する」の操作1～2（☞P261）を行う

2 ◯を押してスケジュールを消去したい日を選択し、◯を押す

サブメニューが表示され、「選択日全消去」が反転表示されます。

3 ◯を押す

4 を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
操作 1 の画面に戻ります。

- 消去を中止するときはを押します。

5 を押す

待受画面に戻ります。

- 「選択日全消去」でスケジュールを消去する場合、選択日に繰り返し指定をしたスケジュールが含まれていると、選択日以外の登録内容も消去されます。

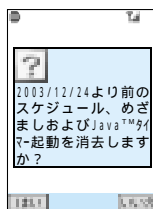
特定の日より前のスケジュールをすべて消去するには

① 操作1の画面でを押して、その日より前のスケジュールをすべて消去したい日を選択し、を押す

② を押して「選択日より前消去」を選択し、を押す

③ を押す

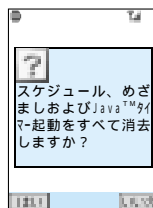
消去を中止するときはを押します。

④ を押す

すべてのスケジュールを消去するには

① 操作 1 の画面でを押す

② を押して「全消去」を選択し、を押す

③ を押す

消去を中止するときはを押します。

④ を押す

アラーム音を鳴らす時間を設定する

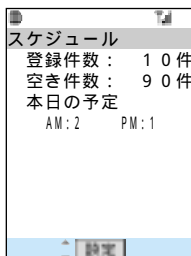
アラーム音を鳴らす時間を、スケジュールとめざましでそれぞれ設定できます。お買い上げ時はどちらも「30 秒」に設定されています。

例：「めざまし」を設定する場合

1 メニューから「スケジュール」を呼び出す

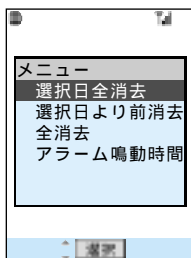
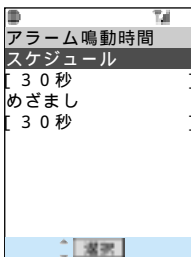
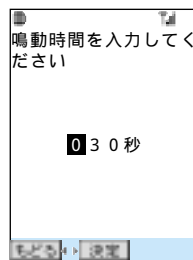
現在の登録状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

③ を選択し、を押す

2 を押す

カレンダーが表示され、現在の日付が選択されています。

3 を押す

4 を押して「アラーム鳴動時間」を選択し、を押す

5 を押して「めざまし」を選択し、を押す

6 時間を入力し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 4 の画面に戻ります。

- アラーム鳴動時間は 1 〜 300 秒のあいだで設定できます。
- 入力を間違えたときは、を押してカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。

7 を押す

待受画面に戻ります。

簡単なメモをとったり、メモにファイルを添付したりして使う

メモ作成機能では、簡単なメモをとったり、メモにファイルを添付（最大20件）したりして登録することができます。登録したメモは内容を表示して確認したり、メールに添付したりして活用することができます。なお、メモ作成機能を利用するには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

メモを作成する

作成できるメモは、ファイルを添付しているメモ（マルチメディアメモ）、メモ本文だけのメモ（テキストメモ）、vNote形式（「vシリーズのファイルとは」（☞P359））のメモの3種類に分けられます。

形　式	拡張子	ファイル内容	入力可能サイズ	メールに添付※2
マルチメディアメモ	.mmm	メモ本文と添付ファイル※1	最大20Kバイト※3	○
テキスト	.txt	メモ本文	最大20Kバイト	○
vNote	.vnt	メモ本文	最大128バイト※3	○

※1　メモ本文が何も入力されておらず、添付ファイルだけの状態でもマルチメディアメモとして作成することができます。
※2　メールに添付できる最大サイズは約12Kバイトになります。
※3　マルチメディアメモ、vNoteは入力したサイズより、保存後のファイルサイズが大きくなります。

メモを作成する流れ

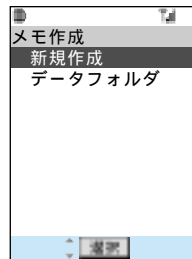
メモを作成するには、「メモ本文の作成」「ファイルの添付」「メモの登録」の操作を行います。

項　目	参照ページ
「メモ本文を作成する」	266
「メモにファイルを添付する（マルチメディアメモ）」	268
「メモを登録する」	270

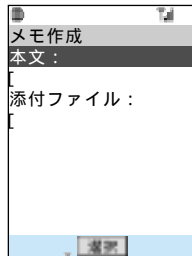
メモ本文を作成する

1 メニューから「メモ作成」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す
② ◯を押して［アイコン］を選択し、📖を押す
③ ◯を押して［アイコン］を選択し、📖を押す

2 (📖)を押す

「新規作成」が反転表示されます。

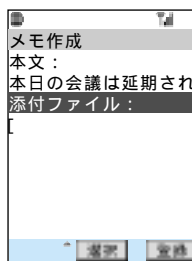
3 (📖)を押す

「本文：」が反転表示されます。

4 (📖)を押す

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

5 メモ本文を入力し、(📖)を押す

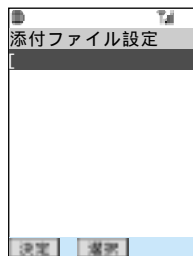
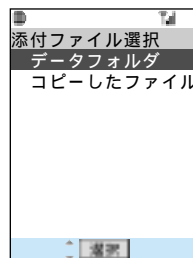
「添付ファイル：」が反転表示されます。

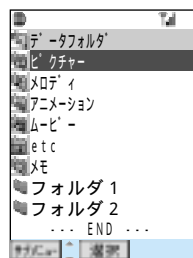
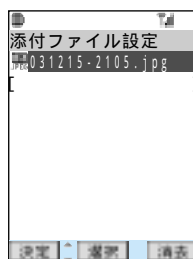
メモにファイルを添付するときは「メモにファイルを添付する（マルチメディアメモ）」（☞P268）の操作に進みます。
メモをそのまま登録するときは「メモを登録する」（☞P270）の操作に進みます。

- メモ本文は最大 20K バイト（全角最大約 10,000 文字）まで入力できます。ファイルを添付する場合も、メモ本文と添付ファイルの合計で 20K バイトまでです。

メモにファイルを添付する（マルチメディアメモ）

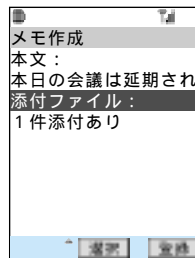
メモにファイルを最大20件まで添付することができます。「アクションビュー」「JPG（DCF）」（☞P200、319）以外のすべてのファイルを添付することができます。

例：データフォルダに登録された画像ファイルを添付する場合

1 **「メモ本文を作成する」の操作5（☞P267）の画面でを押して「添付ファイル：」を選択し、を押す**

2 **を押して［　］の行を選択し、を押す**

3 **「データフォルダ」を選択し、を押す**

- データフォルダなどからコピーしたファイル（☞P330）を添付するときは「コピーしたファイル」を選択し、を押します。

4 **目的のフォルダから目的のファイルを選択し、を押す**

1件のファイル添付が完了します。

5 を押す

メモを登録するときは「メモを登録する」（☞P270）の操作に進みます。

・添付できるファイルサイズは、メモ本文と添付ファイルの合計で 20K バイトまでです。ファイルを添付すると 20K バイトを越えるときは、ファイルを添付できません。警告音とメッセージでお知らせします。

メモに複数のファイルを添付するには

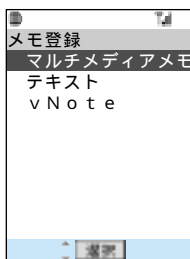
メモには最大20件まで（メモ本文と合わせて合計20Kバイトまで）ファイルを添付することができます。１度の操作で添付できるファイルは１件なので複数のファイルを添付したいときは、操作４の画面で［　］の行を選択して を押し、操作３～４を行います。この操作を繰り返し行って、複数のファイルを添付することができます。

メモを登録する

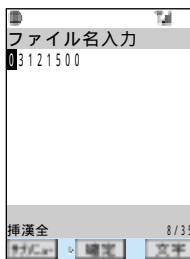
作成したメモを登録します。登録したメモはデータフォルダ内の「メモ」フォルダに保存されます。
メモにファイルを添付しているときは「マルチメディアメモ」で登録します。メモ本文のみを登録するときは「テキスト」「vNote」「マルチメディアメモ」のいずれかで登録することができます。ただし、vNote形式の登録可能サイズは最大128バイト（全角最大64文字）となるので注意が必要です。

- 各ファイルの詳細については「データを活用しましょう」(☞P317)を参照してください。

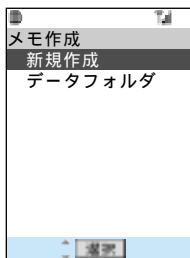
例：「マルチメディアメモ」で登録する場合

1 「メモ本文を作成する」の操作5（☞P267）、または「メモにファイルを添付する」の操作5（☞P269）の画面で、(✎)を押す

2 「マルチメディアメモ」を選択し、(📖)を押す

ファイル名入力画面が表示され、年月日と2桁の英数字が入力されています。

- テキストで登録するときは「テキスト」を、vNote形式で登録するときは「vNote」を選択して(📖)を押します。

3 ファイル名（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、(📖)を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、メモ作成画面に戻ります。

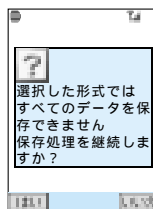
- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; * ? " 〈 〉 | .」は使用できません。
- 「メモ」フォルダ内に同じ名前のファイルがあるときに登録すると、登録するファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

ファイル内容と登録できるメモの形式について

作成したメモは、その内容によって合った形式を選んで登録する必要があります。メモの内容によって登録時には以下の表のように動作します。

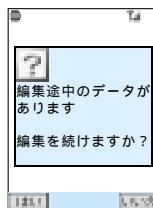
○：保存可能　△：一部保存可能　×：保存不可

ファイル内容	マルチメディアメモ（20Kバイト以下）	テキスト（20Kバイト以下）	vNote	
			128バイト以下	128バイト超
メモ本文と添付ファイル	○	△※1	△※1	△※1※2
メモ本文のみ	○	○	○	△※2
添付ファイルのみ	○	×※3	×※3	×※3

※1　添付ファイルは削除され、メモ本文のみ保存されます。
※2　128バイトを超えない範囲で保存します。
※3　警告音とメッセージで保存できないことをお知らせし、操作1の画面に戻ります。

作成したメモを「テキスト」や「vNote」で登録するときに、登録できるサイズ（「テキスト」は20Kバイト、「vNote」は128バイト）を超えている状態で操作3を行うと、右のような画面が表示されます。(∫)を押すと超過分のテキストを破棄して保存します。(✎)を押すと保存処理を中止し、操作1の画面に戻ります。

編集を中断したメモがあるときは

メモの作成中や編集中に電話がかかってきたときなど編集が中断されたときのメモデータは、一時的に保護されます。編集を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続けるときは(∫)を押します。
- 保護されているデータを消去して、新たに編集するときは(✎)を押します。

- 電源をOFFにしたときは保護されたメモデータは消去されます。

メモの内容を編集する

登録したメモの内容を確認したり、メモ本文を修正したり、ファイルを添付／消去したりすることができます。編集した元のメモに編集内容を上書きしたり、編集した元のメモとは別に新しいファイルとして登録したりすることができます。

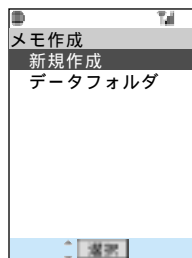
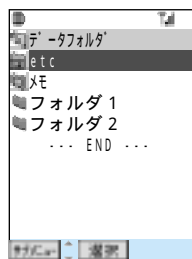
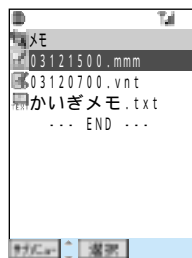
例：マルチメディアメモの添付ファイルを消去して上書き登録する場合

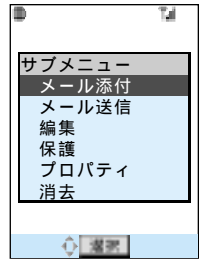
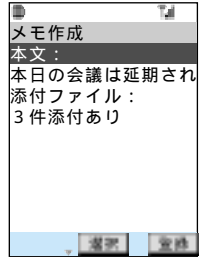
1 メニューから「メモ作成」を呼び出す

① (メニュー) を押す

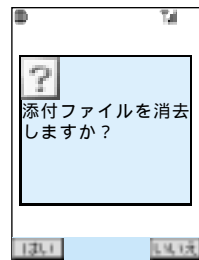
② を押して を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

2 を押す

3 を押して「データフォルダ」を選択し、を押す

4 を押して「メモ」を選択し、を押す

5 を押して目的のファイルを選択し、を押す

6 を押して「編集」を選択し、を押す

7 を押して「添付ファイル：」を選択し、を押す

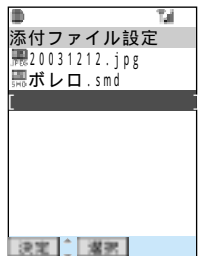
- メモ本文を修正するときは「本文：」を選択してを押し、テキストを修正します。

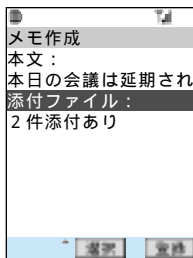
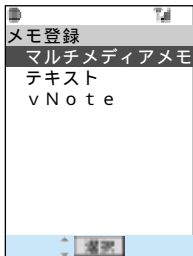
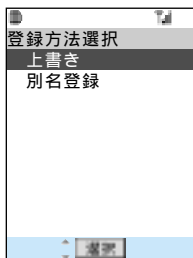
8 を押して消去するファイルを選択し、を押す

9 を押す

ファイルが消去されます。

- 消去を中止するときはを押します。

ほかにもいろいろあります

10

10 を押す

メモ作成
本文：
本日の会議は延期され
添付ファイル：
２件添付あり

11 を押す

12 を押して登録する形式を選択し、を押す

13 を押して「上書き」を選択し、を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、メモ作成画面に戻ります。

- 編集した元のメモに編集内容を上書き登録するときは「上書き」を、編集した元のメモとは別に新しいファイルとして登録するときは「別名登録」を選択します。
- 「別名登録」を選択してを押すと、「メモを登録する」の操作２（☞Ｐ２７０）のようなファイル名入力画面が表示されます。ファイル名を入力してを押します。文字の入力方法や編集方法については、５０ページから７０ページをご参照ください。

- データフォルダを起動して目的のメモを選択してを押し、サブメニューから編集することもできます。「メモファイルを編集する」（☞Ｐ３４７）

ほかにもいろいろあります

10

メモを活用するには

操作5で表示されるメモのサブメニューからは、メールへの添付をはじめ、さまざまな操作が行えます。メモのサブメニューには以下のような項目があります。

- メール添付
- メール送信
- 編集
- 保護／保護解除
- プロパティ
- 消去
- 並び替え

メモデータの活用方法の詳細は「フォルダやファイルを操作する」（☞P322）を参照してください。

よく使う機能をショートカットに登録する

よく使う機能をショートカットに登録しておくと、簡単な操作で呼び出すことができます（☞P13）。ショートカットには最大10件まで登録でき、特によく使う機能（1件）をダイレクト設定（☞P278）すると、㋹を長く押すだけで、その機能を呼び出すことができます。なお、ショートカットの機能を利用するには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

ショートカットに登録する

例：「着信音量設定」を登録する場合

1 メインメニューから「ショートカット」を呼び出す

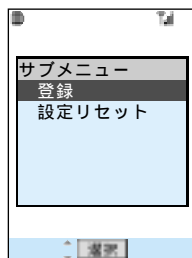
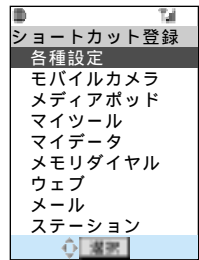
現在の登録内容が表示されます。

① ◎（メニュー）を押す

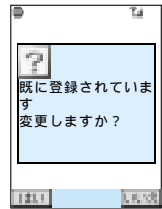
② ◎を押してを選択し、㋭を押す

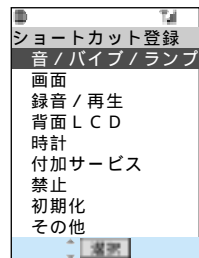
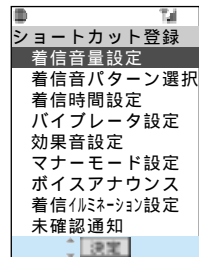
補足

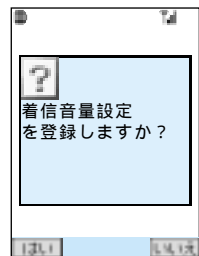
- お買い上げ時はショートカットには「Java™ライブラリ」が登録されており、設定リセット（☞P280）を行っても消去されません。また、インストールJava™アプリが一時停止状態のときにショートカット画面を表示すると「Java™アプリ再開」「Java™アプリ終了」が、常駐Java™アプリが一時停止状態のときには「Java™アプリ再開」が表示されます。（☞『J-スカイ編』）

2 ◎を押して機能を登録したい番号を選択し、㋜を押す

3 「登録」を選択し、を押す

すでに登録されている番号を選択したときは

操作 3 を行うと右の画面が表示されます。

- すでに登録されている機能に上書きするときはを押します。
- 登録を中止するときはを押します。

4 「各種設定」を選択し、を押す

- 機能項目については、「メニューの流れ」（☞P14）を参照してください。

5 「音／バイブ／ランプ」を選択し、を押す

6 「着信音量設定」を選択し、を押す

- すでに登録されている機能を選択したときは、警告音とメッセージでお知らせします。

7 を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示され、操作1の一覧画面に戻ります。

補足
- 登録を中止するときは、[クリア]を押します。

8 [PWR HLD]を押す

待受画面に戻ります。

- ショートカットに登録できる機能は以下のとおりです。
  - ・各種設定　　・モバイルカメラ
  - ・メディアポッド　　・マイツール
  - ・マイデータ　　・メモリダイヤル
  - ・ウェブ　　・メール
  - ・ステーション　　・Java™
  - ・データフォルダ　　・ネットワーク設定

  ただし、ウェブ、メール、ステーション、Java™の各機能は、機能の設定がOFFのときには登録できません。
- ウェブ、メール、ステーション、Java™の各設定がOFFのときにショートカットで呼び出そうとすると、警告音とメッセージでお知らせし、呼び出せません。

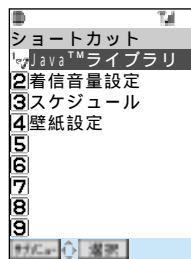
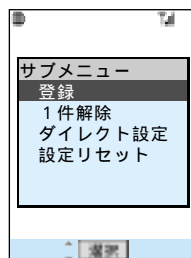
特によく使う機能をダイレクト設定する

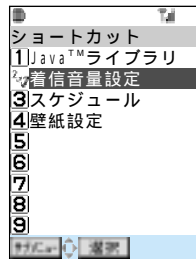
ダイレクト設定を行うと、[ダイレクト]を長く押すだけで、その機能を呼び出すことができます。ダイレクト設定できるのは、登録されているショートカットのうちの1件だけです。お買い上げ時には、「Java™ライブラリ」がダイレクト設定されています。

1 メインメニューから「ショートカット」を呼び出す

現在の登録内容が表示されます。

① [○](メニュー) を押す

② [○]を押して[アイコン]を選択し、[□]を押す

2 [○]を押してダイレクト設定をする機能を選択し、[ʃ]を押す

3 を押して「ダイレクト設定」を選択し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作１の画面に戻ります。
ダイレクト設定された機能には～、が表示されます。

＜「着信音量設定」にダイレクト設定された例＞

補足

- ダイレクト設定できるのは１件だけです。新たにダイレクト設定する場合は、前に設定されていた機能のダイレクト設定は解除されます。
- ダイレクト設定をした機能は、を長く押す（またはを２回押す）と呼び出すことができます。また、ショートカット画面からその機能を呼び出すことができます。

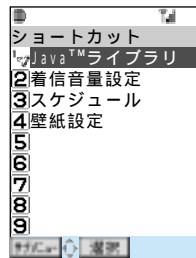
ショートカットを解除する

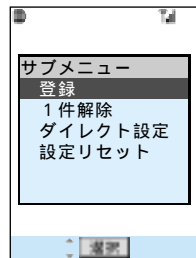
不要になったショートカットの項目を解除することができます。また、ショートカットの設定リセット（☞P280）を行うとお買い上げ時に登録されている「Java™ライブラリ」以外のすべての項目を解除できます。設定リセットを行うには、操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

例：登録されている機能を1件解除する場合

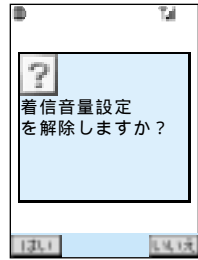
1 メインメニューから「ショートカット」を呼び出す

現在の登録内容が表示されます。

① （メニュー）を押す

② を押してを選択し、を押す

2 を押して登録を解除したい機能を選択し、を押す

ほかにもいろいろあります

10

3 を押して「1 件解除」を選択し、を押す

4 を押す

登録解除の完了をお知らせするメッセージが表示され、操作 1 の一覧画面に戻ります。

補足
- 解除を中止するときは、を押します。

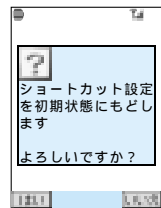
5 を押す

待受画面に戻ります。

補足
- 登録解除した項目にダイレクト設定がされていた場合は、「Java™ ライブラリ」がダイレクト設定されます。

ショートカットをお買い上げ時の状態に戻すには

操作 3 で「設定リセット」を選択してを押したあと操作用暗証番号（4 桁）を入力すると、右の画面が表示されます。

- ショートカットの登録内容をすべて解除するときはを押します。
- 解除を中止するときはを押します。

補足
- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- 設定リセットを行っても、「Java™ ライブラリ」は解除されません。

電話に出られないときに相手からのメッセージを録音する（簡易留守録）

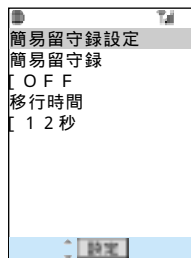
電話に出られないときは簡易留守録を設定しておくと、相手のメッセージを１件につき約20秒間（5件まで）録音することができます。また、着信から簡易留守録が起動するまでの時間を設定することもできます。お買い上げ時は簡易留守録は「OFF」に、移行時間は「12秒」に設定されています。
簡易留守録を転送電話サービスまたは留守番電話サービスと同時にご利用になる場合は、設定されている呼び出し時間の短い機能が優先されます。

簡易留守録を設定する

例：「ON」に設定する場合

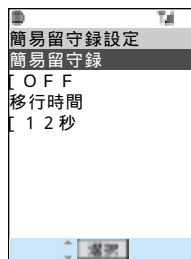
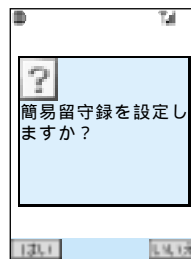
1 メニューから「簡易留守録設定」を呼び出す

現在の設定が表示されます。

① (メニュー) を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④「簡易留守録設定」を選択し、を押す

2 を押す

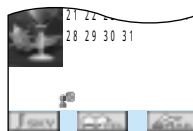
「簡易留守録」が反転表示されます。

3 を押す

4 （ʃ）を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

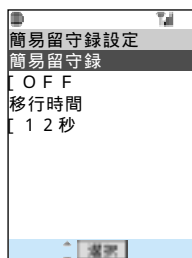
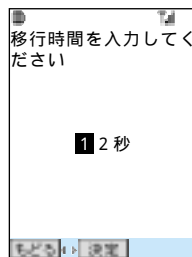
- 「OFF」に設定するときは（✍）を押します。

5 （☎PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。簡易留守録の設定中は、録音件数が表示されます。

- 5件とも録音メッセージが消去されずに残っていると、簡易留守録を設定していても通常の着信動作となり、録音されません。録音メッセージを消去してください。（☞P287）

- かかってきた電話にその場の操作で簡易留守録応答することができます。（☞P37）
- マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定での簡易留守録の設定（☞P239）が優先されます。

着信から簡易留守録応答を開始するまでの時間を設定する（移行時間）

1 「簡易留守録を設定する」の操作1～2（☞P281）を行う

2 （◎）を押して「移行時間」を選択し、（📖）を押す

3 時間を入力し、(📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

- 設定時間は 0 ～ 60 秒までのあいだで設定することができます。
- 入力を間違えたときは、(◯)を押してカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。

4 (PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

簡易留守録設定中に電話がかかってくると

簡易留守録設定中に電話がかかってくると、以下の手順でJ-N51が自動的に応答し、相手のメッセージを録音します。また、録音後の画面で(PWR HLD)を押すと、録音件数を確認することができます。

簡易留守録設定中

↓

着信

山田太郎

↓

移行時間で設定した時間が経過すると自動的に応答する

相手には「ただいま電話に出られません。ピー音のあとにご伝言を約20秒以内でお預かりします」というアナウンスが流れます。

応答メッセージを再生しています

応答操作を行うと着信に応答できます

応答中

↓

相手のメッセージの録音を開始する

録音中

録音中

↓

約20秒後に「ピッ、ピッ」と鳴って録音を終了し、不在着信の画面が表示される

ヤマダ タロウ
山田太郎
03123XXXX1

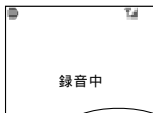
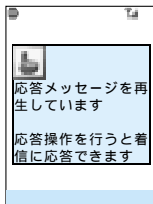
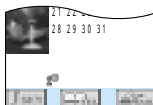
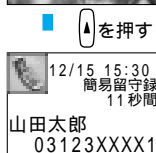
を押す

12/15 15:30
簡易留守録
11秒間
山田太郎
03123XXXX1

〈折り畳んでいるとき〉

↓

を押す

待受画面に戻り、右のように表示されます。この画面から簡単な操作で録音状況を確認することができます。
(☞P8)

録音件数

補足

- 着信中や応答メッセージ再生中、相手のメッセージ録音中でも、( )を押すと電話を受けることができます。

簡易留守録を再生する

録音メッセージを再生後、すぐに消去の操作を行うことができます。(簡易留守録再生)

例：留守録を再生後に1件消去する場合

1 メニューから「簡易留守録再生」を呼び出す

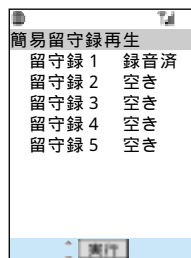
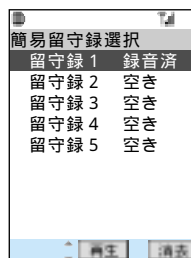
現在の録音状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

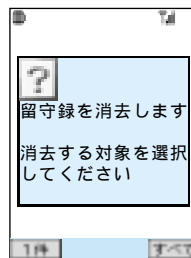
② を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

④ を押して「簡易留守録再生」を選択し、を押す

- 録音状況を確認していない未再生の簡易留守録のメッセージは、待受画面からすぐに呼び出すことができます。(☞P8)

2 を押す

3 を押して再生したい留守録を選択し、を押す

留守録が再生されます。再生が終了すると再生終了音が鳴ります。

- 録音がないときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- 再生を中止するときは、もう一度を押します。
- 再生中にを押して、消去の操作に移ることもできます。

4 を押す

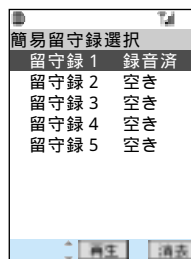
消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 2 の画面に戻ります。

- 留守録をすべて消去するときは(✍)を押します。

5 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

- 5件とも録音メッセージが消去されずに残っていると、簡易留守録を設定していても通常の着信動作となり、録音されません。録音メッセージを再生したあとは、なるべく早めに消去してください。

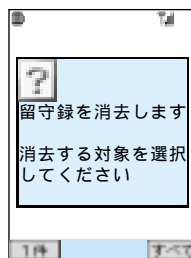
補足

- 簡易留守録は、J-N51を開いているときの待受画面で▼を押すことでも再生することができます。その際は再生中に▼を押すと、録音が 1 件ある場合は録音を頭から再生し、録音が複数件ある場合は、留守録 1 → 2 → 3 → 4 → 5 の順に再生画面が切り替わります。また、音声メモまたはマイボイスメモも録音されている場合、簡易留守録（1 → 2 → 3 → 4 →5）→音声メモまたはマイボイスメモの順に▼を押すたびに再生画面が切り替わります。

簡易留守録を消去する

例：留守録を1件消去する場合

1 「簡易留守録を再生する」の操作1～2（☞P285）を行う

2 ◎を押して消去したい留守録を選択し、✍を押す

- 録音がないときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- すべて消去するときは、どの留守録を選択しても行うことができます。

3 ⌠を押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作１の画面に戻ります。

- 留守録をすべて消去するときは✍を押します。

4 ☎PWR HLDを押す

待受画面に戻ります。

ほかにもいろいろあります

10

通話内容やご自分の声を録音する(音声メモ/マイボイスメモ)

通話中に相手の声を録音（音声メモ）したり、待受中にご自分の声を録音（マイボイスメモ）するなど、J-N51をメモ代わりに利用することができます。録音できるのはどちらか1件のみ、約20秒間です。

音声メモを録音する

1 通話中に(ʃ)を押す

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音中に(ʃ)を押すと、そこから新たに録音が開始されます。

2 録音を停止するときは(📖)または(クリア)を押す

- (PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。

- 録音を停止しなかったときは、録音終了5秒前を知らせる終了予告音のあと、録音開始後約20秒で録音終了音が鳴って録音が終了します。

3 通話が終わったら、(PWR HLD)を押す

音声メモのイラストが表示されます。
さらに(PWR HLD)を押すと、イラストは消えますが、録音された音声メモは保存されています。

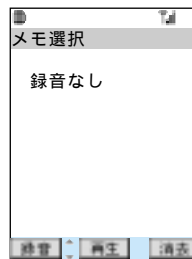
- 録音を開始すると、前回録音された音声メモまたはマイボイスメモ（☞P289）は消去されます。
- 音声メモは、電源をOFFにしても消去されません。

マイボイスメモを録音する

1 メニューから「メモ選択」を呼び出す

現在の録音状況が表示されます。

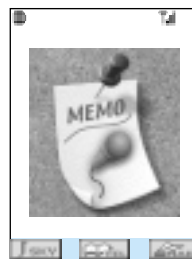
① (メニュー) を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④ を押して「メモ選択」を選択し、を押す

2 を押す

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音中にを押すと、そこから新たに録音が開始されます。

3 録音を停止するときはまたはを押す

マイボイスメモのイラストが表示されます。
さらにを押すと、イラストは消えますが、録音されたマイボイスメモは保存されています。

- 録音を停止しなかったときは、録音終了5秒前を知らせる終了予告音のあと、録音開始後約20秒で録音終了音が鳴って録音が終了します。

- 録音を開始すると、前回録音されたマイボイスメモまたは音声メモ（☞P288）は消去されます。
- マイボイスメモは、電源をOFFにしても消去されません。

音声メモ／マイボイスメモを再生する

例：音声メモ／マイボイスメモを再生後、消去をしない場合

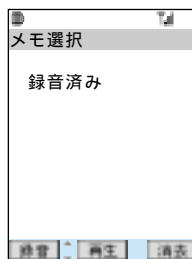
1 メニューから「メモ選択」を呼び出す

現在の録音状況が表示されます。

① (メニュー) を押す

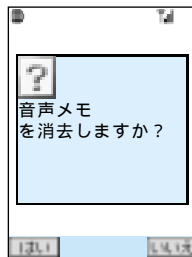
② を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

④ を押して「メモ選択」を選択し、を押す

2 を押す

音声メモ／マイボイスメモが再生されます。再生が終了すると再生終了音が鳴ります。

音声メモ
を消去しますか？
はい
いいえ

- 録音がないときは、警告音とメッセージでお知らせします。
- 再生を中止するときはを押します。
- 再生中にを押して、消去の操作に移ることもできます。

3 を押す

操作 1 の画面に戻ります。

- 消去するときはを押します。
- 再生後に消去しなくても、次に音声メモまたはマイボイスメモの録音を開始すると同時に、前回の録音内容は消去されます。

4 を押す

待受画面に戻ります。

- J-N51を開いているときの待受画面でを押して再生することもできます。その場合、再生中にを押すと、録音を頭から再生します。また、簡易留守録も録音されている場合、簡易留守録（1→2→3→4→5）→音声メモまたはマイボイスメモの順にを押すたびに再生画面が切り替わります。

音声メモ／マイボイスメモを消去する

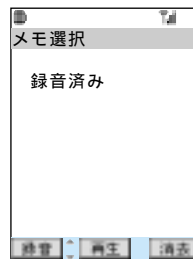
1 **メニューから「メモ選択」を呼び出す**

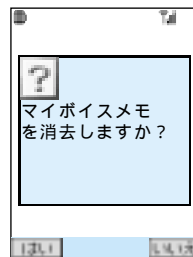
現在の録音状況が表示されます。

① ◎（メニュー）を押す

② を選択し、◎を押す

③ ◎を押して を選択し、◎を押す

④ ◎を押して「メモ選択」を選択し、◎を押す

2 **◎を押す**

補足
- 録音がないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

3 **◎を押す**

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

補足
- 消去を中止するときは◎を押します。
- 消去しなくても、次に音声メモまたはマイボイスメモの録音を開始すると同時に、前回の録音内容は消去されます。

4 **PWR HLDを押す**

待受画面に戻ります。

プッシュトーンを送る(プッシュトーン送出)

ポケットベルにメッセージを送ったり、ご自宅の留守番電話の遠隔操作や、各種プッシュホンサービスを利用するときなどに、J-N51からプッシュトーンを送ることができます。

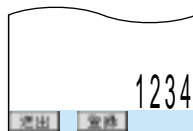
通話中にダイヤルボタンを押して送る

例：「1234」を送る場合

1　通話中に、送りたい番号のダイヤルボタンを押す

押した番号に対応したプッシュトーンが送られます。

- (∫)を押すと、送ったプッシュトーンがもう一度一括して送られてしまいますのでご注意ください。

- 送ることができるプッシュトーンは「0」〜「9」「＊」「＃」です。

メモリダイヤルに登録したプッシュトーンを送る

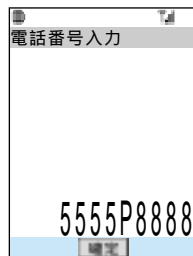
通話中に、送りたい内容をディスプレイに表示させ、送ることができます。送りたいプッシュトーンはあらかじめメモリダイヤルに登録しておくと便利です。

メモリダイヤルにプッシュトーンを登録する

あらかじめ送りたいプッシュトーンをメモリダイヤルに登録（☞P84）します。相手のアナウンスなどにしたがって指定されたタイミングでプッシュトーンを送る必要がある場合は、「P」（ポーズ）を入れて登録しておくと便利です。番号入力中に◎を押すと「P」が入ります。この「P」までが一区切りとして送られます。

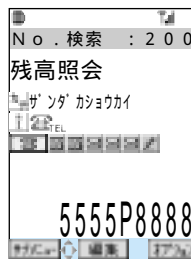
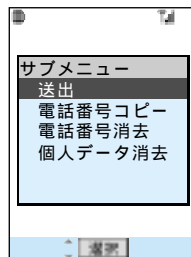
例：銀行の残高照会のために、以下の内容を登録する場合
銀行のIDナンバー：5555　口座番号：8888

1　メモリダイヤルの電話番号を以下のように登録する

「5555P8888」

通話中にプッシュトーンを呼び出して送る

メモリダイヤルに登録したプッシュトーンのほか、ご自分の電話番号やアシストダイヤルを呼び出して送ることもできます。

1 通話中に、送りたい内容を呼び出す

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）
「ご自分の電話番号やメールアドレスを確認する」（☞P44）
「アシストダイヤルで電話をかける」（☞P112）

2 ⌠を押す

3 「送出」を選択し、📖を押す

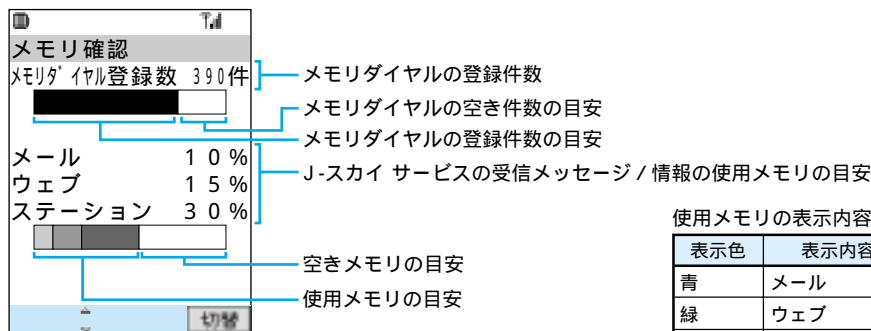
登録されている内容がまとめて送られます。

- プッシュトーンに「P」（ポーズ）が含まれているときは、最初の「P」までが一区切りとして送出されます。次のプッシュトーンを送るときはもう一度⌠を押します。

- 電波状態の悪い場所では、プッシュトーンをうまく送れない場合があります。

メモリの使用状況を確認する(メモリ確認)

メモリダイヤルの登録状況と受信メッセージ／情報のメモリ使用状況を確認することができます。また、Java™ライブラリやデータフォルダに登録されたファイルのメモリ使用状況を表示して確認することもできます。

〈メモリ使用状況の見かた〉

使用メモリの表示内容

表示色	表示内容
青	メール
緑	ウェブ
オレンジ	ステーション
赤	メモリダイヤル

1 メニューから「メモリ確認」を呼び出す

メモリの使用状況が表示されます。

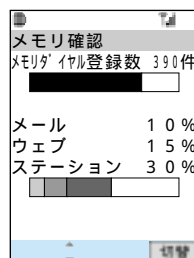
①◎(メニュー) を押す

② を選択し、(📖)を押す

③ ◎を押して etc. を選択し、(📖)を押す

④「メモリ確認」を選択し、(📖)を押す

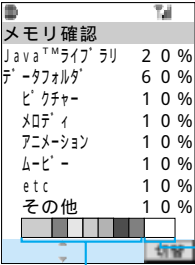
メモリ確認
ﾒﾓﾘﾀﾞｲﾔﾙ登録数 390件
メール 10%
ウェブ 15%
ステーション 30%
切替

2 (PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

- 通話中は(クリア)を繰り返し押して通話中画面に戻してください。(PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。

注意
- 受信したメッセージ／情報の種類によって保存できる件数は異なります。

データフォルダや Java™ ライブラリのメモリ使用状況を確認するには

操作 1 の画面で（アイコン）を押すと、データフォルダや Java™ ライブラリのメモリ使用状況画面を切り替えて表示することができます。

使用メモリの表示内容

表示色	表示内容
赤	Java™ライブラリ
オレンジ	ピクチャー
黄	メロディ
緑	アニメーション
青	ムービー
藍色	etc
紫	その他

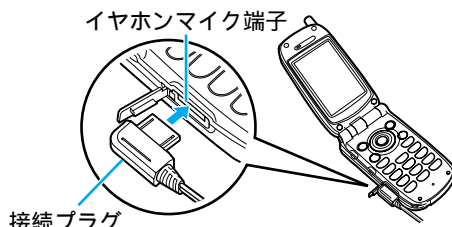
スイッチ付イヤホンマイク(平型プラグ)を使う

別売のスイッチ付イヤホンマイク（平型プラグ）をイヤホンマイク端子に接続しておくと、着信時にスイッチを押すだけで電話を受けることができます。

ワンタッチで電話を受ける

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する

イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

- 着信中にスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。

2 着信中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを長く押す

電話がつながります。

- ☎を押しても電話を受けることができます。

3 通話が終わったら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを長く押す

通話が切れます。

- スイッチ付イヤホンマイク接続時の着信音は、スピーカーとスイッチ付イヤホンマイクの両方から鳴ります。
- 割込通話サービス（☞P389）、三者通話サービス（☞P392）をお申し込みになっている場合、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを以下のように使うことができます。
  ① 通話中に着信があった場合にスイッチを長く押すと、切り替え通話の状態になります。
  ② 切り替え通話中にスイッチを長く押すと、通話相手が切り替わります。
  ③ 切り替え通話の片方の相手との通話を終えたあとにスイッチを長く押すと、もう片方の保留になっていた相手との通話になります。
- 応答保留中にスイッチを長く押すと、通話状態になります。
- 呼び出し中にスイッチを長く押すと、発信が中止になり、待受画面に戻ります。

メモリ番号「000」のメモリダイヤルに電話をかけるには

メモリ番号「000」に登録したメモリダイヤルへは、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを使って電話をかけることができます。

① スイッチ付イヤホンマイクを接続する
② 待受中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを長く押す
　相手につながると通話できます。
③ 通話が終わったら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを長く押す

J-N51をテレビ、ビデオ、カラオケなどのリモコンとして使う

J-N51をテレビ、ビデオ、カラオケのリモコンと同じように使うことができます。カラオケのリモコンとして使うときは、お気に入りの曲の曲リストファイルをダウンロード（☞『J - スカイ編』）して簡単に選曲することもできます。
J-N51の赤外線ポートを、操作する機器のリモコン受信部に向けて操作してください。操作できる範囲はリモコン受信部正面で約3mです。ただし、操作する機器や、周囲の明るさなどにより、距離が変わります。

＜TV リモコンの表示例＞

＜ビデオリモコンの表示例＞

＜カラオケリモコンの表示例＞

- 内蔵されているリモコンファイルあるいはダウンロードしたリモコンファイルに該当するメーカー製の機器であっても、一部、または全部の操作に対応していない場合があります。

リモコンの設定をする

J-N51をリモコンとして使うには、お使いの機器に対応するリモコンファイルを内蔵されているファイルから選択するか、NECの専用サイトからダウンロードして設定する必要があります。各リモコンファイルのダウンロード方法については『J -スカイ編』を参照してください。
お買い上げ時にはTV リモコンが「松下 TV1」、ビデオリモコンが「松下 VTR1」、カラオケリモコンが「DAM カラオケ」に設定されています。

例：「TVリモコン」のリモコンファイルを設定する場合

1 メニューから「リモコン」を呼び出す

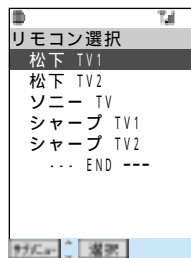
① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

補足
- 前回使用したリモコンの行が自動的に選択されます。

2 を押して「TVリモコン」を選択し、を押す

テレビリモコンファイルが表示されます。

3 を押して目的のテレビリモコンファイルを選択し、を押す

テレビリモコンファイルが設定され、TV リモコン画面が表示されます。

補足
- 選択したリモコンファイルの情報を確認したいときは、を押してを押し、「プロパティ」を選択してを押します。ファイルの情報を表示中にを押すと情報の表示内容を切り替えることができます。

用意されている内蔵リモコンファイル

J-N51にはあらかじめ以下のリモコンファイルが用意されています。(※はお買い上げ時の設定)

TV リモコン	ビデオリモコン	カラオケリモコン
松下 TV1 ※ 松下 TV2 ソニー TV シャープ TV1 シャープ TV2	松下 VTR1 ※ ビクター VTR1 東芝 VTR1 ソニー VTR1	DAM カラオケ※ (曲名/歌手名/リクエスト№) Everything/Misia/5626-34 ずっと2人で…/GLAY/3784-06 夜空ノムコウ/SMAP/2960-80 CAN YOU CELEBRATE?/安室奈美恵/3915-20 TSUNAMI/サザンオールスターズ/6104-10

DAM は株式会社第一興商の登録商標です。

TV やビデオのリモコンとして使う

例:TVリモコンを使う場合

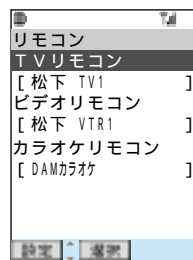
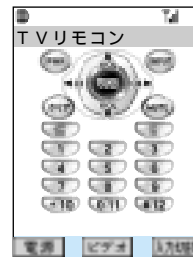
1 メニューから「リモコン」を呼び出す

① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

補足

- 前回使用したリモコンの行が自動的に選択されます。

2 を押して「TVリモコン」を選択し、を押す

TV リモコン画面が表示されます。

注意

- ボタンの機能は、選択したリモコンデータによって変わります。
- ダウンロードしたリモコンデータのファイルによっては、この取扱説明書で記載している操作と異なる場合があります。

以下の表にしたがってリモコン操作することができます。

■TVリモコンの操作方法

電源のON／OFF	ビデオリモコンに切り替える	入力切換	
リモコンを終了する		ミュート	
音量を上げる	音量を下げる	チャンネルDOWN	チャンネルUP
―		リモコンを終了する	
CH.1	CH.2	CH.3	
CH.4	CH.5	CH.6	
CH.7	CH.8	CH.9	
CH.10	CH.11	CH.12	

ほかにもいろいろあります

10

■ビデオリモコンの操作方法

電源の ON ／ OFF	TVリモコンに切り替える	入力切換	
クリア			
リモコンを終了する		一時停止	
再生	停止	巻き戻し	早送り
		PWR HLD	
―		リモコンを終了する	
1 あ @	2 か ABC	3 さ DEF	
―	―	―	
4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO	
―	―	―	
7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ	
―	―	―	
* ゛゜	0 わを ん ー	# 記号	
チャンネル DOWN	録画（長く押す）	チャンネル UP	

カラオケのリモコンとして使う

1 メニューから「リモコン」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す

② ◯を押して［アイコン］を選択し、(📖)を押す

③ ◯を押して［リモコン］を選択し、(📖)を押す

- 前回使用したリモコンの行が自動的に選択されます。

2 ◯を押して「カラオケリモコン」を選択し、(📖)を押す

カラオケリモコン画面が表示されます。

3 (0わをん)〜(9らWXYZ)を押して選曲番号を入力する

入力した番号が表示されます。

- 入力を間違えたときは、(クリア)を繰り返し押して最後の桁から１桁ずつ消去するか、(クリア)を長く押して全桁消去してから入力し直してください。

4 (♪)を押す

選曲番号が転送されます。

5 (☎PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

- ボタンの機能は、選択したリモコンデータによって変わります。
- ダウンロードしたリモコンデータのファイルによっては、この取扱説明書で記載している操作と異なる場合があります。

■カラオケリモコンの操作方法

(key)	(key)	(key)	
転送	曲リストファイルを表示する	—	
(クリア)		(key)	
短く押す：入力時に1桁消去する 長く押す：入力時に入力データをすべて消去する		—	
(上)	(下)	(左)	(右)
—	—	—	—
(通話)		(PWR HLD)	
—		リモコンを終了する	
1 あ @	2 か ABC	3 さ DEF	
1	2	3	
4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO	
4	5	6	
7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ	
7	8	9	
＊ ゛゜	0 わをん ー	# 記号	
—	0	—	

お気に入りの曲を簡単に選曲する

カラオケのリモコンとして使うときに、よく歌うお気に入りの曲などの曲リストファイルを NEC の専用サイトからダウンロード（☞『J - スカイ編』）しておくと、選曲番号の入力をしないで簡単に選曲することができます。

1 「カラオケのリモコンとして使う」の操作 1 ～ 2（☞P302）を行う

2 [book key]を押す

曲リスト画面が表示されます。

- 曲リストファイルが登録されていないときは警告音とメッセージでお知らせします。

3 [direction key]を押して目的の曲リストファイルを選択し、[book key]を押す

カラオケリモコン画面に戻り、選択した曲の選曲番号が入力されます。

- 曲リストファイルを選択して[ʃ]を押すと、その曲の詳細を確認することができます。

4 [ʃ]を押す

選曲番号が転送されます。

5 [PWR HLD]を押す

待受画面に戻ります。

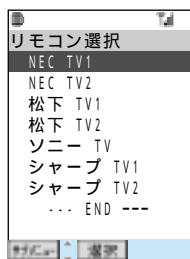
リモコンファイルを消去する

ダウンロードできるリモコンファイルは最大 20 件です。ダウンロードしたリモコンファイルのうち、不要になったファイルを消去することができます。

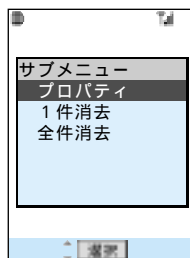
リモコンファイルを 1 件ずつ消去する

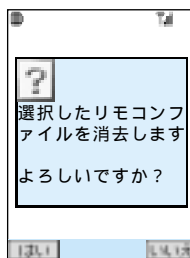
不要になったリモコンファイルを 1 件ずつ消去することができます。ただし、お買い上げ時に内蔵されていたリモコンファイルは消去できません。

例：「TVリモコン」のリモコンファイルを1件消去する場合

1 「リモコンの設定をする」の操作1～2（☞P298）を行う

2 ◎を押して消去するリモコンファイルを選択し、ʃを押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
プロパティ
1 件消去
全件消去

3 ◎を押して「1 件消去」を選択し、📖を押す

4 ʃを押す

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

- お買い上げ時に内蔵されていたリモコンファイルを選択してʃを押すと、警告音とメッセージでお知らせします。
- 消去を中止するときは✍を押します。

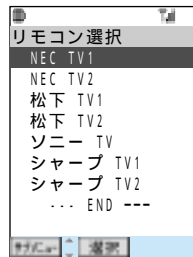
5 を押す

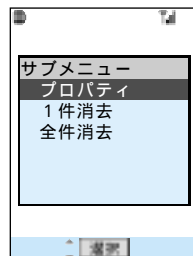
待受画面に戻ります。

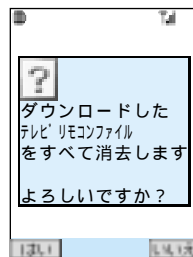
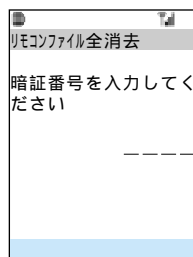
リモコンファイルをまとめて消去する

リモコンファイルをTV、ビデオ、カラオケの各種類ごとに全件消去することができます。ただし、お買い上げ時に内蔵されていたリモコンファイルは消去できません。全件消去には操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要です。

例：「TVリモコン」のリモコンファイルを全件消去する場合

1 「リモコンの設定をする」の操作1～2（☞P298）を行う

2 (ʃ)を押す

サブメニューが表示されます。

3 (○)を押して「全件消去」を選択し、(📖)を押す

4 (ʃ)を押す

- 全件消去を中止するときは(✎)を押します。

5 操作用暗証番号を入力する

消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、操作 1 の画面に戻ります。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

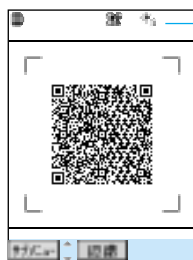
6 PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

バーコードを読み取って利用する(バーコード機能)

J-N51のモバイルカメラを利用して、商品に印刷されたバーコードに含まれる文字や数字などの情報を読み取ることができます。読み取った情報を使ってURLにアクセスしたりメールを送信したり電話をかけたりすることができます。また読み取った情報をメモリダイヤルに登録したり、データフォルダに保存することもできます。

バーコードを読み取る

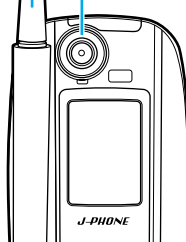
J-N51で読み取れるバーコードは2次元コードの「QRコード」です。J-N51のカメラに付属の接写deレンズを取り付け、バーコード撮影カメラを起動します。なお、バーコード撮影カメラを起動する前に、あらかじめ日付時刻設定(☞P28)をしておく必要があります。

：バーコード機能起動中表示

1～5：明るさ表示

<バーコード撮影画面>

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

1 付属の接写deレンズをカメラ部に取り付ける

接写deレンズには磁石が付いていますので、カメラ部に近づけるだけで取り付けることができます。
接写deレンズの切り欠きがアンテナ側になるように取り付けてください。

- 接写deレンズを送話口に近づけないように注意してください。接写deレンズの磁石を感知して、ディスプレイの表示が消えて、折り畳んだときの状態となります。クローズ終話(☞P241)を「ON」に設定している場合には(PWR HLD)を押したときと同じ動作となります。
- 位置がずれないように注意してください。ピントが正しく合わなくなったり、撮影範囲が制限されることがあります。
- 接写deレンズに指紋や油脂が付着すると、ピントが正しく合わなくなったり不鮮明な画像になり、バーコードを正しく認識できないことがあります。取り付ける前に柔かい布で汚れをふいてください。

- 接写deレンズを取り付けると、読み取りたいバーコードにカメラを近づけてもぼやけにくくなります。近づけて大きく写る分、認識が容易になります。ただし、極端に大きく表示されているバーコードは接写deレンズを付けずに認識できる場合もあります。

2 メニューから「バーコード」を呼び出す

バーコード撮影カメラが起動します。

① （メニュー）を押す

② を押して を選択し、を押す

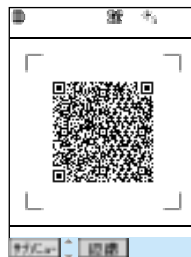
③ を押して を選択し、を押す

3 読み取りたいバーコードをメインディスプレイに枠内に収まるように表示させる

- ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

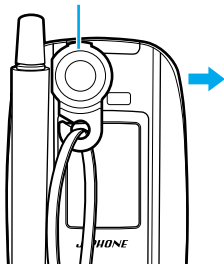
補足

- 暗いときにはを押して「ライトON」を選択し、を押すと、ライト（☞P314）をONにすることができます。また、を押してライトのON／OFFを切り替えることもできます。

- 、を押すとバーコード撮影画面の明るさを調整することができます。明るさは5段階で調節でき、通常は「3」に設定されています。
- バーコードは枠にぴったり収める必要はありません。枠内に収まり、かつバーコードがくっきり見えるように表示させてください。

4 を押す

バーコードが認識され、情報が表示されます。

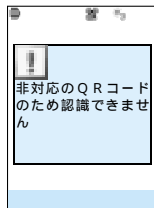
- バーコードが汚れていたり、かすれたり、薄い場合などには、認識できないことがあります。

5　接写 de レンズを取り外す

認識した情報をそのまま使うときは「認識した情報を利用する」（☞P311）の操作に進みます。
認識した情報を登録するときは「認識した情報をデータフォルダに保存する」（☞P312）の操作に進みます。

- 接写 de レンズを使用しないときには必ずレンズカバーを取り付けておいてください。

バーコードが認識されないとき

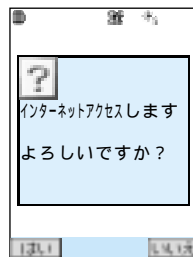
読み取るときのバーコードの表示状態によって、バーコードを正常に認識できないときがあります。認識できなかったときは、警告音とメッセージでお知らせします。操作3～4をやりなおしてください。
また、読み取りに対応していないバーコードを認識しようとしたときにも警告音とメッセージでお知らせします。このような場合はバーコードの情報を認識することはできません。

<バーコードの表示状態によって読み取り不可能な場合>

<バーコードが読み取り非対応な場合>

- 周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。
- バーコード表示部に、汚れやかすれ、折れ目やしわなどがないときには比較的容易に認識できます。

認識した情報を利用する

1 **「バーコードを読み取る」の操作４（☞P３０９）の画面で電話番号／メールアドレス／URL／メモリダイヤル情報を選択し、を押す**

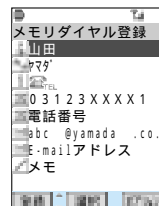
選択した情報を利用するかどうかを確認する画面が表示されます。

〈URL を選択したときの例〉

2 **を押す**

選択された情報を使って行う動作に移ります。

読み取った情報内の電話番号やアドレスなどを利用する

バーコードを読み取って認識した情報がメールアドレス／URL／電話番号のリンクまたはメモリダイヤル情報（破線のアンダーラインが表示されている文字列）を含んでいるときは、その文字列が選択された状態でを押すと、操作１のような画面が表示されます。操作２でを押したときの動作は以下のようになります。

項　目	操作２を行ったあとの動作
メールアドレスのリンク	メール送信方法の選択画面が表示され、メールを送信できる（☞『J - スカイ編』）
URL のリンク	を押すとインターネットにアクセスし、URLのホームページを表示する（☞『J - スカイ編』）
電話番号のリンク	を押すとダイヤル発信画面が表示され、電話がかけられる（☞P30） を押すとメモリダイヤルへ登録できる（☞P100）
メモリダイヤル情報	電話番号、メールアドレスなどをメモリダイヤルに登録できる（☞P82） 名前、フリガナ、電話番号（最大３件）、E-mail アドレス（最大３件）、メモ入力データが、メモリダイヤルの各項目に自動的に割り当てられる ※情報によっては、自動的に割り当てて登録されない場合もあります。

認識した情報をデータフォルダに保存する

バーコードを読み取って認識した情報をテキストファイルとしてデータフォルダに保存することができます。

1 **「バーコードを読み取る」の操作4（☞P309）の画面でを押す**

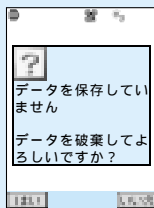
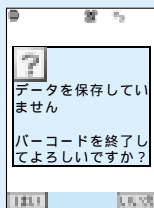
保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、元の画面に戻ります。

補足

- 情報はデータフォルダ内のメモフォルダにテキスト（.txt）ファイルとして保存されます。
  ファイル名形式は「YYMMDDUU.txt」
  （例：03121500.txt）
  ・YYMMDD　：年月日
  ・UU　：00～99、aa～zzの数字、英字

2 **PWR HLDを押す**

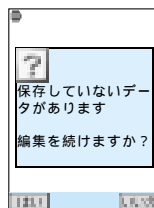
待受画面に戻ります。

- 読み取った情報を保存してない状態でクリアを押すと、下のような確認のメッセージが表示されます。「を押すと情報は破棄され、バーコード撮影画面が表示されます。を押すと操作1の画面に戻ります。

- 読み取った情報を保存してない状態でPWR HLDを押すと、下のような確認のメッセージが表示されます。「を押すと情報は破棄され、待受画面に戻ります。を押すと操作1の画面に戻ります。

前回のバーコード操作が中断されたときは

読み取った情報を保存する前に以下の理由でバーコード撮影カメラが終了した場合は、保存できなかった情報が J-N51 内に一時的に保護されます。

- 電話がかかってきたとき
- スケジュール（☞P245）やめざまし（☞P254）で設定したアラームが起動したとき
- J-N51 を折り畳んだとき
- 3 分間以上何も操作しなかったとき
- ステーション サービスの特に緊急度の高い情報を受信したとき（☞『J- スカイ編』）

その場合は、バーコード撮影カメラを起動したときに右のような画面が表示されます。

- 保護されている情報を呼び出して情報の利用や保存を行うときは(ʃ)を押します。
- 保護されている情報を破棄して新しく読み取りを行うときは(✉)を押します。

- 電源を OFF にすると保護されている情報は消去されます。

ほかにもいろいろあります

10

ライトを利用する

待受時にライトを点灯させることができます。暗い場所で手元を照らすライトとして利用できます。

ライト点灯中の表示

1 **（2 か ABC）を長く押す**

ライトが点灯します。

2 **消灯するときはいずれかのボタンを押すか、J-N51を折り畳む**

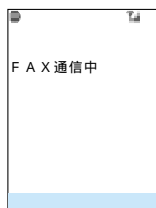
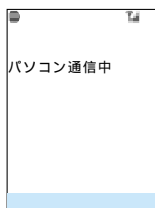
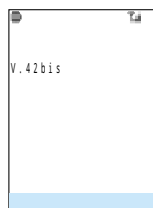
- 電話がかかってきたときやメッセージを受信したとき、スケジュールやめざましで設定したアラームが起動したときなどには、自動的に消灯します。

- ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり、突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

FAX／パソコン通信をする

別売のデータ／FAX通信カードなどを使ってJ-N51にFAXやパソコンを接続すると、サービスエリア内のどこからでも FAX 通信やパソコン通信を行うことができます。

1 データ／ FAX 通信カードなどを接続する

FAX ／パソコン通信中は、以下のように表示されます。

FAX 通信中の場合

パソコン通信中（2400bps）の場合の例

パソコン通信中（9600bps）の場合の例

〈折り畳んでいるとき・共通〉

- FAX ／パソコン通信は、電波の強い場所で行ってください。
- 移動しながらの通信は、データが正しく送られない、または、受けられないことがありますので、なるべく止まった状態で行ってください。
- FAX／パソコン通信用モデムカードなどの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

データを活用しましょう

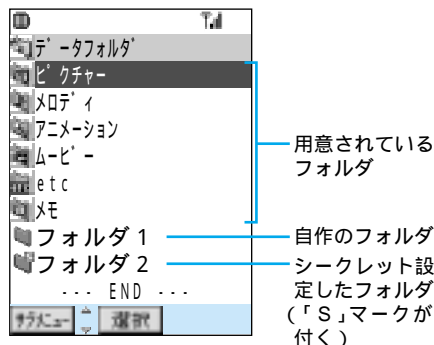
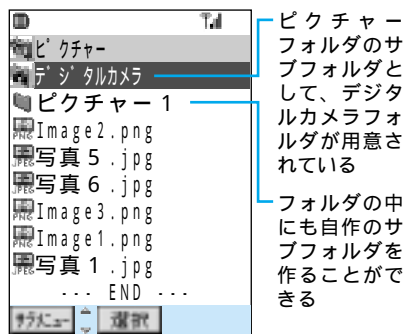
データフォルダのしくみ

J-N51の各種の機能を使って作成・入手したさまざまなデータを一括管理するのがデータフォルダです。データフォルダには、あらかじめいくつかのフォルダが用意されており、作成・入手したデータは、ファイル形式に応じたフォルダに自動的に振り分けて保存されます。保存されたデータは、そのまま内容を再生するだけでなく、いろいろな機能に利用することができます。また、データの種類によっては、他のJ-フォン携帯電話やパソコンと相互にやりとりして利用することも可能です。データフォルダにはJava™ライブラリと共有で、最大約7メガバイトまたは2000件まで保存可能です。

データフォルダ内にはあらかじめ6つのフォルダと1つのサブフォルダが用意されており、以下のような3つの階層構造になっています。

＜第1階層＞	＜第2階層：フォルダ＞	＜第3階層：サブフォルダ＞
データフォルダ	ピクチャー	デジタルカメラ
		（自作フォルダ）
	メロディ	（自作フォルダ）
	アニメーション	（自作フォルダ）
	ムービー	（自作フォルダ）
	etc	（自作フォルダ）
	メモ	（自作フォルダ）
	（自作フォルダ）	（自作フォルダ）

●ピクチャーフォルダの中には、デジタルカメラ撮影モードで撮影した画像を保存するサブフォルダが用意されています。
●自作のフォルダを追加したり、6つのフォルダの中にサブフォルダを作成することも可能です。（☞P324）
●秘密にしたいフォルダには、シークレット設定を行うことができます。（☞P325）

＜データフォルダの一覧画面＞

＜ピクチャーフォルダの一覧画面＞

※サブフォルダの中にサブフォルダを作ることはできません。

各フォルダに振り分け、保存されるファイルの種類と、それぞれのファイルを利用できる機能は、次のとおりです。etcフォルダ以外の既存のフォルダには、表に示すファイル形式のファイルしか保存できません。

フォルダ	自動的に振り分けられる／保存できるファイルの形式（「拡張子」）		対応する主な機能
ﾋﾟｸﾁｬｰ	PNG「.png、.pnz」		編集、アニメーション作成、メール添付、赤外線送信、壁紙設定、背面壁紙設定、背面待ち受け設定、マイキャラクター
	JPEG「.jpg、.jpeg、.jpe、.jpz」		編集、アニメーション作成、メール添付、赤外線送信、壁紙設定、背面壁紙設定、背面待ち受け設定、マイキャラクター
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	JPEG（DCF）「.jpg」		赤外線送信
ﾒﾛﾃﾞｨ	SMD「.smd、.smz、.smx」		編集、メール添付、着信音パターン、効果音設定
	SMAF「.mmf」		メール添付、着信音パターン、効果音設定
	自作メロディ「.nom」		編集、メール添付、着信音パターン、効果音設定
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ	モーションアニメ（※拡張子は表示されない）		編集、メール添付、赤外線送信、壁紙設定、背面壁紙設定、マイキャラクター
	MNG「.mng」		メール添付、赤外線送信、壁紙設定、背面壁紙設定、マイキャラクター
ﾑｰﾋﾞｰ	Nancy「.noa」		メール添付、赤外線送信
	アクションビュー「.acv」		赤外線送信
etc ※1	vシリーズのファイル ※2	vCard「.vcf」	メール添付、メモリダイヤルへ登録、赤外線送信
		vBookmark「.vbm、.url」	メール添付、ブックマークへ登録
		vMessage「.vmg」	メール添付、メールへ登録
	EML(RFC822)「.eml」		メール添付
	HTML「.htm、.html」		メール添付
	MML「.mml」		メール添付
	非対応ファイル		メール添付（J-N51ではご利用になれません）
ﾒﾓ	テキスト「.txt」		メール添付、編集
	vシリーズのファイル ※2	vNote「.vnt」	メール添付、編集
	マルチメディアメモ「.mmm」		メール添付、メール送信、編集

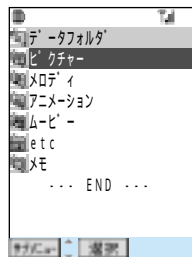
※1：etcフォルダおよび自作のフォルダには、保存可能な全てのファイル形式のファイルが保存できます。
※2：「vシリーズのファイルとは」（☞P359）

データフォルダ内のファイルを確認する

データフォルダに保存されている各種ファイルを再生して、内容を確認します。一覧画面や再生画面からは、ファイル情報の確認や編集、他の機能で使用するための設定など、さまざまな操作が行えます。（☞P322）なお、データフォルダの操作を行うには、あらかじめ日付時刻設定（☞P28）をしておく必要があります。

1 データフォルダを呼び出す

データフォルダの一覧画面が表示されます。

① 待受画面で(⤴)を押す

② ◎を押してを選択し、(📖)を押す

2 ◎を押してフォルダを選択し、(📖)を押す

補足

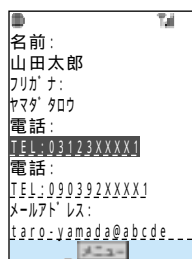
- サブフォルダ内のファイルを確認するときは、操作２を繰り返します。
- 上位階層のフォルダに戻るときは(クリア)を押します。
- シークレット設定されているフォルダを選択して(📖)を押すと、操作用暗証番号（☞P16）の入力画面が表示されます。暗証番号（4 桁）を入力すると、フォルダの一覧画面が表示されます。暗証番号を間違えると警告音とメッセージでお知らせします。

＜一覧画面の例＞

3 ◎を押してファイルを選択し、(📖)を押す

選択したファイルのファイル形式に応じて再生されます。

補足

- 再生中のディスプレイの最下段に[←]または[→]が表示されているときは、(⤴)または(✍)を押すと、前後のファイルが再生されます。
- 着信音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面で(⤴)を押したときには、音声付きのファイルは最小の音量で再生され、再生中に◎を押すと音量調整が行えます。調整した音量は、データフォルダ機能を終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面で(✍)を押すと、音声は鳴りません。
- v シリーズのデータやメモなどの内容がディスプレイに表示しきれていないときは、◎を押して画面をスクロールします。

＜再生画面の例＞

4　一覧画面に戻るときは、クリアを押す

- 待受画面に戻るときは、PWR HLDを押します。

- データフォルダ内の画像ファイルは、モバイルカメラ（☞P222）やメディアポッド（☞P368）からでも確認できます。また、メロディファイルは、着信音パターン選択（☞P123）やメディアポッドからも聞くことができます。
- ウェブ サービスの設定がOFFのときはHTMLファイル、MMLファイルを表示させることができません。「J - スカイの各サービスを使えないようにする」（☞『J - スカイ編』）

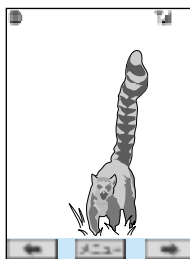
フォルダやファイルを操作する

データフォルダの一覧画面や再生画面からは、フォルダやファイルに対してさまざまな操作が行えます。

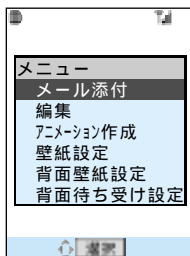
一覧／再生画面のサブメニュー／メニューを使う

例：再生画面のメニューから操作する場合

1 「データフォルダ内のファイルを確認する」の操作1〜3（☞P320）を行う

ファイルの再生画面が表示されます。

2 📖を押す

メニューが表示されます。表示される項目は、操作時の状況やファイルの種類によって異なります。

- 一覧画面のサブメニューから操作するときは、「データフォルダ内のファイルを確認する」の操作1または操作1〜2（☞P320）を行って目的の一覧画面を表示し、◎でフォルダ／ファイルを選択して∫を押します。表示される項目は、操作時の状況やフォルダ／ファイルの種類によって異なります。

例：静止画（JPEG）ファイル再生中のメニュー

3 ◎を押して項目を選択し、📖を押す

項　目	概　要	参照ページ
メール添付	選択／再生中のファイルをスーパーメールに添付する	349
メール送信	選択／再生中のマルチメディアメモをスーパーメールとして送信する	349
赤外線送信※1	選択中のファイルを赤外線転送対応機種に送信する	349
コピー※1	ファイルをコピーする	330
ペースト※1	コピーしたファイルを他のデータフォルダ／サブフォルダまたはメールやメモなどにペーストする	330
移動※1	選択中のファイルを他のデータフォルダ／サブフォルダに移動する	331
編集	選択／再生中のファイルを編集する	334 346 347
サムネイルの登録	JPEG（DCF）ファイルのサムネイル部分をJPEGファイルとして保存する	346
アニメーション作成	複数の静止画を利用してアニメーションを作成する	342

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">概　要</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>壁紙設定</td><td colspan="2">選択／再生中の静止画／アニメーションファイルをメインディスプレイの壁紙に設定する</td><td>350</td></tr>
<tr><td>背面壁紙設定</td><td colspan="2">選択／再生中の静止画／アニメーションファイルをイメージウィンドウの壁紙に設定する</td><td>351</td></tr>
<tr><td>背面待ち受け設定</td><td colspan="2">選択／再生中の静止画ファイルをイメージウィンドウの待受画面に設定する</td><td>351</td></tr>
<tr><td>マイキャラクター</td><td colspan="2">選択／再生中の静止画／アニメーションファイルをマイキャラクターに設定する</td><td>352</td></tr>
<tr><td>着信音パターン</td><td colspan="2">選択／再生中のメロディファイルを着信音パターンに設定する</td><td>352</td></tr>
<tr><td>効果音設定</td><td colspan="2">選択／再生中のメロディファイルを効果音に設定する</td><td>353</td></tr>
<tr><td>メモリダイヤルへ登録</td><td colspan="2">選択／再生中の vCard データをメモリダイヤルに取り込む</td><td>359</td></tr>
<tr><td>ブックマークへ登録</td><td colspan="2">選択／再生中の vBookmark データをブックマークに取り込む</td><td>359</td></tr>
<tr><td>メールへ登録</td><td colspan="2">選択／再生中の vMessage データを J - スカイメールに取り込む</td><td>359</td></tr>
<tr><td>JPEGファイル変換</td><td colspan="2">選択／再生中の PNG ファイルを JPEG 形式に変換する</td><td>344</td></tr>
<tr><td>PNG ファイル変換</td><td colspan="2">選択／再生中の JPEG ファイルを PNG 形式に変換する</td><td>344</td></tr>
<tr><td>MNG ファイル変換</td><td colspan="2">選択／再生中のモーションアニメファイルを MNG 形式に変換する</td><td>344</td></tr>
<tr><td>シークレット設定※1／シークレット解除※1</td><td colspan="2">選択中のフォルダにシークレットを設定／解除する</td><td>325</td></tr>
<tr><td>メッセージフォルダ保存※1</td><td colspan="2">選択中の HTML ／ MML ファイルをメッセージフォルダに保存する</td><td>332</td></tr>
<tr><td>保護／保護解除</td><td colspan="2">選択／再生中のファイルを保護／保護解除する</td><td>325</td></tr>
<tr><td>全件保護解除※1</td><td colspan="2">選択中のファイルが含まれるフォルダのファイルをすべて保護解除する</td><td>326</td></tr>
<tr><td>プロパティ</td><td colspan="2">サイズや保存日時、保存されているフォルダなどの情報を表示する</td><td>326</td></tr>
<tr><td>名前の変更※1</td><td colspan="2">選択中の自作フォルダ／ファイルの名前を変更する</td><td>327</td></tr>
<tr><td>消去</td><td colspan="2">フォルダ／ファイルを消去する</td><td>327～330</td></tr>
<tr><td>フォルダ作成※1</td><td colspan="2">自作フォルダを作成する</td><td>324</td></tr>
<tr><td>並び替え※1</td><td colspan="2">一覧のファイルを並べ替える</td><td>333</td></tr>
<tr><td>ファイル名表示※1／タイトル表示※1</td><td colspan="2">SMDファイル／自作メロディ／SMAFファイルの一覧表示内容を切り替える</td><td>334</td></tr>
<tr><td>BGM 演奏※2</td><td rowspan="2">vMessage／EML／マルチメディアメモファイルの再生画面で選択中の添付 SMD ファイル／ SMAF ファイル／自作メロディファイルについての操作</td><td>演奏する</td><td>353</td></tr>
<tr><td>BGM 停止※2</td><td>演奏を停止する</td><td>353</td></tr>
<tr><td>リンク※2</td><td colspan="2">再生画面で選択中のURLのサイトに接続したり、電話番号に発信したりする</td><td>355</td></tr>
<tr><td>表示※2</td><td rowspan="4">vMessage／EML／マルチメディアメモファイルの再生画面で選択中の添付ファイルについての操作</td><td>再生する</td><td>354</td></tr>
<tr><td>添付ファイルプロパティ※2</td><td>ファイル情報を表示する</td><td>354</td></tr>
<tr><td>添付ファイルコピー※2</td><td>コピーする</td><td>354</td></tr>
<tr><td>添付ファイル登録※2</td><td>1 つのファイルとして保存する</td><td>355</td></tr>
<tr><td>文字コピー※2</td><td colspan="2">再生画面上の文字をコピーする</td><td>355</td></tr>
<tr><td>ライブラリ登録※2</td><td colspan="2">再生画面上の文字をライブラリに登録する</td><td>356</td></tr>
<tr><td>メール情報※2</td><td colspan="2">再生中の vMessage ／ EML ファイルの情報を表示する</td><td>356</td></tr>
<tr><td>文字タイプ変更※2</td><td colspan="2">再生画面の文字タイプを変更する</td><td>357</td></tr>
<tr><td>文字サイズ変更※2</td><td colspan="2">再生画面の文字サイズを変更する</td><td>357</td></tr>
<tr><td>画面スクロール設定※2</td><td colspan="2">再生画面のスクロール方法を変更する</td><td>358</td></tr>
</table>

※ 1：再生画面では表示されません。
※ 2：一覧画面では表示されません。

ファイルやフォルダを管理する

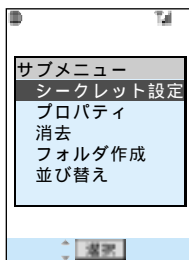
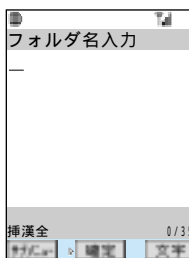
フォルダを作成する

データフォルダの中には、自作フォルダを作ることができます。また、フォルダの中にサブフォルダを作ることもできます。フォルダとサブフォルダは最大500件（既存のフォルダを除く）まで作成できます。階層の深さはデータフォルダそのものを含めて最大３階層まで作成できます。

例：ピクチャーフォルダの中に「永久保存版」フォルダを作成する場合

1 フォルダの一覧画面（☞P320）を表示し、ʃを押す

ここではピクチャーフォルダの一覧画面を表示させます。

- ピクチャーフォルダやメロディフォルダなどと同じ階層にフォルダを作成するときは、データフォルダの一覧画面を表示させます。

2 ◎を押して「フォルダ作成」を選択し、📖を押す

3 フォルダ名（全角最大１７文字、半角最大３５文字）を入力し、📖を押す

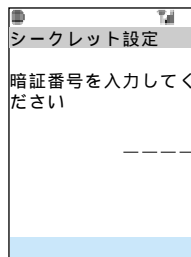
フォルダ作成の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- フォルダ名には絵文字および半角記号「\ / : ; ＊ ? "〈 〉｜ .」は使用できません。

フォルダにシークレットを設定する

フォルダにシークレットを設定すると、そのフォルダ内を表示させるためには操作用暗証番号（☞P16）の入力が必要になります。

1 設定したいフォルダを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「シークレット設定」を選択し、(📖)を押す

- シークレット設定を解除するときは、「シークレット解除」を選択します。

2 操作用暗証番号（4 桁）を入力する

入力した番号は「＊」で表示されます。
設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

ファイルの保護を設定する

ファイルごとに保護を設定することができます。保護を設定したファイルに対しては、編集、消去、フォーマット変換が行えなくなります。

1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「保護」を選択し、(📖)を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 保護を解除するときは、「保護解除」を選択します。

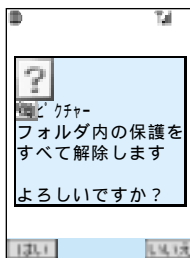
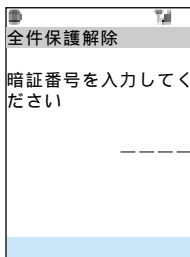
- 保護が設定されているファイルには、フォルダの一覧画面で保護されていることを示すアイコンが表示されます。
  例：（保護未設定の JPEG）→（保護設定した JPEG）

フォルダ内のファイルの保護を一括解除する

一覧表示しているフォルダ内のファイルを、まとめて保護解除することができます。

1 **一覧画面でファイルを選択して、サブメニュー（☞P322）から「全件保護解除」を選択し、(📖)を押す**

- ファイルを選択していないとサブメニューに「全件保護解除」が表示されません。

2 **(ʃ)を押す**

- 解除を中止するときは(✉)を押します。

3 **操作用暗証番号（4 桁）を入力する**

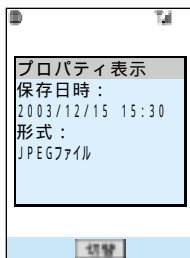
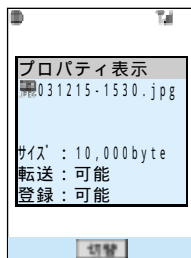
入力した番号は「*」で表示されます。
保護解除の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

フォルダ／ファイルの情報を確認する

フォルダ／ファイルの保存日時やファイルのサイズなどの情報を確認することができます。

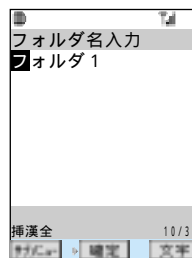
1 **確認したいフォルダ／ファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「プロパティ」を選択し、(📖)を押す**

プロパティが表示されます。

例：JPEG ファイルのプロパティ

フォルダ／ファイルの名前を変える

名前を変更したいフォルダまたはファイルを一覧画面で選択し、サブメニューを使って変更の操作を行います。

例：フォルダ1の名前を変更する場合

1　名前を変えたいフォルダ／ファイルを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「名前の変更」を選択し、(📖)を押す

2　フォルダ／ファイルの名前（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、(📖)を押す

変更の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- フォルダ／ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; * ? " 〈 〉 | .」は使用できません。

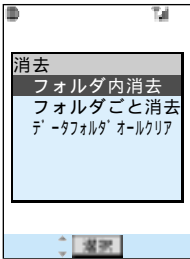
フォルダを消去する

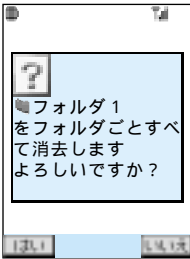
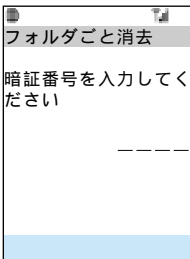
フォルダ内のサブフォルダやファイルをまとめて消去することができます。また、自作のフォルダはフォルダごと消去できます。一覧画面でフォルダを選択し、サブメニューから「消去」を選択すると、次のような消去メニューが表示されます。

フォルダ内消去	選択中のフォルダ内の自作サブフォルダとファイルをまとめて消去する（保護ファイルは残る）
フォルダごと消去 （自作フォルダ選択時のみ）	選択中の自作フォルダと、そこに含まれるサブフォルダおよびファイルをまとめて消去する（保護ファイルが含まれる場合はフォルダごと消去は行えない）
データフォルダオールクリア	データフォルダ内の自作フォルダとファイルをすべて消去する（保護ファイルも消去） ※データフォルダの一覧画面表示時のみ表示されます。

- 着信音や壁紙などに設定されているファイルを含むフォルダを消去したときには、消去したファイルを設定していた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

例：自作フォルダ（フォルダ1）をフォルダごと消去する場合

1 **消去したいフォルダを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「消去」を選択し、[決定]を押す**

2 **[方向キー]を押して「フォルダごと消去」を選択し、[決定]を押す**

- フォルダ内消去を行うときは「フォルダ内消去」、データフォルダオールクリアを行うときは「データフォルダオールクリア」を選択し[決定]を押します。

3 **[はい]を押す**

- 消去を中止するときは[いいえ]を押します。

4 **操作用暗証番号（4桁）を入力する**

入力した番号は「*」で表示されます。
消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

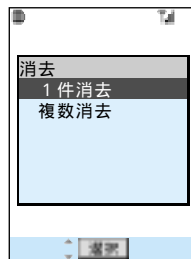
ファイルを消去する

一覧画面でファイルを選択し、サブメニューから「消去」を選択すると、次のような消去メニューが表示されます。

1件消去	選択中のファイルを消去する
複数消去	フォルダ内の一覧から、ファイルを複数選択して消去する

- 着信音や壁紙などに設定されていたファイルを消去したときには、消去されたファイルが設定されていた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

例：複数のファイルを消去する場合

1 消去したいファイルを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「消去」を選択し、(📖)を押す

2 (◎)を押して「複数消去」を選択し、(📖)を押す

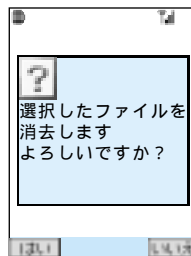
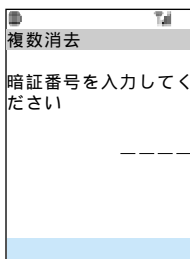
一覧画面が表示されます。

- ファイルを1件消去したい場合は「1件消去」を選択して(📖)を押し、確認画面で(∫)を押します。

3 (◎)を押して消去するファイルを選択し、(✍)を押す

選択したファイルのアイコンが、チェックアイコンに変わります。

- 保護が設定されているファイルにはチェックアイコンが付けられません。
- チェックアイコンを付けたファイルを選択して(✍)を押すと、元のアイコンに戻ります。

4 操作3を繰り返し、消去するすべてのファイルにチェックアイコンを付け、(∫)を押す

5 を押す

- 消去を中止するときはを押します。

6 操作用暗証番号（4 桁）を入力する

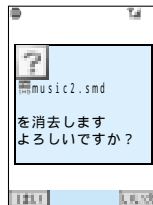
入力した番号は「*」で表示されます。
消去の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

再生中のファイルを消去するには

再生中のファイルを消去するときは、次のように操作します。

① 再生画面のメニュー（☞P322）から「消去」を選択し、を押す
② を押す

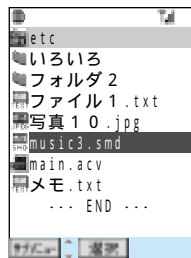
- 消去を中止するときはを押します。

ファイルをコピー／ペーストする

選択したファイルをコピーして、他のフォルダの中やメール、マルチメディアメモなどにペーストすることができます。

1 コピーしたいファイルを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「コピー」を選択し、を押す

コピーの完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

2 ペーストしたいフォルダを選択する

- を押すと、選択したフォルダ内を確認することができます。
- ファイルを選択して操作３に進むこともできます。フォルダを選択したときは選択したフォルダ内にペーストされ、ファイルを選択したときは表示されているフォルダ内にペーストされます。
- 上の階層のフォルダを表示させるときは クリア を押します。

3 を押す

サブメニューが表示されます。

4 を押して「ペースト」を選択し、を押す

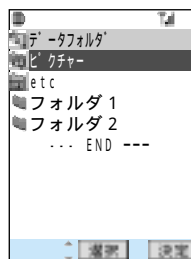
ペーストの完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- コピーしたファイルは、他のファイルをコピーするか、電源を切るか、オールリセット（☞P156）を行うまで繰り返しペーストできます。
- 転送不可ファイルはコピーできません。
- コピーしたファイルの形式や、指定したフォルダの種類によっては、ペーストできない場合があります。（☞P319）

ファイルを移動する

選択したファイルを別のフォルダの中に移動させることができます。

1 移動したいファイルを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「移動」を選択し、を押す

移動可能なフォルダのみを表示した、データフォルダの一覧画面が表示されます。

2 移動先に指定したいフォルダを選択する

- を押すと、選択したフォルダ内を確認することができます。
- ファイルを選択して操作３に進むこともできます。フォルダを選択したときは選択したフォルダ内に移動し、ファイルを選択したときは表示されているフォルダ内に移動します。

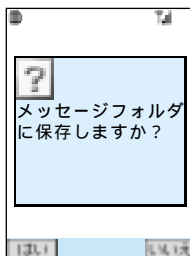
3 を押す

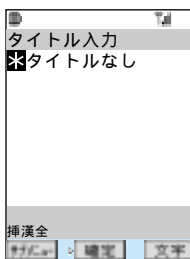
移動の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
移動元の一覧画面に戻ります。

- 移動先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、移動したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます。（例：「Image5.png」→「Image5~00.png 」）

ファイルをメッセージフォルダに保存する（メッセージフォルダ保存）

選択したHTML／MMLファイルをウェブ機能のメッセージフォルダに保存することができます。

1 保存したいファイルを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「メッセージフォルダ保存」を選択し、を押す

2 を押す

- 保存を中止するときはを押します。

3 必要に応じてタイトル名（全角最大16文字、半角最大32文字）を入力し、を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、
一覧画面に戻ります。

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。

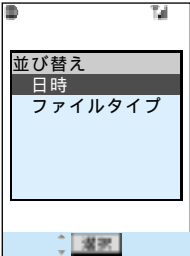
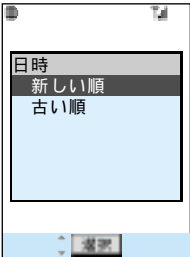
- HTML／MMLファイルはインターネットのホームページなどに使われるファイル形式です。

一覧を並べ替える

一覧画面の項目は、お買い上げ時には保存日時の新しい順に表示されています。項目の並べ替えを行うと、変更はデータフォルダ全体に反映され、次に並べ替えを行うまで保持されます。一覧画面のサブメニューから「並び替え」を選択すると、次のような並び替えメニューが表示されます。

項　目	項目選択時に表示される並び順
日時※	新しい順：保存日時の新しい順に表示する
	古い順：保存日時の古い順に表示する
ファイルタイプ	昇順：ファイル拡張子を基準に昇順に並べ、同一拡張子ごとにファイル名を基準に昇順に表示する
	降順：ファイル拡張子を基準に降順に並べ、同一拡張子ごとにファイル名を基準に降順に表示する

※ 日時は分単位で管理されるためカメラで連続して撮影した場合など、保存日時の順番通りにならないことがあります。

1 **一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「並び替え」を選択し、◯を押す**

2 **◯を押して並び替えの基準を選択し、◯を押す**

例：「日時」を選択した場合

3 **◯を押して並び順を選択し、◯を押す**

選択した順番で並べた一覧画面が表示されます。

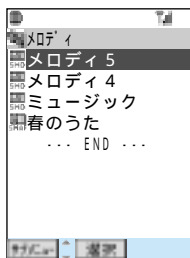
メロディファイルの一覧表示を切り替える

メロディファイルはタイトル表示にすることもファイル名表示にすることもできます。表示内容の切り替えを行うと、次に切り替えを行うまで設定は保持されます。お買い上げ時には「タイトル表示」に設定されています。

例：ファイル名表示に切り替える場合

1 メロディフォルダ（またはそのサブフォルダ）の一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「ファイル名表示」を選択し、を押す

表示内容が切り替わった一覧画面が表示されます。

補足
- ファイル名表示されているときは「タイトル表示」を選択します。

タイトル表示の一覧画面

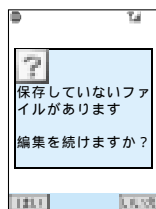
ファイル名表示の一覧画面

静止画ファイルを編集する

データフォルダで選択した静止画ファイルにフレームを付けたり、お好みのサイズに切り取ったり縮小したりすることができます。

編集を中断したファイルがあるときは

静止画ファイルの編集中やアニメーションの作成／編集中（☞P342）に電話がかかってきたときなど、作業が中断されたときのファイルデータは、一時的に保護されます。
編集やアニメーションの作成を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は(ʃ)を押します。
- 保護されているファイルデータを消去して、新たに編集する場合はを押します。

注意
- 電源を OFF にしたときは保護されたファイルデータは消去されます。

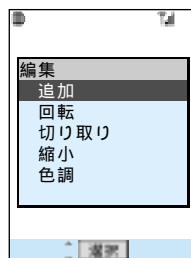
静止画を編集して保存する

例：上書き保存する場合

1 **編集したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「編集」を選択し、（ボタン）を押す**

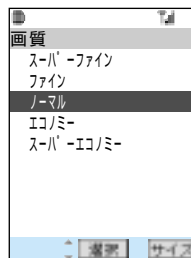
2 **（ボタン）を押す**

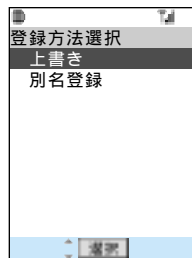
編集メニューが表示されます。

3 **（ボタン）を押して項目を選択し、（ボタン）を押す**

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
追加	画像にスタンプ／文字／フレームを追加する	336 337 338
回転	画像を回転する	339
切り取り	画像を用意されたサイズまたはオリジナルのサイズに切り取る	339
縮小	画像を 75% または 50% に縮小する	340
色調	画像の色調を変える	341

4 **編集が終了したら、（ボタン）を押す**

- JPEGファイル以外の静止画を編集して保存するときは、画質を選択できません。操作 6 に進みます。

11 データを活用しましょう

5 ◎を押して画質を選択し、📖を押す

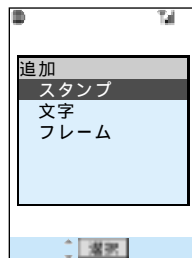
- ✎を押すとファイルサイズの目安を確認することができます。確認後、クリアを押すと操作４の画面に戻ります。

6 ◎を押して「上書き」を選択し、📖を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、保存先のフォルダの一覧画面が表示されます。

- 別名で保存するときは、◎を押して「別名登録」を選択し📖を押します。入力画面が表示されるのでファイルの名前（全角最大１７文字、半角最大３５文字）を入力し、📖を押します。

- 保護が設定されているファイルは編集できません。
- 保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます。（例：「Image5.png」→「Image5~00.png 」）
- 同じ画像を繰り返し保存すると、画質が低下する場合があります。

静止画にスタンプを付ける

1 「静止画を編集して保存する」の操作3（☞Ｐ３３５）で「追加」を選択し、📖を押す

2 「スタンプ」を選択し、📖を押す

画像の左上隅にスタンプが表示されます。

- 画像のサイズが小さすぎる場合には、スタンプを追加できない場合があります。

3 を押して付けたい位置にスタンプを移動し、を押す

- スタンプを追加するときは、操作3を繰り返します。
- スタンプの色を変更するときはを押し、を押して8色の中から色を選択してを押します。

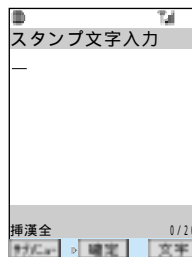
4 を押す

5 「静止画を編集して保存する」の操作4～6（☞P335～336）を行う

静止画に文字を追加する

1 「静止画を編集して保存する」の操作3（☞P335）で「追加」を選択し、を押す

2 を押して「文字」を選択し、を押す

- 画像のサイズが小さすぎる場合には、文字を追加できない場合があります。

3 文字（全角最大10文字、半角最大20文字）を入力し、を押す

- 文字の入力方法や編集方法については、50ページから70ページをご参照ください。
- 入力可能文字数は画像のサイズによって変わります。

4 を押して文字を移動し、を押す

- 文字の色を変更するときはを押し、を押して8色の中から色を選択してを押します。

5 を押す

6 「静止画を編集して保存する」の操作4 ～6（☞P335～336）を行う

静止画にフレームを追加する

1 「静止画を編集して保存する」の操作3（☞P335）で「追加」を選択し、を押す

2 を押して「フレーム」を選択し、を押す

3 を押してフレーム（10 種類）を選択し、を押す

- を押すたびに、選択したフレームが表示されます。
- 画像のサイズがフレームより大きいときは、を押してフレームの位置を調整します。操作 4 でフレームの外側が切り取られます。

4 を押す

5 「静止画を編集して保存する」の操作4 ～6（☞P335～336）を行う

静止画を回転する

1 **「静止画を編集して保存する」の操作3（☞P335）で「回転」を選択し、を押す**

2 **またはを押して画像を回転し、を押す**

またはを押すごとに、左（反時計回り）または右（時計回り）に90度ずつ回転します。

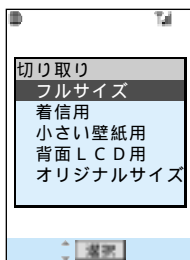
- 回転によって画像の縦サイズが保存可能な最大サイズ（480ドット）を超えたときには、メッセージでお知らせします。を押すと上下が均等に切り取られます。を押すと操作1の画面に戻ります。

3 **「静止画を編集して保存する」の操作4～6（☞P335～336）を行う**

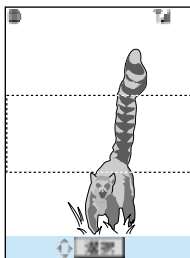
静止画を切り取ってサイズを編集する

静止画の画像サイズを用途に応じて変更することができます。あらかじめ設定されている4種類のサイズを選択するほかに、切り取る部分を指定してオリジナルサイズにすることもできます。

メニュー項目	変更後の画像サイズ（単位：ドット）
フルサイズ	J-N51のメインディスプレイの壁紙サイズ（縦180×横160）
着信用	J-N51のマイキャラクター（☞P177）の着信イラストサイズ（縦67×横160）
小さい壁紙用	J-N04／J-N03 II／J-N03の壁紙サイズ（縦126×横120）
背面LCD用	J-N51のイメージウィンドウの壁紙サイズ（縦80×横120）
オリジナルサイズ	開始位置と終了位置を指定して、必要な部分を切り取る

1 **「静止画を編集して保存する」の操作3（☞P335）で「切り取り」を選択し、を押す**

2 **を押してサイズを選択し、を押す**

切り取り枠が表示されます。

- 「オリジナルサイズ」を選択したときは、画像の左上隅にマーカーが表示されるので、以下の操作をしてから操作４に進みます。
  - ①を押して切り取り開始位置をマーカーの位置まで移動し、を押す
  - ②を押して切り取り終了位置をマーカーの位置まで移動し、を押す

例：「着信用」を選択した場合

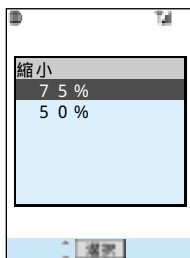
3 **を押して切り取りたい画像の位置を移動し、を押す**

切り取られた画像が表示されます。

4 **を押す**

5 **「静止画を編集して保存する」の操作４ ～６（☞P335～336）を行う**

静止画を縮小する

1 **「静止画を編集して保存する」の操作3（☞P335）で「縮小」を選択し、を押す**

2 ◎を押して縮小率を選択し、📖を押す

3 📖を押す

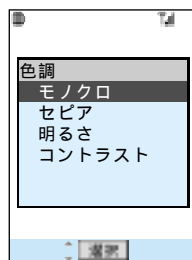
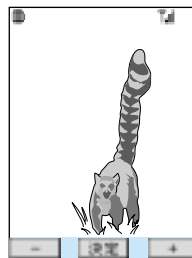
4 「静止画を編集して保存する」の操作4 ～6（☞P335～336）を行う

静止画の色調を変更する

静止画の色調を白黒やセピア調に変換したり、明るさやコントラストを調整したりすることができます。

項　目	効　果
モノクロ	白黒画像に変換する
セピア	古ぼけた色調の画像に変換する
明るさ	画像の明るさを 7 段階に調整する
コントラスト	画像のコントラストを 7 段階に調整する

例：明るさを調整する場合

1 「静止画を編集して保存する」の操作3（☞P335）で「色調」を選択し、📖を押す

2 ◎を押して「明るさ」を選択し、📖を押す

3 **または を押して明るさを調整し、 を押す**

を押すと明るくなり、 を押すと暗くなります。

- 操作 2 で「明るさ」または「コントラスト」を選択した場合は、操作 2 を行った直後を基準に、 および で 3 段階ずつ調整することができます。
- 操作 2 で「コントラスト」を選択した場合は、 を押すと色調にめりはりがつき、 を押すと滑らかになります。
- 操作 2 で「モノクロ」または「セピア」を選択した場合は、 を押して操作 4 に進みます。

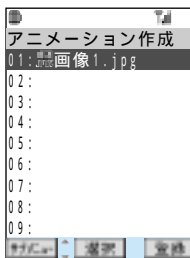
4 **「静止画を編集して保存する」の操作4 ～6（☞P335～336）を行う**

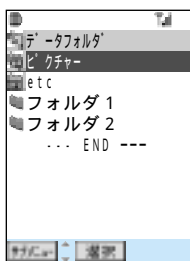
静止画を使ってモーションアニメを作成する（アニメーション作成）

JPEG／PNG 形式の静止画（最大 9 件）を組み合わせ、指定した間隔で連続表示させるモーションアニメとして保存することができます。

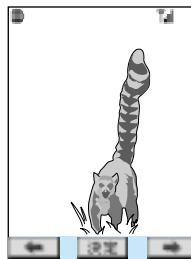
1 **使用したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「アニメーション作成」を選択し、 を押す**

選択／再生していたファイルが、リストの「01」に表示されます。

- 「編集を中断したファイルがあるときは」（☞P334）

2 **を押してリスト番号を選択し、 を押す**

使用可能なファイルが登録できるフォルダのみを表示した、データフォルダの一覧画面が表示されます。

3 使用する画像をデータフォルダ内から選択し、を押す

選択した画像が表示されます。

- 画像表示中のディスプレイの最下段に または が表示されているときは、 または を押すと、前後の画像が表示されます。

4 を押す

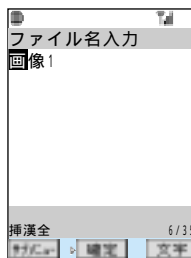
ファイルがリストに追加されます。

5 操作 2 ～ 4 を繰り返し、必要な画像を指定する

アニメーション作成
01：画像1.jpg
02：画像2.jpg
03：画像3.jpg
04：画像4.jpg
05：画像5.jpg
06：画像6.jpg
07：画像7.jpg
08：画像8.jpg
09：画像9.jpg

- アニメーションとして登録する前に、再生して確認することができます。
  ① を押してサブメニューを表示させる
  ②「プレビュー」を選択し、 を押す
  ③ 確認が終了したら を押す
- 連続表示の間隔を指定することができます。
  ① を押してサブメニューを表示させる
  ② を押して「画面更新間隔」を選択し、 を押す
  ③ を押して間隔を選択し、 を押す
- 画像の指定を解除することができます。
  ① を押して解除する画像を選択し、 を押す
  ② を押し、確認の画面で を押す

6 を押す

ファイル名の入力画面が表示されます。1 枚目の画像ファイルの名称が入力されています。

7 ファイルの名前（全角最大 1 7 文字、半角最大 3 5 文字）を入力し、 を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。
- ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; * ? "〈 〉 | .」は使用できません。
- 待受画面に戻るときは を押します。

モーションアニメを編集するには

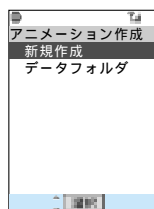
データフォルダから編集したいモーションアニメファイルを選択し、画像ファイルを変更または解除して編集します。

① 一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「編集」を選択し、Ⓜを押す
② ◎を押して変更／解除したいファイルを選択し、Ⓜを押す
③ 他の画像に変更するときはⓂを押し、データフォルダから目的のファイルを選択して表示し、Ⓜを押す
画像を解除するときはⓂを押し、確認の画面でⓂを押す
④ 操作②～③を繰り返し、編集が終了したらⓂを押す
⑤ 上書きまたは別名で登録する

- 編集時に解除された画像はピクチャーフォルダに保存されます。保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと２桁の数字または英字が自動的に付加されます。（例：「Image5.png」→「Image5~00.png」）

マイツールからアニメーション作成を始めるには

「アニメーション作成」は、マイツールからも呼び出すこともできます。

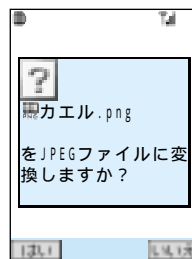
① ◎（メニュー）を押す
② ◎を押してマイツールを選択し、Ⓜを押す
③ ◎を押してアニメーションを選択し、Ⓜを押す
④「新規作成」を選択し、Ⓜを押す

「静止画を使ってモーションアニメを作成する」の操作１（☞P342）の画面が表示されます。操作２～７を行います。

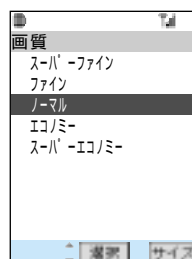
- 保存されているモーションアニメを編集するときは、操作④で◎を押して、「データフォルダ」を選択し、Ⓜを押します。データフォルダから目的のモーションアニメを選択することができます。
- 日付時刻設定（☞P28）をしていないときにマイツールから「アニメーション作成」を呼び出したときは、警告音とメッセージでお知らせし呼び出せません。

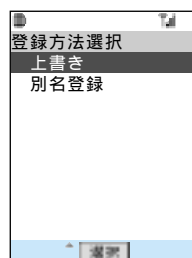
画像のファイル形式を変換する

一覧／再生画面のサブメニュー／メニューを使って、画像のファイル形式を次のように変換することができます。
「JPEG ファイル変換」：PNG ファイル→ JPEG ファイル
「PNG ファイル変換」：JPEG ファイル→ PNG ファイル
「MNG ファイル変換」：モーションアニメファイル→ MNG ファイル
変換したファイルは上書きまたは別名を付けて保存します。

例：PNGファイルをJPEGファイルに変換し、上書き保存する場合

1 変換したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「JPEG ファイル変換」を選択し、を押す

2 を押す

- 変換を中止するときはを押します。

3 を押して画質を選択し、を押す

- を押すとファイルサイズの目安を確認することができます。確認後を押すと操作 2 の画面に戻ります。
- 「PNG ファイル変換」、「MNG ファイル変換」の場合は画質の変更はできません。

4 を押して「上書き」を選択し、を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、保存先のフォルダの一覧画面が表示されます。

- 別名で保存するときは、を押して「別名登録」を選択しを押します。入力画面が表示されるのでファイルの名前（全角最大 17 文字、半角最大 35 文字）を入力し、を押します。

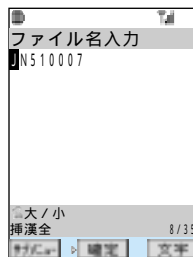
- 壁紙やマイキャラクターなどに設定されている画像のファイル形式を変換して上書きしたときは、その画像が設定されていた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

- 保護が設定されているファイルは、ファイル形式の変換ができません。
- 保存形式を変換すると画質が変わることがあります。
- MNG ファイル変換を行うと画面の更新間隔が変わることがあります。
- 保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと 2 桁の数字または英字が自動的に付加されます。
（例：「Image5.png」→「Image5~00.png」）

JPEG（DCF）のサムネイルを保存する（サムネイルの登録）

JPEG（DCF）形式の静止画のサムネイルを、JPEG ファイルとして保存することができます。JPEGファイルの画像は、編集したり壁紙などに設定することもできます。

1 サムネイルを登録したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「サムネイルの登録」を選択し、を押す

ファイル名の入力画面が表示されます。元のJPEG（DCF）ファイルの名称が入力されています。

2 必要に応じてファイル名（全角最大 17 文字、半角最大 35 文字）を変更し、を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、保存先のフォルダの一覧画面が表示されます。

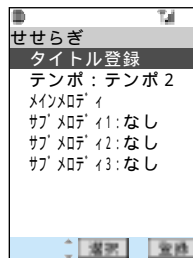
- 文字の入力方法や編集方法については、50 ページから 70 ページをご参照ください。

- サムネイルとは、デジタルカメラモードで撮影した画像（縦 480 ×横 640 ドット）を保存すると同時に保存される小さなサイズの画像（縦 120 ×横 160 ドット）です。デジタルカメラモードで撮影した画像はサイズが大きいため、J-N51のディスプレイには表示できません。J-N51では、代わりにサムネイルを表示させせることによって画像の確認を行えるようになっています。

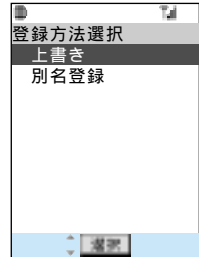
メロディファイルを編集する

SMD ファイルや自作メロディは、編集することができます。

例：上書き保存する場合

1 編集したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「編集」を選択し、を押す

2 を押して編集する項目を選択し、を押す

- 「メロディを編集する」（☞P134）

3 編集が終了したら、を押す

4 を押して「上書き」を選択し、を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 別名で保存するときは、「別名登録」を選択してを押します。入力画面が表示されるのでファイルの名前（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、を押します。
- 待受画面に戻るときはを押します。

注意

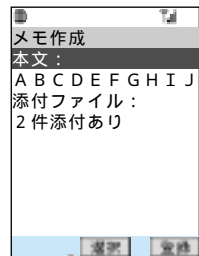
- SMDファイルを編集して登録すると、自作メロディファイルとなります。
- 着信音や効果音などに設定されているSMDファイルを上書き登録して自作メロディにしたときには、そのファイルを設定していた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

- 保護が設定されているファイルは編集できません。
- 保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます。（例：「music5.nom」→「music5~00.nom 」）

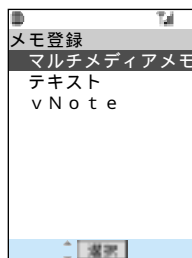
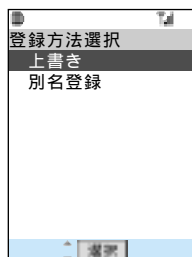
メモファイルを編集する

テキスト、vNote、マルチメディアメモを編集することができます。

例：上書き保存する場合

1 編集したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「編集」を選択し、を押す

2 ◎を押して編集する項目を選択し、📖を押す

- 「メモを作成する」（☞P266）

3 編集が終了したら、✎を押す

4 ◎を押してファイル形式を選択し、📖を押す

5 ◎を押して「上書き」を選択し、📖を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 別名で保存するときは、「別名登録」を選択して📖を押します。入力画面が表示されるのでファイルの名前（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、📖を押します。
- 待受画面に戻るときは☎PWR HLDを押します。

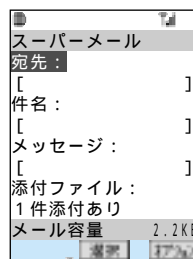
- 保護が設定されているファイルは編集できません。
- 保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます。（例：「file5.txt」→「file5~00.txt 」）

ファイルを他の機器に送信する

ファイルをスーパーメールで送信する（メール添付）

データフォルダで選択したファイルを、スーパーメールに添付して送信することができます。ただし、アクションビューファイルとJPEG（DCF）ファイルおよび転送不可のファイルは添付できません。

1 添付したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「メール添付」を選択し、(📖)を押す

スーパーメールの編集画面が表示されます。

2 宛先など他の項目を入力し、送信する

- 詳細については「J-スカイ編」を参照してください。

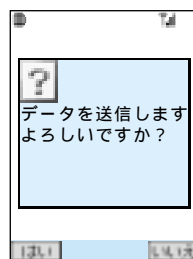
マルチメディアメモをスーパーメールで送信するには（メール送信）

選択／再生中のマルチメディアメモ（☞P266、319）を、スーパーメールに変換して送信することができます。本文はそのままメールのメッセージになり、メモのファイル名は件名となります。添付ファイルはスーパーメールの添付ファイルとなります。ただし転送不可ファイルが添付されている場合は送信できません。

① 一覧／再生画面のサブメニュー（☞P322）から「メール送信」を選択し、(📖)を押す
② スーパーメールの編集画面で必要な項目を入力し、送信する

ファイルを赤外線送信する（赤外線送信）

vCardおよび画像（JPEG、JPEG（DCF）、PNG、モーションアニメ、MNG、Nancy、アクションビュー）のファイルを、赤外線通信対応機種のJ-フォン携帯電話に送信することができます。ただし転送不可のファイルは赤外線送信はできません。受信側のJ-N51では、ファイルが該当するフォルダに自動的に保存されます。赤外線ポートどうしを近づけて操作してください。（☞P362）

1 赤外線送信したいファイルを選択して、一覧画面のサブメニュー（☞P322）から「赤外線送信」を選択し、(📖)を押す

2 を押す

通信が開始され、送信が完了すると待受画面が表示されます。

補足
- 送信を中止するときは⊘を押します。
- 相手側のJ-フォン携帯電話を赤外線受信状態にしておいてください。「データを受信して保存する」（☞P364）
- 赤外線通信時はオフライン状態になり、通話やJ-スカイサービスの利用はできません。

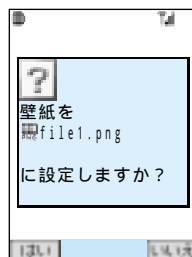
ファイルを他の機能で利用する

画像を壁紙に設定する（壁紙設定）

JPEG／PNG形式の静止画ファイルや、モーションアニメおよびMNG形式のアニメーションは、メインディスプレイの壁紙に設定することができます。

1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「壁紙設定」を選択し、を押す

補足
- ピクチャーセット（☞『J-スカイ編』）が設定されていて壁紙設定されているときは、「現在設定中の壁紙は消去されます」と表示されます。

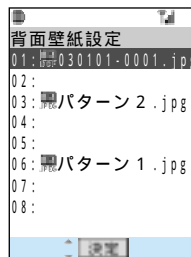
2 を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

補足
- 設定を中止するときは⊘を押します。

- 壁紙設定を行うと、壁紙設定の画面表示（☞P171）が「しない」に設定されていた場合でも自動的に「する」に切り替わります。

画像をイメージウィンドウの壁紙に設定する（背面壁紙設定）

JPEG／PNG 形式の静止画ファイルや、モーションアニメおよび MNG 形式のアニメーションは、イメージウィンドウの壁紙（最大 8 件）に設定することができます。

1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「背面壁紙設定」を選択し、（メニュー）を押す

2 **を押して番号を選択し、（メニュー）を押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- イメージウィンドウの壁紙を見る操作（☞P195）を行ったときには、設定した壁紙が番号順に表示されます。

補足

- 背面壁紙設定を行うと、背面表示（☞P183）が「OFF」に設定されていた場合でも自動的に「ON」に切り替わります。

画像を待受時のイメージウィンドウに表示する（背面待ち受け設定）

JPEG／PNG 形式の静止画は、待受時のイメージウィンドウのイメージ（背景画像）に設定することができます。

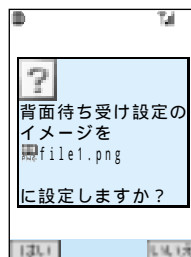
1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「背面待ち受け設定」を選択し、（メニュー）を押す

2 **を押す**

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

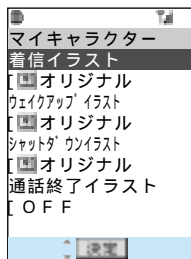
補足

- 設定を中止するときは（クリア）を押します。

11 データを活用しましょう

- 背面待ち受け設定を行うと、背面表示（☞P183）が「OFF」に設定されていた場合でも自動的に「ON」に切り替わります。

画像をマイキャラクターに設定する（マイキャラクター）

JPEG／PNG形式の静止画ファイルや、モーションアニメおよびMNG形式のアニメーションは、マイキャラクターに設定することができます。着信／ウェイクアップ／シャットダウン／通話終了のいずれのイラストとして表示させるかを選択して設定します。

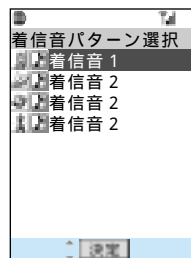
1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「マイキャラクター」を選択し、📖を押す

2 ◯を押して項目を選択し、📖を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- 通話終了イラストに画像ファイルを設定すると、マイキャラクター（☞P177）で「OFF」に設定されていた場合でも自動的に設定が「ON」に変わります。

メロディを着信音パターンに設定する（着信音パターン）

自作メロディ／SMD／SMAF形式のファイルを着信音パターンに設定することができます。通常着信やメール着信などのうち、どの項目の着信音パターンにするかを選択して設定します。

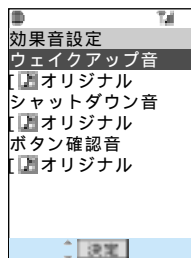
1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「着信音パターン」を選択し、📖を押す

2 を押して項目を選択し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- ファイルによっては警告音が鳴ってメッセージが表示され、着信音パターンに設定できない場合があります。

メロディを効果音に設定する（効果音設定）

自作メロディ／SMD／SMAF形式のメロディファイルを効果音に設定することができます。ウェイクアップ音やシャットダウン音などのうち、どの項目の効果音にするかを選択して設定します。

1 設定したいファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー（☞P322）から「効果音設定」を選択し、を押す

2 を押して項目を選択し、を押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧画面に戻ります。

- ファイルによっては警告音が鳴ってメッセージが表示され、効果音に設定できない場合があります。

添付ファイルを操作する

vMessage／EML／マルチメディアメモファイルの再生画面で添付ファイルを選択し、メニューを使って再生や保存などの操作が行えます。

添付されているメロディファイルを再生する

1 再生画面で自作メロディ（マルチメディアメモの場合のみ）／SMD／SMAF ファイルを選択し、メニュー（☞P322）から「BGM 演奏」を選択してを押す

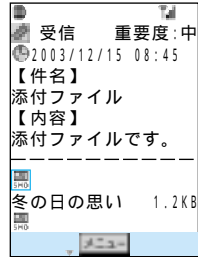
メロディが再生されます。

- マナーモード設定中には音は鳴りません。
- 添付ファイルの再生画面にさらに添付されたファイルの再生はできません。

2 **再生を終了するときは、メニューから「BGM停止」を選択して(決定)を押す**

添付ファイルを表示する

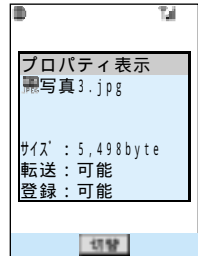
1 **再生画面で添付ファイルを選択し、メニュー（☞P322）から「表示」を選択して(決定)を押す**

添付ファイルが表示されます。

例：vMessageの場合

2 **再生画面に戻るときは(クリア)を押す**

添付ファイルの情報を表示する（添付ファイルプロパティ）

1 **再生画面で添付ファイルを選択し、メニュー（☞P322）から「添付ファイルプロパティ」を選択して(決定)を押す**

ファイル情報が表示されます。

- (決定)を押すと、保存日時やファイル形式などの表示に切り替わります。

2 **再生画面に戻るときは(クリア)を押す**

添付ファイルをコピーする（添付ファイルコピー）

選択した添付ファイルをコピーして、フォルダの中やメール、マルチメディアメモなどにペーストすることができます。

1 **再生画面で添付ファイルを選択し、メニュー（☞P322）から「添付ファイルコピー」を選択して(決定)を押す**

コピーの完了をお知らせするメッセージが表示されたあと､再生画面に戻ります。

- コピーしたファイルは、他のファイルをコピーするか、電源を切るか、オールリセット（☞P156）を行うまで繰り返しペーストできます。

データフォルダに保存する（添付ファイル登録）

選択した添付ファイルを独立したファイルとしてデータフォルダに保存することができます。ファイルは、自動的に該当するフォルダに保存されます。（☞P319）

1 再生画面で添付ファイルを選択し、メニュー（☞P322）から「添付ファイル登録」を選択して㊂を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、再生画面に戻ります。

再生画面を操作する

リンク先に接続する

再生画面上のリンク文字（破線のアンダーラインが引かれた項目）を使ってリンク先のサイトへ接続したり、電話をかけたり、メールを送ったりすることができます。リンク文字になる条件はメールのメッセージ内の電話番号やアドレスと同じです。（「メッセージ内の電話番号やアドレスを利用する」（☞『J - スカイ編』））

1 再生画面でリンク文字を選択し、メニュー（☞P322）から「リンク」を選択して㊂を押す

リンク先への接続確認画面が表示されます。
以降の操作は「メッセージ内の電話番号やアドレスを利用する」の操作 3 以降（☞『J - スカイ編』）をご覧ください。

- 添付ファイルの再生画面上のリンク文字からはリンク先へ接続できません。

再生画面の文字をコピーする（文字コピー）

再生画面の文字をコピーすることができます。コピーした文字は、文字入力画面に繰り返しペーストすることができます。

1 再生画面のメニュー（☞P322）から「文字コピー」を選択して㊂を押す

コピー範囲の始点を指定する画面が表示されます。

2 コピー範囲を指定する

コピーが完了すると、再生画面に戻ります。

- ここでのコピー範囲指定は 1 行単位になります。
- 「範囲を指定するには」（☞P67）

- 入力画面でのペースト操作については、「文字を複写／移動する」（☞P68）を参照してください。

再生画面の文字をライブラリに登録する（ライブラリ登録）

繰り返し使えそうな再生画面の文字を、ライブラリに登録することができます。

1 再生画面のメニュー（☞P322）から「ライブラリ登録」を選択して（📖）を押す

登録範囲の始点を指定する画面が表示されます。

2 範囲を指定し、ライブラリに登録する

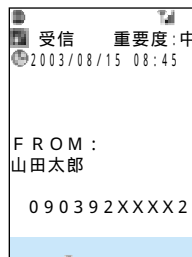
登録が完了すると、再生画面に戻ります。

- 「範囲を指定するには」（☞P67）
- 「文字をライブラリに登録する」（☞P69）

再生中の vMessage ／ EML ファイルの情報を確認する（メール情報）

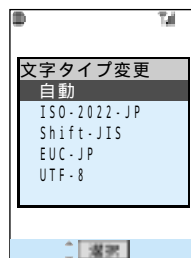
再生中の vMessage ／ EML ファイルのメール情報を確認することができます。

1 再生画面のメニュー（☞P322）から「メール情報」を選択し、（📖）を押す

情報が表示されます。

- vMessage／EMLファイルは、E-mailなどを保存するときに使用するファイル形式です。
- 「v シリーズのファイルとは」（☞P359）

再生画面の文字タイプを変更する（文字タイプ変更）

vMessage／EMLの再生画面の表示中に文字タイプを変えることができます。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

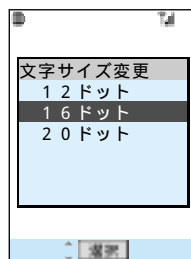
1 **再生画面のメニュー（☞P322）から「文字タイプ変更」を選択し、を押す**

2 **を押して文字タイプを選択し、を押す**

文字タイプの変更をお知らせするメッセージが表示され、再生画面に戻ります。

- 文字タイプは、再生画面を終了するとお買い上げ時の設定に戻ります。

再生画面の文字サイズを変更する（文字サイズ変更）

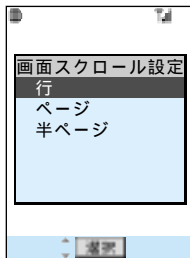
再生画面の文字サイズを変えることができます。お買い上げ時は「16ドット」に設定されています。

1 **再生画面のメニュー（☞P322）から「文字サイズ変更」を選択し、を押す**

2 **を押してサイズを選択し、を押す**

文字サイズが変更され、再生画面に戻ります。

画面のスクロール方法を変更する（画面スクロール設定）

再生画面でを押したときの画面のスクロール量を変えることができます。お買い上げ時は、を押すごとに1行ずつスクロールする「行」に設定されています。

1 **再生画面のメニュー（☞P322）から「画面スクロール設定」を選択し、を押す**

2 **を押してスクロール量を選択し、を押す**

スクロール量が変更され、再生画面に戻ります。

vシリーズのファイルを利用する

受信してデータフォルダに保存したｖシリーズのファイルを、J-N51の各種機能のデータに取り込むことができます。また、J-N51の各種機能のデータをｖシリーズのファイルに変換することができます。変換したファイルは、スーパーメールや赤外線通信で転送することにより、他のＪ-フォン携帯電話やパソコン、PDAなどで利用できます。

ｖシリーズのファイルとは

「vシリーズのファイル」とは、J-N51のデータをスーパーメール対応機種や赤外線転送対応機種、パソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル（vCard、vCalendar※1、vMessage、vBookmark、vNote※2）の総称です。ｖシリーズのファイルを利用すると、他のＪ-フォン携帯電話やパソコンで作成したメモリダイヤルなどのデータをJ-N51に取り込んだり、J-N51のメモリダイヤルをパソコンで管理することができます。

※1　J-N51では「vCalendar」をご利用いただけません。

※2　vNoteは、テキストメモ、マルチメディアメモと同様にメモ作成（☞P266）で操作できます。他のvシリーズのファイルのような取り込み、作成の操作とは異なります。

注意

- vシリーズのファイルのうち、J-N51で作成したvBookmarkはスーパーメールに添付できません。
- パソコンなどでｖシリーズのファイルを利用するには、ｖシリーズのファイルに対応したソフトウェアが必要です。また、データの内容によっては、Ｊ-フォン携帯電話に取り込めない場合や、パソコンなどで利用できない場合があります。
- 他の機器から入手、あるいは受信したvシリーズのファイルは、内容によってはJ-N51で使用できない場合があります。

ｖシリーズのファイルを取り込む

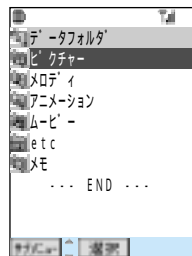
データフォルダで選択中または再生中のｖシリーズのファイルを、メモリダイヤルやブックマーク、メールに取り込みます。

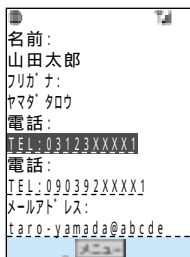
例：vCardファイルをメモリダイヤルに取り込む場合

1 データフォルダを呼び出す

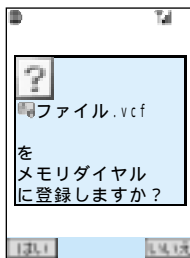
データフォルダの一覧画面が表示されます。

① 待受画面で（ʃ）を押す

② ◎を押して データフォルダ を選択し、（📖）を押す

2 **目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(📖)を押す**

選択したファイルが再生されます。

3 **(📖)を押し、再生画面のメニューから「メモリダイヤルへ登録」を選択して(📖)を押す**

- vBookmarkを取り込むときは「ブックマークへ登録」、vMessageは「メールへ登録」を選択します。
- 一覧画面から操作するときは、(◎)でファイルを選択して(ʃ)を押し、一覧画面のサブメニューから「メモリダイヤルへ登録」を選択して(📖)を押します。

4 **(ʃ)を押す**

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、一覧／再生画面に戻ります。

- vCard、vBookmark、vMessageのファイルに複数のデータが含まれていたときには、別々で複数件に登録されます。
- 登録を中止するときは(✍)を押します。

- 登録件数の空きがないときには登録できません。ウェブ／メールの各設定がOFFのときにはvBookmark／vMessageを登録できません。「J-スカイの各サービスを使えないようにする」（☞『J-スカイ編』）

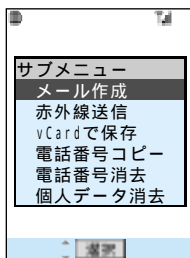
データからvシリーズのファイルを作成する

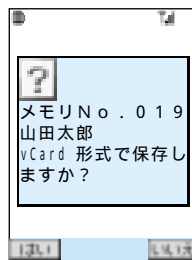
メモリダイヤルやブックマーク、メールから、vシリーズのファイルを作成することができます。vシリーズの形式に変換したデータは、データフォルダ内のetcフォルダに保存されます。

例：メモリダイヤルをvCard形式で保存する場合

1 **データを呼び出し、(ʃ)を押す**

サブメニューが表示されます。

- 呼び出しかたは各操作ページを参照してください。メモリダイヤル（☞P92〜96）、オーナー情報（☞P228）、ブックマーク（☞『J-スカイ編』）、メール（☞『J-スカイ編』）

2 を押して「vCardで保存」を選択し、を押す

- ブックマーク一覧画面では「vBookmarkで保存」、メールの一覧／内容画面では「vMessageで保存」を選択します。

3 を押す

保存の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、データの画面に戻ります。

- 保存を中止するときはを押します。

変換したデータのファイル名について

v シリーズの形式に変換したデータは、自動的に番号を付けて保存されます。番号（ファイル名）は次のような規則で付けられます。
下記規則以外にもデータフォルダのファイル管理上「~ UU」（UU は 00 ～ 99、aa ～ zz の英数字）がファイル名に付加されることがあります。

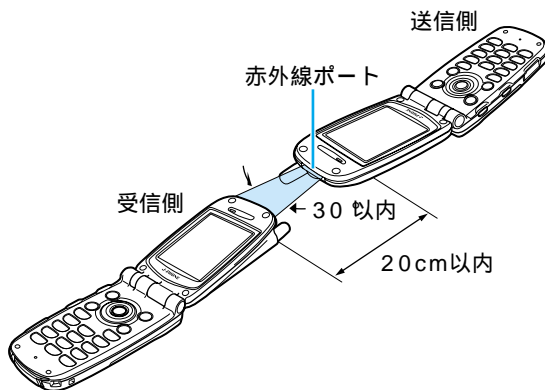
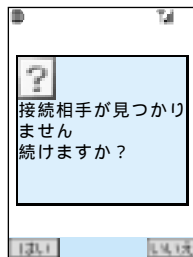
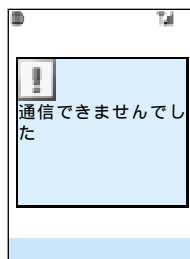
V シリーズの形式	ファイル名形式
vCard （メモリダイヤル／オーナー情報から変換）	JMMMMGGNN.vcf（例：J00190124.vcf） ・J　：半角文字「J」固定とする。 ・MMMM ：メモリダイヤル番号（4 桁）／オーナー情報の場合は「9999」 ・GG　：グループ番号を 00 ～ 31 で設定／オーナー情報の場合は 00 ・NN　：読みの先頭 1 文字の 16 進数値（2 桁）（読みがない場合は「00」）
vBookmark （ブックマークから変換）	[タイトル].vbm、またはタイトルなし YYMMDDUU.vbm（例：お申し込み.vbm） ・[タイトル] ：HTML コード中の TITLE タグ値（半角最大 35 文字） ・YYMMDD ：保存年月日 ・UU　：00 ～ 99、aa ～ zz の数字、英字
vMessage （メールから変換）	YYMMDDUU.vmg（例：03121501.vmg） ・YYMMDD ：メール送信／受信／保存年月日 ・UU　：00 ～ 99、aa ～ zz の数字、英字

画像やメモリダイヤルを赤外線通信でやりとりする

J-N51どうしなど赤外線通信対応機器との間で、メモリダイヤルやオーナー情報のほか、静止画／アニメーション／ムービー／vCardのデータを1件ずつ送受信することができます。

赤外線通信を行うときには

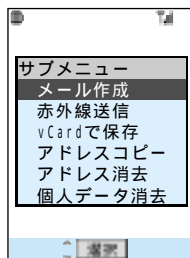
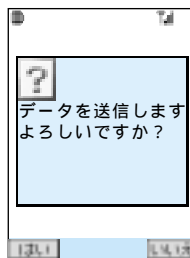
画像やメモリダイヤルを赤外線通信でやりとりするときや、赤外線全件転送（☞P365）を行うときには、以下のことに注意してください。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにし、20cm以内に近づけてください。
- 安定した場所に置き、データの送受信が終わるまで動かさないでください。
- 赤外線装置の近くや直射日光があたる場所、蛍光灯の真下などでは正常に通信できないことがあります。
- 赤外線通信中はオフライン状態になるため、通話やJ-スカイ サービスなどの利用はできません。

- 通信異常／通信中断のメッセージが表示されたときは
  正常に通信できなかったり中断したときには、「接続相手が見つかりません　続けますか？」「認証できませんでした　続けますか？」「中断されました　続けますか？」のいずれかのメッセージが表示されます。
  ・通信をやり直すときは ʃ を押します。
  ・通信を中止するときは ⌁ を押します。

- 通信失敗のメッセージが表示されたときは
  通信が失敗したときには、「通信できませんでした」というメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。J - フォン携帯電話同士を近づけて、もう一度通信してください。
  また、受信側に問題がある場合は「送信先にデータを登録できません」「送信先のデータがいっぱいです」「メモリダイヤルがいっぱいです　通信終了しました」というメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- J-N51の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データを赤外線送信する

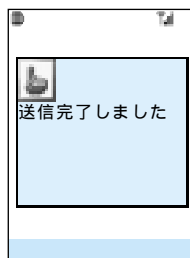
例：メモリダイヤルを赤外線送信する場合

1　送信するデータを呼び出し、(ʃ)を押す

サブメニューが表示されます。

- 呼び出しかたは各操作ページを参照してください。
  静止画／アニメーション／ムービー（☞P320）、メモリダイヤル（☞P92～96）、オーナー情報（☞P228）、vCard（☞P320）

2　(◎)を押して「赤外線送信」を選択し、(📖)を押す

3　(ʃ)を押す

送信の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

- 送信を中止するときは(✍)を押します。
- 相手側のJ -フォン携帯電話を赤外線受信状態にしておいてください。（「データを受信して保存する」（☞P364））

データを受信して保存する

赤外線通信操作画面を表示させ、データが送信されてくるのを待ちます。静止画／アニメーション／ムービーのデータは、受信後、自動的に保存が行われます。メモリダイヤル／オーナー情報／vCardのデータを受信したときは、受信後の操作が必要です。

例：送信されてくるデータをメモリダイヤルに取り込む場合

1 メニューから「赤外線通信」を呼び出す

赤外線通信操作画面が表示されます。

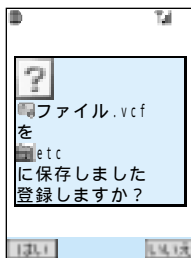
① (メニュー) を押す

② を押して を選択し、を押す

③ を押して を選択し、を押す

2 データを受信すると、データ保存中の画面が表示されたあと、確認メッセージが表示される

- 静止画／アニメーション／ムービーのデータを受信したときは、データ保存中の画面が表示されたあと、保存の完了をお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

3 を押す

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

- メモリダイヤルへの取り込みを行わないときは、を押します。
- データはvCardファイルとしてデータフォルダのetcフォルダに保存されます。

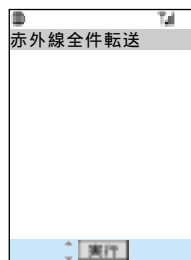
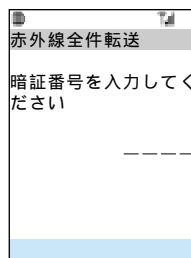
- メモリダイヤル／オーナー情報／vCardのデータは、空いている最も小さいメモリ番号に登録されます。
- 静止画／アニメーション／ムービーのデータは、データフォルダ内の該当のフォルダに保存されます。

赤外線通信でメモリダイヤルをまとめて転送する(赤外線全件転送)

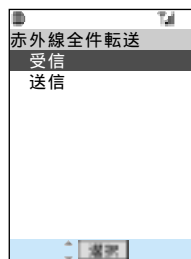
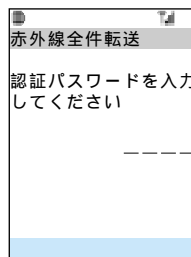
J-N51どうしで、データをまとめて送受信することができます。赤外線全件転送を行うには、送受信する双方のJ-N51でそれぞれの操作用暗証番号（☞P16）と、共通の認証パスワードを入力する必要があります。

赤外線全件転送で送信する

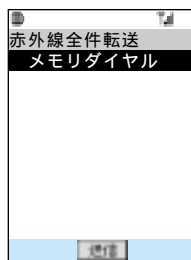
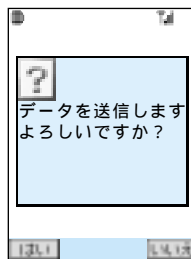
1 メニューから「赤外線全件転送」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す
② を選択し、◯を押す
③ ◯を押して を選択し、◯を押す
④ ◯を押して「赤外線全件転送」を選択し、◯を押す

2 ◯を押す

3 操作用暗証番号（4桁）を入力する

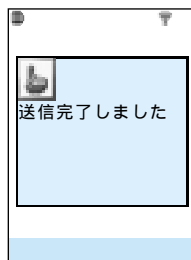
入力した番号は「*」で表示されます。

- 操作用暗証番号を間違えたときは、警告音とメッセージでお知らせします。

4 ◯を押して「送信」を選択し、◯を押す

5 認証パスワード（4 桁）を入力する

受信側と同じ 4 桁の数字を入力します。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

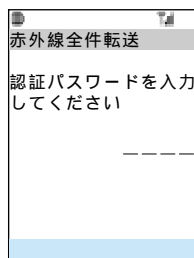
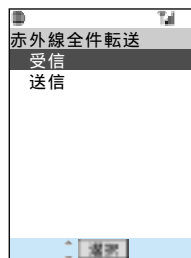
- 認証パスワードとは赤外線全件転送を行うときに受信側との認証を行うための 4 桁の数字です。送信側、受信側で同じ数字を入力してください。

6 Ⓜを押す

7 Ⓙを押す

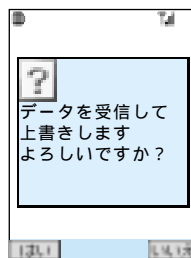
送信の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

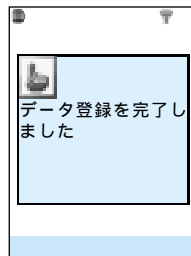
- 認証パスワードが受信側と一致しないときは、メッセージでお知らせします。
- 送信を中止するときはⒺを押します。
- 相手側の J -フォン携帯電話を赤外線受信状態にしておいてください。「赤外線全件転送で受信する」（☞P367）

赤外線全件転送で受信する

メモリダイヤル／オーナー情報を全件受信すると、受信側のメモリダイヤル／オーナー情報のデータはすべて消去され、上書きされます。ただし、オーナー情報の自局電話番号は消去、上書きされません。

1 **「赤外線全件転送で送信する」の操作 1 〜 3（☞P365）を行う**

2 **を押して「受信」を選択し、を押す**

3 **認証パスワード（4 桁）を入力する**

送信側と同じ 4 桁の数字を入力します。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

4 **を押す**

登録の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

- 認証パスワードが送信側と一致しないときは、メッセージでお知らせします。
- 受信を中止するときはを押します。

- 受信したデータはメモリダイヤル／オーナー情報の機能に取り込まれ、データフォルダには保存されません。

音楽や画像を楽しむ(メディアポッド)

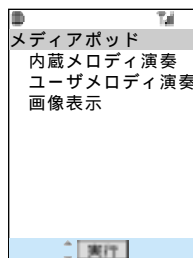
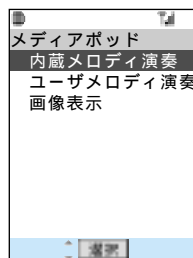
メディアポッドを使うと、データフォルダに保存されているメロディファイルや内蔵メロディを聞くことができます。また、データフォルダ内の画像ファイルの表示も行えます。ただし、メディアポッドではサウンドや画像の編集は行えません。
なお、データフォルダ内のファイルを操作するには、あらかじめ日付時刻設定(☞P28)をしておく必要があります。

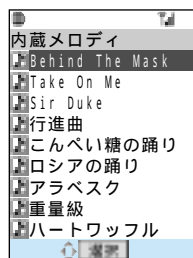
内蔵メロディを聞く

着信音パターンに使用できる内蔵メロディのうち、「着信音 1」および「着信音 2」をのぞく 18 件のメロディ演奏を聞くことができます。

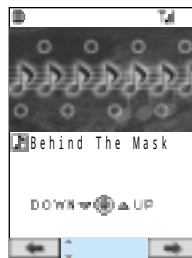
1 メインメニューから「メディアポッド」を呼び出す

① ◎(メニュー)を押す

② ◎を押して[メディアポッド]を選択し、[□]を押す

2 [□]を押す

3 「内蔵メロディ演奏」を選択し、[□]を押す

内蔵メロディ一覧が表示されます。

4 を押してメロディを選択し、を押す

メロディ演奏中のアニメーションが表示され、メロディが繰り返し演奏されます。

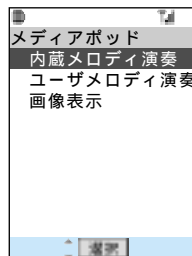
- 演奏中にまたはを押すと、前後の内蔵メロディが演奏されます。
- 着信音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面でを押したときは、最小の音量で演奏され、演奏中にを押すと音量調整が行えます。調整した音量は、メディアポッドを終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面でを押すと、メロディ演奏中のアニメーションは表示されますが、音は鳴りません。
- メロディの演奏中には、着信イルミネーション（☞P231）の音声着信の設定に合わせて、着信ランプが点滅します。また、バイブレータ設定（☞P128）の音声着信の設定が「SMAF連動」になっているときにはバイブレータ連動のSMAF演奏中にバイブレータが振動します。

5 一覧画面に戻るときは、を押す

- 待受画面に戻るときは、を押します。

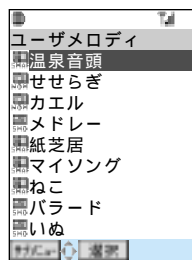
- 内蔵メロディの演奏は、着信音パターン選択（☞P123）から聞くこともできます。

自作メロディやダウンロードしたメロディを聞く

メディアポッドのメニューから「ユーザメロディ演奏」を選択すると、データフォルダに保存されているファイルの中からSMD、SMAF、自作メロディのファイルが検出され、一覧表示されます。画像データ付きメロディの演奏中には、画像も表示されます。

1 「内蔵メロディを聞く」の操作１～２（☞P368）を行う

2 を押して「ユーザメロディ演奏」を選択し、を押す

ユーザメロディ一覧が表示されます。

- ユーザメロディが１件も登録されていないときは警告音とメッセージでお知らせします。
- 「一覧画面での各種操作」（☞P372）

3 を押してメロディを選択し、を押す

メロディ演奏中のアニメーションまたはメロディに付いている画像が表示され、メロディが繰り返し演奏されます。

- 演奏中のディスプレイの最下段にまたはが表示されているときは、またはを押すと、前後のメロディが演奏されます。
- 着信音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面でを押したときは、最小の音量で演奏され、演奏中にを押すと音量調整が行えます。調整した音量は、メディアポッドを終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面でを押すと、メロディ演奏中のアニメーションは表示されますが、音は鳴りません。
- メロディの演奏中には、着信イルミネーション（☞P231）の音声着信の設定に合わせて、着信ランプが点滅します。また、バイブレータ設定（☞P128）の音声着信の設定が「SMAF連動」になっているときにはバイブレータ連動のSMAF演奏中にバイブレータが振動します。

例：画像なしのメロディ演奏中の画面

例：画像付きのメロディ演奏中の画面

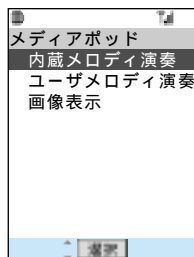
4 一覧画面に戻るときは、を押す

- 待受画面に戻るときは、を押します。

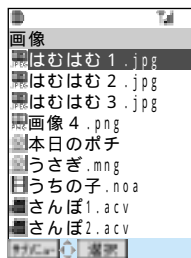
- 自作メロディやSMDは、メロディ作成（☞P132）からでも演奏できます。また、データフォルダ内のメロディファイルは、着信音パターン選択（☞P123）やデータフォルダ（☞P320）からでも演奏が聞けます。データフォルダから操作する場合は、名前の変更や編集など、さまざまな操作が行えます。

画像を見る

メディアポッドのメニューから「画像表示」を選択すると、データフォルダに保存されているファイルの中から静止画や動画、アニメーションの画像ファイルが検出され、一覧表示されます。一覧からファイルを選択して画像を見ることができます。

1 「内蔵メロディを聞く」の操作1～2（☞P368）を行う

2 ◎を押して「画像表示」を選択し、📖を押す

画像一覧が表示されます。

- 画像が1件も登録されていないときは警告音とメッセージでお知らせします。
- 「一覧画面での各種操作」（☞P372）

3 ◎を押して画像を選択し、📖を押す

画像が表示されます。動画やアニメーションは繰り返し再生されます。

- 画像表示中のディスプレイの最下段に［←］または［→］が表示されているときは、ʃまたは✍を押すと、前後の画像が表示されます。
- 着信音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面でʃを押したときには、音声付きの画像は最小の音量で再生され、再生中に◎を押すと音量調整が行えます。調整した音量は、メディアポッドを終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面で✍を押すと、音声は鳴りません。

例：静止画表示中の画面

例：動画再生中の画面

4 一覧画面に戻るときは、を押す

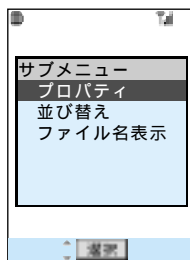
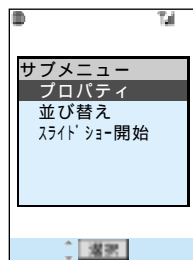
- 待受画面に戻るときは、☎PWR HLDを押します。

補足
- データフォルダ内の画像ファイルは、モバイルカメラ（☞P222）やデータフォルダ（☞P320）からでも表示できます。データフォルダから操作する場合は、名前の変更や編集など、さまざまな操作が行えます。

一覧画面での各種操作

ユーザメロディと画像の一覧画面からは、ファイル情報（プロパティ）の確認や、一覧の並べ替えが行えます。また、ユーザメロディ一覧をファイル名表示／タイトル表示に切り替えたり、画像をスライドショーで表示させることができます。

1 ユーザメロディ一覧（☞P370）／画像一覧（☞P371）で∫を押す

サブメニューが表示されます。

ユーザメロディ一覧のサブメニュー

画像一覧のサブメニュー

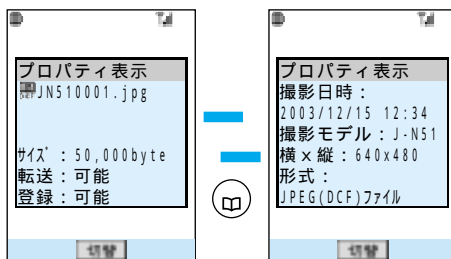
2 ◎を押して項目を選択し、📖を押す

項　目	概　要	参照ページ
プロパティ	ファイルサイズや保存日時、形式などの情報を表示する	373
並び替え	一覧のファイルを、保存日時の新しい順／古い順に並べて表示する。またはファイル拡張子のアルファベットを基準に、昇順／降順に並べて表示する	373
ファイル名表示※1／タイトル表示※1	一覧の表示内容を切り替える	374
スライドショー開始※2	画像一覧の画像を次々に表示する	374

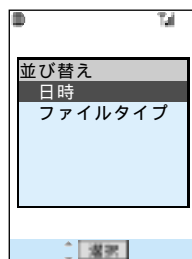
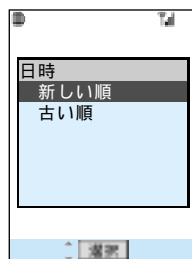
※1：ユーザメロディ一覧でのみ表示されます。
※2：画像一覧でのみ表示されます。

プロパティを確認する

1 **ユーザメロディ一覧(☞P370)／画像一覧(☞P371)のサブメニューから「プロパティ」を選択し、(📖)を押す**

プロパティが表示されます。

例：JPEG（DCF）ファイルのプロパティ

ファイルを並べ替える

1 **ユーザメロディ一覧(☞P370)／画像一覧(☞P371)のサブメニューから「並び替え」を選択し、(📖)を押す**

2 **(◎)を押して並び替えの基準を選択し、(📖)を押す**

例：「日時」を選択した場合

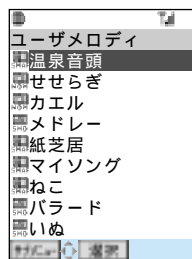
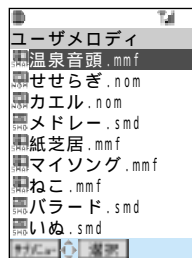
3 **(◎)を押して並べる順を選択し、(📖)を押す**

選択した順番で並べた一覧画面が表示されます。

- 「日時」で並べ替えた場合には、日時が分単位で管理されているため、保存日時の順番通りにならないことがあります。

メロディ一覧の表示内容を切り替える

1 ユーザメロディ一覧（☞P370）のサブメニューから「ファイル名表示」（ファイル名表示されているときは「タイトル表示」）を選択し、を押す

表示内容が切り替わった一覧画面が表示されます。

タイトル表示の一覧画面

ファイル名表示の一覧画面

画像をスライドショーで見る

1 画像一覧（☞P371）のサブメニューから「スライドショー開始」を選択し、を押す

画像一覧で選択されていたファイルから順に、画像の表示が開始されます。

- 静止画は、3秒間表示して次の画像に切り替わります。動画とアニメーションは、再生したあと最後の画像を３秒間表示して、次の画像に切り替わります。
- ディスプレイの最下段にまたはが表示されているときは、またはを押すと、前後の画像に切り替わります。
- スライドショー中は音量調整が行えません。

2 スライドショーを終了するときは、またはを押す

一覧画面に戻ります。

オプションサービス

ご契約地域によるサービスの違いについて

オプションサービスには、以下のサービスがあります。
ご契約いただいた地域によって、ご利用になれるサービス内容が異なります。

サービス内容	関東・甲信／東海／関西地域	北海道／北陸／九州・沖縄地域	東北・新潟／中国／四国地域
転送電話サービス	◎	◎	◎
留守番電話サービス	◎※	○	○
運転中モード	×	◎	◎
割込通話サービス	○	○	○
三者通話サービス	○	○	○
発信者番号通知サービス	◎	◎	◎

◎お申し込みなしでご利用いただけるサービス
○お申し込みが必要なサービス
×ご利用いただけないサービス
※お申し込みによりサービス内容を変えることができます。詳細はガイドブックを参照してください。

これらのサービスについて、本書では次のように記載しています。

●お申し込みが必要なサービスの場合
「**別途お申し込みが必要です。**」と記載しています。

●一部の地域ではお申し込みが必要なサービスの場合
お申し込みが必要な地域名を記載しています。
（例）**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、別途お申し込みが必要です。**

●一部の地域ではご利用になれないサービスの場合
ご利用になれる地域名を記載しています。
（例）**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様にご利用いただけます。**

●ご契約いただいた地域によって、サービス内容が異なる場合
- 地域によって操作手順が異なる場合は「○○地域でご契約のお客様へのサービス」であることを明記して、地域別に説明しています。
- 地域特有のサービスについては「○○地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービス」であることを明記して、個別に説明しています。

また、地域によって注意していただきたいことがらがある場合は、ご注意または補足説明の中で、地域名をあげて記載しています。

転送電話サービスを利用する

J-N51の電源を切っているときや電波の届かないところにいるときでも、かかってきた電話を指定したオフィスやご家庭などの電話に転送させることができます。
転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスはご利用になれません。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P399）または一般電話からの操作（☞P401）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

●転送される条件は、以下の3通りです。
- J-N51の電源がOFFのとき
- 「圏外」が表示されているとき
- 応答しないで着信音が停止したあと

●J-N51でお話し中のときは、転送されません。
（ただし、割込通話サービスをお申し込みいただいている場合は転送されます）

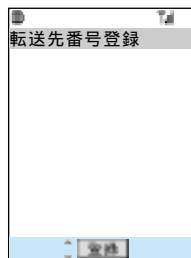
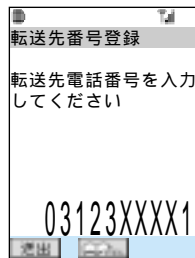
電波の届かない（「圏外」が表示される）場所では

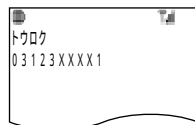
転送電話サービスの登録／設定／解除／確認を行う際には、J-N51と無線基地局の間で電波のやりとりをします。したがって、ディスプレイに「圏外」が表示される場所では転送電話の登録や設定ができません。また、電波状態の悪い場所でもできない場合があります。なお、プッシュトーンの出せる一般電話や公衆電話からは転送電話サービスの登録／設定／解除／確認が行えます。（☞P401）

転送先の電話番号を登録（変更）する

初めて転送電話サービスをご利用になるときは、必ず最初にこの操作を行ってください。一般電話を登録する場合は市外局番から、携帯電話やPHSなどの場合は電話番号全桁を登録してください。転送先を変更するときも同じ操作をします。（転送先電話番号登録）

1　メニューから「転送先番号登録」を呼び出す

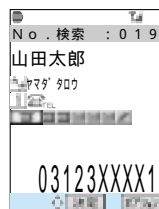
①◎（メニュー）を押す
②（アイコン）を選択し、（決定）を押す
③◎を押して（アイコン）を選択し、（決定）を押す
④◎を押して「転送先番号登録」を選択し、（決定）を押す

2 を押し、転送先の電話番号を入力する

3 を押す

転送先が登録されたことをお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 登録できなかったときはメッセージでお知らせします。

- 以下の電話番号は転送先として登録できません。
  - 「1」から始まる電話番号（例：「110」「118」「119」など）
  - 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  - 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）
- 登録した転送先電話番号は、変更するまで有効です。

転送先をメモリダイヤルから選ぶときは

① 操作2の画面でを押してメモリダイヤルを呼び出す
② を押す
③ 操作3を行う

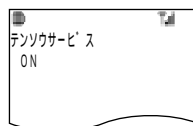
- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P92～96）

転送電話サービスを設定する

J-N51の電源をOFFにしているときや、電波の届かないところにいるときにかかってきた電話を転送できる状態にします。ただし、呼び出されている間ならばJ-N51で電話を受けることができます。また、**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、J-N51を呼び出さずに転送することもできます。
転送先の電話番号はあらかじめ登録しておいてください。(☞P377)

1 メニューから「転送呼出」を呼び出す

① (メニュー) を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④ を押して「転送呼出」を選択し、を押す

2 を押す

転送電話サービスが設定(ON)されたことをお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 設定できなかったときはメッセージでお知らせします。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様
- 呼び出さずに転送する(転送呼出「なし」)ときには を押します。
- 呼び出し時間を変更することができます。(☞P384)

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様
- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間を変更することができます。(☞P384)

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様
- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間は20秒です。変更はできません。

- 転送電話サービスをONにすると、留守番電話サービス(☞P380)は自動的にOFFになります。
- 割込通話サービス(☞P389)をお申し込みになっている場合には、通話中にかかってきた次の電話が、呼び出し後に設定してある転送先に転送されます。
- 簡易留守録設定中でも転送電話サービスは設定できます。ただし、**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、転送呼出を「あり」に設定してください。
- 転送電話サービスと簡易留守録の両方を設定した場合は、簡易留守録の移行時間が呼出し時間設定よりも短く設定されていると、簡易留守録が優先されます。ただし、簡易留守録の録音件数(最大5件)がいっぱいになると、転送電話サービスに移行します。

- 転送電話サービスの設定を解除(OFF)するときは、「秘書サービスの設定を解除する」(☞P386)を参照してください。

留守番電話サービスを利用する

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、別途お申し込みが必要です。

電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターが伝言メッセージをお預かりします。

留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスはご利用になれません。

※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P399）または一般電話からの操作（☞P401）を行ってください。

※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

●留守番電話センターに転送される条件は、以下の3通りです。
- J-N51の電源がOFFのとき
- 「圏外」が表示されているとき
- 応答しないで着信音が停止したあと

●J-N51でお話し中のときは、留守番電話センターへ転送されません。
（ただし、割込通話サービスをお申し込みいただいている場合は転送されます）

電波の届かない（「圏外」が表示される）場所では

留守番電話サービスの設定／解除／確認を行ったり、伝言メッセージを聞く操作をする際には、J-N51と無線基地局の間で電波のやりとりをします。したがって、ディスプレイに「圏外」が表示される場所では留守番電話サービスの設定や確認ができません。また、電波状態の悪い場所でもできない場合があります。

なお、プッシュトーンの出せる一般電話や公衆電話からは留守番電話サービスの設定／解除／確認や伝言メッセージを聞く操作が行えます。（☞P401）

ご契約の地域による違い

サービス内容	ご契約地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
伝言メッセージ	ご契約内容により、録音件数や録音時間、保存期間が異なります（詳細はガイドブックを参照してください）		
応答メッセージ	可※	可※	―
不在応答メッセージ	―	可※	―
不在案内メッセージ	可※	―	可※
呼び出し「なし」の設定	可※	不可	不可
✉の表示	伝言メッセージ再生後は消灯（遠隔操作を除く）	伝言メッセージ再生後は消灯（遠隔操作を除く）	伝言メッセージ再生後も点灯

※詳細はガイドブックを参照してください。

留守番電話サービスを設定する

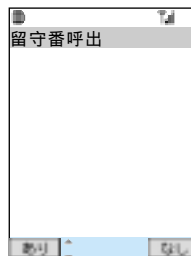
J-N51の電源をOFFにしているときや、電波の届かないところにいるときにかかってきた電話が留守番電話センターに転送されるように設定します。ただし、呼び出されている間ならばJ-N51で電話を受けることができます。また、**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、J-N51を呼び出さずに留守番電話センターに転送することもできます。

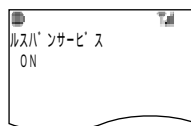
1 メニューから「留守番呼出」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す

② を選択し、📖を押す

③ ◯を押して を選択し、📖を押す

④ ◯を押して「留守番呼出」を選択し、📖を押す

2 ♪を押す

留守番電話サービスが設定（ON）されたことをお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 設定できなかったときはメッセージでお知らせします。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

- 呼び出さずに転送する（留守番呼出「なし」）ときには ✉ を押します。
- 呼び出し時間を変更することができます。（☞P384）

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間を変更することができます。（☞P384）

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

- 現在「なし」をご利用いただけません。

注意

- 留守番電話サービスをONにすると、転送電話サービス（☞P377）は自動的にOFFになります。
- 割込通話サービス（☞P389）をお申し込みになっている場合には、通話中にかかってきた次の電話が、呼び出し後に留守番電話センターにつながります。
- 留守番電話サービスと簡易留守録の両方を設定した場合は、簡易留守録の移行時間が呼出し時間設定よりも短く設定されていると、簡易留守録が優先されます。ただし、簡易留守録の録音件数（最大5件）がいっぱいになると、留守番電話サービスに移行します。
- **関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、簡易留守録（☞P281）をご利用になるときは留守番呼出を「あり」に設定してください。

- 留守番電話サービスの設定を解除（OFF）するときは、「秘書サービスの設定を解除する」（☞P386）を参照してください。

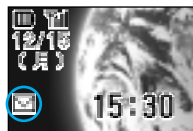
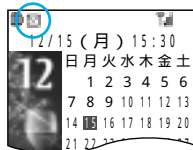
メッセージお預かり表示について

留守番電話センターが伝言メッセージをお預かりすると、以下の操作をしたときにディスプレイに「✉」が表示されます。なお、電波の届かないところでは表示されません。

〈イメージウィンドウ〉

●電話をかけたとき※2
●電話がかかってきたとき※2
●通話を終了したとき
●電源を ON にしたとき※1 ※2
●一定距離を移動したとき※1 ※2
（一定距離：市街地で数 km、郊外では数十 km が目安です）

※1 **北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様**は、関東・甲信／東海／関西の各地域のサービスエリア内では表示されません。

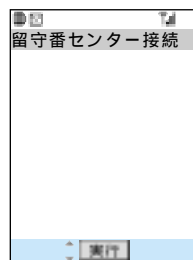
※2 **東北・新潟地域でご契約のお客様**は電話をかけたとき、かかってきたときには表示されません。
また、関東・甲信／東海／関西の各地域のサービスエリア内では表示されません。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

- J-N51から「（局番なし）1415」へダイヤルしてメッセージの有無を確認することができます。（通話料無料）

伝言メッセージを聞く

ディスプレイに「✉」が表示されたら、伝言メッセージを聞いてください。J-N51から留守番電話センターに接続します。（留守番センター接続）

1 メニューから「留守番センター接続」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す
② を選択し、📖を押す
③ ◯を押して を選択し、📖を押す
④「留守番センター接続」を選択し、📖を押す

2 📖を押す

3 アナウンスにしたがって操作する

留守番電話センターがお預かりした伝言メッセージを聞くことができます。

- 留守番センター接続中はスピーカーから音声出力することもできます。（☞P31）

パーソナルオプション

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。
パーソナルオプションとして、以下のような機能をご利用になれます。

●交換機用暗証番号入力の条件設定（留守番電話サービスご利用時に、交換機用暗証番号（☞P16）の入力が必要かどうかを選択できます。）
●応答メッセージの録音（電話をかけてきた相手への応答メッセージをご自分の声で録音することができます。録音がない場合には当社の通常アナウンスが流れます。）
●不在応答サービス（ご自分で録音した不在応答メッセージが流れ、相手の伝言メッセージは録音されません。不在応答メッセージを録音すると、自動的に不在応答が設定され、不在応答メッセージを消去すると、自動的に無効になります。）

1 **を押す**

• を押しても操作できます。（☞P400）

2 アナウンスにしたがって操作する

不在案内メッセージを録音（変更／確認）する

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。
電話をかけてきた相手の伝言をお預かりする前にお知らせするメッセージをご自分のお好みのメッセージに変更することができます（録音がない場合には、当社の通常のアナウンスが流れます）。不在案内メッセージは、最大3分間録音可能です。
操作する前に「圏外」表示が出ていないことを確認してください。

1 不在案内メッセージ録音（変更／確認）用サービスコード1418をダイヤルする

2 を押す

留守番電話センターに接続されます。

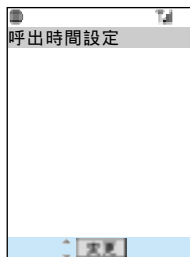
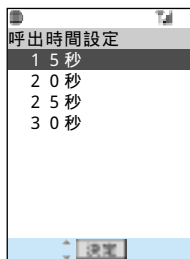
3 アナウンスにしたがって操作する

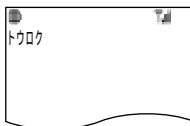
• 留守番電話サービスは、不在案内メッセージを録音しても開始されません。
• 留守番電話サービスを停止しても、録音した不在案内メッセージは消去されません。
• 録音しない場合には、不在案内メッセージが無音となってしまうことがありますので、注意してください。

秘書サービスの呼び出し時間を設定する（呼び出し時間設定）

関東・甲信／東海／関西地域、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様にご利用いただけます。東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、呼び出し時間の変更はできず20秒固定となります。
転送電話サービスおよび留守番電話サービスの呼び出しを「あり」に設定した場合は、15～30秒（5秒単位）の間で呼び出し時間の設定を変えることができます。はじめは「20秒」に設定されています。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコードからの操作（☞P400）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

1 メニューから「呼出時間設定」を呼び出す

① ◯（メニュー）を押す
② [アイコン]を選択し、[📖]を押す
③ ◯を押して[アイコン]を選択し、[📖]を押す
④ ◯を押して「呼出時間設定」を選択し、[📖]を押す

2 [📖]を押す

3 ◯を押して設定したい呼び出し時間を選択し、[📖]を押す

設定されたことをお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 設定できなかったときはメッセージでお知らせします。

- 転送電話／留守番電話サービスと簡易留守録の両方を設定した場合、簡易留守録の移行時間が呼出し時間設定よりも短く設定されていると、簡易留守録が優先されます。ただし、簡易留守録の録音件数（最大５件）がいっぱいになると、転送電話／留守番電話サービスに移行します。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

- 圏外や関東･甲信／東海／関西の各地域以外のサービスエリアからの操作および一般電話からの遠隔操作はできません。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

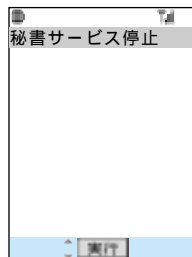
- 北海道／北陸／九州･沖縄の各地域サービスエリア内でのみこの設定が有効です。それ以外のサービスエリア内では初期設定の秒数（20 秒）となります。

- 秘書サービスとは、転送電話サービスと留守番電話サービスの総称です。

秘書サービスの設定を解除する(秘書サービス停止)

転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定を解除します。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P399）または一般電話からの操作（☞P401）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

1 メニューから「秘書サービス停止」を呼び出す

① (メニュー) を押す
② を選択し、を押す
③ を押して を選択し、を押す
④ を押して「秘書サービス停止」を選択し、を押す

2 を押す

秘書サービス（転送電話／留守番電話）が解除（OFF）されたことをお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

補足
• 解除できなかったときはメッセージでお知らせします。

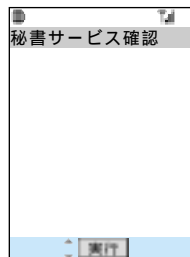
補足
• 秘書サービスとは、転送電話サービスと留守番電話サービスの総称です。

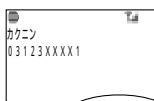
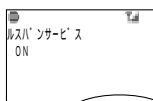
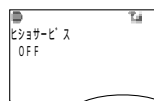
秘書サービスの設定状況を確認する（秘書サービス確認）

転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況を確認することができます。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P399）または一般電話からの操作（☞P401）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

1 メニューから「秘書サービス確認」を呼び出す

① ◎（メニュー）を押す
② を選択し、（書）を押す
③ ◎を押して を選択し、（書）を押す
④ ◎を押して「秘書サービス確認」を選択し、（書）を押す

2 （書）を押す

設定の状況が表示され、待受画面に戻ります。

補足
- 確認できなかったときはメッセージでお知らせします。

転送電話サービスがONになっているとき（転送先の電話番号が表示されます）

留守番電話サービスがONになっているとき

どちらもOFFになっているとき

補足
- 秘書サービスとは、転送電話サービスと留守番電話サービスの総称です。

運転中モードを利用する

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

着信音を鳴らさずに、自動車を運転中などで現在電話に出られない旨を、電話をかけてきた相手にアナウンスでお知らせすることができます。

運転中モード設定中は、電話を受けることができません。ただし、電話をかけることはできます。

また、転送電話サービスまたは留守番電話サービスを設定することもできます。

留守番電話サービスをお申し込みになっているときは

運転中モード設定中に電話がかかってくると、アナウンスのあとに相手の伝言メッセージをお預かりします。運転中モード設定中にお預かりした伝言メッセージは、通常の留守番電話サービスと同じ操作で再生してください。（☞P382）

1 サービス番号をダイヤルする

サービス内容	サービス番号	
	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
設定	1413	1413
解除	1410	1413
設定状況の確認	1403	—

2 [☎]を押す

ダイヤルしたサービス番号に応じた内容のアナウンスが流れます。

3 [☎PWR HLD]を押す

待受画面に戻ります。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

- 転送電話サービスを設定しているときに運転中モードを設定すると、転送電話サービスは自動的に解除されます。転送電話サービスをご利用になる場合は、再度設定してください。
- 運転中モードを解除すると、転送電話サービス／留守番電話サービスも解除されます。これらのサービスをご利用になる場合は、再度設定してください。
- 運転中モード解除の操作をせずに、転送電話サービス／留守番電話サービスに直接切り替えることもできます。転送電話サービスに切り替えるときは1421を、留守番電話サービスに切り替えるときは1411をダイヤルし、[☎]を押してください。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

- 運転中モード設定中は、留守番電話サービスによる「✉」は表示されません。
- 運転中モード設定中は、通話を終了したとき、ディスプレイに「ドライブモード　セッテイチュウ」と表示されます。

- 一般電話から操作するときは、「一般電話から操作する」（☞P401）を参照してください。

割込通話サービスを利用する

別途お申し込みが必要です。
今まで話していた相手との通話を保留にし、通話中にかかってきた電話を受けることができます。
関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、割込通話に加入されたあと、割り込み設定（☞P390）を行ってください。この設定を行わないと、サービスをご利用になれません。

割込通話サービスを受ける

1　通話中に電話がかかってくると、「プッ、プッ」と音が聞こえ、着信ランプが点滅して着信を知らせるイラストが表示される

2　☎を押す

今まで話していた相手との通話が保留になり、あとからかかってきた相手と電話がつながります。

- ☎を押すたびに通話の相手と保留の相手が切り替わります。（メインディスプレイの表示は切り替わりません）

- 通話中に電話がかかってきたときに☎PWR/HLDを押すと、通話中の相手との電話が切れ、通常の着信動作となります。

通話中の相手との通話を終了するには

☎PWR/HLDを押すと通話していた相手の電話が切れ、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。
このとき☎を押すと、保留中になっていた相手と電話がつながります。

通話していた相手が通話を切ったときは

いままで通話していた相手が電話を切ると、「プープー」という音が聞こえます。
このとき☎を押すと、保留になっていた相手と電話がつながります。

- 「プープー」という音がしてから☎PWR/HLDを押したときや約10秒間何も押さなかった場合は、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。☎を押すと通話できます。

割込通話サービスの設定／解除／設定確認をする

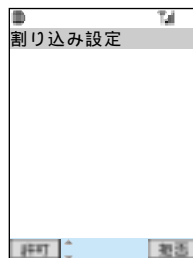
関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客さまのみご利用になれるサービスです。
割込通話サービスをご利用になるときは割り込み設定を「許可」に、ご利用にならないときは「拒否」に設定します。（割り込み設定）
また、現在の設定状況を確認することもできます。（割り込み確認）
なお、関東・甲信／東海／関西の各地域以外のサービスエリアで操作する場合は、「一般電話から操作する」（☞P401）を参照してください。

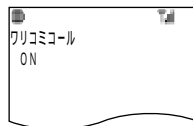
割込通話サービスを設定／解除する

通話中の割り込みを許可するか、拒否するかを選択します。（割り込み設定）

例：割込通話サービスを設定する場合

1 メニューから「割り込み設定」を呼び出す

① ◎（メニュー）を押す
② を選択し、(📖)を押す
③ ◎を押して を選択し、(📖)を押す
④ ◎を押して「割り込み設定」を選択し、(📖)を押す

2 (ʃ)を押す

割込通話サービスが設定（ON）されたことをお知らせするメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 解除するときは( )を押します。
- 設定できなかったときはメッセージでお知らせします。

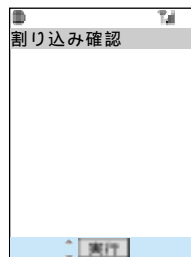
割込通話サービスの設定状況を確認する

1 メニューから「割り込み確認」を呼び出す

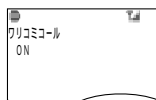
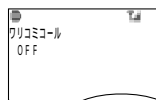
① ◎(メニュー) を押す

② を選択し、(□)を押す

③ ◎を押して を選択し、(□)を押す

④ ◎を押して「割り込み確認」を選択し、(□)を押す

2 (□)を押す

設定の状況が表示され、待受画面に戻ります。

補足
- 確認できなかったときはメッセージでお知らせします。

割込通話がONになっているとき

割込通話がOFFになっているとき

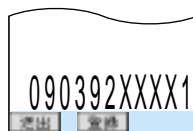
注意
- 割込通話は国際電話ではご利用になれません。

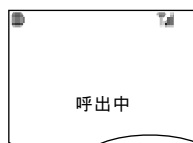
三者通話サービスを利用する

別途お申し込みが必要です。
通話中にもう 1 人の相手に電話をかけ、3 人で通話したり、2 人の相手と切り替えながら通話したりすることができます。
関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、三者通話の途中でご自分だけ抜けることができます。（通話中転送 ☞P395）
なお、三者通話は国際電話ではご利用になれません。

通話中にもう 1 人の相手に電話をかける

1 **通話中にもう 1 人の電話番号を入力する**

- リダイヤル、メモリダイヤル、スピードダイヤル、アシストダイヤル、着信履歴からそれぞれ電話番号を呼び出すこともできます。

2 **☎を押す**

呼び出しが開始され、今まで話していた相手との通話が保留になります。

相手につながると通話できます。

- 「相手を切り替えながら通話する」（☞P393）
- 「3 人で同時に通話する」（☞P394）

相手を切り替えながら通話する（切り替え通話）

1 **通話中にを押す**

今まで話していた相手との通話が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

- を押すたびに通話の相手と保留の相手が切り替わります。（メインディスプレイの表示は切り替わりません）

通話中の相手との通話を終了するには

を押すと通話していた相手の電話が切れ、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。
このときを押すと、保留中になっていた相手と電話がつながります。

通話していた相手が通話を切ったときは

いままで通話していた相手が電話を切ると、「プープー」という音が聞こえます。
このときを押すと、保留になっていた相手と電話がつながります。

- 「プープー」という音がしてからを押したときや約10秒間何も押さなかった場合は、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。を押すと通話できます。

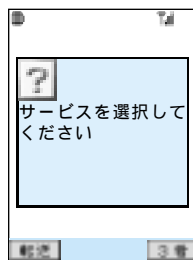
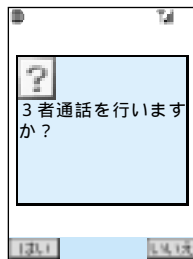
3人で同時に通話する（三者通話）

1 切り替え通話中に[発信ボタン]を押す

2 [発信ボタン]を押す

3 [決定ボタン]を押す

3人で通話できます。

- 三者通話を行わないときは[発信ボタン]を押します。

- 三者通話中は割込通話サービス（☞P389）を受けることはできません。

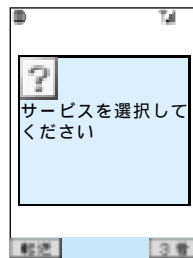
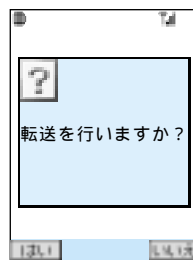
三者通話を終了するには

三者通話中に[PWR HLDボタン]を押すと、2人の相手が同時に切れます。
また、相手のどちらかが先に電話を切ると、残りの相手との通話になります。
三者通話から切り替え通話に戻ることはできません。

ご自分以外の 2 人の通話にする（通話中転送）

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。

切り替え通話中にご自分が途中で抜ける

1　切り替え通話中に（メールキー）を押す

2　（ʃ）を押す

3　（ʃ）を押す

ご自分の電話が切れ、「プープー」という音が聞こえます。

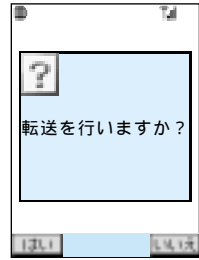
- 通話中転送を中止するときは（メールキー）を押します。

4　（PWR HLD）を押す

待受画面に戻ります。

- ご自分から 2 人の相手にかけたときは、残った 2 人の通話が終了するまでの通話料金がご自分にかかります。

三者通話中にご自分が途中で抜ける

1 **三者通話中に（ボタン）を押す**

2 **（ボタン）を押す**

ご自分の電話が切れ、「プープー」という音が聞こえます。

- 通話中転送を中止するときは（ボタン）を押します。

3 **（PWR HLD）を押す**

待受画面に戻ります。

- ご自分から 2 人の相手にかけたときは、残った 2 人の通話が終了するまでの通話料金がご自分にかかります。

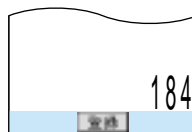
発信者番号通知サービスを利用する

電話をかけたときにご自分のJ-N51の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号をディスプレイで確認することができます。

サービスを申し込まれた場合

電話をかける通常の操作でご自分の J-N51 の電話番号が相手に通知されます。

電話をかけるとき（相手に電話番号を通知したくない場合）

1 【1】【8】【4】と押す

2 相手の電話番号を入力する

3 【☎】を押す

- 意図しない相手に電話番号を知られることがありますので注意してください。
- 電話番号が通知されるのは、相手の電話が表示機能を持っている場合に限られます。ただし、これらの機能を持っていても通知されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- あらかじめ「184」をアシストダイヤルに登録しておくと、先頭に「184（イヤヨ）」を付けて電話をかける操作が簡単になります。（☞P113）
- メモリダイヤルやリダイヤル、着信履歴からの発信も同様に相手に電話番号が通知されます。

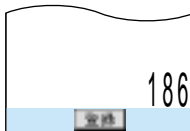
電話がかかってきたとき（相手から電話番号が送られてきた場合）

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

サービスを申し込まれていない場合

電話をかける通常の操作では、ご自分のJ-N51の電話番号は相手に通知されません。

電話をかけるとき（相手に電話番号を通知したい場合）

1 **[1][8][6]と押す**

2 **相手の電話番号を入力する**

3 **[通話]を押す**

- 意図しない相手に電話番号を知られることがありますので注意してください。
- 電話番号が通知されるのは、相手の電話が表示機能を持っている場合に限られます。ただし、これらの機能を持っていても通知されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- あらかじめ「186」をアシストダイヤルに登録しておくと、先頭に「186」を付けて電話をかける操作が簡単になります。（☞P113）

電話がかかってきたとき（相手から電話番号が送られてきた場合）

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

サービスコードを利用して操作する

J-N51から転送電話サービスや留守番電話サービスの設定などを行うとき、サービスコードを利用して操作することができます。操作はご契約いただいた地域ごとに異なります。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様の操作

この操作には、お客様の J-N51 の電話番号と交換機用暗証番号が必要です。

1 **[1 あ @][4 た GHI][0 わを ん][6 は MNO]と押す**

2 **[☎]を押す**

ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

3 **ご自分の J-N51 の電話番号（全桁）をダイヤルし、[# 記号]を押す**

交換機用暗証番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

4 **交換機用暗証番号（☞P16）をダイヤルし、[# 記号]を押す**

サービスコードの入力をうながすアナウンスが流れます。

5 **サービスコードをダイヤルし、[# 記号]を押す**

サービスコードには以下の種類があります。

サービス名	サービス内容	サービスコード
転送電話サービス	転送先電話番号の登録	402 ＋転送先の電話番号
	開始（呼び出しあり）	441
	開始（呼び出しなし）	421
	解除	400
	設定確認	403
留守番電話サービス	開始（呼び出しあり）	431
	開始(呼び出しなし）	411
	解除	400
	設定確認	403
割込通話サービス	開始	481
	解除	480
	確認	483

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様の操作

1 サービスコードをダイヤルする

サービスコードには以下の種類があります。

操作内容		サービスコード	
		北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	1422 ＋転送先電話番号※1 1406+☎+402+転送先電話番号※2	1422
	サービスの開始	1421	1421
	サービスの停止	1420	1420
	呼び出し時間の変更※3	1422+＊+設定したい秒数※4	—
	設定状況の確認	1403	1403
留守番電話サービス	サービスの開始	1411	1411
	サービスの停止	1410	1410
	伝言メッセージの再生／消去	1416	1416
	パーソナルオプションの設定	1416	—
	呼び出し時間の変更※3	1422+＊+設定したい秒数※4	—
	設定状況の確認	1403	1403
	不在案内メッセージの録音／変更／確認	—	1418
運転中モード	サービスの開始	1413	1413
	サービスの停止	1410	1413
	設定状況の確認	1403	—

※1　北海道／北陸／九州・沖縄の各地域サービスエリア内でのみ有効です。
　　それ以外のサービスエリア内では、「一般電話から操作する」（☞P401）にしたがって操作してください。
※2　北海道／北陸／九州・沖縄以外のサービスエリア内からの操作方法です。
※3　北海道／北陸／九州・沖縄の各地域サービスエリア内でのみ有効です。
　　それ以外のサービスエリア内では、呼び出し時間は20秒となります。
※4　呼び出し時間は5秒～30秒（5秒単位で6段階）に設定できます。

2 ☎を押す

3 アナウンスにしたがって操作する

一般電話から操作する

圏外にいるときでも、プッシュトーンの出せる一般電話や公衆電話から遠隔操作用の電話番号をダイヤルして、転送電話サービスや留守番電話サービスなどの設定や、設定状況の確認などをすることができます。この操作には、お客様のJ-N51の電話番号と交換機用暗証番号が必要です。

1 サービスセンターに接続する

ご契約地域	電話番号	
関東・甲信	090-391-1406	
東海	090-393-1406	
関西	090-392-1406	
北海道	090-130-1406	
北陸	090-131-1406	
九州・沖縄	090-341-1406	
東北・新潟	090-861	＋サービスコード※1
中国	090-860	
四国	090-132	

※1　東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただくサービスコード

操作内容		サービスコード
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	1422
	サービスの開始（呼出あり）	1421
	サービスの停止	1420
	設定状況の確認	1403
留守番電話サービス	サービスの開始（呼出あり）	1411
	サービスの停止	1410
	設定状況の確認	1403
	伝言メッセージの再生／消去	1416
	不在案内メッセージの録音／変更／確認	1418
運転中モード	サービスの開始／停止	1413

以降は、次の操作をうながすアナウンスが流れます。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様
- 6桁の番号のあとに4桁のサービスコードをダイヤルしてください。

2 ご自分のJ-N51の電話番号（全桁）をダイヤルする

関東・甲信／東海／関西地域、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、電話番号入力後#を押してください。

3 交換機用暗証番号（☞P16）をダイヤルする

関東・甲信／東海／関西地域、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、交換機用暗証番号入力後#を押して操作4に進んでください。
東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、操作1でダイヤルしたサービスコードにしたがったサービスが開始されますので、アナウンスにしたがって操作してください。

12

オプションサービス

全地域共通

4 サービス番号をダイヤルし、#を押す

サービス番号には以下の種類があります。

操作内容		サービス番号	
		関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	402 ＋転送先電話番号	402 ＋転送先電話番号
	サービスの開始（呼出あり）	441	441
	サービスの開始（呼出なし）	421	—
	サービスの停止	400	400
	設定状況の確認	403	403
留守番電話サービス	サービスの開始（呼出あり）	431	431
	サービスの開始（呼出なし）	411	—
	サービスの停止	400	400
	設定状況の確認	403	403
割込通話サービス	サービスの開始	481	—
	サービスの停止	480	—
	設定状況の確認	483	—
運転中モード	サービスの開始	—	531
	サービスの停止	—	400

- ご自分の電話番号や交換機用暗証番号を間違えてダイヤルしたときは、再度、正しい番号をダイヤルするようにうながすアナウンスが流れます。3 回間違えると回線が切れます。その場合は、操作 1 からやり直してください。

関東・甲信／東海／関西でご契約のお客様

- 留守番電話の伝言メッセージ再生を一般電話から行うときは、操作1で次の番号を入力したあと、アナウンスにしたがって操作してください。

関東・甲信地域でご契約された方 090-391-1416

東海地域でご契約された方 090-393-1416

関西地域でご契約された方 090-392-1416

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

- 留守番電話の伝言メッセージ再生、パーソナルオプションの設定を一般電話から行うときは、操作 1 で次の番号を入力したあと、アナウンスにしたがって操作してください。

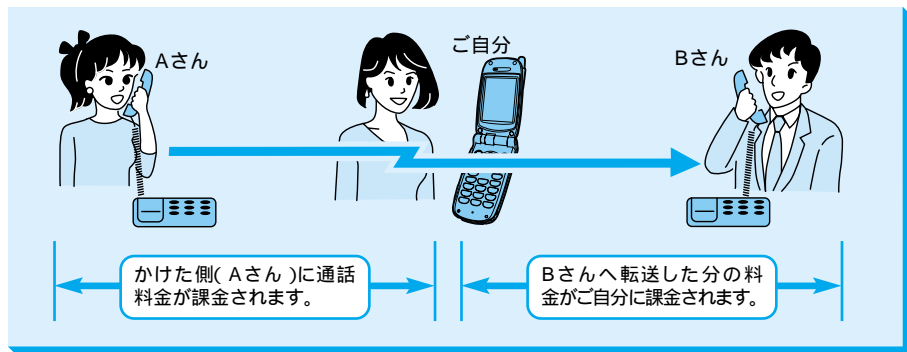
北海道地域でご契約された方 090-130-1416

北陸地域でご契約された方 090-131-1416

九州・沖縄地域でご契約された方 090-341-1416

課金方法について

転送電話サービス時の課金方法

J-N51にかかってきた電話をBさんの電話に転送するように設定してあったときに、Aさんからご自分に電話がかかってきた場合、通話料金は下図のように課金されます。

- J-N51から行う転送先の登録、設定、解除および設定状況確認の操作 -------- 無料
- 一般電話から行う転送先の登録、設定、解除および設定状況確認の操作 ------- 無料
- 相手からJ-N51までの通話料金 ------------------------- 電話をかけてきた相手の負担
- J-N51から転送先までの通話料金 -- ご自分の負担

補足

- 遠方で転送登録をしたまま、J-N51の電源をOFFにしていますと位置登録エリアが変更されないため、通話料金が高くなることがありますので、「圏外」が表示されていない場所で電源をONにし、J-N51の位置登録エリアを再登録してください。

留守番電話サービス時の課金方法

- J-N51から行う設定、解除および設定状況確認の操作 ---------------------------- 無料
- 一般電話から行う設定、解除および設定状況確認の操作 --------------------------- 無料
- 伝言メッセージの再生／消去 --- ご自分の負担
- 伝言メッセージの録音 -- 電話をかけてきた相手の負担
- パーソナルオプションの設定※1 -- ご自分の負担
- 不在案内メッセージ録音／変更／確認※2 ----------------------------------- ご自分の負担

※1　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様にご利用いただけます。
※2　東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

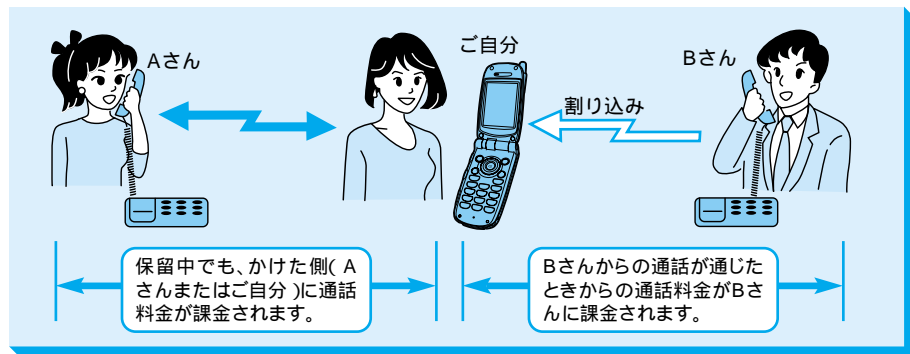
運転中モード時の課金方法

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

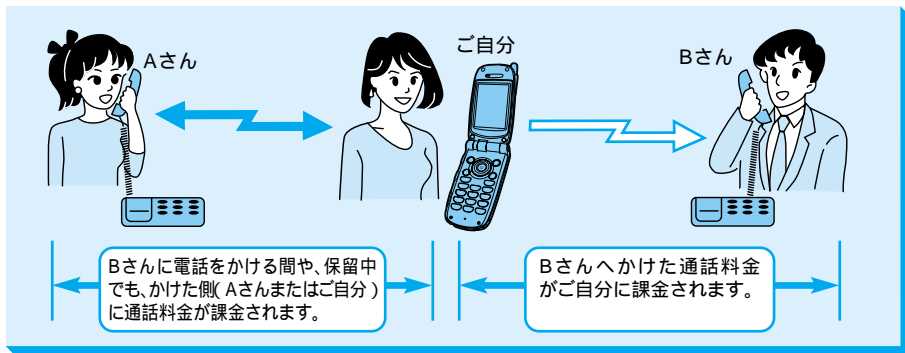
● J-N51 から行う設定、解除の操作 ---------- 無料
● J-N51 から行う設定状況確認の操作※1 ---------- 無料
● 一般電話から行う設定、解除の操作※2 ---------- 無料

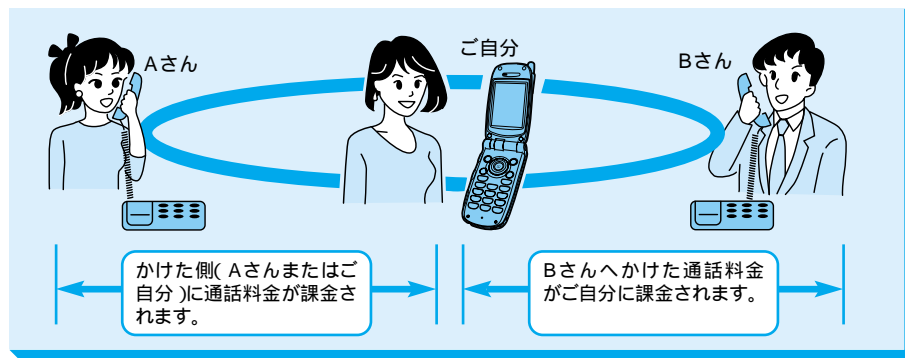
※1　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様にご利用いただけます。
※2　東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

割込通話サービス時の課金方法

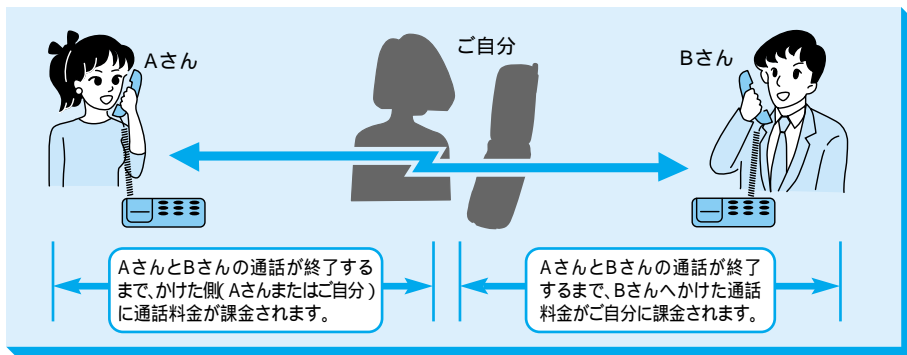
A さんとの通話中に、B さんからご自分に電話がかかってきた場合、通話料金は下図のように課金されます。

三者通話サービス時の課金方法

■ 切り替え通話時

A さんとの通話中に、ご自分から B さんに電話をかけた場合、通話料金は下図のように課金されます。
ご自分と B さんが通話している間も、A さんとご自分との間の通話料金が、かけた側に課金されます。

■ 三者通話時

A さんとの通話中に、ご自分から B さんに電話をかけて 3 人で通話した場合、通話料金は下図のように課金されます。

■ 通話中転送時

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

切り替え通話または三者通話の途中でご自分が抜けた場合、通話料金は下図のように課金されます。
A さんからご自分にかけた場合は、 A さんと B さんの通話が終了するまで、A さんにはご自分への通話料金が課金されます。ご自分から A さんと B さんにかけた場合は、通話から抜けたあとも引き続きご自分に通話料金が課金されます。

付録

機能メニュー一覧

ボタン操作	機能名	機能説明	参照ページ
◯ 0	オーナー情報	お使いの J-N51 の電話番号やご自分の情報を登録／表示	44 226 228
◯ 1 0	着信音パターン選択	着信音のパターンまたはメロディを設定	123
◯ 1 1	着信音量設定	着信音の音量を設定	121
◯ 1 2	バイブレータ設定	着信時のバイブレータのON／OFF	128
◯ 1 3	効果音設定	ボタン操作や電源の ON ／ OFF をしたときの音のパターンを設定	130
◯ 1 5	着信時間設定	メッセージを受信したときなどの着信時間の設定	126
◯ 1 6	メロディ作成	オリジナルのメロディを作成	132
◯ 1 7	メディアポッド	内蔵メロディとデータフォルダ内のサウンドや画像の再生	368
◯ 1 8	着信イルミネーション設定	着信ランプの色を設定	231
◯ 1 9	ボイスアナウンス	不在着信／新着メッセージを知らせる方法を設定	234
◯ 2 0	ダイヤルロック	ダイヤルロックの設定	148
◯ 2 1	オートロック	オートロックの設定／解除	150
◯ 2 2	シークレットモード	シークレットモードの設定	106
◯ 2 3	サイドボタン設定	折り畳み時の誤操作防止を設定	242
◯ 2 4	発信禁止	電話をかける（発信）動作禁止の設定／解除	151
◯ 2 5	非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信に対する拒否／許可を設定	152
◯ 2 6	設定リセット	設定内容を初期状態に戻す	155
◯ 2 7	メモリオールクリア	登録したメモリダイヤルのすべてを消去	154
◯ 2 8	暗証番号変更	操作用暗証番号の変更	161
◯ 2 9	オールリセット	設定や登録内容をお買い上げ時の初期状態に戻す	156

ボタン操作	機能名	機能説明	参照ページ
◯ 3 1	メモリ確認	メモリダイヤルやデータフォルダなどの使用状況を表示	294
◯ 3 3	バッテリーセーブ	バッテリーセーブのON／OFF	244
◯ 3 4	照明設定	ディスプレイ照明や微灯照明の時間、ボタン照明の設定	164
◯ 3 6	ウェイクアップ設定	ウェイクアップ画面の設定	174
◯ 3 8	通話品質アラーム	電波の状態が悪くなったときに鳴らすアラーム音のON／OFF	243
◯ 3 9	メモ作成	簡単なメモやファイルを添付したメモの作成	266 272
◯ 4 0	画面配色設定	画面の背景色と文字色を設定	168
◯ 4 1	クローズ終話	J-N51を折り畳んだときの動作を設定	241
◯ 4 2	アシスト登録	特によく使用する電話番号を登録	110 114
◯ 4 3	マナーモード設定	マナーモード時の着信音量、バイブレータ、簡易留守録の設定	236
◯ 4 4	待ち受け表示設定	待受画面の表示内容の設定	169
◯ 4 5	ユーザ辞書登録	漢字変換時によく使用する単語の登録	71
◯ 4 6	フォント切替	画面に表示される文字のフォント（書体）と太さの切り替え	179
◯ 4 7	背面LCD	イメージウィンドウの各種設定	182
◯ 4 8	文字入力方式	優先して使用する文字入力方式やワード予測機能のON／OFF	51
◯ 4 9	壁紙設定	待受時の壁紙を設定	171
◯ 5 3	スケジュール	音とメッセージで知らせるスケジュールとめざましの登録／消去	245 246 254
◯ 5 9	日付時刻設定	時計の日付・時刻の設定	28
◯ 6 0	通話時間／料金表示	直前にかけた電話と累積の通話時間・通話料金の表示／リセット	42
◯ 7 0	呼出時間設定※1	転送／留守番電話サービス利用時にJ-N51を何秒呼び出すかの設定	384
◯ 7 1	転送呼出※2	転送前に呼び出しをする／しないの設定	379

ボタン操作	機能名	機能説明	参照ページ
○ 7 2	留守番呼出※ 2	留守番電話転送前に呼び出しをする／しないの設定	381
○ 7 3	秘書サービス停止	転送／留守番電話サービスの設定の解除	386
○ 7 4	秘書サービス確認	転送／留守番電話サービスの設定状況の確認	387
○ 7 5	割り込み設定※ 3	割込通話サービスの設定／解除	390
○ 7 6	割り込み確認※ 3	割込通話サービスの設定状況の確認	391
○ 7 7	留守番センター接続	留守番電話センターに預けられたメッセージの確認	382
○ 7 8	転送先番号登録	転送先電話番号の登録	377
○ 9 0	簡易留守録設定	J-N51 の留守録機能の ON ／ OFF および移行時間の設定	281
○ 9 1	簡易留守録再生	J-N51 に録音されたメッセージの再生／消去	285
○ 9 2	メモ選択	音声メモの再生／消去・マイボイスメモの録音／再生／消去	289 290 291
○ 9 3	未確認通知	未確認通知ランプのON／OFF	233
○ 9 4	オフラインモード	電波の送受信をする／しないを設定	162
○ 9 5	ライブラリ	よく使用するメッセージの登録	76
○ 9 7	マイキャラクター	イラスト表示の設定	177
○ 9 8	赤外線全件転送	赤外線でのメモリダイヤルなどのデータの全件転送	365

※ 1：東北・新潟／中国／四国の各地域ではこの機能を現在ご利用いただけません。

※ 2：北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域では転送呼出・留守番呼出「なし」を現在ご利用いただけません。

※ 3：北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域ではこの機能を現在ご利用いただけません。

メロディ作成／編集で設定できる音色一覧

メロディの音色（☞P139）は以下の 16 ジャンル 128 種類の中から選択することができます。

ジャンル	音色名	ジャンル	音色名	ジャンル	音色名	ジャンル	音色名
ピアノ	ﾋﾟｱﾉ	ベース	ｱｺｰｽﾃｨｯｸﾍﾞｰｽ	リード	ｿﾌﾟﾗﾉｻｯｸｽ	シンセエフェクト	雨音
	ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ		ﾌｨﾝｶﾞｰﾍﾞｰｽ		ｱﾙﾄｻｯｸｽ		ｻｳﾝﾄﾞﾄﾗｯｸ
	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ		ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ		ﾃﾅｰｻｯｸｽ		ｸﾘｽﾀﾙ
	ﾎﾝｷｰﾄﾝｸﾋﾟｱﾉ		ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ		ﾊﾞﾘﾄﾝｻｯｸｽ		ｱﾄﾓｽﾌｨｱ
	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ1		ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ1		ｵｰﾎﾞｴ		ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ
	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ2		ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ2		ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾎﾙﾝ		ｺﾞﾌﾞﾘﾝ
	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ		ｼﾝｾﾍﾞｰｽ1		ﾊﾞｽｰﾝ		ｴｺｰ
	ｸﾗﾋﾞ		ｼﾝｾﾍﾞｰｽ2		ｸﾗﾘﾈｯﾄ		SF
鉄琴	ﾁｪﾚｽﾀ	弦楽器	ﾊﾞｲｵﾘﾝ	笛	ﾋﾟｯｺﾛ	エスニック	ｼﾀｰﾙ
	ｸﾞﾛｯｹﾝ		ﾋﾞｵﾗ		ﾌﾙｰﾄ		ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ
	ｵﾙｺﾞｰﾙ		ﾁｪﾛ		ﾘｺｰﾀﾞｰ		三味線
	ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ		ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ		ﾊﾟﾝﾌﾙｰﾄ		琴
	ﾏﾘﾝﾊﾞ		ﾄﾚﾓﾛｽﾄﾘﾝｸﾞｽ		ﾎﾞﾄﾙﾌﾞﾛｳ		ｶﾘﾝﾊﾞ
	ｼﾛﾌｫﾝ		ﾋﾟﾁｶｰﾄｽﾄﾘﾝｸﾞｽ		尺八		ﾊﾞｸﾞﾊﾟｲﾌﾟ
	ﾁｭｰﾌﾞﾗｰﾍﾞﾙ		ﾊｰﾌﾟ		ﾎｲｯｽﾙ		ﾌｨﾄﾞﾙ
	ﾀﾞﾙｼﾏｰ		ﾃｨﾝﾊﾟﾆｰ		ｵｶﾘﾅ		ｼｬﾅｲ
オルガン	ﾄﾞﾛｰﾊﾞｰｵﾙｶﾞﾝ	ストリングス	ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ1	シンセリード	矩形波ﾘｰﾄﾞ	パーカッション	ﾍﾞﾙ
	Percｵﾙｶﾞﾝ		ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ2		鋸波ﾘｰﾄﾞ		ｱｺﾞｺﾞ
	ﾛｯｸｵﾙｶﾞﾝ		ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ1		ｶﾘｵｰﾌﾟﾘｰﾄﾞ		ｽﾃｨｰﾙﾄﾞﾗﾑ
	ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ		ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ2		Chiffﾘｰﾄﾞ		ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ
	ﾘｰﾄﾞｵﾙｶﾞﾝ		ﾎﾞｲｽ(ｱｰ)		Charangﾘｰﾄﾞ		和太鼓
	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ		ﾎﾞｲｽ(ｳｰ)		ﾎﾞｲｽﾘｰﾄﾞ		ﾒﾛﾃﾞｨｯｸﾀﾑ
	ﾊｰﾓﾆｶ		ｼﾝｾﾎﾞｲｽ		5度ﾘｰﾄﾞ		ｼﾝｾﾄﾞﾗﾑ
	ﾀﾝｺﾞｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ		ｵｰｹｽﾄﾗﾋｯﾄ		ﾍﾞｰｽ&ﾘｰﾄﾞ		ﾘﾊﾞｰｽｼﾝﾊﾞﾙ
ギター	ﾅｲﾛﾝｷﾞﾀｰ	ブラス	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	シンセパッド	ﾆｭｰｴｲｼﾞﾊﾟｯﾄﾞ	効果音	ｷﾞﾀｰﾌﾚｯﾄﾉｲｽﾞ
	ｽﾃｨｰﾙｷﾞﾀｰ		ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ		ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ		ﾌﾞﾚｽﾉｲｽﾞ
	ｼﾞｬｽﾞｷﾞﾀｰ		ﾁｭｰﾊﾞ		ﾎﾟﾘｼﾝｾﾊﾟｯﾄﾞ		波の音
	ｸﾘｰﾝｷﾞﾀｰ		ﾐｭｰﾄﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ		ｸﾜｲｱﾊﾟｯﾄﾞ		鳥のさえずり
	ﾐｭｰﾄｷﾞﾀｰ		ﾌﾚﾝﾁﾎﾙﾝ		ﾎﾞｰﾄﾞﾊﾟｯﾄﾞ		電話のﾍﾞﾙ
	ｵｰﾊﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾞｷﾞﾀｰ		ﾌﾞﾗｽｾｸｼｮﾝ		ﾒﾀﾘｯｸﾊﾟｯﾄﾞ		ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ
	ﾃﾞｨｽﾄｰｼｮﾝｷﾞﾀｰ		ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ1		ﾊﾛｰﾊﾟｯﾄﾞ		拍手
	ｷﾞﾀｰﾊｰﾓﾆｸｽ		ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ2		ｽｳｨｰﾌﾟﾊﾟｯﾄﾞ		銃声

故障かな？ と思ったら

症状	確認すること	処　置
電源が入らない	PWR HLD を 1 秒以上押していますか？	PWR HLD を 1 秒以上押してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを予備の電池パックに交換するか充電してください。（☞P17～22）
ボタン操作ができない	ダイヤルロックが設定されていませんか？（ が表示）	ダイヤルロックを解除してください。（☞P149）
ダイヤルしても話中音（プープー…）が出る	「圏外」が表示されていませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
	市外局番など 0 からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？	市外局番など 0 からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	アンテナを伸ばしていますか？	アンテナを十分伸ばしてください。
	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	ダイヤルロックが設定されていませんか？（ が表示）	ダイヤルロックを解除してください。（☞P149）
	発信禁止が設定されていませんか？	発信禁止を解除してください。（☞P151）
	オフラインモードが設定されていませんか？（ が表示）	オフラインモードを解除してください。（☞P162）
メモリダイヤルが呼び出せない	呼び出したいメモリダイヤルがシークレットメモリに登録されていませんか？	シークレットモードにして呼び出してください。（☞P106）
通話が途切れたり切れたりする	電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを予備の電池パックに交換するか充電してください。（☞P17～22）
サイドボタンを押しても不在着信通知が確認できない	サイドボタン操作禁止が設定されていませんか？（SIDE が表示）	サイドボタン操作禁止を解除してください。（☞P242）

●上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げいただいた取扱店、最寄りのJ-フォンショップ、またはお問い合わせ先（☞P414～415）にご相談ください。

保証書とアフターサービスについて

保証書

J-N51 本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いています。
① お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
② 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
③ 保証期間は、保証書に記載しております。

保証上の注意
本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービス

修理をご依頼になる前に、「故障かな？ と思ったら」に記載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常が解決できないときは、お買い上げいただいた取扱店、最寄りのＪ - フォンショップ、またはお問い合わせ先（☞P414～415）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
① 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
② 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた取扱店、最寄りのＪ - フォンショップ、またはお問い合わせ先（☞P414～415）までご連絡ください。
なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後 6 年です。

修理の際の注意
故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に J-N51 に登録したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

J-フォン株式会社
お客さまセンター

総合案内　J - フォン携帯電話から 157（無料）
紛失・故障受付　J - フォン携帯電話から 113（無料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

北海道	総合案内	0088-243-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-243-113（無料）

青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県	総合案内	0088-245-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-245-113（無料）

東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）

富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-227-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-227-113（無料）

大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）

広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）

徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）

福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

索引

た

は

ま

や

ら

わ

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

J-N51

質量	約107g
連続通話時間	約125分
連続待受時間	約450時間 （折り畳み時かつイメージウィンドウの表示OFF時）
サイズ（W×H×D）	約48×95×21mm（折り畳み時、アンテナ部分含まず）
最大出力	0.8W

※ 上記は、電池パック装着時の数値です。
※ 連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、J-N51を折り畳んだ状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」、また連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。
※ 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
※ ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（J-スカイ サービスの操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
※ 壁紙などに動きのある画面を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
※ Java™アプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
※ ステーション サービスは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。

電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	680mAh
サイズ（W×H×D）	約 51 × 5 × 36mm

急速充電器

入力電圧	AC100V、50 ／ 60Hz
定格入力容量	11VA
出力電圧／出力電流	DC5.6V ／ 600mA
使用温度	5℃～ 35℃
サイズ（W×H×D）	約 48 × 16 × 45mm （電源プラグ収納時、電源コード部分含まず）

卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC5.6V ／ 600mA（急速充電器接続時）
出力電圧／出力電流	DC5.6V ／ 600mA（急速充電器接続時）
サイズ（W×H×D）	約 56 × 35 × 114mm

J-N51　取扱説明書
基本操作編

2003 年 3月　第 1 版第 1 刷発行

J-フォン株式会社

＊ ご不明な点はお求めになられた
　J -フォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：J-N51
製造元：日本電気株式会社

MDS-000051-JAA0

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。
不要となった際は回収・リサイクルに出しましょう。
この印刷物は再生紙を使用し、エコマーク認定を受けています。
印刷内容とエコマークは関係ありません。
第01120024号